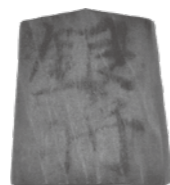


Yanaginogosho Site

The 84th Excavation Report of the Local Government Office in Hiraizumi of the 12th Century



2024

Iwate Board of Education , JAPAN

岩手県文化財調査報告書第168集

平泉遺跡群発掘調査報告書

柳之御所遺跡

岩手県教育委員会

岩手県文化財調査報告書第168集
平泉遺跡群発掘調査報告書

柳之御所遺跡

第84次発掘調査概報

2024

岩手県教育委員会

柳之御所遺跡

第84次発掘調査概報

2024

岩手県教育委員会

序

平泉町に所在する柳之御所遺跡は、平安時代末期の約100年間にわたり北方の王者として繁栄を誇った奥州藤原氏が残した遺跡で、特別史跡中尊寺境内、特別史跡毛越寺境内附鎮守社跡、特別史跡無量光院跡などの文化財と並び、当時の平泉の核をなしていた遺跡の一つです。本遺跡は、昭和63年から（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、平泉町教育委員会が実施した一級河川北上川上流改修一閑遊水地事業及び国道4号改修平泉バイパス建設事業に伴う緊急発掘調査により、大規模な掘立柱建物跡・園池跡・堀跡などが確認され、また、膨大な量のかわけや各種木製品など、質・量ともに卓越した遺物が出土いたしました。これらの豊富な遺構・遺物により、本遺跡が『吾妻鏡』に記された「平泉館」であることが指摘されています。

本遺跡は、建設省（現国土交通省）の御理解により、平成5年には遺跡の保存が決定し、平成9年3月に『柳之御所遺跡』として国の史跡に指定されました。県では、本遺跡が国民共有の貴重な財産であるとの認識から、史跡公園として整備し後世に伝えるとともに、広く活用していきたいと考え、平成10年度から史跡整備に向けた発掘調査を実施してきました。平成21年度からは、史跡公園として公開し、これまで多くの方々に御来園いただいております。

また、平成23年に「平泉」が世界遺産に登録されました。柳之御所遺跡は平成24年に暫定リストに掲載されたことから、その価値評価に向けて活動を継続していく所存です。

最後に、発掘調査の実施と報告書作成にあたり、御指導・御協力を賜りました平泉遺跡群調査整備指導委員会の委員、文化庁、（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、平泉町教育委員会、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所をはじめ関係各位に深く感謝申し上げますとともに、本書が平泉文化研究発展の一助になれば幸いです。

令和6年3月

岩手県教育委員会
教育長 佐藤 一 男

例 言

1. 本書は、岩手県教育委員会が令和4年度に実施した柳之御所遺跡整備調査事業に係る、史跡柳之御所遺跡の発掘調査の概要報告である。調査期間は令和4年6月1日～10月31日である。
2. 本事業は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課が主体となり、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに業務の一部を委託して実施した。
3. 遺構の呼称は、昭和63年度に(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した調査時の方法に準拠し、下記の略称を使用し、本書でも記載している。遺構名の記載については遺構略号の前に調査次数を付してある。なお、複数年次にわたる調査で明らかに同一と認定される遺構については当初の調査時の遺構名を継続して使用した。
SA：塀・柱列 SC：道路状遺構 SD：溝・堀 SE：井戸・井戸状遺構
SK：土坑・柱穴の一部 SX：その他 P：柱穴
例：82SD1 第82次調査の第1号溝
4. 図版、写真図版、遺物観察表中の遺物番号は共通である。遺物の実測図については縮尺1/3を基本にし、スケールを図中に表示した。遺構・遺物写真については縮尺不定である。
5. 野外調査は、生涯学習文化財課柳之御所担当中村孝・(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの西澤正晴が担当した。整理作業は、西澤・生涯学習文化財課柳之御所担当長谷川伸大・高橋祐及び3名の会計年度職員で行った。本書に係る執筆はI章を高橋が、II・III章及び編集を西澤がおこなった。
6. 調査成果の一部については、平泉遺跡群調査整備指導委員会や平泉学研究会・平泉学フォーラム等で公表してきたが、本書の内容が優先するものである。
7. 遺構の埋土観察、遺物の色調観察は、『新版標準土色帖』を参考にした。
8. 後述する平泉遺跡群調査整備指導委員会の先生方をはじめとして、下記の機関・方々の御協力を得た。
平泉文化遺産センター
及川真紀 岡陽一郎 佐川正敏 佐藤嘉広 島原弘征 菅原計二 鈴木江利子 鈴木博之
高橋憲太郎 八重樫忠郎 (50音順：敬称略)
9. 本事業に係る調査で得られた諸記録及び出土遺物は岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンターで保管している。

目 次

I 序 論	1
1 遺跡の位置と調査経緯	1
2 調査計画及び平泉遺跡群調査整備指導委員会	2
3 令和4年度の調査	3
II 調査内容	6
1 84次調査の概要	6
2 検出遺構	7
3 出土遺物	17
III 総 括	23

図 版 目 次

図版1 遺跡位置図 (1/50000)	図版14 土坑1 (84SK03・04・05・15・ 84SX02・84P278・84P650) 平断面図
図版2 調査区位置図 (1/1500)	図版15 土坑2 (84SK14) 平断面図
図版3 遺構配置図 (1/300)	図版16 井戸跡1 (84SK10・13) 平断面図
図版4 基本土層図・各種測定位置図・木製品 分類図	図版17 井戸跡2 (84SX01)・84SD01・02・03 平断面図
図版5 84SB01平断面図	図版18 84SD05・06・07平断面図
図版6 84SB02・84SB03平断面図	図版19 84SD08・09・10・11・12・13・14・ 15・16・19平断面図
図版7 84SB04・84SB06平面図	図版20 84SD17新・旧・20平断面図
図版8 84SB05平面図	図版21 84SD18平断面図
図版9 84SB07平面図	図版22 84SD22・24・25平断面図
図版10 30SB1平断面図	図版23 84SA01・84SX06平断面図
図版11 30SB2平面図	図版24 84SX08平断面図
図版12 その他柱穴1 (84P385・464・584・ 616・627・628・638・639) 平断面図	図版25 土器・陶磁器類1 (柱穴・SK)
図版13 その他柱穴2 (84P642・643・651・ 671・673・674・677・678・692) 平断面図	図版26 土器・陶磁器類2 (井戸1)
	図版27 土器・陶磁器類3 (井戸2)

図版28	土器・陶磁器類 4 (溝 1)	図版52	遺構 84SD01・02・03・05
図版29	土器・陶磁器類 5 (溝 2・不明遺構 1)	図版53	遺構 84SD06・08・09・10・11・12・17
図版30	土器・陶磁器類 6 (不明遺構 2・遺構外 1)	図版54	遺構 84SD12・13・14・15・16・17新・旧
図版31	土器・陶磁器類 7 (遺構外 2)	図版55	遺構 84SD14・15・17新・旧
図版32	土器・陶磁器類 8 (遺構外 3)・瓦	図版56	遺構 84SD18・19・20・21・27・P579
図版33	木製品 1	図版57	遺構 84SD22・23・24・25
図版34	木製品 2	図版58	遺物 かわらけ 1
図版35	遺構 調査区遠景 (1)	図版59	遺物 かわらけ 2
図版36	遺構 調査区遠景 (2)	図版60	遺物 国産陶器 1
図版37	遺構 調査区全景	図版61	遺物 国産陶器 2
図版38	遺構 84SB01・84SB02	図版62	遺物 国産陶器 3
図版39	遺構 84SB03・84SB04	図版63	遺物 国産陶器 4
図版40	遺構 84SB05・84SB06	図版64	遺物 国産陶器 5
図版41	遺構 84SB07・30SB1	図版65	遺物 国産陶器 6
図版42	遺構 84SK03・04	図版66	遺物 輸入陶磁器・瓦
図版43	遺構 84SK05・10	図版67	遺物 木製品 1
図版44	遺構 84SK13	図版68	遺物 木製品 2
図版45	遺構 84SK15	図版69	遺物 木製品 3
図版46	遺構 84SX01	図版70	遺物 木製品 4
図版47	遺構 84SX02・03・04	図版71	遺物 木製品 5
図版48	遺構 84SX05・P649	図版72	遺物 木製品 6
図版49	遺構 84SX06	図版73	遺物 木製品 7
図版50	遺構 84SX08 (1)	図版74	遺物 木製品 8
図版51	遺構 84SX08 (2)	図版75	遺物 木製品 9

挿 表 目 次

表 1	発掘調査年次計画	2	表 6	かわらけ観察表・登録台帳	34
表 2	平泉遺跡群調査整備指導委員会	3	表 7	国産陶器観察表・登録台帳	35
表 3	平泉遺跡群調査整備指導委員会協議事項	3	表 8	輸入陶磁器観察表	43
表 4	遺構別遺物一覧表	26	表 9	瓦観察表・登録台帳	44
表 5	柱穴一覧表	28	表 10	木製品観察表・登録台帳	44
			表 11	注記番号一覧	48

I 序 論

1 遺跡の位置と調査経緯

柳之御所遺跡は、岩手県西磐井郡平泉町平泉字柳御所に所在し、緯度・経度は北緯38度59分28秒、東経141度7分35秒（旧日本測地系）である（図版1）。遺跡の背後（北東側）には高館の丘陵があり、東に北上川、西から南にかけて猫間が淵と呼称される低地によって区切られた河岸段丘上に立地する。遺跡内の標高は南側で25.3m、中心部で27m、北側で32mであり、北西側が高く、南東側に傾斜している。遺跡の北側の一部は北上川の流路により浸食されたと考えられるため、本来の遺跡の形状には不明な点が残る。遺跡の範囲は調査前には住宅地と田畑があった場所で、緊急調査後に岩手県による公有地化が行われている。

この遺跡は本格的な発掘調査の開始以前から奥州藤原氏に関連する内容をもつことが想定されていたが、多くは北上川の洪水等により削平を受けて失われたものと考えられていた。そのため、遺跡は一関遊水地事業や国道4号バイパス事業に伴い、大規模な発掘調査が行われることとなった。調査開始以前の予想に反して、調査当初より多くの遺構・遺物が確認され、調査の進展に伴って内容が明らかになり、その価値が高く評価されることとなった（財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1995）。この成果を受けて遺跡の保存運動が高まり、建設省（現在の国土交通省）や関係機関の尽力により遺跡の保存が決定し、治水と遺跡保護との両立が図られることとなった。その後、平成9年に史跡指定され、以降順次史跡範囲を広げながら現在に至っている。

岩手県教育委員会では遺跡が国の史跡に指定されたことから、史跡公園として整備し保存活用を図るため、文化庁及び柳之御所遺跡調査研究指導委員会（現平泉遺跡群調査整備推進会議）の指導助言を得て、平成10年度から主に未調査区域を対象とした内容確認の発掘調査を計画し、継続して実施している。これまでの調査は当面の整備対象となる堀内部地区を中心に行ってきた。これらの調査により、堀内部地区の大部分が調査され、遺構遺物の両面から研究が深化している。平成30年度には堀内部地区の総括報告書が刊行され、堀内部地区の調査は一区切りを迎え、同年より、堀外部地区の調査を開始している。この調査に先立つ堀外部地区の調査は一関遊水地事業や国道4号バイパス事業に伴い、平泉町教育委員会が行っており、報告書が刊行されている。その後も平泉町教育委員会による小規模な調査が行われてきている。なお、柳之御所遺跡堀内部地区は、平成22年より史跡公園として公開を行い、現在も史跡整備工事を継続している。令和3年度には史跡隣接地に岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンターを設置し、重要文化財を含む遺物の保管や遺跡のガイダンスを行っている。

柳之御所遺跡の周辺には、西には隣接して猫間が淵跡、無量光院跡が位置し、北には高館跡、南には伽羅御所跡が接している。無量光院跡はこれまでの発掘調査で、宇治平等院と類似しつつも、細部で異なる伽藍の内容が確認されている。伽羅御所跡は地名から『吾妻鏡』に記載される伽羅御所に比定する見解もある。これまで複数の地点で調査が行われ、貴重な遺物も出土しているが、小規模の発掘調査にとどまり遺跡の様相や性格を明確に示すものは確認されていない。近年の調査により周辺部で溝跡等も確認されており、区画の様相も検討されつつある。平泉町内ではこの他に志羅山遺跡や泉屋遺跡、倉町遺跡といった当時の平泉の街並みに関連する遺跡が調査されている。北上川を挟んだ東岸域や衣川を挟んで北側の奥州市接待館遺跡、白鳥館遺跡などの調査も行われており、当時の平泉に関連する遺跡の分布範囲が周辺に広がることが明らかになり、検討が行われてきている。

2 調査計画及び平泉遺跡群調査整備指導委員会

岩手県教育委員会では柳之御所遺跡の調査を、下表のとおり計画を立てて進めている（表1）。

令和4年度調査（第84次）は堀外部地区の第2次3カ年計画の2年目にあたる。第2次計画は道路状遺構の北側を中心に発掘調査を行い、道路状遺構の延伸方向の確認、構築時期の確認、区画の在り方や年代を把握し、関係確認等の検討と整備に関わるデータ収集を主な目的としている。第84次調査を含む計画については表3に示した。

調査整備に関しては平成10年度から「柳之御所遺跡調査研究指導委員会」を設置し、柳之御所遺跡及び平泉遺跡群の発掘調査及び調査研究に対して指導助言を得てきた。平成12年に名称を「柳之御所遺跡調査整備指導委員会」に改め、平成15年度は世界遺産本登録に向けた周辺遺跡の検討の必要性から「平泉遺跡群調査整備指導委員会」と改称した（表2）。令和4年度の委員会・専門部会は表3の通り開催した。

表1 発掘調査年次計画

	目的	年次	調査回数	調査内容等	調査面積	調査期間	備考	
△道路跡の検討 第1次計画	<ul style="list-style-type: none"> ■ 走行方向など ■ 遺構変遷 (年代の位置付け) ■ 区画との関係 	平成30年度	第80次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既調査範囲での道路状遺構を再確認し、次年度以降の遺構検出の資料とする ・ 走行方向を確認し、整備検討の資料を得る ・ 未調査範囲の遺構状況を把握する 	800㎡	6月4日 ～10月31日	国庫補助 ※整備関係 予算含む	
		平成31年度 令和元年度	第81次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺構残存が良好とみられる範囲で、道路状遺構の年代検討の資料を得る ・ 道路状遺構と区画の検討資料を得る 	800㎡	6月6日 ～10月31日	国庫補助 ※整備関係 予算含む	
		「堀外部地区と堀内部地区との関連性」について	令和2年度	第82次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺構残存が良好とみられる範囲で、道路状遺構の延伸方向を確認する ・ 道路と区画の検討資料を得る ・ 3カ年の調査を踏まえ、道路状遺構の延伸や年代等の見通しを得る 	800㎡	6月1日 ～10月31日	国庫補助 ※整備関係 予算含む
△区画の検討 第2次計画	<ul style="list-style-type: none"> ■ 区画の年代 ■ 区画の変遷 ■ 区画内の様相 		令和3年度	第83次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堀内部地区に近い範囲での区画の在り方や年代、遺構の様相を把握する ・ 遺構の様相を把握し、検討資料を得る 	800㎡	6月1日 ～10月31日	国庫補助 ※整備関係 予算含む
			令和4年度	第84次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堀内部地区に近い範囲での区画の在り方や年代、遺構の様相を把握する ・ 道路北側の土地利用に関する検討資料を得る 	800㎡	6月1日 ～10月31日	国庫補助 ※整備関係 予算含む
			令和5年度	第85次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺構変遷の検討 ・ 道路跡の年代を検討するための資料を得る 	800㎡	6月1日 ～10月31日	国庫補助 ※整備関係 予算含む
△区画の検討 第3次計画	<ul style="list-style-type: none"> ■ 区画の年代 ■ 区画の変遷 ■ 区画内の様相 		令和6年度	第86次	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゾーン1の大型建物について精査 ・ 区画の在り方についての検討資料を得る 	800㎡		
			令和7年度	第87次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堀外部道路と堀内部道路の接続についての検討資料を得る 	800㎡		
		令和8年度	第88次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路南側の様相を把握し、土地利用に関する検討資料を得る ・ 区画の有無などを含めて道路北側との比較検討の資料を得る ・ 猫間が淵跡との関連についての検討資料を得る 	800㎡			
研究総括年度		令和9年度	第89次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 猫間が淵跡との関連について検討資料を得る ・ 道路南側の土地利用に関する検討資料を得る ・ 堀外部地区総括報告書を刊行 	800㎡			

※ 令和6年度以降は、調査成果によって調査位置等の変更が生じる場合がある。

表2 平泉遺跡群調査整備指導委員会

(令和4年4月現在、役職は当時)

氏 名	役 職	専門部会 (○は部会長)
遠藤セツ子	平泉メビウスの会事務局	整備
小野 正敏	国立歴史民俗博物館名誉教授	遺構
坂井 秀弥	公益財団法人 大阪府文化財センター理事長	遺構・保存管理
斉藤 利男	弘前大学名誉教授、弘前学院大学特任教授	遺構
清水 擴	東京工芸大学工学部名誉教授	遺構
清水 真一	徳島文理大学文学部教授	遺構・整備
関宮 治良	前平泉町商工会議所事務局長	整備・保存管理
田中 哲雄	前東北芸術工科大学教授	○整備・保存管理
◎田辺 征夫	公益財団法人 元興寺文化財研究所 所長	
玉井 哲雄	国立歴史民俗博物館名誉教授	○遺構
西村 幸夫	國學院大學観光まちづくり学部長・教授	保存管理

※ ◎委員長 遺構：遺構検討部会、整備：整備検討部会、保存：保存管理計画検討部会

表3 平泉遺跡群調査整備指導委員会協議事項

回	日 時	内 容
第1回整備・遺構 合同部会	R4.7.26	柳之御所遺跡の調査・整備について
		無量光院跡の整備について
		白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡整備事業について
第1回平泉遺跡群調査 整備指導委員会	R4.9.20 ~21	柳之御所遺跡の調査・整備について
		無量光院跡の整備について
		旧観自在王院庭園の調査について
		白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡整備事業について
第2回整備・遺構 合同部会	R4.12.15	柳之御所遺跡の調査・整備について
		旧観自在王院庭園の調査について
		無量光院跡の整備について
		白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡整備事業について
第2回平泉遺跡群調査 整備指導委員会	R5.3.15 ~16	柳之御所遺跡の調査・整備について
		無量光院跡の整備について
		旧観自在王院庭園の調査について
		長者ヶ原廃寺跡の基本設計について
		骨寺村荘園遺跡の調査について

3 令和4年度の調査

(1) 調査体制

<岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課>

総括課長	久慈 孝
文化財課長	岩渕 計
文化財専門員	佐藤 郁哉 (文化スポーツ部文化振興課併任)
主 事	鈴木野乃香 (文化スポーツ部文化振興課併任)

(平泉駐在：平泉世界遺産ガイダンスセンター)

上席文化財専門員 戸根 貴之 (文化スポーツ部文化振興課併任)

文化財調査員 中村 孝 (文化スポーツ部文化振興課併任)

<岩手県文化スポーツ部文化振興課>

総括課長 阿部美登利

世界遺産課長 佐藤 淳一

<(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター>

所長 齊藤 邦雄

主任文化財専門員 西澤 正晴

(2) 調査区の位置と調査目的

令和4年度調査(第84次)は堀内部地区に近い未調査範囲を主な対象とした(図版2)。ここは近年まで宅地等が所在し、遺構の分布状況等に不明な点が多い。

今回の調査目的は、堀内部地区に近い範囲での区画の在り方や年代、遺構の様相を把握すること及び道路北側の土地利用に関する検討資料を得ることである。道路遺構の北側は平泉町教育委員会が実施した調査によって区画の存在が確認され、区画のあり方によって3時期程度の変遷が想定されているが、今回の調査箇所については未調査であることから、遺構の分布や変遷等は不明である。そのため、堀外部地区東辺部における遺構の様相、区画のあり方及び年代を解明する材料を得ることを目的としている。

なお、調査は遺構の分布や所属時期の確定、遺構の性格等を把握することを目的としているが、遺構の保存のために、精査の際の掘削は必要最小限にとどめている。調査終了後は、調査区全体と一部の掘削を行った遺構については、いずれも砂の埋め戻しによる保護層を確保した上で、調査以前の地形に合わせて埋め戻しを行い、遺構の保護を図っている。

(3) 調査の方法

グリッド 柳之御所遺跡の調査に際しては、遺構の測量や遺物の取り上げなどの作業に際し、基準としてグリッドを設定している。このグリッドは(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが1988年から始まる緊急調査に際し平泉町教育委員会と協議のうえ設定したものである(財 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1995)。平面直角座標第X系(旧日本測地系)をもとにした5×5mグリッドで、南北方向の基準線に対し真北は、西に0°11'振れる。遺跡範囲の北西端辺りが原点(0、0)となる。

なお、第49次調査まではグリッドの呼称をX座標方向、Y座標方向の順にしていたが、第50次調査以降、その順を逆転させY座標方向、X座標方向の順で呼称・記載している。混乱を最小限にとどめるため、本書においてもこの方式を踏襲し、たとえば66-70(Y-X)グリッドならばX軸方向が70、Y軸方向が66を示している。以下の記載についてはこのグリッドによって調査を行い、遺物の取り上げも、近現代の改変による耕作土の出土遺物等を一部除いて、基本的にこのグリッドによって行っている。

また、本遺跡の周辺では大規模な調査の開始以降に宮城岩手内陸地震や東日本大震災により大きな

地形の変動を受けている。その後に行った再測量において当遺跡内での座標変動とその数値を改めて確認している。ただし、柳之御所遺跡内での継続調査においては1988年以来進めているグリッド内での位置を示すことが調査研究の継続上有効と考えており、旧座標におけるグリッド表記を行うこととする。そのため現在の調査においても現地においては日本測地系の座標を基準として設定しており、発掘調査における測量及び報告書等の記載は従来通り行う。

局地的な調査継続としては上記のように考えられるものの、柳之御所遺跡は周囲の遺跡との関係性も研究上重要であることが認識されてきている。それらの比較や整備、その基準となる図面作成においては世界測地系の正確な座標値を把握、更新する必要性も高い。そのため、東日本大震災後の成果に基づいた改測成果を把握することで対応に努めていきたい。

表土掘削・遺構検出 今回の調査では、表土の厚さや堆積状況を把握するために一部を人力による掘削を行い、表土の厚さを確認後、重機による表土掘削を行った。表土の除去後は、鋤簾などの道具を使用して確認調査（検出作業）を行った。なお調査後は、全面に保護砂を入れ埋め戻した。

遺構精査・記録 検出作業によって確認された遺構については、遺跡保護のため基本的には掘削を伴う精査は行っていない。しかし、一部の遺構については遺構の年代把握や遺物検討のために、半截等によって土層観察を行い、遺構の断面を記録した。平面図の実測は5mグリッドを分割した1×1mのメッシュを使用して手作業で行った。今次の調査で検出された遺構はもちろんであるが、既知の遺構についても、検出したものについてはあらためて平面図の作成を行っている。写真についてはデジタルカメラを使用して撮影を行った。調査区全景写真撮影は、業務委託を実施して、ドローンによる撮影を行っている。

遺構名称 今調精査における遺構名は新規の遺構については頭に今回の調査回数である84を付して遺構略号を使用した（例84SK〇〇）、既往の発掘調査で確認された遺構と同一であることが想定できる遺構については旧番号（既調査で命名）を本書においても使用している。具体的には掘立柱建物跡の一部は既調査で確認されている遺構と同一であることから30SB1等、遺構名称を継続して用いる。調査途中での名称変更する場合は、遺物整理等の混乱を招きかねない恐れがあったため、そのままの名称を使用し、整理段階で正式遺構名として変更することとした。

整理作業 野外調査終了後の令和4年11月1日から令和5年3月31日まで行った。遺物は水洗後に注記→接合→実測→トレース→図版作成→写真撮影の順で作業を行った。遺構については点検の後トレース→図版作成の順で作業を行った。

記載内容 この報告書では、今次の調査で検出した遺構と、既知の遺構でも半截などにより精査した遺構について記載している。

(4) 普及活動

発掘調査現場の一般公開については、これまで新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から制限してきたが、今年度は平日の10月25日に現地公開を実施し、約50名の参加を得た。その他、遺跡を訪れる観光客や小学校などの学校の見学等に対して、要望に応じて随時現場を公開した。また、大学による考古学実習の受け入れも行っている。

Ⅱ 調査内容

1 84次調査の概要

(1) 概要

84次調査は、道路跡北側に存在する区画の様相を明らかとするために計画した調査である。調査位置については先述のように、堀外部地区ではもっとも堀内部地区に近い範囲となる（図版2）。この場所は、現在確認している区画としては西端から数えて4つ目の区画となる（第4区画と称する）。区画内全面を調査するには面積が大きかったため第4区画のうち東側約半分を調査した。この場所は昨年度調査した83次調査区のすぐ北側に相当し、また30次調査区に隣接するが、ほぼ未調査の範囲である。昨年度もこの区画内を一部トレンチによる調査を行ったが、今回はこれを拡大する形で調査したことになる。また、調査結果から、この範囲には6次調査、40次調査が含まれることが判明した。

84次調査で発見された遺構は以下のとおりである（83次調査分も含む）。

掘立柱建物跡…… 9棟（30次調査で発見された2棟を含む）

土坑……… 12基

井戸跡……… 3基

溝跡……… 27条

堀跡……… 1条

柱穴………572個（掘立柱建物分は除く）

その他……… 2基

調査を行った遺構はこれらのうち一部についてのみであり、それらを中心に本書では記載している。

なお、調査時に付した遺構記号（略号）については、精査後別の種類に変更すべきものがあったが、写真や遺物袋等にも変更が及び混乱が生じる恐れがあったため、調査時の呼称をそのまま使用しているものがある。したがって、例えば土坑であってもSK以外にSXを使用した場合がある。

(2) 基本層序

層序としては、隣接する83次調査と類似しているためこれを踏襲するが、確認できない層もある。また、遺構検出面は地山面（Ⅳ層）であるが、この層の直上には12世紀以降の堆積土等が確認できることから遺構検出面は原則削平されていると判断した。基本層序を確認した地点は7箇所（遺構断面と共有）であるが、いずれもほぼ同一の様相を呈し、かつ単純であることからそれらをまとめて模式図化した（図版4）。これらを踏まえた調査区内における基本層序は以下の通りである。

I層は、現表土、盛土、碎石層、旧調査の残土などが複合している層である。層厚は、地点によって異なるが全体的に薄い。

Ⅱ層は、灰黄褐色を呈するシルト層である。83次調査で確認された層と同一層と考えられる。地点によっては褐色や黒褐色を呈するものもある。旧耕作土、宅地造成土なども含む。かわらけ片から近代以降の遺物までを包含する。いずれ12世紀以降に堆積したと想定される。

Ⅲ層は、黒褐色シルト層であるが、今回の調査区周辺では確認できなかった。83次調査では東西グリッドラインであるX=42以南で確認できるとすることから、道路跡よりも南側に存在すると想定される。

Ⅳ層は、黄橙色粘土質シルト層である。遺構検出面であり、いわゆる地山面である。この層はさら

に細分可能であり、地点によっては層相がやや異なるものもあるが、この層には遺物が含まれないことから細分は行っていない。ちなみにこの層の下層には炭化した木本類が遺存している場合がある。

2 検出遺構

(1) 掘立柱建物跡 (SB)

掘立柱建物跡は計9棟を確認した。柱間寸法や建物構造・方位から12世紀建物跡と近世以降の建物跡の2者に分けられそうである。記載に際しては、建物方位(主軸)の共通性が同時期に併存した建物群の1つの根拠となるため、南北棟・東西棟に関わらず北に対する東西方向の傾き(建物方位・主軸方向)を記している。本書で使用する1尺は、30.3cmを基準とする。位置を示すグリッド表記については、建物跡が該当するグリッド群のうち左上のグリッドと右下のグリッドを代表させて記載している。したがって、その間がその建物の範囲を示すことになる。また、柱列については、南北方向を列、東西方向を行として表現する場合がある。

84SB01 (図版5・38) 45-35~47-37グリッドに位置する。梁行4間×桁行5間以上の東西棟の掘立柱建物跡である。調査区内の状況から、南北に1間ずつ廂がつく二面廂建物と想定できる。西側は調査区外であり未確認である。飛び地の調査箇所には該当する柱穴が確認できないことから桁行は6間の可能性がある。また、東から2列目の柱穴列はP398の一部以外調査区と調査区の間にあると推定される。他の建物との重複は30SB01・84SB02・84SB03とであり、柱穴の切合関係から30SB1より新しく84SB02・84SB03よりは古い。また、本建物跡は、溝跡84SD17・84SD18よりも古い。規模は、梁行9.2m、桁行12m以上である。面積は、桁行が6間と仮定すると132.48㎡となる。建物方位はN-16°-Eである。柱間寸法は、梁行が北から2.4m・2.2m・2.2m・2.4mに、桁行が2.4mの等間にそれぞれ復元した。身舎の梁行がおおよそ7尺、桁行と廂の出が8尺となる。柱穴の平面形は円形や楕円形を呈し、規模は径0.18~1.0mである。検出面からの深さは、半截した柱穴から、0.3~0.6mである。半截した柱穴は3個(P501・569・659)のみであり、残りは検出のみである。ただし、6次調査で発見された柱穴(P508・485(513)・510・531)についてはその多くが完掘されている。P501はP500と重複すると当初考えたが、P500は抜き取りの可能性もある(その場合P500は消滅)。P569とP659ではいずれも黄橙色シルトと褐灰色シルトとの混合土が堆積し、地山のブロック土が多く包含する層である。遺物は、半截時や検出時に一段下げた柱穴(埋土最上位層)から、かわらけが合計277.2g出土している。出土遺物や、柱間寸法、建物構造や方位から12世紀代の建物跡と類似することからこの時期の建物跡と捉えておきたい。

84SB02 (図版6・38) 45-35~47-37グリッドに位置する東西棟の掘立柱建物跡である。西側の一部は調査区外にあるため全容は不明であるが、梁行1間×桁行4間以上の無廂建物に復元した。調査区外にある範囲は隣接する調査区からみて6間以上は想定できない。東側の梁間には84SD17が重複するため、その溝下に妻側柱の柱穴が存在している可能性がある。重複は84SB01と84SB03とで確認でき、柱穴の切合関係(P572・571・574)から本建物跡がもっとも新しい。ただし、平面確認のみのため誤っている可能性がある。30SB1とは重複しないが、柱穴が近接していることから同時には存在しないと考えられるが先後関係は不明である。規模は、梁行5.0m、桁行8.4m以上、面積は、42㎡以上である。建物方位はN-10°-Eであり、やや東に傾く。柱間寸法は、梁行が5.0m、桁行が2.1mの等間に復元した。柱穴の平面形は円形や楕円形を呈する。柱穴規模は径0.40~0.80mの範囲にある。

検出面からの深さは、いずれの柱穴も検出のみのため不明である。出土遺物は、検出時に一段下げた柱穴から、かわらけの細片計57.9gが出土している。これらの出土遺物に加え、建物方位や柱間寸法から12世紀代の建物跡として捉えておきたい。

84SB03 (図版6・39) 45-34~47-35グリッドに位置する東西棟の掘立柱建物跡である。西側の一部は調査区外にあるため全容は不明である。現状の柱穴の組み合わせから、梁行2間×桁行2間以上の総柱建物に復元した。重複は、84SB01と84SB02との間で確認できる。柱穴の直接的な切り合い関係(P574・P571・P572とP434・P435)から先後関係をみると、本建物跡は、84SB01より新しく、84SB02よりも古い建物跡であることがわかる。現状での規模は、梁行4.6m、桁行5.0m以上である。建物方位はN-1°-Eとなり、ほぼ正方位を呈する。柱間寸法は、梁行が2.3mの等間に、桁行が、東から2.9m、2.1mに復元した。桁行の柱間寸法は、現状ではあまり規則性がなく柱筋の通りもあまり良くないため、今回復元した柱穴の組み合わせで建物として成立するか難しいところである。各柱穴の平面形は、円形から楕円形を呈する。柱穴規模は径0.32~0.70mの範囲にある。2個のみ半截を行っており、検出面からの深さは0.28~0.32mである。出土遺物は、半截した柱穴や検出時に一段下げた柱穴より合計85.1gが出土しているが、いずれも細片のため図示したものは無い。構成する柱穴が少なく建物跡として捉えられないかもしれないが、柱間寸法、建物方位等を考慮すると12世紀代の建物の可能性がある。

84SB04 (図版7・39) 48-37~49-38グリッドに位置する東西棟の掘立柱建物跡である。梁行1間×桁行4間の無廂建物に復元した。北側柱列の西から2つ目の柱穴は、84SD12との重複により失われている。したがって、84SD12よりは本遺構の方が古い。規模は、梁行2.9m×桁行5.5mであり、面積は15.95㎡である。建物方位はN-14°-Wであり、他とは異なり西側に傾いている。柱間寸法は、桁行が2.9m、桁行が、東から1.3m・1.3m・1.6m・1.3mに復元した。多くの柱間は1.3m等間であるが、一部のみ1.6mが使用される。柱穴の平面形は円形であり、規模は径0.20~0.50mである。深さは、断ち割った柱穴がないため不明である。遺物は検出時に一段下げた柱穴1個(P205)から、かわらけ細片が5.6gのみ出土している。柱間寸法や建物方位より近世以降の建物の可能性がある。

84SB05 (図版8・40) 49-40~51-42グリッドに位置する東西棟の掘立柱建物跡である。梁行2間×桁行6間の建物と想定したが、欠失や未確認の柱穴もあることから異なる構造の可能性もある。北側と東側(と西側)には下屋1間分を想定した。南側柱列については、P59・P96以外は確認できなかった。これには84SD01とほぼ同じ位置にあることもあり認識しにくく、調査区外に存在する可能性もある。また東側柱列についても南端のP96以外は確認できなかった。84SD01・SD02・SD03・SD04については、本遺構と同一方位にあり、その位置関係から同時期に存在する関連する遺構と想定している。P25~28・P31・P36~38・P41・P43~46の柱穴列は、84SD3とSD4の間にあることから、この建物に伴う掘立柱塀や植栽痕の可能性もある。また84SB06は、東に隣接するが、距離が近く同時期には存在しない可能性がある。その場合の先後関係は不明である。規模は、梁行が5.2m、桁行が9.9mに復元した。この場合の面積は51.48㎡である。建物方位はN-19°-Eであり、東に傾く。柱間寸法から推定すると、東・北・西側には下屋が存在すると推定される。柱間寸法は、梁行が、北から1.1m・4.1m(2間の場合は2.05m)、桁行が西から1.1m・1.9m・3.9m・1.9m・1.1mと復元する。西側柱列より3列目から4列目にかけて、間仕切りと想定されるP53・P10・P7の柱穴が確認できる。そのため、下屋以外がいわゆる「田」の字形の間取りが想定される。柱穴の平面形は円形から楕円形を呈するものがあるが不統一であり、なかには方形を呈するものもある。規模は径0.20~0.66mである。深さはいずれの柱穴も断ち割りを行っていないため不明である。出土遺物は、検出時に一段下げた柱

穴から、かわらけ細片19.2gが出土するのみである。柱間寸法やその構造から近世以降の建物跡と考えられる。

84SB06 (図版7・40) 51-41～51-42グリッドに位置する掘立柱建物跡である。調査区内においては柱穴列2列の一部のみが存在し、大部分は調査区外にある。東・南方向に延長すると想定できる。そのため全容は不明である。桁行方向も不明である。現状では、東西1間以上、南北3間以上に復元したが、建物の一部に過ぎない。規模は、東西1m以上、南北6.0m以上である。柱間寸法は、東西方向が1.0m、南北方向が、北から1.7m・2.3m・2.0mである。東西方向は柱間寸法が短く、下屋と考えられる。したがって、現状で確認できる平面形は下屋部分のみの可能性がある。柱穴の平面形は円形を基調とし、規模は径0.40～0.54mである。深さは、断ち割りを行っていないため不明である。検出面で柱痕跡が確認でき、平均すると径21cm程度である。出土遺物は、検出時に一段下げた柱穴から、かわらけの細片が30.5g出土するのみである。全容は不明ながら、柱間寸法やその平面形などから近世以降の建物跡と想定される。

84SB07 (図版9・41) 47-38～47-41グリッドに位置する掘立柱建物跡である。梁行2間×桁行6間の南北棟建物に復元した。本建物跡の大半は今回の調査区内にあるが、南側の一部は昨年度調査区にあり、また一部は未調査区にある。建物を構成する柱穴が他遺構と重複することはほとんどないが、建物範囲は84SD05～08、84SD10～11、84SA01と重なる。先後関係は不明である。規模は、東西7.0m、南北14.2mであり、面積は99.4㎡である。建物方位はN-26°-Eであり、大きく東に傾く。柱間寸法は、梁行が西から3.9m・3.1mであり等間ではない。桁行の柱間寸法は、西側柱列北から1.5m・3.0m・2.7m・2.5m・3.0m・1.5mであるが、東側柱列では北から、1.9m・2.6m・2.6m・2.6m・3.0m・1.5mに復元したが、東側と西側で柱間寸法が異なる。したがって、柱筋は直行せず斜行するものが多く、柱筋の通りも悪い列が多い。北側と南側それぞれ1間分の柱間寸法は、他よりも狭く、下屋の可能性もある。また、中央の柱列は、現状では北から4行目までを確認しているがそれ以外は他遺構との重複や未調査区のため確認できないが、総柱構造の可能性もある。柱穴の平面形は円形基調であるが、一部方形を呈するものもある。規模は径0.22～0.48mであり、比較的小さいものが多い。深さは、いずれの柱穴も断ち割りを行っていないため不明である。遺物は出土していないが、柱間寸法や建物構造(間取り)などから近世以降の建物跡と想定される。

30SB1 (図版10・41) 41-36～46-38グリッドに位置する掘立柱建物跡である。今回の調査区では、この建物跡の東側一部(3列分)のみが含まれる。調査の大部分は平泉町教育委員会による30次調査で行われ、その後40次調査でも補足調査が行われている。また、平泉遺跡調査会による6次調査によって検出された建物跡でもある。ただし、いずれの調査においてもこの建物跡の一部を調査したに過ぎず、一度に全体が明らかとなったわけではない。現状ではこれまでの調査分も適宜含めて記載する。

梁行4間×桁行10間の東西棟の建物として復元した。4面に廂が付設される四面廂建物である。今回の調査区内においては、中央部分においては未検出の柱穴もあるため暫定的な復元である。現状では、堀外部地区における最大規模の建物となる。身舎は梁行2間×桁行5間に復元したが、桁行7間と捉えて総柱状の空間(塗籠?)を含む可能性もある。西側は四面廂の外側に孫廂が付設される。規模は、梁行10m×桁行25m、面積は250㎡である。建物方位は、N-8°-Eである。柱間寸法は、梁行、桁行とも2.5m等間である。建物跡東側の復元にはまだ不明確な点が残るが、堀内部地区の中心建物の一つである28SB4と規模や構造においては類似点が多い。柱穴の平面形は円形を基調とし、おそらく抜き取りが行われているものは楕円形状を呈する。規模は、検出面で径0.56～1.84mを呈する。2個の柱穴のみを断ち割っており、深さは検出面から0.5mである。堆積土については2個とも過去

に完掘されており観察できなかつた。P505・P622・P624・P618・P512・P663・P514・P625については6次調査(第3トレンチ)の範囲にあり、堆積土の様相からもすでに完掘されていると考えられる。P618の底面には礎板が設置されており、これも6次調査において写真掲載されているものと同一である。今回も取り上げずそのまま保存した。

このように大型建物跡の一部を調査したことになるが、今回は時間の制約もあり、拡張調査ができなかつた。そのため建物の全容を解明するため、今後再調査の必要がある。

30SB2(図版11) 40-34~43-37グリッドに位置する掘立柱建物跡である。調査区内ではわずかに柱穴2個分が含まれる。大部分の柱穴の調査は30次調査で行った建物跡である。今回の調査では、未確認の柱穴を探すことを念頭に置いて行ったが、多くの柱穴は最終的には84SX08を除去しないと検出できないことが判明した。したがって、今回の調査ではこれを除去していないため、わずかな柱穴の確認にとどまっている。本建物跡は、30次調査時の所見から、梁行4間×桁行6間の東西棟の四面廂建物跡に復元されている。身舎は梁行2間×桁行3間を想定しており、一見総柱状に柱が配置されるが、中央の2個は側柱よりも一回り小さい。東柱の可能性がある。30SB1と重複しており、本建物の方が古い。規模は、梁行12.6m、桁行18.6mであり、建物方位はN-13°-Eである。柱間寸法は、梁行が3.15mの等間に、桁行が西側1間分以外は3.15mの等間に、西側1間は2.85mに復元した。西孫庇の出以外は3.15mの等間である。したがって、廂の出も四周とも3.15mである。柱間寸法が10尺を超える大型の建物である。今回の調査では2個の柱穴のみを確認した。P680は84SX08の整地層をトレンチ上に除去した後に検出した。P693も同様であるが、検出面積がわずかのため別の遺構の可能性も残る。柱穴の平面形は円形を呈するものが多く、規模は径0.64~0.66mである。今回の調査区内の柱穴からは遺物の出土はなかつた。30次調査分の遺物については、未調査である。

(2) その他の柱穴(P)

調査全体では欠番を除き679個の柱穴を検出した。このうち掘立柱建物跡として使用した柱穴は105個(約15%)となる。残りの大部分については、本来建物として復元できるものがまだ残されていると考えられ、さらなる建物復元については今後の課題としたい。なお、建物跡として使用された柱穴以外では15個のみを半截して調査した(図版12・13)。そのほか柱穴の情報については表5に記載している。

(3) 土 坑(SK・SX)

最終的に土坑と判断したものは12基である。そのうち6基のみ調査を行い(半截や完掘)、ある程度の内容が確認できた。以下ではこれらについて記載するが、それ以外の土坑については、時期など詳細は不明である。検出時に名付けた遺構名称については、とくにSXとしたもののなかには調査後土坑と判断した遺構も含まれるが、遺構名称は当初のままとしている。そのため遺構略号についてはSK・SXが混在する。

84SK03(図版14・42) 48-36・49-36グリッドに位置する土坑である。84SK04や柱穴(P322・333・644)と重複しており、いずれの遺構よりも本遺構84SK03の方が新しい。平面形は歪な楕円形を呈する。規模は、長軸2.2m、短軸1.8mであり、深さは検出面から0.3mである。堆積土は2つに分けられ、上層は褐色色を呈し地山ブロックを少量含んでいる。かわらけ細片も比較的多く出土する。下層は、地山と上層との混合土に近い状態である。上下層の層界には完形に近いかわらけが出土

している。遺物は、これらの上下層から出土している。かわらけ (2,277.6 g)、国産陶器 (79.5 g)、炭化物 (1.3 g) が出土している。そのほか重複する84SK04と一括して取り上げた遺物があり、かわらけ (1,413.9 g)、国産陶器 (100.2 g)、輸入陶磁器 (21.9 g)、鉄製品 (21.2 g)、炭化物 (8.0 g) がある。出土遺物から12世紀代の遺構であろう。

84SK04 (図版14・42) 48-36グリッドに位置する土坑である。84SK03と重複しており、それよりも古い。現状での平面形は楕円形を呈する。規模は、長軸0.95m以上、短軸1.05m、深さは検出面から0.2cmである。堆積土は単層であり、灰黄褐色を基調とするシルト層である。遺物は、かわらけが415.3 g 出土している。そのほか重複する84SK03と一括して取り上げた遺物がある。内訳は、かわらけ (1,413.9 g)、国産陶器 (100.2 g)、輸入陶磁器 (21.9 g)、鉄製品 (21.2 g)、炭化物 (8.0 g) である。遺物から12世紀の遺構と想定している。

84SK05 (図版14・43) 48-36グリッドに位置する土坑である。重複する遺構はない。平面形は楕円形を呈しており、規模は長軸1.2m、短軸0.7m、深さは検出面から0.12mである。底面は西側が少し低くなっている。堆積土は単層で、地山ブロックを含む褐灰色シルト層が堆積する。遺物は、かわらけが16.8 gのみ出土している。遺物の出土が少ないが、12世紀代の遺構と想定する。

84SK14 (図版15) 47-36グリッドに位置する土坑である。84SD17と重複し、それよりも古い遺構であるが、それによって大部分が破壊されているため、全容は不明である。そのため、仮に土坑としたが、別種の遺構かもしれない。1箇所トレンチを設定したが、既存の旧トレンチを再利用したのみである。平面形は、現状では半楕円形を呈する。規模は、長さが7m、幅が最大で1.4mである。深さは、確認した箇所では、0.4mである。断面形はV字形を呈する。堆積土は2つに区分したが、いずれも褐灰色を呈するシルト層で一つの堆積土の可能性もある。遺物の出土はない。時期は、84SD17旧よりも古いため12世紀の可能性はあるが、詳細は不明である。

84SK15 (図版14・45) 47-35グリッドに位置する土坑である。過去の調査時のトレンチにより、一部破壊されているもののほぼ全容が判明する。調査は半截のみを行い、残りは保存している。溝跡84SD20や柱穴 (P634・P635・P637・P638) と重複している。先後関係は、切合い関係からみると、84SD20よりは新しく、各柱穴よりは古い。平面形は、いびつであるが円形を呈している。規模は径1.6～1.7mである。深さは検出面から0.95mである。堆積土は、7層に区分できる。上層の1層～4層は、褐灰色シルトと黄橙色から黄灰色シルト層が堆積する。下層 (5～7層) では、6・7層は三角堆積を呈し、黄橙色のシルトから粘土質シルト層が堆積する。遺物は、かわらけ (194.8 g)、国産陶器 (16.6 g)、鉄製品 (9.4 g) が出土している。出土遺物からみると12世紀代の遺構と想定している。

84SX02 (図版14・47) 48-37グリッドに位置する土坑である。当初は、2基以上の不整形な広がりをもつことからSX02・03としたが、調査の結果、1基のみの土坑と判断した。調査は半分のみを行い、残りは保存している。平面形は長楕円形を呈する。規模は、長軸2.8m、短軸1.65mである。深さは、検出面から0.15mであり、やや浅い。底面の隅には径0.2mの小穴が2個設置されている。この土坑に伴うものと想定している。調査していない反対側の底面にも対応する小穴が存在する可能性がある。堆積土は単層のみで褐灰色を呈する粘土質シルト層である。遺物は、かわらけ (36.3 g) を中心に少量出土している。遺物の出土量が少ないが、12世紀代の遺構と想定している。

(4) 井戸跡

土坑とした遺構のうちその形状 (深さ) から井戸跡と判断した遺構が3基ある。遺構略号はそのま

まとして記載する。3基の井戸跡については、半截調査を行ったが、84SK10、84SK13については、降雨により残していた半分が崩落してしまったため、結果的に完掘している。

84SK10 (図版16・43) 47-36グリッドに位置する井戸跡である。ごく僅かな部分がベルト内に存在するものの、ほぼ完掘している。深さと形態から素掘りの井戸と判断した。84SD17・SD18溝跡を一部調査後に検出したもので、したがって先後関係はいずれの溝よりも古い遺構である。平面形は楕円形状を呈しており、規模は、長軸1.9m、短軸1.5mであり、深さは検出面から1.96mである。堆積土は11層に区分できる。基本的に灰色を中心とするシルトや粘土が堆積しており、下層ほど粘土化する。上位には2層の黒褐色シルトが堆積している。総じて、グライ化した堆積土である。4層を前後する層からは木製品や木くずが出土する。何らかの加工が認められるもの144点を登録した。そのほか、かわらけ片 (2,157.7g)、国産陶器 (230.3g)、鉄製品 (7.4g)、砥石などの石製品 (92.3g)、粘土塊 (5.4g)、壁土 (28.6g)、炭化材 (5.7g)、近世陶磁器 (0.7g) が出土している。近世陶磁器は上層からの出土であり、84SD17やSD18の遺物が混在している可能性がある。中層以下はかわらけが中心であることから12世紀代の遺構と想定する。

84SK13 (図版16・44) 47-36グリッドに位置する素掘りの井戸跡である。西側のわずかな部分は調査していないが、ほぼ完掘している。当初、過去の調査時のトレンチ (旧トレンチ) が位置しており、これを再掘削する際に検出したものである。そのためトレンチ内部のみを掘り下げる予定であったが、断面記録後に崩落してしまったため、西側の一部を残して完掘したものである。84SD17の下層で検出を行っていることから、本遺構の方が古い遺構である。平面形は、円形基調を呈する。規模は、長軸1.6m、短軸1.4mであり、深さは検出面から2.1mである。堆積土は6層に区分できる。上位層 (1・2層) は黄橙色を呈するシルト層で比較的明るい色相に対し、中層 (3～6層) 以下は灰色やオリーブ灰色～黒色を呈する暗色系の色相を呈する。遺物は崩落土を中心に出土している。かわらけ (102.8g)、動物骨 (1.9g)、木製品 (60点) が出土する。84SK10と同様に木製品の出土が目立つ。遺物量が少ないものの、かわらけ片がまとまって出土することや重複関係から12世紀代の遺構と想定する。

84SX01 (図版17・46) 47-39・47-40グリッドに位置する素掘りの井戸跡である。83次調査においても一部検出されていた遺構でもある。84SD05、84SD10と重複しており、いずれよりも本遺構の方が古い。84SD10との重複は堆積土がいずれも黒褐色を基調としているため認識しづらく先後関係が逆の可能性もある。調査は、全体の半分を行い、残りは保存のため半截のまま残している。平面形は楕円形を基調とし、規模は長軸3.95m、短軸3.3mであり、大きい。深さは検出面より1.53mである。断面形は、開口部では4m近くの大きさをもつが、深さが検出面より1m付近で急激に幅を狭める。中端に相当するこの部分の平面形は、半分しか確認できないが方形基調の可能性はある。したがって、少なくとも下層部分の平面形は方形を呈する井戸であった可能性がある。この上層の広がりや井桁の裏込めの可能性があるが、断面図からは確認できなかった。崩落に伴うかもしれない。堆積土は9層に区分した。3・4層は、灰色気味であるが黄色系を呈するシルト層で、径10cm程度の礫を多量に含んでいる。5層以下は灰色を中心により暗色の色調を呈する粘土層である。遺物は比較的多く出土している。かわらけ (1,626.0g)、国産陶器 (3,597.9g)、輸入陶磁器 (29.3g)、鉄製品 (40.2g)、石製品類 (1,844.6g)、近代以降と考えられる陶磁器 (4.2g) が出土している。量的には12世紀に属する遺物がほとんどである。年代の新しい近代以降の陶磁器は埋土上位層からの出土であり、重複遺構に関連すると推定される。したがって、本遺構は12世紀代と想定する。

(5) 溝 跡

溝跡は合計27条を検出した。そのうち18条の溝跡については、一部トレンチを入れて幅や深さ、堆積土の確認を行った。以下ではこれらを中心に記載する。その他の検出した溝跡については、平面図で確認できる事項のみであるため、記載を省略する。

84SD01 (図版8・17・52) 49-41～51-42グリッドに位置する溝跡である。トレンチ範囲のみを調査した。西側、東側ともに調査区外へ延長する。84SB05を構成する柱穴と重複するが、同一時期かもしれない。北西から南東方向にほぼ直線的に延びる。調査区内における規模は、長さ10.6m、上幅0.5cmである。深さは確認したトレンチでは、検出面から0.15m程度である。堆積土は単層で褐灰色を呈するシルト層である。遺物は、かわらけ(10.2g)、近世陶磁器(2.5g)が出土している。この溝は、84SD02～04、84SB05と距離感や方位が共通しており、関連する遺構と考えられる。84SB05建物跡の周囲を区画する溝あるいは塀の痕跡と推定する。時期は、出土遺物や関連すると考えられる掘立柱建物の構造から近世以降に属する遺構と考えられる。

84SD02 (図版8・17・52) 50-40～51-41グリッドに位置する溝跡である。トレンチ範囲のみを調査した。いくつかの柱穴と重複するが本遺構のほうが古い。北西から南東方向へ直線的に延びており、方向はN-20°-E前後である。規模は、長さ10.8m、上幅最大で0.6mである。トレンチを設定した箇所での深さは、検出面から0.12cmであり、断面形は浅い皿状である。堆積土は単層で褐灰色を呈する粘土質シルトである。遺物はかわらけ(14.1g)、国産陶器片(5.7g)が出土している。本溝跡も84SD01、84SD03・04、84SB05と関連する遺構と考えられる。したがって、時期は近世以降と考えられる。

84SD03 (図版8・17・52) 49-39～50-40グリッドに位置する溝跡である。トレンチ1箇所を調査した。いくつかの柱穴と重複するが、それよりも古い遺構である。北西から南東方向へほぼ直線的に延びる溝だが、49-39グリッド付近で南に90°折れ曲がっており、平面はL字形を呈する。溝の方位はN-23°-E前後である。規模は6.9m、上幅は最大で0.5mである。トレンチ内での深さは、検出面から0.13cmであり、断面形は浅い皿状である。堆積土は単層であり、にぶい黄橙色シルト層である。遺物は、かわらけ(34.3g)、輸入陶磁器(1.7g)、鉄製品(5.8g)が出土している。本溝跡も84SD01、84SD03・04、84SB05と関連する遺構と考えられる。したがって、時期は近世以降と考えられる。

84SD05 (図版18・52) 44-38～48-41グリッドに位置する溝跡である。トレンチ範囲と84SX01と重複部分のみ調査した。西側は調査区外に延びるが隣接する30次調査では確認されていない。東側は南に直角気味に屈曲し、南方向へつづく。隣接する83次調査においても確認され(83SD22)、最終的には47-42グリッド付近で収束する。84SX01、84SD06・07と重複する。先後関係は前者よりも新しく、後者の溝とは不明である。同時期の可能性もある。溝の方向は、北西から南東方向であり、方位はN-33°-E前後である。確認した規模は東西11m、屈曲点から南へ1.2mほどである。深さは0.12m程度である。堆積土は2層が確認できる。1層は褐色から黄橙色を呈するシルトや粘土質シルトである。整地層のように地山土のブロックを多く含む層で人為的に埋め戻したと考えられる。2層は灰黄褐色からにぶい黄橙色を呈するシルト層で、溝本来の堆積土の可能性もある。47-40グリッド付近には集石が確認できる。精査した範囲においても同様の大きさの礫を包含する。そのため本来は礫が多く存在していた可能性があるが、後世に整理されて集積したものと想定する。遺物は、かわらけ(269.8g)、国産陶器(715.9g)、鉄製品(71.4g)が出土している。12世紀の遺構を壊すことや礫を含む溝跡であること(後述する84SD17新のように)から近世以降の遺構と判断する。

84SD06 (図版18・53) 47-40～47-41グリッドに位置する溝跡である。トレンチ範囲のみを調査した。北側は82SD05と重複するが先後関係は不明である。南側は調査区外(83次調査区)につづく。83次調査の83SD20と同一遺構と考えられる。方向は北東から南西方向であり、方位はN-15°-Eである。調査区内での規模は、長さ1.4m、幅0.3mである。深さは検出面から0.08mと浅く、断面形は浅い皿形を示す。堆積土は単層であり、にぶい黄橙色のシルト層である。遺物は出土していない。隣接する84SD07と堆積土や方位が類似しており、本来は同一の溝の可能性が高い。時期は、重複関係が不明瞭な84SD05と同時期であれば、近世以降を想定する。

84SD07 (図版18) 47-40～47-41グリッドに位置する溝跡である。トレンチ範囲のみを調査した。84SD05と重複するが先後関係は観察できなかった。あるいは同時期の可能性もある。南側は今回の調査区の外、83次調査区へ延びる。83SD20へ接続すると想定される。溝の方位はN-29°-E前後である。調査区内における規模は、長さ1.5m、幅0.5mである。深さは検出面から0.26cmである。堆積土は単層でにぶい黄褐色のシルト層である。遺物はかわらけ片(17.9g)のみ出土している。時期は、84SD06と同様に、84SD05と同時期であれば近世以降を想定する。

84SD08 (図版19・53) 47-38～49-39グリッドに位置する溝跡である。84SD12と重複し、それよりも新しい遺構である。方向は北西から南東方向であり、方位はN-26°-E(N-64°-W)である。調査区内における規模は、長さ8.1m、上幅が0.7mである。深さは0.08mと非常に浅い。断面形は浅い皿状を呈する。堆積土は単層であり、褐灰色を呈するシルト層である。遺物はかわらけ(29.0g)がわずかに出土するのみである。時期は、重複する84SD12が近世以降であれば、本遺構も同様となる。

84SD12 (図版19・54) 48-37～47-39グリッドに位置する溝跡である。トレンチ範囲のみを調査した。おおよそ北東から南東方向へ直線的に延びている。48-39グリッドにおいて、削平によるものと考えられるが、わずかに途切れる箇所がある。重複は、84SB04、84SD08、84SD13、84SD17、84SX01、84SA01で確認できる。先後関係は、84SD08・13・17、84SA01より古く、84SB04、84SX01よりも新しい。規模は、長さが15.4m、上幅が最大で0.4mである。深さは、3箇所を確認したが、いずれも0.1m程度で浅い。断面形は浅い皿形を呈する。堆積土は単層であり、褐灰色からにぶい黄褐色を呈するシルト層である。遺物は、かわらけ(283.9g)、国産陶器(38.0g)、輸入陶磁器(2.0g)、鉄製品(32.0g)が出土している。時期は、遺物もある程度出土することから12世紀代としたいが、重複する84SB04が近世以降の可能性もあるため同様に近世以降と想定するほかない。

84SD13 (図版19・54) 48-37～49-38グリッドに位置する溝跡である。トレンチ範囲のみを調査した。北西から南東方向に延びる溝だが、北西部で南へL字形に屈曲する。84SB04、84SD12と重複しており、先後関係はいずれの遺構よりも新しい。規模は、長さが5.5m、上幅が0.4mである。深さは2箇所を確認し、検出面から0.05mで、非常に浅い。断面形は浅い皿形を呈する。堆積土は単層で、黒褐色を呈するシルト層である。遺物はかわらけ(23.8g)、鉄製品(95.7g)が出土している。時期は、重複関係から近世以降と想定される。

84SD17旧・新 (図版20・55) 45-35～49-37グリッドに位置する溝跡である。2時期の溝跡が重複しており、別遺構の可能性もあるが、調査時の呼称をそのまま使用しており、新旧を付して区別する。6箇所のトレンチ範囲のみを調査し、大部分は保存している。84SD17新は、84SD17旧を埋めた後に構築されている。暗渠であり、径10cm程度の円礫や陶器片を掘り方に埋めている。北西から南東方向へ延びるが、49-36グリッドで北方向へL字形に屈曲し、調査区外へつづく。規模は、延長距離で11.8m、幅は0.4～0.5m程度である。断面形は箱形から逆台形状を呈しており、円礫と陶器片で充填されている。隙間には灰黄褐色を呈するシルトが堆積する。84SD17旧がさらに西側に続くのに

対しSD17新は46-35グリッド内で終わる。こうした暗渠はこれまでの調査において近世以降の遺構と考えられているため遺物の出土はないが、今回も同様と捉えている。

84SD17旧は、下層にある溝跡である。溝の方向はSD17新と同様である。西端は調査区外に延びるが44-45グリッドで84SD25と重複する。先後関係は不明瞭だが、SD25の方が新しい可能性がある。東端は調査区外に延びる。49-37グリッド付近で北方向に分岐する。北端についてはSD17新によって破壊されているため不明である。また47-36グリッドで84SK14と重複するがそれよりも新しい。確認できる規模は、長さが総延長で13.5m、上幅が1.3mである。深さは5箇所を確認しており、検出面から0.08~0.28mである。堆積土は、おおむね2層に区分できる。上層は、黄橙色を呈するブロック土であり、人為に埋め戻した層と考えられる。下層は、褐灰色を呈する粘土質シルトである。上層の人為堆積層は、本来は全体を覆っていた可能性がある。遺物は新旧一括して取り上げたものが多い。かわらけ1,071.3g（うち旧107.4g・新200.8g）、国産陶器2,906g（うち旧60.5g・新2,685.3g）、輸入陶磁器（6.8g）、近世陶磁器243.9g（うち新237.6g）、石製品216.1g（すべて新）、鉄製品23.5g（新7.6g）がある。時期は、遺物の出土が少なく判断が難しいが、この遺構の範囲内に柱穴が極端に少なく、直接12世紀の建物を壊しているわけではないが、12世紀よりも新しい可能性がある。

84SD18（図版21・56） 48-35~46-40グリッドに位置する溝跡である。一部のみ調査し、残りの大部分は保存した。北東から南西方向へほぼ直線的に延びる。北端、南端とも調査区外へつづく。北端は東方向に屈曲する可能性がある。南端は83次調査区へつづき、83SD20へ接続する。重複は、84SB01、84SK10、84SD17新・旧とであり、いずれの遺構より本遺構のほうが新しい。溝の方位はN-24°-Eである。規模は、調査区内での長さは28.8m、上幅で最大1.2mである。深さは、0.14cmと浅い。断面形は浅いすり鉢状を呈する。堆積層は2つに区分でき、上層が褐灰色シルト、下層が灰黄褐色粘土質シルトである。遺物は、調査した範囲では出土していない。時期は、重複が最も新しいこともあり、近世以降と想定したい。

84SD19（図版19・56） 47-38グリッドに位置する溝跡である。一部のみを調査した。他遺構との重複はない。北西から南西方向に延びる短い溝である。規模は、長さが1.6m、上幅が0.2mであり、深さが検出面から0.12mである。方位はN-75°-W°である。断面形は浅いながらも逆台形を呈する。堆積土は単層で灰黄褐色を呈するシルト層である。遺物は出土しておらず、時期は不明とする。

84SD20（図版20・56） 47-34~47-35グリッドに位置する溝跡である。南北方向に延びる溝であるが、重複遺構が多く、全体の形状は不明な点が残る。トレンチ範囲のみを調査した。北側は調査区外につづく。南側は84SD17旧と重複して止まる。重複はこのほか、SK13、SK15とで確認でき、いずれの遺構よりも古いと判断している。規模は現状での長さが7.0m、上幅が2.8mである。深さは、確認した箇所では検出面から0.5mである。断面形は方形に近いものの逆台形を呈する。堆積土は2層があり、上層が褐灰色、下層が明黄褐色を呈する。下層は地山を主体とするブロック土が比較的多く含むことから人為堆積かもしれない。遺物は出土していない。時期は、12世紀に属する遺構（84SK13・15）よりも古いことから、同様の時期と想定できる。

84SD22（図版22・57） 45-37グリッドに位置する溝跡である。北西から南東方向へ延びる溝である。ベルト2箇所を残してほぼ完掘している。東端は6次調査のトレンチで破壊されるが、西端は調査区内で完結する。30SB01を構成する柱穴と重複している。先後関係は、6次調査によって一度調査されており確認が難しいが、溝跡のほうが新しいと判断した。溝の方位は、N-64°-Wである。規模は、長さが4.9m、上幅が0.5mである。深さは0.06cm程度と浅い。断面形は浅い皿形である。堆積土は単層で、褐灰色を呈する粘土質シルトである。ただし、この層は6次調査のトレンチを埋め戻

した土に類似しており、その調査においてすでに掘削されていた可能性も残る。遺物は出土していない。時期は、12世紀の建物跡である30SB1より新しいため、近世以降の可能性はある。

84SD24 (図版22・57) 42-34グリッドに位置する溝跡である。ほぼ南北方向に延びる溝である。北端・南端とも調査区外へつづく。トレンチ範囲のみを調査した。84SK08・09と重複しており、平面上ではそれらよりも古い遺構と判断している。調査区内における規模は、長さが4.8m、上幅が最大で1.2mである。深さは、確認した範囲では0.12mである。断面形は逆台形状を呈する。遺物は出土していない。時期は、判断する根拠が少ないため不明とする。

84SD25 (図版22・57) 44-35グリッドに位置する溝跡である。北東から南西方向へ延びる溝で、北端・南端とも調査区外へつづく。重複は、84SK12、84SX08、84SD17旧、P651 (30SB02) とで確認できる。84SK12、84P651より新しく、84SX08より古い。84SD17とは重複部が調査区端にあり、明瞭に確認できなかった。あるいは同時期の可能性もある。溝の方位はN-20°-Eである。調査区内における規模は、長さが7.7m、上幅が0.8mである。深さは検出面から0.22cmである。堆積土は単層で、にぶい黄橙色を呈する粘土質シルト層である。遺物の出土はない。時期は、12世紀遺構を壊すこと、近代の整地に壊されることから、近世以降としたい。

(6) 堀 跡

84SA01 (図版23) 47-39～48-39グリッドに位置する堀跡である。北西から南東方向へ延びる。掘削を伴う調査は一部のみを行った。検出面の観察から、直径0.2～0.3mの円形の痕跡が連なることから掘立柱堀の可能性があると判断している。84SD11・12と重複し、切合関係から前者よりも古く、後者よりも新しい。規模は、長さが7.7m、布掘り掘り方の幅は最大で0.4mである。検出面からの深さ(柱痕跡の底面)は、0.08mである。検出面では、上述のように円形の痕跡が連なるが、全てにおいて確認できておらず、とくに東側を中心に確認した。堆積土は単層で、褐灰色を呈するシルト層である。遺物はかわらけが13.6gのみ出土している。時期は、明確な根拠がなく不明な部分が多いが、布掘りを伴う掘立柱堀であることから12世紀の可能性はあるが、重複する84SD12が近世以降と想定されるため、本遺構も同時期を想定しておきたい。

(7) 不明遺構・その他の遺構

検出時の形状が不定形であり、具体的な遺構名が難しい遺構を不明遺構(SX)とした。調査時にはSX01～09までを付したが、調査の結果、消滅や別遺構に変更したものが多い。残された不明遺構については3基のみとなる(84SX06・08・09)。このうち、一部を調査した2基について記載する。

84SX06 (図版23・49) 46-34グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は、長軸1.2m、短軸1.1mである。84P464と重複し、これよりも古い遺構である。深さは、検出面から0.08cmである。遺構ではなく、単なる窪みの可能性があるが、遺物の出土が比較的多く、また重複する柱穴よりも古いことから不明遺構とした。堆積土は単層であり、褐灰色を呈するシルト層である。遺物は、かわらけ(382.7g)、輸入陶磁器(13.3g)が出土している。時期は、出土遺物からみると12世紀代の可能性がある。

84SX08 (図版24・50・51) 43-34～44-35グリッドに位置する。不均一な地山が広がることから不明遺構とした。断ち割りを行った結果、低地を人為的に埋め戻した整地の痕跡と判断した。この整地は、

南北の調査区外へつづくようである。84SD25と重複し、それよりも新しい。また、SX08を部分的に除去すると地山面（IV層）上に30SB2を構成する柱穴が存在することから、これよりも新しいと判断できる。調査区内における規模は、東西11.2m、南北7.7mである。深さは、トレンチを入れた箇所では、検出面から最大で0.7mである。堆積土は、5つに区分できる。3層が整地の主体となる層で、黄橙色を呈するシルト層である。上下には黒色土層が堆積する。とくに下位の5層は炭化物層であり、焼け残ったゴミ類が出土する。今回の調査ではこの遺構の範囲が広く、全面を掘削することができなかったが、トレンチを入れて下層の確認を行っている。その範囲内では、整地層を除去後には、地山面が検出面となり、いくつかの柱穴が確認できる。出土遺物は豊富であり、かわらけ（1,025.4g）、国産陶器（2,667.2g）、輸入陶磁器（9.4g）、近世陶磁器（44.0g）、近代以降の遺物（1,335.9g）、炭化物（20.3g）、鉄製品（237.2g）、壁土（422.7g）が出土している。時期は、近代以降の遺物が出土することから限りなく現代に近い時期を想定する。付近にあった住宅に関連するものと考えられる。

3 出土遺物

(1) 概要

84次調査からは、合計47,380.5gの遺物が出土している。内訳は、かわらけ、渥美や常滑窯産などの国産陶器、白磁や青磁などの輸入陶磁器、瓦、鉄製品、石器・石製品・焼けた壁土、粘土塊、炭化物、木製品などである。数量（グラム表示）については下記のとおりである。また、本書では12世紀に関わる遺物を中心に図化している。したがって、記載については12世紀の遺物が中心である。

遺物名	重量	掲載率	備考
かわらけ	25,235.7g	8%	一部のみ登録・実測
国産陶器	14,271.5g	92%	全点登録・写真掲載、一部実測
輸入陶磁器	205.5g	56%	全点登録・写真掲載、一部実測
近世陶磁器	327.9g	0%	
近代以降遺物	2,295.3g	0%	
鉄製品・鉄滓	1,090.2g	0%	
石器・石製品	2,814.5g	0%	
炭化物	38.1g	0%	
粘土塊	119.2g	0%	
壁土	833.2g	0%	
縄文土器	30.4g	0%	
瓦	117.1g	100%	1点のみ出土、実測掲載
骨類	1.9g	0%	
木製品	204点	21%	全点登録・写真掲載、一部実測
合計			47,380.5g（約47.4kg）

遺構別の出土量については表4に記載した。また、遺物から時期がある程度推定できる遺構については、表中に時期を示している。全出土量のうち約半数をかわらけで占めるのがこの遺跡の特徴である。ついで国産陶器類、砥石などの石製品類、近代以降の遺物などである。12世紀代の遺物のほか、近世や近代以降の遺物で構成され、中世に所属する遺物は出土していない。木製品については、本書での分類チャートを使用し整理している（図版4）。以下、土器・陶磁器類については遺構ごとに、瓦・

木製品については、分類（種別）ごとに記述する。なお、土器・陶磁器類の分類・編年については、「総括報告書」（岩手県教育委員会2019『柳之御所遺跡堀内部地区内容確認調査』）、大宰府分類（太宰府市教育委員会2000『大宰府条坊跡XV』）等を参考にした。また、国産陶器の押印名称については平泉町2000『柳之御所資料館図録』に準拠している。中国産の輸入陶磁器類については、少破片のものがほとんどであるが、できる限り反転復元を試みた。そのため計測値はあまり正確ではないかもしれない。

(2) 掘立柱建物跡出土土器・陶磁器類

84SB06（図版25） かわらけ30.5 g、白磁皿の破片11 gが出土しており、そのうち図示したのは白磁皿類の1点のみである。1は小破片であるが、見込みに文様の一端が残存する。底部はわずかに突き出しており、大宰府分類C期VI-2類の可能性はある。12世紀代の年代が付与できるが、出土遺構は近世に所属すると想定されるため混入と考えられる。

その他柱穴（図版25） 建物に復元できなかった柱穴から出土した遺物は一括して記載する。2・6・7・9は、国産陶器の破片である。2が常滑産の壺、6・7・9は渥美窯産の鉢や壺類片である。3～5・8・10・11は、かわらけ片である。いずれもロクロ調整の皿類で8・10・11は小皿の可能性はある。また、3・4ともに口縁部の形態が異例であり、3は外反する形態、4は段を有する形態である。P692からは比較的まとまって土器類が出土している。かわらけ（3,728.5 g）、国産陶器（32.3 g）、輸入陶磁器（12.4 g）、鉄製品（13.2 g）、粘土塊（26.1 g）が出土している。このうち、かわらけ12点、国産陶器1点を図示した。13・14がロクロ調整の大皿、12が小皿である。13・14の口径は13cm前後であり、高さが3cm台である。12の小皿の口径は9.0cmである。15～18は手づくねかわらけの小皿である。口径はいずれも9～10cm前後である。19・20は手づくねかわらけの大皿である。口径14～15cmであり、口縁部に施されるヨコナデは2段から3段である。21～23は内折れかわらけである。非常に扁平であり、高さは1cm前後である。24は渥美窯産の甕類の胴部片である。

(3) 土坑出土土器・陶磁器類

84SK03出土土器類（図版25） かわらけ2,277.6 g、国産陶器類79.5 gが出土する。そのほか、炭化物1.3 gがある。このうちかわらけ4点、国産陶器類2点を図示した。25～28は手づくねかわらけである。25は小皿であり、それ以外は大皿である。口縁部のナデ調整は2段のものが多く、29・30は渥美窯産壺類の破片である。30は肩部片であり、二筋文が施されている。また、SK04と一括で取り上げた遺物には、かわらけ1,413.9 g、国産陶器類100.2 g、輸入陶磁器21.9 g、鉄製品21.2 g、炭化物8 gがある。このうちかわらけ2点、国産陶器類2点、輸入陶磁器2点を図示した。31・32は手づくねかわらけの大皿で、口縁部調整は2段ナデが施される。33・34は渥美窯産の壺類の破片である。35・36は白磁壺類の破片である。36は耳の接着部である。SK03出土土器類については、かわらけの口径が15cm前後のものが多く、口縁部調整も二段ナデが採用されるなど比較的古い様相を示している。

84SK04出土土器類（図版25） かわらけ415.3 gが出土している。そのほか上述のSK03と一括で取り上げた遺物がある。37の1点のみを図示した。手づくねかわらけ小皿である。

84SK15出土土器類（図版25・32） かわらけ194.8 g、国産陶器類16.6 gが出土する。そのほか、鉄製品9.4 g、瓦117.1 gがある。このうちかわらけ3点、瓦1点を図示している。38～40は、ロクロ

調整のかわらけである。38・39は小皿、40が大皿である。形態はいずれも底部が突出するものであり、比較的古い様相を示す。

(4) 井戸跡出土土器・陶磁器類

84SK10出土土器類 (図版26) この遺構はほぼ完掘したこともあり、遺物の出土量が多い。かわらけ2,157.7g、国産陶器230.3g、近世陶磁器類0.7gが出土する。このほか、石器・石製品92.3g、炭化物5.7g、鉄製品7.4g、壁土28.6g、粘土塊15.4g、木製品144点がある。このうち、かわらけ5点、国産陶器類1点、木製品31点(後述)を図示した。41~44はロクロ調整のかわらけであり、41・42は小皿である。43・44は大皿であり、44の底部は欠損しているが、形態から底径は比較的小さいと推定される。45は手づくねかわらけの大皿であり、口縁部の調整は2段ナデが施される。46は渥美窯産の甕類破片である。近世陶磁器はわずかな出土数であるため上位に位置する他遺構からの混入と考えられる。

84SK13出土土器類 (図版26) この井戸跡もほぼ完掘したが、遺物の出土数は少ない。かわらけ102.8g、国産陶器71.0gが出土する。ほかに、石器・石製品13.1g、炭化物0.2g、骨類1.9g、木製品60点がある。このうち、土器類1点、国産陶器1点、木製品11点(後述)を図示した。47は土師器の小壺片である。復元口径4.5cmの小型品で、内外面とも横位のミガキ、黒色処理が施されている。9~10世紀代の遺物なのか12世紀代なのか位置づけが難しい器種である。48は渥美窯産の甕類の破片である。外面には押印が施される。

84SX01出土土器類 (図版26・27) 半截のみをおこなった井戸跡である。かわらけ1,626g、国産陶器類3,597.9g、輸入陶磁器29.3gが出土する。このほか、石器・石製品1,844.6g、鉄製品40.2g、近代以降遺物4.2gがある。このうち国産陶器を43点、輸入陶磁器3点を図示した。49~72は渥美窯産の陶器である。49~63は甕類片、64~71は壺類の破片、72は鉢類の破片である。甕類破片の外面には押印が施されるものが多い。格子文や長格子文などが多く見受けられる。壺類には、65のように袷襷文あるいは刻画文の一部と思われる。73~88は常滑窯産の陶器片である。73~79は甕の胴部片、80~87は壺類の破片である。88は鉢類の底部片である。甕類では自然釉が垂下するものも多く、また押印も施される。壺類も同様で自然釉が垂下するものが多い。89~91は須恵器系陶器の甕片である。外面にはタタキ痕が残る。渥美窯産の破片数が多く、壺類が比較的多い傾向にある。92~94は磁器類である。92・93は白磁皿の口縁部片、94は青磁碗の胴部片である。92・93の白磁は少破片ながら反転復元を試みたものである。白磁の2点はいずれもその傾きからあまり器高が高くないと想定し皿とした。94は青磁碗であり、内面には片彫りの花文が施されている。

(5) 溝跡出土土器類

84SD03出土土器類 (図版28) 一部しか調査していないため、出土量は少ない。かわらけ34.3g、輸入陶磁器1.7gが出土する。ほかに、鉄製品5.8gがある。このうち輸入陶磁器1点を図示している。95は白磁皿の小片である。建物との関係から本遺構は近世以降に所属すると想定されるため、この遺物も周辺からの混入と考えられる。

84SD05出土土器類 (図版28) 本溝跡も井戸跡と重複部分や、トレンチなど一部を調査したため遺物の出土量は少ない。かわらけ269.8g、国産陶器715.9gが出土する。このほか、鉄製品71.4gがある。このうち、国産陶器11点を図示した。96~100は渥美窯産の甕・壺類の破片である。96・98に

は押印が施される。97は、本来は甕類の破片であるが、破断面を含め摩耗しており、2次利用された可能性がある。最終的には砥石あるいは磨石として再利用されていたと考えられる。101～105は常滑窯産の甕・壺類の破片である。101～103には押印が施される。106は須恵器系陶器の甕類片である。外面にはタタキ痕が残る。

84SD12出土土器類(図版28) 南北に長く延びる溝跡は一部のみの調査である。かわらけ283.9g、国産陶器38.0g、輸入陶磁器2.0gが出土し、ほかに、鉄製品32.0gがある。このうち国産陶器の破片1点を図示した。107は常滑窯産壺類の胴部片である。

84SD17出土土器類(図版28・29) 新旧2時期がある溝跡である。偶然に重複した別遺構と考えられるが遺構名はそのままとしている。下位にある古い溝跡は84SD17旧、上位の新しい溝跡は84SD17新とする。調査はおもにトレンチにより一括して調査したため個別に分けた遺物は少ない。84SD17旧からは、かわらけ107.4g、国産陶器類60.5gが出土する。84SD17新からは、かわらけ200.8g、国産陶器類2,685.3gが出土し、ほかに、石器類が216.1g、鉄製品7.6g、近世陶磁器237.6gがある。また、新旧一括した出土には、かわらけ763.1g、国産陶器160.2g、輸入陶磁器6.8g、近世陶磁器6.3gがある。これらのうち、かわらけ2点、国産陶器類39点、輸入陶磁器2点を図示した。108はロクロ調整のかわらけ小皿。109は手づくねかわらけの大皿である。後者は、復元口径14cmであり、口縁部の調整は2段のヨコナデである。110～131は渥美窯産の陶器で、110～125は甕類、126～131は壺類である。128・129は広口壺の口縁部片である、外面に施される押印には、格子文、長格子文が主体である。110はSD17旧から、111～131はSD17新からの出土である。132～140、143は、常滑窯産の陶器で、132～134・143が甕類、135～139が壺類、140が鉢類の破片である。132・133・135・138・143の外面には押印が施される。格子系が主体であるが、133は綾杉文である。141は、破断面中央が赤く、タタキが施されるため須恵器とした。142は仮に須恵器としたが外面には異質な文様のタタキ痕が残る。内面には同心円状の当て具痕が残されることから須恵器とした。焼成は不良気味で、赤茶色を呈し、これまでも52次調査や75次調査で出土している。以上が84SD17新からの出土である。144～148は、84SD17新～旧を一括して取り上げた遺物である。144は常滑窯産の壺類の口縁部片である。内外面とも自然釉が付着する。145～148は渥美窯産壺類の破片である。145のみ刻画文の一部と見られる文様が施される。149は、白磁四耳壺の口縁部片と考えられる。細片のため詳細は不明である。以上のように、84SD17新から近世陶磁器類が出土することや石が敷きつめられた暗渠と考えられることから近世に所属すると考えられる。いっぽう、旧期の溝跡からは新しい時期の遺物が出土しないが、重複関係などから12世紀以降の可能性がある。

84SD20出土土器類(図版29) 一部のみの調査した遺構である。かわらけ192.8g、粘土塊27.4gが出土している。このうちかわらけ1点を図示した。150はロクロかわらけ小皿で、復元口径は7.6cm、底径5cmである。出土量が少ないものの新しい時期の遺物を含まないことや重複関係により12世紀代に属すると想定した。

84SD24出土土器類(図版29) 一部のみの調査した遺構である。かわらけ19.5g、国産陶器類112.9gが出土している。このうち国産陶器類4点のみを図示した。151・152は渥美窯産の甕の胴部片である。153・154は常滑窯産の陶器片である。154は壺類の口縁部片である。

(6) 不明遺構出土土器類

84SX06出土土器類(図版29) 浅い皿形の土坑状のくぼみである。調査は半載している。かわ

らけ382.7g、輸入陶磁器13.3gが出土している。このうち、かわらけ2点、白磁1点を図示した。155・156はいずれもロクロ調整の小皿である。復元口径は8～9cm程度である。157は白磁壺類の肩部付近の破片で、II類に相当する。

84SX08出土土器類（図版29・30）近代以降の整地に関わる遺構である。トレンチ調査が主体であるが、比較的遺物の出土は多い。かわらけ1,025.4g、国産陶器2,667.2g、輸入陶磁器9.4g、近世陶磁器44.0gが出土している。このほか、近代以降遺物1,335.9g、炭化物20.3g、鉄製品237.2g、壁土422.7gがある。このうち、かわらけ1点、国産陶器32点、輸入陶磁器1点を図示した。158は手づくねかわらけの大皿で、口径13.6cmとやや大型である。口縁部調整は3段のヨコナデである。159～166は渥美窯産の甕類の破片である。161～164・166の外面には格子文、長格子文が主体に押印される。167～173は渥美窯産の壺類の破片である。169には2条の弧状の線が引かれており、刻画文の一部かもしれない。また、170には押印が施される。破片であるため甕類か壺類か判断が難しいものが多い。174～179は常滑窯の甕類の胴部や底部片である。器壁が厚く粗い。180～183は常滑窯産の壺類の胴部や底部片である。甕類に比べて器壁が薄い。184～190は須恵器系陶器の甕類片である。いずれも外面にタタキ痕が残る。191は青磁碗の破片であり、内面に文様が施されている。このように出土遺物は12世紀代のものが多いが、新しい近代以降遺物が一定量出土することから、この時期(近代以降)を想定する。

(7) 遺構外出土土器類

図版30～32は、遺構以外から出土した遺物である。これらの遺物には、かわらけ8,274.2g、国産陶器3,564.4g、輸入陶磁器94.0g、近世陶磁器32.7g、近代以降陶磁器類572.0gがあり、ほかに、鉄製品・鉄滓474.3g、石器・石製品648.4g、炭化物2.5g、粘土塊50.3g、壁土381.9gがある。このうち、かわらけ6点、国産陶器58点、輸入陶磁器6点を図示した。192～197はかわらけである。192はロクロかわらけの底部片であるが、小皿と考えられる。193はロクロかわらけの大皿で、復元口径が14.8cmと大きめである。194・195は手づくねかわらけの小皿である。195の口縁部調整は2段のヨコナデの可能性はある。196は手づくねかわらけの大皿で、197は内折れかわらけの破片である。

198～216の19点は渥美窯産甕類の頸部片や胴部片である。押印は199～201、204、208、209、211、215で確認できる。長格子文がほとんどである。217～238は渥美窯産壺類の破片で、頸部から肩部にかけての部位が一定数ある。229・230・236には花卉状の文様が、235には三筋文が施される。240～242は常滑窯産甕類の胴部片や底部片である。241には押印が確認できる。243～245、247～253は常滑窯産の壺類である。自然釉が垂下するものが多い。246は常滑窯産鉢類の破片である。内面は摩耗しており、磨面を形成していると考えられる。239・254・255は須恵器系陶器甕類の破片である。外面にはタタキ痕が残る。

256～261は磁器類の破片である。256は青白磁の皿である。口縁端部が水平に折り曲げられている。257・259は白磁の皿類である。いずれも小破片であるが無理に反転復元を試みた。258はその器壁の厚さと傾きから白磁壺類の胴部片と考えられる。260は青磁碗である。内面には片彫りの文様の一部が残る。261は白磁碗類の破片である。大宰府分類のV類碗と考えられるが、小破片のため定かではない。

(8) 瓦

262（図版32）は、平瓦の破片である。少破片のため詳細は不明であるが、外面端部には撚り糸状

の縄目が、内面には布目の痕跡が残存する。84SK15からの出土である。

(9) 木製品

木製品は加工された材のうち製品である可能性が高いもの204点を登録したが、それ以外にも加工の際の削り屑のような薄片も存在する。その分類については図版4に記すが、大小さまざまな薄片が出土している。この薄片が製品を製作する際に排出された削り屑であるならば、付近には加工した工人あるいは施設が存在していた可能性がある。これらの木製品はすべて井戸跡である84SK10と84SK13から出土しており、両者は近接して存在する。いずれ削り屑や工房については今後別に検討を加えたい。ここでは、図化した製品について種類ごとに説明する。

箸 (図版33) 263～277は箸である。断面が方形基調で面取りが施されている細長い木片を箸とした。少破片のものが多く別種のものが含まれている可能性がある。いずれも完形品はなく、破片である。厚さは0.4～0.9cmの範囲にあるが、0.6cmのことが多い。

下駄の歯 (図版33) 1点のみ84SK10から出土している。278は、差し歯下駄の歯と考えられるが、側縁以外は欠損しているため全容は不明である。

切り欠きのある材 (図版33) 279・280は箸のような細長い材であるが、一端に切り込み(切り欠き)が存在するものをまとめた。279は一端が尖り、頭部は両側縁から切り欠かれる。付札のような形態を呈する。280は先端が尖り、頭部はV字形に切り込まれており、紙のようなものを挟むものかもしれない。

形代類 (図版33) 281～283は仮に形代類とした。いずれ何かを模したのや飾り具のような製品を想定したが不確かである。281は半円を2つ並べた形状を呈するが、約半分欠損している。中央には孔が2箇所穿たれている。282は木葉状の形態を呈する扁平な製品である。283の下部は尖り鉄鍔の鍔身部のような形態を呈する。上部は蛇行剣のような形態を呈する。

扇骨 (図版33) 284・285はその形状から扇骨の一部と想定したものである。284は扇頂付近と想定したが、一部の破片であるため別かもしれない。285は扁平な材であることから扇骨の可能性を考えた。いずれも単品での出土であり、扇骨の可能性はあるが確かではない。

不明木製品 (図版33) 286は種別不明の製品と想定した。完形ではなく破損品と考えられる。外面は屋根状にやや膨らむ。内面中央は窪んでおり、また一部炭化している。

建築材 (図版34) 287はその大きさから建築材としたが、別の可能性もある。やや厚みのある湾曲した材の両側を切り欠いて「凸」形にしている。現存長14.7cm、最大幅6.0cm、厚さ2.1cmである。

角材・板材 (図版34) 288～300は、断面が長方形から正方形を呈しやや厚みのある材(角材)や薄く扁平な材(板材)を一括したものである。いずれも完形と捉えられるものはなく、本来は別製品であった可能性がある。

将棋駒 (図版34) 301は将棋駒「銀将」である。長さ2.4cm、幅2.1cm、厚さ0.4cmである。表面には墨書で「銀将」、裏面には「金」(略字あるいはくずし字)が同じく墨書で書かれている。表の銀の文字は拡大すると右側の隣のあたりに滲みがみえる。84SK10の堆積土中層からの出土である。

漆製品 (図版34) 302は残存が悪いものの一部に漆片が残存するため漆製品とした。両端が湾曲しており、折敷のような箱の側板と想定される。このほか剥がれた漆膜が数片付属する。

蔓・縄 (図版34) 303は蔓を束ねたもの、304は結び目のある縄と捉えた。303は植物質のもので、自然の状態なのか加工しているのかは不明である。303・304の材質は未確認である。

Ⅲ 総 括

84次調査の成果のうち以下の論点にしぼって若干の検討を行いまとめとしたい。

1 区画内の構成

これまで今回のような道路北側の区画内については奥州藤原氏の一族や高官などの「屋敷地」として認識されてきたが、具体的な内容をともなっていたわけではない。今後これらの内容を明らかにするためにも、「屋敷」地としてどのような遺構の組み合わせが必要なのか、他の居館的な遺跡や絵巻などの絵画資料などと比較検討など行っていかなければならない。現状では、十分な検討を行っていないため、判断することが難しい。そのためここでは、調査した区画内の遺構の配置状況について簡単に触れておきたい。

今回の調査で確認できた12世紀に属する遺構の種類は、掘立柱建物跡、井戸跡、溝跡、塀跡、土坑などである。第4区画とした区画は、その成立年代や存続年代などまだ未確定な要素が多い。この範囲内は、他の区画とは異なり大型建物が集中するのが特徴である。30SB1（250㎡）は堀外部地区でも最大（の床面積）の建物である。これと重複する30SB2（約230㎡）が2番に大きい建物である。また84SB01は、東側が未確認であるが、桁行6間と推定するなら床面積は132㎡となり3番に大きい建物となる。このような建物が重複するのが区画でも北西側である。84SB01以外は区画溝25SD6と傾きが合わず区画と同時代性が不明であるが、いずれ建物が同じ位置に建て替えられている点が重要と考える。また、その建物付近には井戸跡が複数存在する。30次調査で烏帽子が出土した井戸跡もこの中の一つである。この建物と井戸が近接して存在する特徴は、他の区画でも同様に見受けられる。区画溝以外の溝跡や塀跡などは建物との関係性が確認できるものは今のところ確認できていない。塀跡を認識するようになったのは比較的最近であるため、あらためて過去の調査区を見直す必要があろう。土坑については、その機能が多様であるためその位置づけを検討することは困難である。特徴的なものがあれば検討可能と考えられるが、今のところそのような土坑は見いだせていない。これらのほか今回の調査では井戸跡から木材の削り屑と想定される薄片が一定量出土している。もしこれが製作時における削り屑であるなら付近には木工房のような施設が存在していたと想定される。このような間接的な補強材料として出土遺物からの検討も必要となろう。

以上のように建物と井戸については今後検討する要素が多いことから、今後も注目する必要がある。

2 建物跡30SB1について

先に触れたように今回の調査では、堀外部地区最大の建物跡である30SB1の東側の一部を検出した。また、これと重複するようにこれも大型である30SB2も存在する。この区画（範囲）には大型建物が集中する点には注目したい。ここでは30SB1について現状認識を中心に触れておく。なお、30SB1についても今回の調査で再検出を試みたが、重複する84SX08の遺構把握に時間を要したため、これを除去し下層にある30SB2の柱穴を確認するまで至らなかった。今後の調査を待ちたい。

30SB1はこれまで幾度か調査されてきている。6次（昭和45年）、9次（昭和46年）、30次（平成3年）、40次（平成4年）である。主要な調査は30次調査であり、建物の中央から西側部分を調査し、外部地区でも最大の建物跡として認識された。その後40次調査は、補足として未調査範囲である東側

を柱穴1個ずつ坪掘りによって確認したものである。桁行8間分の柱穴列が確認され、4×8間以上の大型建物と判断されるに至った。また6次調査区の一部が検出され（確認のみ）、その位置の推定も行われた。今回の84次調査でも6次調査の痕跡を確認しその周辺も含めて調査をおこなった。その結果、検出された6次調査区の位置からすると、30SB1の桁行はさらに2間分追加されることが新たに判明した。これは40次調査における6次調査区の位置推定とは異なる結果となる。この成果から、30SB1はいまのところ梁行4間×桁行10間の四面廂建物という認識でいる。これは堀内部地区の中心建物である28SB4よりも桁行が1間分多いことになる。ただし、柱間寸法が28SB4の方が広いこともあり、床面積は28SB4の方が大きい。また、この2つの建物は、身舎以外が総柱式に近い平面構造であるなど類似点が多い。このように30SB1は堀外部地区最大の建物跡であると再認識したが、問題点も残る。これまで触れてきたように30SB1は分割して調査されてきている。一度も全体を現したことがなく、いずれの調査によっても未確認な柱穴がいくつかある。また、30年以上前の平面図との整合性（ズレがある）も含めてあらためて確認する必要がある。そのため、外部地区最大の建物跡であるという認識は変わらないものの、その構造など詳細を判断するために建物全体が判明する範囲を再調査する必要がある（重複する30SB2も含めて）。その際にあらためて詳細について検討していきたい。

参考文献

- (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1995『柳之御所跡』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第228集
- 岩手県教育委員会2019『柳之御所遺跡－堀内部地区内容確認調査－』岩手県文化財調査報告書第155集
- 太宰府市教育委員会2000『大宰府条坊跡XV－陶磁器分類編－』太宰府市の文化財第49集
- 平泉遺跡調査会1971『平泉遺跡総合調査 第1期第1次平泉館跡発掘調査略報』
- 平泉町教育委員会1992『柳之御所跡発掘調査報告書－第30次調査概報－』岩手県平泉町文化財調査報告書第28集
- 平泉町教育委員会1993『平泉遺跡群範囲確認調査報告書－柳之御所跡第38次・39次・40次発掘調査』岩手県平泉町文化財調査報告書第33集
- 平泉町教育委員会1994『柳之御所跡発掘調査報告書－平泉バイパス・一関遊水地関連遺跡発掘調査－』岩手県平泉町文化財調査報告書第38集
- 平泉町2000『柳之御所資料館図録』

觀 察 表

表4 遺構別遺物一覧表

遺構名	かわらけ	国産陶器	輸入陶磁器	近世陶磁器	近代以降陶磁器	鉄製品・鉄滓
84SK01	—	—	—	—	—	—
84SK02	11.0	—	—	—	—	—
84SK03	2277.6	79.5	—	—	—	—
84SK03～04	1413.9	100.2	21.9	—	—	21.2
84SK04	415.3	—	—	—	—	—
84SK05	16.8	—	—	—	—	—
84SK08	—	—	—	—	—	—
84SK09	—	—	—	—	—	—
84SK10	2157.7	230.3	—	0.7	—	7.4
84SK11	—	—	—	—	—	—
84SK12	—	—	—	—	—	—
84SK13	102.8	71.0	—	—	—	—
84SK14	—	—	—	—	—	—
84SK15	194.8	16.6	—	—	—	9.4
84SX01	1626.0	3597.9	29.3	—	4.2	40.2
84SX02	36.3	—	1.3	—	—	—
84SX06	382.7	—	13.3	—	—	—
84SX08	1025.4	2667.2	9.4	44.0	1335.9	237.2
84SX09	—	—	—	—	—	—
84SD01	10.2	—	—	2.5	—	—
84SD02	14.1	5.7	—	—	—	—
84SD03	34.3	—	1.7	—	—	5.8
84SD04	—	—	—	—	—	—
84SD05	269.8	715.9	—	—	—	71.4
84SD06	—	—	—	—	—	—
84SD07	17.9	—	—	—	—	—
84SD08	29.0	—	—	—	—	—
84SD09	—	—	—	—	—	—
84SD10	53.1	—	—	—	—	—
84SD11	12.0	—	—	—	—	—
84SD12	283.9	38.0	2.0	—	—	32.0
84SD13	23.8	—	—	—	—	95.7
84SD14	—	—	—	—	—	—
84SD15	1.6	—	—	—	—	—
84SD16	—	—	—	—	—	—
84SD17旧	107.4	60.5	—	—	—	—
84SD17新	200.8	2685.3	—	237.6	—	7.6
84SD17旧～新	763.1	160.2	6.8	6.3	—	15.9
84SD18	114.4	—	—	3.3	—	—
84SD19	—	—	—	—	—	—
84SD20	192.8	—	—	—	—	—
84SD21	—	—	—	—	—	—
84SD22	—	—	—	—	—	—
84SD24	19.5	112.9	—	—	—	—
84SD25	30.9	—	—	—	382.5	—
84SD26	—	—	—	—	—	—
84SD27	—	—	—	—	—	—
84SA01	13.6	—	—	—	—	—
84SB01	269.4	—	1.0	—	—	—
84SB02	77.2	—	—	—	—	—
84SB03	85.1	—	—	—	—	—
84SB04	5.6	—	—	—	—	56.9
84SB05	19.1	—	—	—	—	—
84SB06	30.5	—	11.0	—	—	—
84SB07	—	—	—	—	—	—
30SB1	6.7	—	—	—	—	—
30SB2	—	—	—	—	—	—
建物以外の柱穴	4615.4	165.9	13.8	0.8	0.7	15.2
遺構外	8274.2	3564.4	94.0	32.7	572.0	474.3

単位：g

石器・石製品	炭化物	木製品(点)	粘土塊	土壁	骨	備考
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	
—	1.3	—	—	—	—	12C
—	8.0	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	12C
—	—	—	—	—	—	12C
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	
92.3	5.7	144	15.4	28.6	—	12C
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	
13.1	0.2	60	—	—	1.9	12C
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	12C、瓦117.1g
1844.6	—	—	—	—	—	12C
—	0.1	—	—	—	—	12C SX3と合体
—	—	—	—	—	—	12C 浅い落ち込み
—	20.3	—	—	422.7	—	近代の整地層
—	—	—	—	—	—	不整形な溝
—	—	—	—	—	—	近世以降
—	—	—	—	—	—	近世以降
—	—	—	—	—	—	近世以降
—	—	—	—	—	—	近世以降
—	—	—	—	—	—	近世?
—	—	—	—	—	—	近世
—	—	—	—	—	—	近世
—	—	—	—	—	—	近世
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	近世?
—	—	—	—	—	—	近世
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	12C?
—	—	—	—	—	—	近世?
216.1	—	—	—	—	—	近世以降
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	近世
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	27.4	—	—	12C
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	近世?
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	近世
—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	元SD24(6次調査トレンチ付近)
—	—	—	—	—	—	近世?
—	—	—	—	—	—	12C
—	—	—	—	—	—	12C
—	—	—	—	—	—	12C
—	—	—	—	—	—	近世?
—	—	—	—	—	—	近世?
—	—	—	—	—	—	近世?
—	—	—	—	—	—	近世?
—	—	—	—	—	—	12C
—	—	—	—	—	—	12C
—	—	—	26.1	—	—	
648.4	2.5	—	50.3	381.9	—	縄文30.4g

表5-1 柱穴一覧表

柱穴名	長軸	短軸	出土遺物	重量(g)	建物	備考
P003	20	18			84SB05	
P096	22	22			84SB05	
P007	24	22			84SB05	
P004	80	64				
P005	44	—				
P006	76	66				
P010	28	26			84SB05	
P008	44	44	かわらけ	1.0		
P009	32	32				
P053	28	26			84SB05	
P059	30	30			84SB05	
P022	32	24			84SB05	
P013	54	46	かわらけ	13.5		
P014	30	22				
P015	24	18	かわらけ	14.3		
P001	34	28			84SB05	
P021	38	30			84SB05	
P018	18	18	かわらけ	1.6		
P019	30	26				
P020	18	18				
P011	40	36	かわらけ	10.3	84SB05	
P083	42	36			84SB05	
P023	34	26				
P024	53	46				
P025	27	26				
P026	27	26				
P027	22	18				
P028	26	24				
P029	54	46				
P030	54	—				
P031	36	32				
P032	24	—				
P033	30	26				
P034	80	72				
P035	18	18				
P036	36	28				
P037	22	20	かわらけ	6.0		
P038	20	20				
P039	30	22				
P040	34	—				
P041	26	25	かわらけ	0.6		
P042	42	40				
P043	40	32				
P044	22	20				
P045	28	22				
P046	24	24				
P047	48	42				
P048	24	24				
P049	32	30				
P050	28	26	近世陶磁器	0.8		
P051	24	22				
P052	24	18				
P017	46	38	かわらけ	8.8	84SB05	
P054	27	20				
P055	26	26				
P056	33	—				
P057	42	38				
P058	26	26				
P012	48	36			84SB05	
P080	40	38	かわらけ	8.7	84SB06	

柱穴名	長軸	短軸	出土遺物	重量(g)	建物	備考
P061	46	42			84SB06	
P062	52	46				
P063	46	—				
P093	46	44			84SB06	
P065	32	32				
P066	36	32				
P067	68	50				
P068	30	28				
P069	20	20				
P070	38	32				
P071	22	16				
P072	22	20				
P073	26	23				
P074	20	—				
P075	38	36				
P076	40	24				
P077	44	40				
P078	26	—				
P079	40	38	かわらけ	2.8		
P060	47	40			84SB06	
P081	50	48			84SB06	
P082	30	24				
P016	58	48			84SB05	
P084	28	26				
P085	26	24				
P086	34	—				
P087	19	18				
P088	26	22	かわらけ	1.9		
P089	38	36				
P090	30	29				
P064	52	50	かわらけ	5.9	84SB06	
P091	52	—			84SB06	
P092	54	52	かわらけ 輸入陶磁器	15.9 11.0	84SB06	
P094	30	26				
P095	82	—				
P002	66	54			84SB05	
P097	18	18				
P098	18	18				
P099	28	26				
P100	42	40				
P101	60	54				
P102	30	30				
P103	28	28				
P114	22	22			84SB07	
P105	36	36				
P106	26	18				
P107	18	18				
P108	27	—				
P163	26	24			84SB07	
P110	34	30				
P111	20	20				
P112	30	26				
P113	48	40				
P363	26	—			84SB07	
P115	30	26				
P116	44	—	国産陶器	2.5		
P117	38	34				
P118	28	22				
P119	28	—				

表5-2 柱穴一覧表

柱穴名	長軸	短軸	出土遺物	重量(g)	建物	備考
P120	22	18				
P121	22	20				
P122	30	30				
P104	28	28			84SB07	
P124	68	46				
P125	28	26				
P126	18	18				
P127	18	—				
P128	28	26				
P129	30	21				
P130	36	34				
P131	24	18				
P132	38	32				
P133	32	—				
P134	42	38				
P135	36	28				
P136	26	26				
P137	18	—				
P138	30	28				
P139	24	22				
P140	21	21				
P141	24	20				
P142	26	24				
P143	26	20				
P144	22	18				
P109	29	22			84SB07	
P146	26	26				
P147	22	20				
P148	22	16				
P149	38	30				
P150	28	26	かわらけ	2.1		
P151	36	36				
P152	16	14				
P153	12	12				
P160	30	28			84SB07	
P155	31	28				
P156	22	22				
P157	20	18				
P158	26	22	かわらけ	3.1		
P159	48	46				
P350	30	—			84SB07	
P223	20	20			84SB04	
P162	29	26				
P123	32	26			84SB07	
P164	28	22				
P165	20	16				
P166	34	24				
P167	34	30				
P168	22	—				
P169	33	32				
P170	18	17				
P171	16	16				
P172	38	36	かわらけ	9.5		
P173	32	32				
P174	26	24				
P175	34	30				
P176	18	18				
P177	14	14				
P178	28	28				
P179	18	18				

柱穴名	長軸	短軸	出土遺物	重量(g)	建物	備考
P180	22	20				
P181	28	26				
P400	24	—			84SB04	
P183	30	26	かわらけ	0.9		
P184	34	—				
P185	28	—				
P186	40	—				
P187	30	25				
P188	68	68	かわらけ	11.1		
P189	58	42				
P190	30	—				
P191	22	20				
P192	30	28				
P193	24	23				
P194	28	—				
P195	20	18				
P196	22	18				
P197	22	20				
P198	18	18				
P199	20	18				
P200	42	34				
P201	34	30				
P202	30	24				
P203	28	26				
P204	12	12				
P205	26	26	かわらけ	5.6	84SB04	遺物はP206と一括
P206	72	62				遺物はP205と一括
P207	34	—				
P208	30	28				
P209	26	24				
P210	22	20				
P211	32	30	かわらけ	18.1		
P161	28	28			84SB04	
P213	26	24				
P214	20	18				
P215	18	18				
P216	18	18				
P212	36	36			84SB04	
P218	24	22				
P219	20	20				
P220	22	20				
P221	28	20				
P222	16	16				
P253	36	32			84SB04	
P224	30	—				
P225	34	30				
P226	26	26	かわらけ	0.8		
P227	20	—				
P228	36	34				
P229	18	—	かわらけ 国産陶器	4.0 6.8		遺物はP230と一括
P230	40	36				
P231	44	34				
P232	35	28				
P233	24	22				
P234	32	28				
P235	20	19				
P236	24	21				
P182	38	36	鉄製品	57.3	84SB04	
P238	20	20				

表5-3 柱穴一覧表

柱穴名	長軸	短軸	出土遺物	重量(g)	建物	備考
P239	26	24				
P240	20	18				
P241	26	23				
P242	20	18				
P243	20	18				
P244	34	32				
P245	28	26				
P246	48	46				
P247	50	36	国産陶器	25.0		
P248	22	—				
P249	26	19				
P250	36	26				
P251	30	30				
P252	17	16				
P237	44	44			84SB04	
P254	24	20				
P255	23	22				
P256	20	14				
P257	24	22				
P258	42	38				
P259	34	28				
P260	24	20				
P261	24	23				
P262	18	18				
P263	48	46				
P264	26	26	かわらけ	3.0		
P265	18	18				
P266	26	22				
P267	32	28				
P268	28	28				
P269	32	—				
P270	24	20				
P271	36	—				
P272	36	32				
P273	24	20				
P274	22	22				
P275	28	25				
P276	32	26				
P277	28	—				
P278	20	20				
P279	14	12				
P280	38	32				
P281	20	20				
P282	36	26				
P283	32	26				
P284	38	36	かわらけ	11.2		
P285	20	—				
P286	22	—				
P287	24	—				
P288	21	20				
P289	50	44				
P290	24	22				
P291	22	16				
P292	26	20				
P293	32	—				
P294	40	30				
P295	52	—				
P296	24	—				
P297	20	20	かわらけ	0.9		
P298	—	—				

柱穴名	長軸	短軸	出土遺物	重量(g)	建物	備考
P299	30	—				
P300	38	38				
P301	34	28				
P302	20	20				
P303	32	30	かわらけ	2.2		
P304	24	23				
P305	22	20				
P306	40	32	かわらけ	1.9		
P307	46	40	かわらけ	5.3		
P308	欠番					
P309	28	20	かわらけ	1.1		
P310	32	26	かわらけ	28.8		
P311	24	24				
P312	35	32				
P313	26	26				
P314	欠番					
P315	32	30				
P316	欠番					
P317	30	28	かわらけ	4.0		
P318	36	36	かわらけ	3.7		
P319	38	36				
P320	44	34				
P321	22	18				
P322	30	—				
P323	60	—				
P324	52	44	かわらけ	22.0		
P325	18	18				
P326	48	40				
P327	22	20				
P328	24	—	かわらけ	4.4		
P154	34	30			84SB07	
P330	26	26				
P481	18	18			84SB01	
P396	40	—			84SB01	
P333	32	32				
P369	34	32			84SB07	
P335	24	24				
P578	40	—			84SB01	
P337	28	28				
P338	18	18				
P339	16	16				
P340	14	14				
P341	13	13				
P342	18	16				
P343	16	14				
P344	18	16				
P345	16	14				
P346	18	16				
P347	18	16				
P348	16	15				
P349	28	28				
P682	34	—			84SB07	
P351	20	17				
P352	14	12				
P353	12	12				
P354	14	14				
P355	26	26				
P356	14	14				
P357	30	—				
P358	24	20				

表5-4 柱穴一覧表

柱穴名	長軸	短軸	出土遺物	重量(g)	建物	備考
P359	28	28				
P360	14	14				
P684	34	28			84SB07	
P362	32	—				
P145	36	36			84SB07	
P364	18	14				
P365	34	32				
P366	30	28	かわらけ	12.3		
P367	34	20				
P368	52	48				
P329	38	36			84SB07	
P370	24	24				
P371	28	26				
P372	42	42	かわらけ	50.5		
P373	32	—				
P374	38	34				
P375	22	22				
P376	24	24	かわらけ	7.2		
P377	40	40	かわらけ 国産陶器 輸入陶磁器	5.4 23.0 1.4		
P378	28	26	かわらけ	2.7		
P379	34	28				
P380	28	24				
P381	42	—				
P382	24	22				
P383	16	16				
P384	24	24	かわらけ	1.4		
P385	75	66	かわらけ 国産陶器	9.7 21.6		
P497	40	12			84SB02	
P387	15	15				
P388	32	24	かわらけ	3.6		
P389	20	16				
P390	32	24				
P391	31	—				
P392	44	38				
P393	24	22				
P394	32	22				
P395	24	24				
P443	44	38			84SB01	
P397	29	26				
P398	26	24				
P399	28	28				
P217	50	44			84SB04	
P401	40	32				
P402	28	22				
P403	42	38	かわらけ	2.4		
P404	26	26	かわらけ	3.3		
P405	20	20				
P406	42	—				
P407	22	22				
P636	32	24			84SB03	
P409	48	—				
P410	30	—				
P411	42	38				
P412	45	42	かわらけ	11.7		
P413	54	—				
P414	45	35				
P415	22	22				

柱穴名	長軸	短軸	出土遺物	重量(g)	建物	備考
P579	48	46	かわらけ	21.8	84SB03	
P417	80	68				
P418	32	28				
P419	32	30				
P420	22	—				
P421	48	44	かわらけ	5.9		
P422	34	32				
P423	24	20				
P424	48	36				
P425	26	—				
P426	32	28				
P649	50	40	かわらけ	38.4	84SB03	
P428	52	—				
P429	46	34				
P430	36	32				
P431	62	24				
P432	48	45				
P433	32	30				
P434	54	52	かわらけ	12.1	84SB03	
P455	46	44	かわらけ	13.8	84SB02	
P436	28	28				
P437	28	26				
P438	24	22				
P439	34	30				
P440	26	—				
P441	29	28				
P442	30	—				
P659	46	46	かわらけ	20.4	84SB01	
P444	40	32				
P445	48	40			84SB01	
P446	24	22				
P447	34	34				
P448	36	22				
P449	30	20				
P450	32	28				
P451	28	26				
P452	28	24				
P453	54	—				
P561	48	40	かわらけ	6.7	84SB01	
P386	54	46	かわらけ	22.3	84SB02	
P456	28	22				
P634	55	45			84SB02	
P458	36	32				
P459	26	24				
P460	50	48				
P533	56	—			30SB1	
P457	58	52			84SB02	
P463	欠番					
P464	欠番					
P465	欠番					
P466	20	14				
P467	欠番					
P468	38	28	かわらけ	8.3		
P469	34	32	かわらけ	9.6		
P470	28	26				
P504	58	56			84SB02	
P472	48	42				
P473	32	30				
P508	50	44			84SB01	
P475	28	—				

表5-5 柱穴一覧表

柱穴名	長軸	短軸	出土遺物	重量(g)	建物	備考
P476	22	19				
P548	60	56			30SB1	
P478	18	18				
P479	26	—				
P480	68	56	かわらけ	6.5		
P454	56	52	かわらけ	4.4	84SB01	
P482	26	26				
P483	48	48				
P484	34	28				
P571	56	—	かわらけ	20.2	84SB01	
P486	28	22				
P487	30	26				
P488	32	28				
P489	68	68				
P490	20	—				
P491	30	30				
P492	46	38				
P493	44	38				
P494	30	28				
P495	44	42				
P496	24	22				
P572	60	50	かわらけ	20.8	84SB02	
P498	36	34				
P499	26	—	かわらけ	5.5		
P500	欠番					
P331	58	56	かわらけ 輸入陶磁器	30.7 1.0	84SB01	
P502	44	34				
P503	24	24				
P462	62	58			84SB02	
P545	64	60			30SB1	
P506	38	30				
P507	26	24	かわらけ	4.7		
P658	60	—			84SB01	
P509	54	20				
P510	62	58			84SB01	
P511	56	—				P623と同一
P512	78	—				
P485	68	54			84SB01	P513と同一
P622	68	64			30SB1	
P515	28	26				
P332	70	60	かわらけ	13.3	84SB01	
P517	104	94	かわらけ	6.5		
P518	28	22				
P519	18	—				
P520	34	28				
P521	18	16				
P522	18	18				
P523	44	34				
P524	28	18				
P525	54	40				
P526	46	—				
P624	68	56			30SB1	
P528	24	—				
P529	46	44				
P530	28	—				
P531	78	62				
P532	45	43				
P477	70	64			30SB1	
P534	欠番					

柱穴名	長軸	短軸	出土遺物	重量(g)	建物	備考
P535	36	34				
P536	34	—				
P537	124	98				
P538	44	—				
P539	26	20				
P540	28	23				
P541	欠番					
P542	18	18				
P543	欠番					
P544	28	24				
P557	70	48			30SB1	
P546	48	—				
P547	48	—				
P621	70	62			30SB1	
P549	14	13				
P550	26	22				
P551	26	24				
P552	56	54				
P553	24	20				
P554	62	22	かわらけ	7.4		
P555	20	—				
P556	36	—				
P461	74	62	かわらけ	1.7	30SB1	
P558	28	—				
P559	20	20				
P560	58	—				
P336	70	60			84SB01	
P562	28	28				
P563	16	16				
P564	28	24				
P565	74	74			30SB1	
P566	26	—				
P567	28	—				
P568	30	28				
P569	70	44	かわらけ	111.0	84SB01	
P570	欠番					
P516	75	—			84SB01	
P471	70	64			84SB02	
P573	20	—				
P408	58	52			84SB03	
P575	30	28				
P576	28	26				
P577	24	23				
P474	76	62			84SB01	
P427	58	54	かわらけ	9.9	84SB03	
P580	22	20				
P581	22	22				
P582	28	26	かわらけ	2.1		
P583	36	34				
P584	82	74	かわらけ 鉄製品	333.5 2.0		
P585	18	16				
P586	30	28				
P587	38	34				
P588	24	—				
P589	28	26				
P590	24	20				
P591	36	36				
P592	24	22				
P593	26	26				

表5-6 柱穴一覧表

柱穴名	長軸	短軸	出土遺物	重量(g)	建物	備考
P594	24	24				
P595	20	16				
P596	24	24				
P597	38	34				
P598	34	30				
P599	30	30				
P600	24	24				
P601	48	40	かわらけ	1.6		
P602	56	—	かわらけ	21.8		
P603	64	—	かわらけ	31.9		
P604	60	54	かわらけ 国産陶器	4.6 54.7		
P605	22	22				
P606	26	20				
P607	34	30				
P608	50	—				
P609	24	—				
P610	24	—				
P611	90	68				
P612	—	—				
P613	62	—				
P614	54	40	かわらけ	48.2		
P615	36	36	かわらけ	13.1		
P616	32	32	かわらけ	17.3		
P617	21	21				
P505	76	64			30SB1	
P619	欠番					P618と合体
P620	36	32				
P618	90	70	かわらけ	5.0	30SB1	P619と合体
P625	92	60			30SB1	
P623	欠番					P511と同じ
P527	100	68			30SB1	
P514	120	82			30SB1	
P626	28	26				
P627	134	86				P628と合体
P628	欠番					
P629	28	24				
P630	26	20				
P631	20	18				
P632	欠番					
P633	24	22	かわらけ 近世以降陶磁器	3.7 0.7		
P435	80	58	かわらけ	20.3	84SB02	
P635	30	—				
P574	60	—			84SB03	
P637	54	42				
P638	38	30	かわらけ	8.8		
P639	44	40	かわらけ	13.6		
P640	42	—				
P641	44	—				
P642	58	—	かわらけ	38.1		
P643	24	24				
P644	34	—	かわらけ	2.2		
P645	22	20				
P646	36	32				
P647	30	28				
P648	38	32				
P416	70	60	かわらけ	2.9	84SB03	
P650	22	18				
P651	78	66				

柱穴名	長軸	短軸	出土遺物	重量(g)	建物	備考
P652	50	—				
P653	32	26				
P654	26	24				
P655	24	24				
P656	欠番					P431と同一
P657	48	—				
P501	100	68	かわらけ	70.5	84SB01	P500と同一
P694	—	—			84SB01	
P660	22	18				
P661	48	44				
P662	184	—			30SB1	礎板あり、P663と同一
P663	欠番					
P664	—	—				
P665	30	22				
P666	28	24				
P667	50	38				
P668	42	—				
P669	28	28				
P670	28	—				
P671	38	36				
P672	32	26				
P673	44	30				
P674	44	36				
P675	26	—				
P676	26	24				
P677	42	—				
P678	32	32				
P679	36	34				
P680	66	64			30SB2	
P681	—	—				
P361	38	34			84SB07	
P683	28	22				
P334	48	36			84SB07	
P685	32	30				
P686	34	32				
P687	40	36				
P688	75	—				
P689	30	28				
P690	20	18				
P691	32	26				
P692	94	68	かわらけ 国産陶器 輸入陶磁器 鉄製品 粘土塊	3728.5 32.3 12.4 13.4 26.1		旧84SX05、P649と一括(158.9g)を含む
P693	—	—			30SB2	
P513	欠番				84SB01	P485と同一
P695	24	20				
P696	28	26				

表6-1 かわらけ観察表・登録台帳 *単位はcm、()は復元値

掲載 番号	登録番号	器種名	出土遺構	口径	器高	底径	重量 (g)	残存率 (%)	調整/特徴	色調	注記 No.
3	84R0k38	ロクロ大皿	84P310	(12.0)	—	(7.2)	23.6	20	内外面:ロクロナデ	5YR6/4にぶい橙	150
4	84R0k39	手づくね大皿	84P324	(14.4)	2.4	—	22.1	15	内外面:ロクロナデ		146
5	84R0k40	ロクロ大皿	84P372	—	—	(6.5)	30.6	10	底:糸切り	7.5 R7/4にぶい橙	189
8	84R0k41	ロクロ小皿	84P603	—	—	(3.5)	21.9	10	底:糸切り	10YR8/3浅黄橙	111
10	84R0k42	ロクロ小皿?	84P614	—	—	(5.8)	40.1	10	底:糸切り	10YR6/3にぶい黄橙	190
11	84R0k43	ロクロ小皿	84P642	(8.2)	1.9	(4.4)	36.4	80	外:剥落して不明/内:ロクロナデ	10YR7/3にぶい黄橙	161
12	84R0k21	ロクロ小皿	84P692(84SX05)	(9.0)	2.0	(5.3)	28.5	35	内外面:ロクロナデ/底:糸切り	7.5YR6/4浅黄橙	155
13	84R0k19	ロクロ大皿	84P692(84SX05)	—	3.4	(6.5)	120.0	40	内外面:ロクロナデ/底:糸切り	10YR6/2灰黄褐	155
14	84R0k20	ロクロ大皿	84P692(84SX05)	(14.0)	3.0	(7.5)	22.4	20	内外面:ロクロナデ/底:糸切り	7.5YR7/4にぶい黄橙	155
15	84R0k24	手づくね小皿	84P692(84SX05)	(8.5)	1.7	—	35.6	70	口:ヨコナデ/胴~底:指頭痕	7.5YR8/3浅黄橙	155
16	84R0k25	手づくね小皿	84P692(84SX05)	(10.6)	1.8	—	18.1	20	口:ヨコナデ(2段)/胴~底:指頭痕	7.5YR7/4にぶい橙	153
17	84R0k26	手づくね小皿	84P692(84SX05)	(9.2)	1.6	—	63.5	75	口:ヨコナデ/体~底:指頭痕	10YR7/4にぶい黄橙	155
18	84R0k28	手づくね小皿	84P692(84SX05)	(10.0)	1.8	—	19.0	20	口:ヨコナデ/胴~底:指頭痕	10YR7/3にぶい黄橙	155
19	84R0k22	手づくね大皿	84P692(84SX05)	(14.0)	—	—	53.2	25	口:ヨコナデ(3段)/胴~底:指頭痕	10YR6/2灰黄褐	87
20	84R0k23	手づくね大皿	84P692(84SX05)	(15.0)	2.8	—	30.3	20	口:ヨコナデ(2段)/胴~底:指頭痕	10YR7/2にぶい黄橙	155
21	84R0k29	内折れ皿	84P692(84SX05)	(9.0)	1.0	(7.4)	17.5	30	口:ヨコナデ/底:指頭痕、ナデ	10YR7/3にぶい黄橙	153
22	84R0k27	内折れ皿	84P692(84SX05)	(8.4)	1.0	(8.7)	30.5	40	口:ヨコナデ/胴~底:指頭痕、ナデ	10YR7/3にぶい黄橙	87
23	84R0k30	内折れ皿	84P692(84SX05)	(9.0)	1.1	(7.8)	9.9	25	口:ヨコナデ/底:指頭痕、ナデ	10YR7/3にぶい黄橙	155
25	84R0k46	手づくね小皿	84SK03	(9.3)	1.9	—	66.6	98	口縁:ヨコナデ/体部:指頭痕	10YR5/2灰黄褐	197
26	84R0k01	手づくね大皿	84SK03	(15.0)	3.6	—	97.5	50	口:ヨコナデ/胸~底:指頭痕	10YR8/2灰白	107
27	84R0k44	手づくね大皿	84SK03	(14.7)	3.8	—	165.0	95	口:ヨコナデ/体~底:指頭痕	10YR7/3にぶい黄橙	168
28	84R0k45	手づくね大皿	84SK03	(14.0)	3.3	—	82.0	45	口:ヨコナデ(2段)/胴~底:指頭痕	10YR8/3浅黄橙	527
31	84R0k02	手づくね大皿	84SK03~04	(13.3)	2.7	—	115.5	60	口:ヨコナデ(2段)/胴~底:指頭痕	10YR8/3浅黄橙	154
32	84R0k03	手づくね大皿	84SK03~04	(13.3)	2.9	—	27.4	60	口:ヨコナデ(2段)/胴~底:指頭痕	10YR8/3浅黄橙	154
37	84R0k07	手づくね小皿	84SK04	(9.0)	2.0	—	21.7	30	口:ヨコナデ/胴~底:指頭痕	10YR8/3浅黄橙	73
38	84R0k15	ロクロ小皿	84SK15	(8.8)	2.3	(4.0)	46.3	80	内外面:ロクロナデ/底:糸切り	10YR7/3にぶい黄橙	191
39	84R0k16	ロクロ小皿?	84SK15	—	—	(4.5)	45.3	10	内外面:欠/底:糸切り	10YR6/6赤褐	181
40	84R0k14	ロクロ大皿	84SK15	—	—	(6.5)	65.7	25	内外面:ロクロナデ/底:糸切り	7.5YR7/3にぶい黄橙	203
41	84R0k11	ロクロ小皿	84SK10	(8.2)	2.0	(5.1)	52.0	75	内外面:ロクロナデ/底:糸切り	5YR6/6橙	491
42	84R0k12	ロクロ小皿	84SK10	(8.8)	2.0	(6.0)	53.3	60	内外面:ロクロナデ/底:糸切り	7.5YR8/1灰	256
43	84R0k09	ロクロ大皿	84SK10	(15.5)	3.3	(9.2)	179.2	70	内外面:ロクロナデ/底:糸切り	7.5YR8/3浅黄橙	491
44	84R0k10	ロクロ大皿	84SK10	(14.0)	5.0	—	46.0	25	内外面:ロクロナデ/底:欠	10YR7/3にぶい黄橙	256
45	84R0k08	手づくね大皿	84SK10	(14.0)	—	—	14.5	15	口:ヨコナデ(2段)/胴~底:指頭痕	10YR8/3浅黄橙	491
47	84R0k13	土師器?小壺	84SK13	(4.5)	3.5	—	7.2	20	内外面:ミガキ・黒色処理	10YR1.7/1黒	83

表6-2 かわらけ観察表・登録台帳 *単位はcm、()は復元値

掲載番号	登録番号	器種名	出土遺構	口径	器高	底径	重量(g)	残存率(%)	調整/特徴	色調	注記No.
108	84R0k35	ロクロ小皿	84SD17	—	1.8	(6.0)	67.2	5	底:糸切り	7.5YR8/3浅黄橙	97
109	84R0k36	手づくね大皿	84SD17	(14.0)	—	—	25.4	15	口:ヨコナデ(2段)/胴~底:指頭痕	10YR8/3浅黄橙	205
150	84R0k37	ロクロ小皿	84SD20	(7.6)	1.7	(5.0)	12.9	30	内外面:マメツ/底:マメツ	7.5YR7/4にぶい橙	60
155	84R0k31	ロクロ小皿	84SX06	(8.0)	1.8	(5.8)	27.1	25	内外面:ロクロナデ/底:糸切り	10YR7/4にぶい黄橙	200
156	84R0k32	ロクロ小皿	84SX06	(9.0)	1.3	(6.3)	16.1	50	内外面:ロクロナデ/底:糸切り	7.5YR7/4にぶい橙	70
158	84R0k17	手づくね大皿	84SX08	(13.6)	3.2	—	57.7	25	口:ヨコナデ(3段)/胴~底:指頭痕	10YR7/4にぶい黄橙	492
192	84R0k04	ロクロ小皿?	49-36	—	—	(5.4)	35.9	10	底:糸切り	7.5YR7/6橙	46
193	84R0k05	ロクロ大皿	49-36	(14.8)	—	—	18.9	15	内外面:ロクロナデ/底:欠	7.5YR7/4にぶい橙	46
194	84R0k06	手づくね小皿	49-36	(9.2)	1.4	—	17.1	30	口:ヨコナデ/胴~底:指頭痕	7.5YR8/3浅黄橙	46
195	84R0k18	手づくね小皿	48・49-3	(8.7)	1.6	—	45.6	90	口:ヨコナデ(2段?)/胴~底:指頭痕	10YR7/3にぶい黄橙	202
196	84R0k33	手づくね大皿	48・49-3	(13.0)	2.7	—	40.8	25	口:ヨコナデ/体~底:指頭痕	10YR7/4にぶい黄橙	178
197	84R0k34	内折れ皿	48・49-35	(8.5)	1.1	(8.1)	2.5	5	口:ヨコナデ/底:指頭痕、ナデ	7.5YR7/6橙	490

表7-1 国産陶器観察表・登録台帳

*単位はcm

掲載番号	登録番号	産地	器種名	部位	出土遺構	層位	口径	器高	底径	重量(g)	調整/特徴	色調	備考
2	84R0t200	常滑	壺類	肩部	84P247	埋土上層	—	—	—	25.0	外:自然釉/内:ヘラナデ	外:5Y4/4 内:7.5YR5/4	
6	84R0t096	渥美	鉢類	胴	84P377	埋土上層	—	—	—	23.0	外:ロクロナデ/内:スリ面	外:内:N6/1	
7	84R0t207	渥美	壺類	口縁	84P385	埋土一括	—	—	—	21.6	外:ロクロナデ/内:降灰	外:N4/ 内:7.5Y5/1	
9	84R0t191	渥美	壺類	胴	84P604	埋土上層	—	—	—	54.7	外:押印(長格子文)/内:ナデ	外:10YR7/1 内:7.5YR5/3	
24	84R0t055	渥美	甕	胴	84P692(84SX05)	検出~埋土上層	—	—	—	22.9	外:押印(長格子文)	外:2.5Y4/2 内:10YR5/2	
29	84R0t017	渥美	壺類	胴	84SK03	埋土上層	—	—	—	30.5	内:ヘラナデ	外:内:2.5Y6/1	
30	84R0t 190・034・ 039・057	渥美	壺類	胴	84SK03、 49-36・37	埋土中~下層	—	—	—	82.0	外:刻画文?/内:ヘラナデ	外:2.5Y6/1 内:2.5Y7/1	接合
33	84R0t185	渥美	壺類	胴	84SK03~04一括	埋土上層	—	—	—	29.8	内:ヘラナデ	外:内:N7/	
34	84R0t186	渥美	壺類	胴	84SK03~04一括	埋土上層	—	—	—	57.3	内:ヘラナデ	外:10YR6/1 内:10YR6/1	
46	84R0t236	渥美	甕	胴	84SK10	埋土中層 (黒色土)	—	—	—	230.0	外:ヘラナデ/内:ユビオサエ (輪積痕)	外:2.5Y7/1 内:10YR6/1	
48	84R0t180	渥美	甕	胴	84SK13	埋土一括	—	—	—	27.4	外:押印(長格子文)/内:ヘラ ナデ	外:7.5YR6/1 内:10YR7/1	
49	84R0t248	渥美	甕	胴	84SX01	埋土上~中層	—	—	—	71.0	外:ヘラナデ/内:ナデ	外:2.5Y5/1 内:2.5Y6/1	
50	84R0t 272・292	渥美	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	189.4	外:押印(ランダム、長格子文 2段)/内:ヘラナデ	外:内:N6/1	接合
51	84R0t278	渥美?	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	36.0	外:押印(格子文)	外:7.5Y2/1 内:10Y24/1	
52	84R0t281	渥美	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	108.4	外:押印(格子文)/内:ヘラナ デ、輪積痕	外:2.5Y2/1 内:10YR6/1	
53	84R0t282	渥美	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	75.2	外:自然釉/内:輪積み	外:5Y6/3 内:2.5Y7/2	
54	84R0t283	渥美	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	57.4	外:降灰/内:輪積痕	外:7.5Y5/1 内:N4/	
55	84R0t284	渥美	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	86.7	外:押印(長格子文1段)/内: ヘラナデ	外:N6/1 内:N7/	
56	84R0t285	渥美	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	88.2	外:押印(長格子文)/内:うす く自然釉	外:N6/1 内:10YR6/2	
57	84R0t288	渥美	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	78.1	外:ナデ/内:ヘラナデ	外:2.5Y3/1 内:2.5Y4/1	
58	84R0t289	渥美	甕	肩	84SX01	埋土上層	—	—	—	147.5	外:押印(長格子文)、自然剥 落/内:ナデ、輪積痕	外:N7/0 内:2.5Y7/2	
59	84R0t290	渥美	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	118.7	外:降灰/内:ナデ	外:10YR5/1 内:7.5YR4/1	
60	84R0t293	渥美	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	157.2	外:自然釉(剥落)/内:輪積み 痕	外:N7/0 内:2.5Y5/1	
61	84R0t294	渥美	甕	胴	84SX01	埋土中層	—	—	—	119.6	内:ヘラナデ	外:5Y3/1 内:N4	

表7-2 国産陶器観察表・登録台帳

*単位はcm

掲載 番号	登録番号	産地	器種名	部位	出土遺構	層位	口径	器高	底径	重量(g)	調整/特徴	色調	備考
62	84R0t297	渥美	甕	胴	84SX01	埋土中層	—	—	—	101.3	外:押印(長格子文)/内:ヘラナデ	外:10YR4/1 内:10YR6/1	
63	84R0t300	渥美	甕	胴	84SX01	埋土中層	—	—	—	46.6	外:押印(長格子2段)/内:ヘラナデ	外:10YR2/1 内:10YR6/1	
64	84R0t082	渥美?	広口壺	胴	84SX01	埋土上層~中層	—	—	—	19.0	外:ヘラケズリ/内:ヘラナデ	外:2.5Y4/1 内:2.5Y5/1	
65	84R0t275	渥美	壺類 刻画文	肩部	84SX01	埋土上層	—	—	—	34.3	外:緑釉刻画文/内:ナデ	外:5Y5/2 内:7.5YR4/1	
66	84R0t141	渥美	壺類	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	30.5	内:ヘラナデ	外:N4/0 内:10YR5/3	
67	84R0t243	渥美	壺類	胴	84SX01	埋土上~中層	—	—	—	17.5	外:ヘラケズリ/内:ヘラナデ	外:N7/ 内:10YR6/1	
68	84R0t271	渥美	壺類	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	23.9	外:ヘラナデ	外,内:N4/	
69	84R0t273	渥美	壺類	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	24.2	外:ナデ	外:10YR5/1 内:10YR6/1	
70	84R0t276	渥美	壺類	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	37.7	外:ヘラナデ	外,内:N3/	
71	84R0t291	渥美	壺類	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	142.4	外:押印(長格子文)/内:ヘラナデ	外:10Y4/1 内:10Y6/1	
72	84R0t247	渥美	鉢類	胴	84SX01	埋土上~中層	—	—	—	44.0	外:ロクロナデ/内:ヘラナデ	外,内:N6/1	
73	84R0t078	常滑	甕	胴	84SX01	埋土上層~中層	—	—	—	81.2	外:押印(格子文)/内:輪積痕	外:5YR4/1 内:5YR6/1	
74	84R0t080	常滑	甕	胴	84SX01	埋土上層~中層	—	—	—	71.0	外:自然釉/内:自然釉	外:5YR2/2 内:2.5Y3/3	
75	84R0t081	常滑	甕	胴	84SX01	埋土上層~中層	—	—	—	97.7	外:降灰釉	外:2.5Y3/3 内:10YR2/1	
76	84R0t249	常滑?	甕	胴	84SX01	埋土上~中層	—	—	—	187.9	外:押印(長格子文)/内:ヘラケズリ	外:7.5YR4/2 内:7.5YR5/2	
77	84R0t 279-299	常滑	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	87.5	外:薄く押印(長格子2段)	外:N*1.5/0 内:N5/	接合
78	84R0t287	常滑	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	121.0	外:降灰/内:降灰	外:10YR5/2 内:10YR4/3	
79	84R0t 295-119- 304	常滑	甕	胴	84SX01・41~ 45-33~36・48・ 49-35(84SX04)	埋土中層	—	—	—	215.9	外:降灰+押印(長格子文2 段)/内:ヘラナデ	外:2.5YR6/2, 5YR4/2 内:7.5YR6/4	接合
80	84R0t079	常滑?	壺類	胴	84SX01	埋土上層~中層	—	—	—	50.2	外:自然釉/内:ヘラナデ	外:5Y5/2 内:N4/	
81	84R0t083	常滑	壺類	胴	84SX01	埋土上層~中層	—	—	—	21.9	内:ヘラナデ	外:N6/1 内:7.5R5/1	
82	84R0t138	常滑	壺類	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	23.6	外:自然釉	外:5Y5/2 内:10YR5/3	
83	84R0t251	常滑	壺類	胴	84SX01	埋土上~中層	—	—	—	33.8	外:自然釉	外:7.5Y6/3 内:7.5YR2/3	
84	84R0t 252-298	常滑	壺類	胴	84SX01	埋土上~中層	—	—	—	96.7	外:自然釉(釉垂れ)/内:自然 釉	外:10YR3/2 内:5Y4/3	接合
85	84R0t277	常滑	壺類	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	26.5	外:押印(綾杉?)/内:ヘラナ デ	外:2.5YR2/1 内:2.5YR5/1	
86	84R0t280	常滑	壺類	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	51.8	外:自然釉/内:ヘラナデ	外:10YR4/1 内:10R2/1	
87	84R0t301	常滑	壺類	胴	84SX01	埋土中層	—	—	—	30.8	外:押印(格子文)/内:ナデ	外:5Y2/2 内:5Y2/1	
88	84R0t250	常滑	鉢類	底部	84SX01	埋土上~中層	—	—	—	35.9	内:磨り痕	外:10YR6/1 内:10YR7/1	
89	84R0t 286-091	須恵器系	甕	頸部	84SX01・84SD05	埋土上層	—	—	—	201.3	外:ロクロナデ,タタキ目/ 内:ロクロナデ,ヘラナデ	外:N4/0 内:N5/	接合
90	84R0t 296-302	須恵器系	甕	頸~胴	84SX01	埋土中層	—	—	—	89.5	外:タタキ/内:焼けはじけ	外:7.5Y2/1 内:5Y6/1	接合
91	84R0t321	須恵器系	甕	胴	84SX01	埋土中層	—	—	—	203.0	外:タタキ/内:円形の当て具 痕	外,内:N5/	
96	84R0t068	渥美	甕	胴	84SD05 (44・45-38・39)	埋土一括	—	—	—	39.5	外:押印(長格子文)/内:ヘラ ナデ	外:7.5YR6/1 内:7.5YR4/2	
97	84R0t233	渥美	甕	胴	84SD05(精査部 分)84SX01の上	埋土一括	—	—	—	111.0	外:ヘラケズリ/内:磨面あり (2次利用あり)	外,内:N7/	
98	84R0t234	渥美	甕	胴	84SD05(精査部 分)84SX01の上	埋土一括	—	—	—	50.6	外:押印(長格子文1段)/内: ヘラナデ	外:YR6/1 内:10YR7/1	
99	84R0t169	渥美	壺類	胴	84SD05集石付近	埋土上層	—	—	—	21.9	内:ヘラナデ	外:7.5YR7/1 内:N5/	
100	84R0t170	渥美?	壺類	胴	84SD05集石付近	埋土上層	—	—	—	18.7	内:降灰	外:10YR7/2 内:10YR6/2	
101	84R0t067	常滑	甕	胴	84SD05 (44・45-38・39)	埋土一括	—	—	—	30.1	外:押印(長格子文)	外:7.5YR3/1 内:7.5YR5/2	
102	84R0t 093-129	常滑	甕	胴	84SD05 (カクラン?)	埋土上層	—	—	—	161.0	外:自然釉,押印(格子文2段)	外:2.5Y6/2 内:7.5YR6/3	接合
103	84R0t130	常滑	甕	胴	84SD05集石付近	埋土一括	—	—	—	85.6	外:押印(長格子文2段)/内: ヘラナデ	外,内:N4/	

表7-3 国産陶器観察表・登録台帳

*単位はcm

掲載 番号	登録番号	産地	器種名	部位	出土遺構	層位	口径	器高	底径	重量(g)	調整/特徴	色調	備考
104	84R0t171	常滑	壺類	肩部	84SD05集石付近	埋土上層	—	—	—	37.3	外:自然釉/内:自然釉	外:5YR3/43 内:2.5YR3/3	
105	84R0t168	常滑	壺類	胴	84SD05集石付近	埋土上層	—	—	—	26.5	内:自然釉	外:7.5YR2/3 内:10YR4/2	
106	84R0t092	須恵器系	甕	胴	84SD05 (カクラン?)	埋土上層	—	—	—	34.4	外:タタキ	外,内:N5/	
107	84R0t 053・56	常滑	壺類	胴	84SD12、49-37	埋土上層	—	—	—	35.1	内:ヘラケズリ	外:7.5YR4/3 内:7.5YR5/6	接合
110	84R0t189	渥美	甕	胴	84SD17旧	埋土一括	—	—	—	60.5	内:ヘラナデ	外,内:5PB6/1	
111	84R0t101	渥美	甕	頸部	84SD17新	精査埋土	—	—	—	188.9	外:ロクロナデ	外:2.5Y7/3 内:2.5Y7/2	
112	84R0t151	渥美	甕	肩	84SD17新	埋土上層	—	—	—	110.4	外:押印(格子文)/内:ナ デ.輪積痕	外:7.5Y8/1 内:7.5Y4/1	
113	84R0t094	渥美	甕	胴	84SD17新	埋土一括	—	—	—	33.1	外:押印(長格子文2段)	外,内:N6/1	
114	84R0t095	渥美	甕	胴	84SD17新	埋土一括	—	—	—	74.6	外:ヘラナデ	外:10YR4/1 内:10YR5/1	
115	84R0t097	渥美	甕	胴	84SD17新	精査埋土	—	—	—	60.0	外:押印(格子文)/内:ヘラナ デ	外:5Y7/1 内:10YR6/3	
116	84R0t098	渥美	甕	胴	84SD17新	精査埋土	—	—	—	149.0	外:押印(格子文)/内:輪積痕	外:5YR6/1 内:10YR7/1	
117	84R0t099	渥美	甕	胴	84SD17新	精査埋土	—	—	—	68.0	外:ナデ/内:ヘラナデ	外:10YR4/3 内:7.5YR4/4	
118	84R0t100	渥美	甕	胴	84SD17新	精査埋土	—	—	—	87.3	外:自然釉.押印(長格子文)/ 内:ナデ	外:5Y6/2 内:10Y6/1	
119	84R0t107	渥美	甕	胴	84SD17新	埋土一括	—	—	—	47.8	外:押印(長格子.又(1段))	外:2.5Y6/2 内:5Y6/1	
120	84R0t 108・112	渥美	甕	胴	84SD17新	埋土一括	—	—	—	219.3	外:自然釉.押印(長格子文)/ 内:ヘラナデ.輪積み痕	外:2.5Y5/2 内:10YR2/1	接合
121	84R0t152	渥美	甕	胴	84SD17新	埋土上層	—	—	—	52.4	外:押印(長格子文)/内:ヘラ ナデ	外,内:N5/	
122	84R0t187	渥美	甕	胴	84SD17新	上層	—	—	—	134.7	外:緑の自然釉.降灰/内:ヘ ラナデ	外:7.5Y5/1 内:N6/1	
123	84R0t194	渥美	甕	胴	84SD17新	埋土一括	—	—	—	60.5	外:押印(長格子文2段)/内: 輪積み痕	外,内:N6/1	
124	84R0t232	渥美	甕	胴	84SD17新	埋土一括	—	—	—	52.9	外:押印(格子文)/内:ヘラナ デ	外:2.5Y4/1 内:2.5Y5/1	
125	84R0t237	渥美	甕	胴	84SD17新・旧ト レンチ部分	埋土一括	—	—	—	210.7	外:ヘラケズリ/内:ナデ.輪 積痕	外,内:10YR7/1	
126	84R0t102	渥美	壺類	胴	84SD17新	埋土一括	—	—	—	52.2	外:自然釉剥落気味/内:輪積 痕	外,内:N6/1	
127	84R0t111	渥美	壺類	胴	84SD17新	埋土一括	—	—	—	55.4	内:ヘラナデ	外:7.5YR5/2 内:7.5YR6/2	
128	84R0t219	渥美	壺類	口縁	84SD17新	埋土中～下層	—	—	—	34.6	外:ロクロナデ/内:降灰ヘラ ナデ	外:2.5Y5/1 内:2.5Y5/2	
129	84R0t220	渥美	壺類	口縁	84SD17新	埋土中～下層	—	—	—	23.5	内:透明感のある釉	外:10YR5/1 内:2.5YR5/2	
130	84R0t229	渥美	壺類	胴	84SD17新	埋土一括	—	—	—	72.6	外:押印(長格子文)/内:ナデ	外:7.5Y4/3 内:5Y4/1	
131	84R0t230	渥美	壺類	胴	84SD17新	埋土一括	—	—	—	41.7	外,内:ヘラナデ	外:10YR5/1 内:10YR6/2	
132	84R0t 104・154	常滑	甕	胴	84SD17新	埋土一括・上層	—	—	—	93.0	外:押印(長格子文)/内:ヘラ ナデ	外,内:N6/1	接合
133	84R0t153	常滑	甕	胴	84SD17新	埋土上層	—	—	—	67.0	外:押印(縹杉文)/内:ヘラナ デ	外:N6/1 内:5Y6/1	
134	84R0t228	常滑	甕	胴	84SD17新	埋土一括	—	—	—	95.8	外:自然釉/内:ナデ	外:5Y4/3 内:5Y2/2	
135	84R0t 103・106	常滑	壺類	胴	84SD17新	埋土一括	—	—	—	54.2	外:押印(格子状)/内:降灰釉	外:5Y2/1 内:2.5Y3/2	接合
136	84R0t109	常滑	壺類	胴	84SD17新	埋土一括	—	—	—	68.9	外:自然釉(剥落)	外:7.5Y5/2 内:N4/4	
137	84R0t155	常滑	壺類	胴	84SD17新	埋土上層	—	—	—	85.6	外:降灰釉/内:ヘラナデ	外:7.5Y6/1 内:2.5YR3/3	
138	84R0t158	常滑	壺類	胴	84SD17新	埋土上層	—	—	—	44.0	外:押印(格子文)/内:ヘラナ デ(焼けはじけ)	外:10YR2/3 内:10YR3/4	
139	84R0t231	常滑	壺類	胴	84SD17新	埋土一括	—	—	—	23.7	外:自然釉/内:ヘラナデ	外:2.5Y5/3 内:10YR6/2	
140	84R0t110	常滑	鉢類	口縁	84SD17新	埋土一括	—	—	—	60.9	外:ロクロナデ/内:スリ	外:5YR4/1 内:10YR6/1	
141	84R0t218	須恵器?	甕	肩部	84SD17新	埋土中～下層	—	—	—	65.7	外:ロクロナデ.タタキ/内: ヘラナデ	外,内:N4/	
142	84R0t217	須恵器?	甕	胴	84SD17新	埋土中～下層	—	—	—	34.4	外面:渦文/内面:特殊な当て 具痕	外:7.5YR3/3 内:7.5YR7/6	
143	84R0t 156・157・ 201・238・ 019	常滑	甕	胴	84SD17新・ SK15・47-35・ 36(旧トレンチ 内)	埋土上層	—	—	—	93.8	外:厚く自然釉+押印(長格子 文2段)/内:自然釉	外:7.5Y4/3 内:2.5Y3/3	接合

表7-4 国産陶器観察表・登録台帳

*単位はcm

掲載 番号	登録番号	産地	器種名	部位	出土遺構	層位	口径	器高	底径	重量(g)	調整/特徴	色調	備考
144	84R0t162	常滑	壺類	口縁	84SD17新〜旧	埋土上層	16.0	—	—	21.8	外:自然釉/内:自然釉	外.内:2.5Y6/3	
145	84R0t164	渥美	壺類	胴	84SD17新〜旧	埋土上層	—	—	—	13.3	外:刻画文	外.内:2.5Y6/1	
146	84R0t161	渥美	広口壺	肩部	84SD17新〜旧	埋土上層	—	—	—	21.3	内:ヘラナデ	外.内:N7/	
147	84R0t210	渥美	壺類	胴	84SD17新〜旧	埋土上層	—	—	—	19.4	内:ヘラナデ	外:5YR2/1 内:5YR5/2	
148	84R0t216	渥美	壺類	胴	84SD17新〜旧	埋土中〜下層	—	—	—	27.5	内:ヘラナデ	外:N3/ 内:10YR4/1	
151	84R0t071	渥美	甕	胴	84SD24	埋土上層	—	—	—	39.1	外:ヘラナデ/内:降灰	外:7.5YR5/2 内:10YR5/2	
152	84R0t073	渥美	甕	胴	84SD24	埋土上層	—	—	—	26.0	外:ヘラナデ	外:N3/ 内:N4	
153	84R0t072	常滑	甕	胴	84SD24	埋土上層	—	—	—	24.2	外:押印(長格子2段)	外:2.5YR4/6 内:7.5YR6/4	
154	84R0t070	常滑	壺類	口縁	84SD24	埋土上層	—	—	—	13.2	外:ロクロナデ/内:降灰	外:7.5YR4/1 内:2.5Y6/1	
159	84R0t026	渥美	甕	胴	84SX08	黄褐色土	—	—	—	81.3	外:押印(長格子文)/内:輪積痕	外.内:N6/6	
160	84R0t147	渥美	甕	胴	84SX08 (トレンチ)	1〜3層一括	—	—	—	32.5	外:ヘラナデ/内:ヘラナデ	外:N5/0 内:N6/1	
161	84R0t253	渥美	甕	胴	84SX08 (トレンチ)	1〜2層一括	—	—	—	397.3	外:押印(格子文)/内:降灰釉	外:10YR8/2 内:10YR3/3	
162	84R0t255	渥美	甕	胴	84SX08 (トレンチ)	1〜2層一括	—	—	—	115.8	外:押印(格子文)/内:ヘラナデ	外:10YR5/2 内:10YR6/1	
163	84R0t256	渥美	甕	胴	84SX08 (トレンチ)	1〜2層一括	—	—	—	69.6	外:押印(長格子文)/内:ヘラナデ	外:7.5YR3/1 内:10YR4/1	
164	84R0t260	渥美	甕	胴	84SX08 (トレンチ)	1〜2層一括	—	—	—	32.2	外:押印(長格子文)	外:5Y5/1 内:7.5Y5/1	
165	84R0t075	渥美	甕	胴	84SX08 (トレンチ内)	3層灰色粘土層埋土一括	—	—	—	28.5	外:自然釉(剥落)	外:5Y6/1 内:2.5Y5/1	
166	84R0t239	渥美	甕	胴	84SX08 (追加トレンチ)	埋土一括	—	—	—	125.9	外:押印(長格子文)/内:輪積痕	外:N3 内:N4/	
167	84R0t074	渥美	広口壺	胴	84SX08 (トレンチ内)	3層灰色粘土層埋土一括	—	—	—	45.2	外:ヘラナデ/内:降灰	外:7.5YR4/1 内:5YR3/3	
168	84R0t257	渥美	壺類	口縁	84SX08 (トレンチ)	1〜2層一括	—	—	—	42.2	外:降灰釉.ロクロナデ/内:自然釉	外:10YR6/1 内:5Y5/3	
169	84R0t022	渥美	壺類	胴	84SX08	黄褐色土	—	—	—	13.4	外:刻画文/内:焼けはじけ	外:5Y3/1 内:2.5Y4/2	
170	84R0t024	渥美	壺類	胴	84SX08	黄褐色土	—	—	—	25.4	外:押印(長格子文)/内:輪積痕	外:10YR5/2 内:10YR6/1	
171	84R0t146	渥美	壺類	胴	84SX08 (トレンチ)	1〜3層一括	—	—	—	22.1	内:自然釉	外:10YR7/1 内:2.5Y5/3	
172	84R0t241	渥美	壺類	胴	84SX08 (追加トレンチ)	埋土一括	—	—	—	52.4	内:ヘラナデ	外:10YR2/1 内:7.5YR2/1	
173	84R0t242	渥美	壺類	胴	84SX08 (追加トレンチ)	埋土一括	—	—	—	125.0	内:ユビナデ	外:10YR6/2 内:10YR7/2	
174	84R0t025	常滑	甕	胴	84SX08	黄褐色土	—	—	—	37.3	外:クシ目.自然釉/内:ヘラナデ	外:10YR6/1 内:7.5YR5/1	
175	84R0t028	常滑	甕	胴	84SX08	黄褐色土	—	—	—	51.0	内:うすく降灰	外:5YR3/1 内:5YR3/4	
176	84R0t222	常滑	甕	胴	84SX08	6層	—	—	—	53.7	外:押印(長格子文)/内:ヘラナデ	外:7.5Y2/1 内:5Y2/1	
177	84R0t223	常滑	甕	胴	84SX08	6層	—	—	—	32.5	外:押印(長格子文)/内:ヘラナデ	外:2.5Y5/2 内:N6/1	
178	84R0t227	常滑	甕	胴	84SX08	6層	—	—	—	135.6	外:自然釉/内:ナデ	外:7.5Y4/3 内:10YR5/3	
179	84R0t254	常滑	甕	底部	84SX08 (トレンチ)	1〜2層一括	—	—	13.0	233.5	外:ヘラナデ/内:自然釉(厚く)	外:10YR5/2 内:2.5Y4/2	
180	84R0t029	常滑	壺類	胴	84SX08	黄褐色土	—	—	—	32.8	外:自然釉 内:自然釉	外:5Y4/2 内:2.5YR4/2	
181	84R0t261	常滑	壺類	胴	84SX08 (トレンチ)	1〜2層一括	—	—	—	22.0	外:自然釉/内:輪積痕	外:2.5Y5/3 内:7.5YR6/6	
182	84R0t240	常滑	壺類	胴	84SX08 (追加トレンチ)	埋土一括	—	—	—	95.6	外:押印(長格子文1段).自然釉/内:ヘラナデ	外:2.5Y6/2 内:7.5YR5/2	
183	84R0t077	常滑	壺類	底部	84SX08 (トレンチ内)	3層灰色粘土層埋土一括	—	—	—	79.7	外:押印(細格子文)/内:自然釉	外:5YR3/4 内:5YR4/3	
184	84R0t027	須恵器系	甕	胴	84SX08	黄褐色土	—	—	—	49.0	外:タタキ/内:当て具痕	外:2.5Y5/1 内:N7/	
185	84R0t197	須恵器系	甕	胴	84SX08	検出中(埋土最上層)	—	—	—	66.8	外:タタキ/内:当て具痕	外:7.5YR2/1 内:N5/	
186	84R0t221	須恵器系	甕	胴	84SX08	6層	—	—	—	42.8	外:タタキ/内:うすく降灰	外:10YR5/1 内:7.5YR6/1	
187	84R0t226	須恵器系	甕	胴	84SX08	6層	—	—	—	153.3	外:タタキ/内:焼けはじけ	外:2.5Y4/1 内:2.5Y6/1	
188	84R0t258	須恵器系	甕	胴	84SX08 (トレンチ)	1〜2層一括	—	—	—	53.9	外:タタキ/内:焼けはじけあり2次焼成	外:N5/ 内:2.5Y6/1	

表7-5 国産陶器観察表・登録台帳

*単位はcm

掲載 番号	登録番号	産地	器種名	部位	出土遺構	層位	口径	器高	底径	重量(g)	調整/特徴	色調	備考
189	84R0t259	須恵器系	甕	胴	84SX08 (トレンチ)	1~2層一括	-	-	-	51.5	外:タタキ/内:ヘラナデ	外:N5 内:N6/1	
190	84R0t076	須恵器系	甕	胴	84SX08 (トレンチ内)	3層灰色粘土層埋 土一括	-	-	-	68.7	外:タタキ/内:ヘラナデ	外:N6/1 内:N5/1	
198	84R0t045	渥美	甕	頸部	41~45-33~36	表土~検出面	-	-	-	66.4	外:ロクロナデ/内:自然釉 (降灰)	外:2.5Y2/1 内:7.5Y7/1, 2.5Y2/1	
199	84R0t315	渥美	甕	肩部	48・49-35 (84SX04)	埋土一括	-	-	-	143.8	外:自然釉,押印(長格子文)/ 内:ヘラナデ	外:2.5Y5/1 内:N7/	
200	84R0t316	渥美	甕	肩部	48・49-35 (84SX04)	埋土一括	-	-	-	204.7	外:押印(長格子文1段)自然 釉/内:輪積痕	外:5Y5/2 内:2.5Y3/1	
201	84R0t001	渥美	甕	胴	45・46-36~39 (6次調査トレンチ内)	埋め戻し土一括	-	-	-	33.8	外:押印(長格子文1段)	外:内:2.5Y6/1	
202	84R0t004	渥美	甕	胴	45・46-36~39 (6次調査トレンチ内)	埋め戻し土一括	-	-	-	27.9	外:自然釉(剥落)/内:ヘラナ デ	外:7.5Y7/1 内:N5	
203	84R0t010	渥美	甕	胴	45・46-36~39 (6次調査トレンチ内)	埋め戻し土一括	-	-	-	101.2	外:ヘラナデ/内:ヘラナデ	外:7.5YR7/1 内:10YR7/2	
204	84R0t014	渥美	大甕	胴	44-35	検出面	-	-	-	84.5	外:押印(長格子文1段)/内: ヘラナデ	外:2.5Y7/1 内:10YR6/1	
205	84R0t043	渥美	甕	胴	49-36(84T5)	埋土一括	-	-	-	27.3	外:ヘラナデ/内:ヘラナデ	外:2.5Y6/1 内:2.5Y5/1	
206	84R0t047	渥美	甕	胴	43-34付近	検出中	-	-	-	51.3	外:降灰釉/内:ヘラナデ	外:7.5YR5/1 内:7.5YR6/1	
207	84R0t085	渥美	甕	胴	47-35・36 (旧トレンチ内)	一括	-	-	-	42.0	内:降灰	外:10YR4/1 内:10YR3/2	
208	84R0t 086・087	渥美	甕	胴	47-35・36 (旧トレンチ内)	一括	-	-	-	85.1	外:押印(格子文)/内:ヘラナ デ	外:2.5Y4/1 内:2.5Y3/1	接合
209	84R0t089	渥美	甕	胴	47-35・36 (旧トレンチ内)	一括	-	-	-	64.7	外:押印(長格子文か)ヘラナ デ/内:ヘラナデ	外:N3/ 内:2.5Y5/1	
210	84R0t133	渥美	甕	胴	54・55-48・49 (土橋トレンチ)	表土一括	-	-	-	29.5	内:ヘラナデ	外:N6/1 内:10YR7/1	
211	84R0t203	渥美	甕	胴	47-35・36 (旧トレンチ内 (84SD17をナナメ に切るトレンチ))	埋土一括	-	-	-	32.3	外:押印(長格子文?)	外:10YR7/1 内:10YR6/2	
212	84R0t313	渥美	甕	胴	48・49-35 (84SX04)	埋土一括	-	-	-	55.6	外:ヘラナデ	外:7.5YR2/1 内:7.5YR3/1	
213	84R0t317	渥美	甕	胴	48・49-35 (84SX04)	埋土一括	-	-	-	116.9	内:ヘラナデ	外:N3 内:N4	
214	84R0t318	渥美	甕	胴	48・49-35 (84SX04)	埋土一括	-	-	-	129.5	外:ヘラナデ/内:自然釉	外:N4 内:2.5Y5/2	
215	84R0t319	渥美	甕	胴	48・49-35 (84SX04)	埋土一括	-	-	-	118.4	外:押印(長格子文)/内:ヘラ ナデ	外:7.5Y3/1 内:5Y4/1	
216	84R0t320	渥美	甕	胴	48・49-35 (84SX04)	埋土一括	-	-	-	88.1	内:自然釉	外:5Y5/1 内:5Y4/3	
217	84R0t041	渥美	広口壺	頸部	49-36(84T5)	埋土一括	-	-	-	20.7	外:ロクロナデ/内:降灰釉	外:2.5Y6/1 内:2.5Y5/2	
218	84R0t032	渥美	広口壺	肩	49-36(84T5)	埋土一括	-	-	-	18.8	外:自然釉/内:ヘラナデ	外:7.5Y4/3 内:7.5Y2/1	
219	84R0t084	渥美	広口壺	肩部	47-35・36 (旧トレンチ内)	一括	-	-	-	36.3	外:自然釉	外:5Y6/2 内:5Y6/1	
220	84R0t003	渥美	広口壺	肩	45・46-36~39 (6次調査トレンチ内)	埋め戻し土一括	-	-	-	15.9	内:焼けはじけ	外:10YR6/1 内:2.5Y6/1	
221	84R0t009	渥美	広口壺	胴	45・46-36~39 (6次調査トレンチ内)	埋め戻し土一括	-	-	-	40.9	外:ヘラケズリ/内:ヘラナデ	外:10YR4/1 内:N6/1	
222	84R0t016	渥美	広口壺	胴	44-35	検出中	-	-	-	55.1	外:押印(格子文),降灰内:コ ピナデ	外内:2.5Y7/1	
223	84R0t116	渥美	広口壺	胴	47-40	検出面	-	-	-	49.7	外:ロクロナデ/内:ヘラナデ	外:内:N7/0	
224	84R0t035	渥美	壺類	頸部	49-36(84T5)	埋土一括	-	-	-	9.1	外:ロクロナデ/内:降灰	外:2.5Y6/2 内:N7/	
225	84R0t196	渥美	壺類	頸部	51-42	表土~検出面	-	-	-	17.5	外:ハクリ,釉	外:7.5YR4/1 内:5YR5/1	
226	84R0t042	渥美	壺類	肩部	49-36(84T5)	埋土一括	-	-	-	35.3	内:ヘラナデ(輪積み痕)	外:内:N7/	
227	84R0t309	渥美	壺類	肩	48・49-35 (84SX04)	埋土一括	-	-	-	35.3	外:自然釉	外:2.5Y4/4 内:2.5Y5/3	
228	84R0t310	渥美	壺類	肩	48・49-35 (84SX04)	埋土一括	-	-	-	52.0	外:自然釉/内:ヘラナデ	外:10YR5/2 内:10YR6/2	
229	84R0t061	渥美	壺	肩	48-36	表土~検出面	-	-	-	16.0	外:刻画文(花卉文)	外:7.5YR5/3 内:5Y6/1	
230	84R0t063	渥美	壺	肩	48-36	表土~検出面	-	-	-	15.3	外:刻画文(花卉文)/内:ナデ	外:10YR6/1 内:10YR7/1	
231	84R0t007	渥美	壺類	胴	45・46-36~39 (6次調査トレンチ内)	埋め戻し土一括	-	-	-	24.8	内:ヘラナデ	外:10YR7/1 内:2.5Y7/1	
232	84R0t038	渥美	壺類	胴	49-36(84T5)	埋土一括	-	-	-	13.3	内:ヘラナデ	外:2.5Y5/1 内:2.5Y6/1	

表7-6 国産陶器観察表・登録台帳

*単位はcm

掲載番号	登録番号	産地	器種名	部位	出土遺構	層位	口径	器高	底径	重量(g)	調整/特徴	色調	備考
233	84R0t044	渥美	壺類	胴	49-36(84T5)	埋土一括	-	-	-	30.5	外:ロクロナデ/内:降灰	外:10R3/1 内:2.5Y7/1	
234	84R0t048	渥美	壺類	胴	42-33付近	検出中	-	-	-	30.4	外:ナデ	外:N2/1 内:N3/	
235	84R0t062・064	渥美	壺類	胴	48-36	表土～検出面	-	-	-	20.2	外:三筋文/内:ヘラナデ	外:2.5Y6/1 内:2.5Y7/1	接合
236	84R0t066	渥美	壺類	胴	48-36	表土～検出面	-	-	-	10.0	外:刻画文	外:2.5Y4/3 内:5Y6/1	
237	84R0t114	渥美	壺類	胴	47-40	検出面	-	-	-	16.0	外:ロクロナデ/内:ヘラナデ	外:7.5YR4/1 内:7.5YR3/1	
238	84R0t312	渥美	壺類	胴	48・49-35 (84SX04)	埋土一括	-	-	-	47.1	外:押印(長格子文)/内:ヘラナデ,輪積み痕	外:10YR3/1 内:10YR4/1	
239	84R0t050	常滑	甕	胴	42-33付近	検出中	-	-	-	148.1	外:タタキ/内:ヘラナデ	外:2.5YR4/1 内:N7/	
240	84R0t088	常滑	甕	胴	47-35・36 (旧トレンチ内)	一括	-	-	-	67.0	内:自然釉	外:5Y4/1 内:5Y7/2	
241	84R0t305・314	常滑	甕	胴	48・49-35 (84SX04)	埋土一括	-	-	-	78.9	外:押印(長格子文2段)/内:ヘラナデ	外:5Y5/3 内:10YR4/1	接合
242	84R0t011	常滑	甕	底部	45・46-36～39 (6次調査トレンチ内)	埋め戻し土一括	-	-	12.0	111.2	外:自然釉/内:降灰	外:7.5YR4/2 内:2.5Y6/2	
243	84R0t006	常滑	広口壺	胴	45・46-36～39 (6次調査トレンチ内)	埋め戻し土一括	-	-	-	30.9	内:ヘラナデ	外:7.5YR5/2 内:10YR6/3	
244	84R0t118	常滑	広口壺	胴	47-40	検出時	-	-	-	55.9	内:ヘラナデ	外:2.5YR4/2 内:7.5YR5/2	
245	84R0t008	常滑	壺類	胴	45・46-36～39 (6次調査トレンチ内)	埋め戻し土一括	-	-	-	45.4	内:ヘラナデ	外:10YR5/2 内:10YR6/2	
246	84R0t060	常滑	鉢類	胴	48-36	表土～検出面	-	-	-	33.3	外:ハクラク/内:スリ面	外,内:10YR7/1	
247	84R0t113	常滑	壺類	胴	47-40	検出面	-	-	-	23.5	外:ヘラナデ/内:ヘラナデ	外:2.5YR4/6 内:2.5YR6/6	
248	84R0t120	常滑	壺類	胴	41～45-33～36	検出時	-	-	-	33.7	外:降灰釉/内:ヘラナデ	外:7.5Y4/2 内:7.5YR4/1	
249	84R0t134	常滑	壺類	胴	54・55-48・49 (土橋トレンチ)	表土一括	-	-	-	18.2	外:釉垂れ/内:自然釉	外:10R3/1, 7.5Y4/3 内:2.5Y5/2	
250	84R0t173	常滑	壺類	胴	48-40(84T2)	埋土一括	-	-	-	26.1	外:自然釉	外:7.5Y4/2 内:10YR5/2	
251	84R0t174	常滑	壺類	胴	48-38	検出面	-	-	-	18.3	外:自然釉/内:ヘラナデ	外:7.5Y5/3 内:7.5YR5/4	
252	84R0t177	常滑	壺類	胴	48-37	表土～検出面	-	-	-	13.5	外:自然釉(垂れる)/内:ハクリ	外:2.5YR3/23 内:7.5YR43	
253	84R0t311	常滑	壺類	胴	48・49-35 (84SX04)	埋土一括	-	-	-	47.1	外:押印(格子文)/内:ナデ	外:2.5YR3/3 内:10YR4/1	
254	84R0t046	須恵器系	甕	胴	43-34付近	検出中	-	-	-	45.8	外:タタキ目/内:焼けはじけ	外:10YR3/1 内:10YR5/1	
255	84R0t115	須恵器系	甕	胴	47-40	検出面	-	-	-	28.9	外:タタキ	外:5B5/1 内:5B4/1	

*以下未掲載分 登録番号順

登録番号	産地	器種名	部位	出土遺構	層位	口径	器高	底径	重量(g)	特徴
84R0g004	常滑	壺類	胴	84SK03	埋土下層	-	-	-	1.3	
84R0t002	常滑	甕	胴	45・46-36～39 (6次調査トレンチ内)	埋め戻し土一括	-	-	-	18.8	
84R0t005	常滑	壺	胴	45・46-36～39 (6次調査トレンチ内)	埋め戻し土一括	-	-	-	7.8	
84R0t012	常滑	甕	口縁	48-36	表土～検出面	-	-	-	10.6	
84R0t013	渥美	甕	胴	48-40(84T2)	埋土一括	-	-	-	12.9	
84R0t015	常滑	壺類	胴	84SD17	埋土上層	-	-	-	12.7	
84R0t018	渥美	壺類	胴	48-39	検出面	-	-	-	9.3	
84R0t020	常滑	甕	胴	47-37	検出面	-	-	-	15.8	
84R0t021	常滑	甕	胴	84SX08	黄褐色土	-	-	-	14.7	
84R0t023	常滑	壺類	胴	84SX08	黄褐色土	-	-	-	10.1	
84R0t030	常滑	壺類	胴	49-36(84T5)	埋土一括	-	-	-	11.5	
84R0t031	渥美	壺類	胴	49-36(84T5)	埋土一括	-	-	-	8.3	
84R0t033	常滑	壺類	胴	49-36(84T5)	埋土一括	-	-	-	5.2	
84R0t036	渥美	甕	頸	49-36(84T5)	埋土一括	-	-	-	14.0	

表7-7 国産陶器観察表・登録台帳

登録番号	産地	器種名	部位	出土遺構	層位	口径	器高	底径	重量(g)	特徴
84R0t037	常滑	壺類	胴	49-36(84T5)	埋土一括	-	-	-	75.0	
84R0t040	常滑	壺類	頸	49-36(84T5)	埋土一括	-	-	-	7.6	
84R0t049	常滑	壺類	胴	42-33付近	検出中	-	-	-	8.7	
84R0t051	常滑	壺類	胴	84SD12	埋土上層	-	-	-	5.5	
84R0t052	常滑	甕	胴	84SD12	埋土上層	-	-	-	15.3	
84R0t054	常滑	甕	胴	84P692(84SX05)	検出～埋土上層	-	-	-	94.0	外:押印
84R0t058	常滑	壺類	胴	49-37	表土～検出面	-	-	-	7.6	外:自然釉
84R0t059	常滑	壺類	胴	49-37	表土～検出面	-	-	-	15.8	
84R0t065	渥美	壺類	胴	48-36	表土～検出面	-	-	-	4.4	
84R0t069	渥美	甕	胴	84SD24	埋土上層	-	-	-	10.4	
84R0t090	渥美	壺類	胴	84SD05(カクラン?)	埋土上層	-	-	-	11.3	
84R0t105	常滑	壺類	胴	84SD17新	埋土一括	-	-	-	17.6	
84R0t117	常滑	甕	胴	47-40	検出面	-	-	-	19.1	
84R0t121	常滑	甕	胴	41～45-33～36	検出時	-	-	-	9.2	
84R0t122	渥美	壺類	胴	41～45-33～36	検出時	-	-	-	14.8	
84R0t123	常滑	壺類	胴	41～45-33～36	検出時	-	-	-	10.7	
84R0t124	渥美	壺類	胴	41～45-33～36	検出時	-	-	-	3.6	
84R0t125	渥美	壺類	胴	41～45-33～36	検出時	-	-	-	11.6	
84R0t126	渥美	甕	口縁	41～45-33～36	検出時	-	-	-	8.5	
84R0t127	須恵器系	甕	胴	41～45-33～36	検出時	-	-	-	5.0	外:タタキ
84R0t128	渥美	甕	胴	41～45-33～36	検出時	-	-	-	13.1	外:押印(長格子文)
84R0t131	常滑	壺類	胴	49-41	表土～検出面	-	-	-	26.4	
84R0t132	常滑	壺類	胴	49-41	表土～検出面	-	-	-	12.5	外面:自然釉垂れ
84R0t135	須恵器系	甕	胴	84SX01	埋土上層	-	-	-	12.5	
84R0t136	常滑	壺類	胴	84SX01	埋土上層	-	-	-	6.3	
84R0t137	渥美	椀類	胴	84SX01	埋土上層	-	-	-	6.4	
84R0t139	渥美	壺類	胴	84SX01	埋土上層	-	-	-	6.3	
84R0t140	常滑	壺類	胴	84SX01	埋土上層	-	-	-	1.9	
84R0t142	常滑	壺類	胴	84SX08(トレンチ)	1～3層一括	-	-	-	7.2	
84R0t143	常滑	甕	胴	84SX08(トレンチ)	1～3層一括	-	-	-	14.0	外:押印(長格子文)
84R0t144	渥美	甕	胴	84SX08(トレンチ)	1～3層一括	-	-	-	10.2	
84R0t145	渥美	壺類	胴	84SX08(トレンチ)	1～3層一括	-	-	-	13.0	
84R0t148	常滑?	壺類	胴	84SX08(トレンチ)	1～3層一括	-	-	-	17.7	
84R0t149	常滑	壺類	胴	44-35(84SD25付近)	検出面	-	-	-	6.4	外:筋文.自然釉
84R0t150	常滑	壺類	胴	44-35(84SD25付近)	検出面	-	-	-	6.3	
84R0t159	渥美	壺類	胴	47-39	検出面	-	-	-	4.0	
84R0t160	常滑	壺類	頸	47-39	検出面	-	-	-	11.6	
84R0t163	渥美	壺類	胴	84SD17新～旧	埋土上層	-	-	-	3.3	
84R0t165	常滑	壺類	頸	84SD17新～旧	埋土上層	-	-	-	9.0	
84R0t166	常滑	壺類	口縁	48-36	表土～検出面	-	-	-	2.4	
84R0t167	渥美	壺類	胴	48-36	表土～検出面	-	-	-	6.3	
84R0t172	渥美	壺類	胴	48-40(84T2)	埋土一括	-	-	-	9.4	
84R0t175	常滑	甕	胴	48-38	検出面	-	-	-	5.2	
84R0t176	渥美	不明	胴	48-37	表土～検出面	-	-	-	2.8	
84R0t178	渥美	甕	胴	84SK13	埋土一括	-	-	-	17.6	
84R0t179	渥美	甕	胴	84SK13	埋土一括	-	-	-	26.6	
84R0t181	渥美	不明	不明	84SK03～04一括	埋土上層	-	-	-	0.7	

表7-8 国産陶器観察表・登録台帳

登録番号	産地	器種名	部位	出土遺構	層位	口径	器高	底径	重量(g)	特徴
84R0t182	常滑	壺類	頸	84SK03～04一括	埋土上層	—	—	—	6.8	
84R0t183	渥美	壺類	胴	84SK03～04一括	埋土上層	—	—	—	4.2	
84R0t184	常滑	壺類?	胴	84SK03～04一括	埋土上層	—	—	—	1.3	
84R0t188	渥美	甕	胴	47-35	検出面	—	—	—	35.1	
84R0t192	常滑	壺類	胴	48-39	検出面	—	—	—	11.3	
84R0t193	渥美	壺類	胴	48-40	検出面	—	—	—	7.9	
84R0t195	常滑	壺類	胴	84SD02	埋土一括	—	—	—	5.7	
84R0t198	渥美	壺類	胴	48・49-35(84SX04)	埋土一括	—	—	—	12.6	
84R0t199	渥美	甕	胴	48・49-35(84SX04)(調査区北端の落ち込み)	表土～崩落土一括	—	—	—	19.3	
84R0t202	渥美	碗類	胴?	84P116	埋土上層	—	—	—	2.5	
84R0t204	渥美	壺類	胴	46-40	検出面	—	—	—	10.7	
84R0t205	常滑	壺類	胴	84SX08	黒色土	—	—	—	12.4	
84R0t206	常滑	壺類	胴	84SX08	埋土上層(検出中)	—	—	—	13.7	
84R0t208	渥美	壺類	胴	84P229・230	埋土上層	—	—	—	6.8	
84R0t209	渥美	甕	胴	52-41調査区東端落ち込み(外堀側)		—	—	—	18.0	外:押印
84R0t211	常滑	壺類	胴	84SD17新～旧	埋土上層	—	—	—	17.2	外:自然釉
84R0t212	常滑	壺類	胴	84SD17新～旧	埋土上層	—	—	—	11.6	
84R0t213	常滑	壺類	胴	84SD17新～旧	埋土上層	—	—	—	10.4	
84R0t214	常滑	壺類	頸	84SD17新～旧	埋土上層	—	—	—	10.7	
84R0t215	常滑	壺類	胴	84SD17新～旧	埋土上層	—	—	—	7.2	
84R0t224	常滑	甕	胴	84SX08	6層	—	—	—	15.4	外:押印(長格子文2段)
84R0t225	常滑	壺類	胴	84SX08	6層	—	—	—	13.8	
84R0t235	渥美	甕	胴	84SD05(精査部分) 84SX01の上	埋土一括	—	—	—	24.0	外:押印(長格子文)
84R0t244	渥美	壺類	口縁	84SX01	埋土上～中層	—	—	—	3.1	
84R0t245	常滑	壺類	胴	84SX01	埋土上～中層	—	—	—	2.2	
84R0t246	渥美	甕	胴	84SX01	埋土上～中層	—	—	—	8.2	
84R0t262	常滑	壺類	胴	84SX08(トレンチ)	1～2層一括	—	—	—	19.8	
84R0t263	常滑	壺類	胴	84SX08(トレンチ)	1～2層一括	—	—	—	11.8	
84R0t264	渥美	甕	胴	84SX08(トレンチ)	1～2層一括	—	—	—	9.1	
84R0t265	常滑	壺類	底部	84SX08(トレンチ)	1～2層一括	—	—	—	15.2	外:自然釉
84R0t266	須恵器系	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	14.6	外:タタキ
84R0t267	須恵器系	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	13.6	外:タタキ
84R0t268	常滑	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	14.1	
84R0t269	渥美	壺類	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	10.5	
84R0t270	渥美	壺類	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	4.1	
84R0t274	常滑	甕	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	23.5	外:剥落
84R0t303	常滑	不明	不明	84SX01	埋土中層	—	—	—	3.4	
84R0t306	渥美	壺類	胴	48・49-35(84SX04)	埋土一括	—	—	—	10.8	
84R0t307	水沼	甕	胴	48・49-35(84SX04)	埋土一括	—	—	—	9.6	外:押印
84R0t308	渥美	壺類	胴	48・49-35(84SX04)	埋土一括	—	—	—	8.9	

表8 輸入陶磁器観察表

*単位はcm、()は復元値

掲載番号	登録番号	種別	器種	部位	出土遺構	層位	口径	器高	底径	重量(g)	分類	特徴	色調	備考	注記番号
1	84R0g38	白磁	皿類	底部	84P092	埋土上層	—	(1.2)	(4.8)	11.0	C期VI-2a~mb類		外2.5Y7/2灰黄 内2.5Y7/2灰黄		417
35	84R0g08	白磁	壺類	胴	84SK03~04一括	埋土上層	—	—	—	9.8	II類カ		外内2.5Y7/1灰白		394
36	84R0g10	白磁	耳壺	肩	84SK03~04一括	埋土上層	—	—	—	8.1	耳壺・III類	耳部剥落	外10Y7/1灰白 内5Y7/1灰白		394
92	84R0g06	白磁	皿	口縁	84SX01	埋土上層	(10.0)	(1.3)	—	2.7	D期VIIIa/III-2		外2.5Y7/1灰白 内2.5Y7/1灰白		392
93	84R0g07	白磁	皿	口縁	84SX01	埋土上層	(10.0)	(1.9)	—	4.8	D期VIIIa類		外2.5Y7/2灰黄 内2.5Y7/2灰黄		392
94	84R0g11	青磁	椀	胴	84SX01	埋土上層	—	—	—	21.7	D期I-3類	花文 (片肉彫)	外内5Y4/3暗オリーブ		395
95	84R0g27	白磁	皿	口縁	84SD3	埋土上層	(11.0)	(1.2)	—	1.7	C期V-2a類カ		外内2.5GY7/1 暗オリーブ		406
149	84R0g28	白磁	壺類	口縁	84SD17 (新~旧)	埋土上層	(9.6)	(1.2)	—	4.4	III類		外5Y7/1灰白 内5Y7/1灰白		407
157	84R0g01・16	白磁	壺類	胴部	84SX06・P692	埋土上層	(9.5)	(2.9)	—	23.3	II類		外内5Y7/2灰白	接合	388
191	84R0g02	青磁	椀	胴	84SX08 (トレンチ)	1~2層一括	—	—	—	5.6	II類 D期2-3類	片肉彫花文	外内5Y4/3暗オリーブ		389
256	84R0g19	青白磁	皿	口縁	47-37	検出面	(10.0)	(1.2)	—	1.0	—	内外面被熱	外5Y8/1灰白 内5Y8/1灰白		287
257	84R0g20	白磁	皿	口縁	48-39	検出面	(10.0)	(1.2)	—	1.6	C期VI-1b類		外2.5Y7/2灰黄 内2.5Y7/2灰黄		271
258	84R0g23	白磁	壺類	胴	48-39	検出面	—	(2.0)	—	11.6	III類(C~F期)		外2.5Y7/2灰黄 内2.5Y7/2灰黄		402
259	84R0g24	白磁	皿	口縁	48-38	検出面	(13.0)	(1.6)	—	1.7	C期VII2a類?		外5Y8/1灰白 内5Y8/1灰白		403
260	84R0g29	青磁	椀類	胴	48-36	表土~検出面	—	(1.5)	—	2.4	—	片肉彫花文	外内5Y5/2灰オリーブ		408
261	84R0g31	白磁	椀類	口縁	52-41調査区東端	なし	(15.0)	(2.2)	—	3.7	C期V-1a類カ		外7.5Y8/1灰白 内7.5Y8/1灰白		409

*以下未掲載分 登録番号順

*単位はcm、()は復元値

登録番号	種別	器種	部位	出土遺構	層位	口径	器高	底径	重量(g)	分類	調整/特徴	備考	注記番号
84R0g03	白磁	壺類	胴部	44-35(84SD25付近)	検出面	—	—	—	2.6	II類			390
84R0g05	白磁	椀類	胴	48・49-35	埋土一括	—	—	—	1.1	—			391
84R0g09	白磁	壺類	胴	84SK03~04一括	埋土上層	—	—	—	4.1	四耳壺・IV類	外面被熱か		394
84R0g12	白磁	壺類	胴	84T5(試掘トレンチ)	埋土一括	—	—	—	3.5	C期II類			396
84R0g13	白磁	椀類	胴	84T5(試掘トレンチ)	埋土一括	—	—	—	4.5	V・VI・VII類	外面被熱		396
84R0g14	白磁	椀類	胴	84P692(84SX05)	検出~埋土上層	—	—	—	2.4	分類不明			397
84R0g15	白磁	壺類	胴	84SX08	6層	—	—	—	3.8	III類			398
84R0g17	白磁	壺類	胴	48-38	検出面	—	—	—	9.2	III類			400
84R0g18	青磁?	椀類	胴	46-40	検出面	—	—	—	1.2	—			401
84R0g22	白磁	椀類	胴	84P331	埋土上層	—	—	—	1.0	IV類カ			418
84R0g25	白磁	壺類	胴	84SD12	埋土上層	—	—	—	2.0	II類カ			404
84R0g26	白磁?	壺類?	胴	84P377	埋土上層	—	—	—	1.4	C期III類?			405
84R0g30	白磁	皿類	胴	48-36	表土~検出面	—	—	—	1.1	不明			408
84R0g32	白磁	椀類	胴	48-39	検出面	—	—	—	0.7	—			411
84R0g33	白磁	椀類	胴	84T7(試掘トレンチ)	埋土一括	—	—	—	3.0	—			412
84R0g34	白磁	椀類	胴	48・49-35	表土~崩落土一括	—	—	—	3.5	—			413
84R0g35	白磁	椀類	胴	48-39	検出面	—	—	—	1.3	—			416
84R0g36	白磁	椀類	胴	48-37	表土~検出面	—	—	—	4.7	—			414
84R0g37	白磁	壺類	胴類	84SD17新・旧	埋土上層	—	—	—	2.4	—		外内2.5Y7/2灰黄	523
84R0g21	肥前	花瓶	底部	41~45-33~36	検出時	—	(4.3)	(5.4)	35.5	近世肥前青磁		外5GY7/1明緑灰 内2.5Y7/2灰黄	410

表9 瓦観察表・登録台帳

*単位はcm

掲載番号	登録番号	器種名	出土遺構	層位	長さ	幅	厚	重量(g)	残存率(%)	調整/特徴	色調	注記番号
262	84RT1	平瓦	84SK15	埋土一括	6.0	6.0	2.4	117.1	20		5Y6/1灰	317

表10-1 木製品観察表・登録台帳

*単位はcm

掲載番号	登録番号	器種名	出土遺構	層位	長さ	幅	厚さ	特徴	備考
263	84RW042	箸	84SK10	崩落土	24.8	0.7	0.6		
264	84RW044	箸	84SK10	崩落土	18.2	0.6	0.8		
265	84RW045	箸	84SK10	崩落土	13.6	0.6	0.4		
266	84RW046	箸	84SK10	崩落土	17.3	0.5	0.5		
267	84RW047	箸	84SK10	崩落土	12.6	0.6	0.9		
268	84RW048	箸	84SK10	崩落土	13.3	0.9	0.6		
269	84RW050	箸	84SK10	崩落土	11.9	0.5	0.6		
270	84RW056	箸	84SK10	崩落土	8.5	0.6	0.5		
271	84RW065	箸	84SK10	崩落土	5.8	0.8	0.6		
272	84RW067	箸	84SK10	崩落土	7.3	0.8	0.6		
273	84RW097	箸	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	18.4	0.9	0.6		
274	84RW104	箸	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	12.4	1.2	0.7		
275	84RW129	箸	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	5.4	0.4	0.4		
276	84RW153	箸	84SK13	中～下層(暗灰色土)	17.9	0.6	0.4		
277	84RW156	箸	84SK13	中～下層(暗灰色土)	14.7	0.6	0.5		
278	84RW004・005・006	下駄の歯	84SK10	崩落土	14.2	8.3	3.6	RW4～6は接合	3点接合
279	84RW093	付け札	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	22.6	0.7	1.2		
280	84RW018	紙ばさみ?	84SK10	崩落土	17.7	1.0	0.8		
281	84RW087	飾り具?	84SK10	埋土中層(黒色土層)崩落土	6.7	1.2	0.4		
282	84RW035	木葉状	84SK10	崩落土	6.6	2.1	0.2		
283	84RW038	鉄鏝状	84SK10	崩落土	11.3	0.3	0.4		
284	84RW040	扇骨?	84SK10	崩落土	6.6	1.2	0.4		
285	84RW041	扇骨?	84SK10	崩落土	13.6	0.6	0.4		
286	84RW133	不明製品	84SK10	埋土下層	15.1	4.3	1.8		
287	84RW003	建築材カ	84SK10	崩落土	14.7	6.0	2.1		
288	84RW052	角材(細)	84SK10	崩落土	8.7	0.9	0.5		
289	84RW162	角材(細)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	8.9	2.7	1.2	断面三角形	
290	84RW179・152	角材(細)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	21.8 推定値 (24.2)	1.1	0.7	先端焼け	RW152と接合
291	84RW017	板状(細)	84SK10	崩落土	16.5	1.4	0.6		
292	84RW101	板材(細)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	10.3	1.0	0.4		
293	84RW103	板材(細)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	10.3	0.8	0.7	絞り加工あり	
294	84RW180	板材(薄)	84SK13	下層	3.7	1.3	0.3		
295	84RW014	板材(中)	84SK10	崩落土	15.2	2.1	0.3		
296	84RW036	板材(中)	84SK10	崩落土	7.2	1.5	0.2		
297	84RW037・039	板材(中)	84SK10	崩落土	16.5	2.5	0.3		RW39と接合
298	84RW159	板材(広)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	6.5	5.6	1.5	二面面取り	
299	84RW183	板材	84SK13	下層	10.8	4.2	0.9		
300	84RW203	板材	84SK13	埋土一括(崩落土)	16.5	5.2	0.9	先端焼け	
301	84RW089	将棋駒	84SK10	埋土中層(黒色土層)崩落土	2.4	2.1	0.4	表:銀将、裏:金	
302	84RW145	側板(漆)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	24.3	3.2	0.5	他に3片のうるし片	
303	84RW146	つる?(結び)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	—	—	0.7		
304	84RW147	縄(結び目)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	4.8	3.6	1.7		

表10-2 木製品観察表・登録台帳

*単位はcm

登録番号	器種名	出土遺構	層位	長さ	幅	厚さ	特徴	備考
84RW001	建築材?	84SK10	崩落土	34.0	7.5	4.2		
84RW002	建築材?	84SK10	崩落土	32.5	5.8	3.8		
84RW007	板材	84SK10	崩落土	25.6	4.2	1.2		
84RW008	板材	84SK10	崩落土	22.8	2.6	1.2		
84RW009	板材(中)	84SK10	崩落土	22.0	3.8	2.8		
84RW010	板材(中)	84SK10	崩落土	14.9	3.7	1.4	厚い	
84RW011	角材(太)	84SK10	崩落土	10.3	2.6	1.6		
84RW012	角材(太)	84SK10	崩落土	12.4	2.8	1.5		
84RW013	角材(細)	84SK10	崩落土	13.7	1.7	1.5	多面面取り	
84RW015	角材(細)	84SK10	崩落土	19.8	1.3	1.1		
84RW016	箸or角材(細)	84SK10	崩落土	19.7	1.1	0.9		
84RW019	角材(細)	84SK10	崩落土	9.9	1.2	0.9		
84RW020	角材(細)	84SK10	崩落土	7.5	0.9	0.7		
84RW021	角材(細)	84SK10	崩落土	8.4	0.9	0.7		
84RW022	角材(細)	84SK10	崩落土	4.8	1.0	0.5		
84RW023	角材(細)	84SK10	崩落土	5.6	1.3	1.0		
84RW024	板材(広)	84SK10	崩落土	8.0	3.7	1.3		
84RW025	板材(中)	84SK10	崩落土	6.9	2.6	1.0		
84RW026	加工剤(挟り入り)	84SK10	崩落土	6.3	2.2	0.4		
84RW027	板材(中)	84SK10	崩落土	8.4	2.1	0.4		
84RW028	板材(中)	84SK10	崩落土	6.1	0.3	0.7		
84RW029	板材(広)	84SK10	崩落土	5.9	3.2	0.6		
84RW030	板材(中)	84SK10	崩落土	8.4	2.3	0.5		
84RW031	加工材(角材)	84SK10	崩落土	9.4	1.5	1.1		
84RW032	加工材(削ぎ)	84SK10	崩落土	9.4	1.4	0.5		
84RW033	板材(中)	84SK10	崩落土	6.9	2.0	0.5		
84RW034	板材(中)	84SK10	崩落土	8.1	1.7	0.5		
84RW043	箸状	84SK10	崩落土	21.4	0.7	0.3		
84RW049	箸	84SK10	崩落土	16.0	0.4	0.4		
84RW051	箸?	84SK10	崩落土	11.3	1.0	0.5		
84RW053	角材(細)	84SK10	崩落土	10.3	0.8	0.5		
84RW054	板材(細)	84SK10	崩落土	9.3	0.8	0.5		
84RW055	箸	84SK10	崩落土	8.5	0.5	0.4	うるし	
84RW057	箸	84SK10	崩落土	6.5	0.5	0.4	うるし	
84RW058	箸?	84SK10	崩落土	8.1	0.6	0.6		
84RW059	箸	84SK10	崩落土	8.7	0.4	0.3		
84RW060	箸	84SK10	崩落土	7.5	0.4	0.4	樺?	
84RW061	角材(細)	84SK10	崩落土	7.4	0.9	0.5		
84RW062	角材(細)	84SK10	崩落土	8.2	0.8	0.6	斜行の切断面、断面は猿類面	
84RW063	箸	84SK10	崩落土	7.6	0.7	0.7		
84RW064	棧か扇骨	84SK10	崩落土	7.4	0.8	0.2		
84RW066	角材(細)	84SK10	崩落土	8.1	0.8	0.4		
84RW068	扇骨?	84SK10	崩落土	8.7	0.6	0.3		
84RW069	扇骨?	84SK10	崩落土	6.9	0.6	0.3		
84RW070	扇骨?	84SK10	崩落土	7.1	0.4	0.3		
84RW071	扇骨?	84SK10	崩落土	6.4	0.8	0.4		
84RW072	箸	84SK10	崩落土	6.1	0.4	0.3		
84RW073	角材(細)	84SK10	崩落土	9.1	0.9	0.6		
84RW074	箸	84SK10	崩落土	6.0	0.7	0.5		
84RW075	箸	84SK10	崩落土	5.8	0.4	0.5		
84RW076	箸	84SK10	崩落土	6.0	0.3	0.2		
84RW077	箸	84SK10	崩落土	5.3	0.5	0.4		
84RW078	角材(細)	84SK10	崩落土	4.7	0.8	0.8		
84RW079	箸?	84SK10	崩落土	4.6	0.5	0.4		
84RW080	角材(細)	84SK10	崩落土	4.1	1.1	0.8		
84RW081	箸	84SK10	崩落土	4.5	0.6	0.4		

表10-3 木製品観察表・登録台帳

*単位はcm

登録番号	器種名	出土遺構	層位	長さ	幅	厚さ	特徴	備考
84RW082	箸	84SK10	崩落土	4.6	0.5	0.4		
84RW083	角材(細)	84SK10	崩落土	4.5	0.5	0.2	箸の部分かも	
84RW084	箸	84SK10	崩落土	2.9	0.5	0.2		
84RW085	樹皮	84SK10	崩落土	6.1	3.7	0.4		
84RW086	漆器椀	84SK10	埋土中層(黒色土層)崩落土	7.3	3.2	1.1		
84RW088	漆器椀	84SK10	中～下層(黒色土層)	7.4	2.2	0.9		
84RW090	樹皮	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	7.5	6.9	0.7		
84RW091	建築材	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	29.0	4.5	1.9		
84RW092	板材(細)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	32.5	1.9	0.9		
84RW094	杭	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	15.2	5.3	5.1		
84RW095	板材(細)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	17.5	1.0	0.3		
84RW096	板材(細)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	17.5	1.1	0.5		
84RW098	板材(広)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	16.6	2.3	2.9		
84RW099	板材(細)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	13.9	1.4	0.3		
84RW100	板材(細)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	14.8	8.1	0.3		
84RW102	板材(中)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	12.2	1.7	1.0		
84RW105	箸	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	10.8	0.9	0.5		
84RW106	箸	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	10.9	0.7	0.6		
84RW107	角材(中)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	8.3	2.5	1.0	断面	
84RW108	角材(中)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	8.2	2.1	1.2	断面ひし形	
84RW109	板材(中)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	8.3	2.1	0.8		
84RW110	板材(中)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	8.5	2.0	0.6		
84RW111	板材(中)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	10.1	1.5	0.5		
84RW112	箸	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	11.2	0.5	0.5		
84RW113	箸	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	9.6	1.1	0.8		
84RW114	板材(細)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	8.4	1.1	0.5		
84RW115	板材(細)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	8.6	1.2	0.8	先端炭化→付け木	
84RW116	板材(細)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	9.9	1.2	0.5		
84RW117	箸	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	10.8	0.7	0.6		
84RW118	角材(中)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	7.3	2.8	2.4		
84RW119	角材(中)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	5.9	2.5	1.9	欠けで断面三角	
84RW120	角材(中)	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	5.7	1.8	1.6		
84RW121	板材	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	4.3	2.9	0.5		
84RW122	板材	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	6.5	2.6	0.5		
84RW123	板材	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	4.7	2.0	0.6		
84RW124	板材	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	5.2	1.8	0.3		
84RW125	箸	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	6.2	0.7	0.6		
84RW126	箸	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	7.0	0.9	0.5		
84RW127	箸	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	6.0	0.8	0.5		
84RW128	箸	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	5.3	0.8	0.6		
84RW130	箸	84SK10	埋土中～下層(黒色土)	3.5	0.7	0.5		
84RW131	板材	84SK10	埋土下層	43.0	2.9	1.3		
84RW132	板材	84SK10	埋土下層	25.7	2.5	1.1		
84RW134	板材	84SK10	埋土下層	7.7	4.4	0.9		
84RW135	板材	84SK10	埋土下層	12.3	1.8	0.4		
84RW136	板材	84SK10	埋土下層	10.6	2.1	0.4		
84RW137	板材	84SK10	埋土下層	9.2	1.7	0.4		
84RW138	杭	84SK10	埋土下層	6.7	2.9	2.9		
84RW139	板材	84SK10	埋土下層	8.3	1.5	0.4		
84RW140	板材	84SK10	埋土下層	6.3	1.7	0.5		
84RW141	板材	84SK10	埋土下層	7.0	1.5	0.5		
84RW142	箸	84SK10	埋土下層	8.6	0.3	0.4		
84RW143	加工材(角棒状)	84SK10	埋土下層	5.4	1.0	0.5		
84RW144	加工材(角棒状)	84SK10	埋土下層	4.2	1.2	0.6		
84RW148	角材	84SK13	中～下層(暗灰色土)	25.5	4.5	2.6		
84RW149	板材	84SK13	中～下層(暗灰色土)	15.5	4.4	0.9		

表10-4 木製品観察表・登録台帳

*単位はcm

登録番号	器種名	出土遺構	層位	長さ	幅	厚さ	特徴	備考
84RW150	板材	84SK13	中～下層(暗灰色土)	18.3	2.5	0.9		
84RW151	板材	84SK13	中～下層(暗灰色土)	16.4	3.6	0.7		
84RW154	板材	84SK13	中～下層(暗灰色土)	14.1	2.2	1.0		
84RW155	板材	84SK13	中～下層(暗灰色土)	12.7	2.6	1.0		
84RW157	板材(細)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	13.5	1.1	0.5	先端炭化→付け木	
84RW158	板材(細)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	12.7	1.2	1.1		
84RW160	角材(太)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	7.9	4.2	2.9	断面、失敗品?	
84RW161	板材	84SK13	中～下層(暗灰色土)	9.0	4.0	1.3		
84RW163	角材(細)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	10.1	1.9	1.3		
84RW164	角材(細)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	10.3	2.0	1.1		
84RW165	板材(薄)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	9.3	2.5	0.4		
84RW166	板材	84SK13	中～下層(暗灰色土)	9.2	2.5	1.0		
84RW167	板材	84SK13	中～下層(暗灰色土)	8.2	2.4	0.5		
84RW168	角材(細)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	9.9	1.1	0.7		
84RW169	箸	84SK13	中～下層(暗灰色土)	10.8	0.5	0.5	RW170と同一個体か	
84RW170	箸	84SK13	中～下層(暗灰色土)	9.9	0.5	0.4	RW169と同一個体か	
84RW171	角材(小)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	9.1	0.4	0.2		
84RW172	角材(小)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	7.6	0.4	0.2		
84RW173	角材(細)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	5.9	0.7	0.5		
84RW174	角材(細)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	7.8	0.9	0.9		
84RW175	角材(太)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	3.8	2.9	0.8		
84RW176	板材	84SK13	中～下層(暗灰色土)	4.6	2.1	0.4		
84RW177	板材(細)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	8.2	0.9	0.1		
84RW178	角材(細)	84SK13	中～下層(暗灰色土)	7.9	0.7	0.5		
84RW181	縄	84SK13	下層	4.2	1.0	0.4		
84RW182	板材	84SK13	下層	23.7	5.6	1.2		
84RW184	板材	84SK13	下層	10.9	4.3	1.2		
84RW185	板材(太)	84SK13	下層	11.5	4.3	1.8		
84RW186	板材	84SK13	下層	12.1	3.2	1.1		
84RW187	板材(太)	84SK13	下層	11.2	2.8	1.4	断面三角形	
84RW188	板材(太)	84SK13	下層	8.4	2.8	1.1		
84RW189	角材	84SK13	下層	9.1	2.2	1.5		
84RW190	角材(細)	84SK13	下層	9.8	1.4	0.6		
84RW191	角材(細)	84SK13	下層	14.8	0.6	0.4		
84RW192	角材(細)	84SK13	下層	11.2	0.8	0.4		
84RW193	角材(細)	84SK13	下層	8.4	0.8	0.7	先端炭化	
84RW194	角材(細)	84SK13	下層	8.4	1.1	0.5	先端炭化	
84RW195	角材(細)	84SK13	下層	8.6	0.9	0.5	先端炭化	
84RW196	角材(細)	84SK13	下層	8.9	1.4	0.6	先端炭化	
84RW197	角材(細)	84SK13	下層	8.6	0.8	0.4		
84RW198	角材(細)	84SK13	下層	9.4	1.0	0.5	先端炭化	
84RW199	角材(細)	84SK13	下層	7.1	1.1	0.5		
84RW200	樹皮	84SK13	下層	5.4	3.2	0.3		
84RW201	角材	84SK13	下層	5.7	1.7	1.5	断面三角	
84RW202	角材(細)	84SK13	下層	5.4	1.8	0.7		
84RW204	杭	84SK13	埋土一括(崩落土)	10.6	4.2	3.8		

表11-1 注記番号一覧

注記番号	出土遺構	層位	品名	重量(g)	注記番号	出土遺構	層位	品名	重量(g)
001	48-36	表土～検出面	かわらけ	437.2	047	84P461	埋土上層	かわらけ	1.7
002	49-40	表土～検出面	かわらけ	7.5	048	84P500	埋土上層	かわらけ	6.7
003	49-38	検出面	かわらけ	36.7	049	84P507	埋土上層	かわらけ	4.7
004	49-39	検出面	かわらけ	43.9	050	84P421	埋土上層	かわらけ	5.9
005	84T5 (試掘トレンチ)	埋土一括	かわらけ	421.6	051	84P499	埋土上層	かわらけ	5.5
006	84P017	埋土上層	かわらけ	4.4	052	84P615	埋土上層	かわらけ	13.1
007	84P017	埋土上層	かわらけ	4.4	053	41～45-33～36	検出時	かわらけ	497.5
008	52-41(調査区東端 落ち込み外堀側)	なし	かわらけ	170.5	054	45-36	検出面	かわらけ	41.6
009	調査区南壁	表土	かわらけ	49.6	055	84P570	埋土上層	かわらけ	7.8
010	48-39	検出面	かわらけ	120.1	056	84P517	埋土上層	かわらけ	6.5
011	48-36	表土～検出面	かわらけ	97.6	057	46・47-34 (北端斜面)	表土～検出面	かわらけ	321.6
012	84P15	埋土上層	かわらけ	14.3	058	84P561	埋土上層	かわらけ	6.7
013	48-37	表土～検出面	かわらけ	72.8	059	84P384	埋土上層	かわらけ	1.4
014	49-39	検出面	かわらけ	3.8	060	84SD20	埋土上層	かわらけ	161.2
015	84P041	埋土上層	かわらけ	0.6	061	84P604	埋土上層	かわらけ	4.6
016	48-39	検出面	かわらけ	42.5	062	84SD13	埋土一括	かわらけ	1.2
017	47-39	検出面	かわらけ	93.6	063	84P416	埋土上層	かわらけ	2.9
018	84P37	埋土上層	かわらけ	6.0	064	84SX02	埋土一括	かわらけ	10.3
019	49-37	表土～検出面	かわらけ	85.7	065	84P554	埋土上層	かわらけ	7.4
020	84SD01	埋土上層	かわらけ	10.2	066	旧6次調査トレンチ	埋め戻し土中	かわらけ	99.7
021	84T1 (試掘トレンチ)	埋土一括	かわらけ	75.3	067	84P469	埋土上層	かわらけ	9.6
022	84P080	埋土上層	かわらけ	8.7	068	41～45-33～36グ リッド	表土～検出面	かわらけ	97.1
023	84P064	埋土上層	かわらけ	5.9	069	84P403	埋土上層	かわらけ	2.4
024	84SD02	埋土上層	かわらけ	14.1	070	84SX06	埋土上層	かわらけ	248.7
025	84T4 (試掘トレンチ)	埋土一括	かわらけ	16.1	071	6次調査トレンチ内	埋め戻し土一括	かわらけ	109.5
026	84P013	埋土上層	かわらけ	13.5	072	84P468	埋土上層	かわらけ	8.3
027	47-40	検出面	かわらけ	119.1	073	84SK04	埋土下層	かわらけ	164.1
028	84T2 (試掘トレンチ)	埋土一括	かわらけ	9.7	074	43-34付近	検出中	かわらけ	66.8
029	51-40	表土～検出面	かわらけ	2.9	075	84P616	埋土上層	かわらけ	17.3
030	51-40	表土～検出面	かわらけ	3.0	076	84P455	埋土上層	かわらけ	13.8
031	48-40	検出面	かわらけ	3.5	077	84P500	埋土上層	かわらけ	34.0
032	中央南北ベルト	埋土一括	かわらけ	22.5	078	84SX08	黄褐色土	かわらけ	30.2
033	48-38	検出面	かわらけ	17.3	079	42-33付近	検出中	かわらけ	49.1
034	84P018	埋土上層	かわらけ	1.6	080	84SX01	埋土上層～中層	かわらけ	191.3
035	48-40	検出面	かわらけ	17.1	081	84P571	埋土上層	かわらけ	20.2
036	74次北調査区内	表土～検出面	かわらけ	21.9	082	84P692(84SX05)	埋土上層～中層	かわらけ	231.6
037	84P092	埋土上層	かわらけ	15.9	083	84SK13	埋土一括(崩落土)	かわらけ	7.2
038	48-39	検出面	かわらけ	39.9	084	旧トレンチ (84SD17上)	一括	かわらけ	222.7
039	48-36	表土～検出面	かわらけ	119.9	085	84P435	埋土上層	かわらけ	11.5
040	84P079	埋土上層	かわらけ	2.8	086	84P569	埋土上層	かわらけ	18.8
041	84SD03	埋土上層	かわらけ	22.3	087	46-34	検出中	かわらけ	789.7
042	84T2 (試掘トレンチ)	埋土一括	かわらけ	18.5	088	84SK03	埋土上層	かわらけ	17.3
043	49-41	表土～検出面	かわらけ	46.9	089	84P602	埋土上層	かわらけ	21.8
044	51-42	表土～検出面	かわらけ	235.3	090	84SX08	6層	かわらけ	17.3
045	84P008	埋土上層	かわらけ	1.0	091	84P427	埋土上層	かわらけ	8.0
046	49-36	表土～検出面	かわらけ	456.8	092	84P404	埋土上層	かわらけ	3.3
					093	47-38	検出面	かわらけ	19.0
					094	84SX01	埋土上層	かわらけ	529.3
					095	84SK04	埋土上層	かわらけ	194.5

表11-2 注記番号一覧

注記番号	出土遺構	層位	品名	重量(g)	注記番号	出土遺構	層位	品名	重量(g)
096	84P692～P649	埋土上層	かわらけ	158.9	147	84SK02	埋土上層	かわらけ	11.0
097	84SD17新～旧	埋土上層	かわらけ	339.0	148	84P183	埋土上層	かわらけ	0.9
098	84P309	埋土上層	かわらけ	1.1	149	84P205.206	埋土上層	かわらけ	5.6
099	84P692(84SX05)	下層	かわらけ	32.8	150	84P310	埋土上層	かわらけ	28.8
100	48-39	検出面	かわらけ	23.7	151	84SX02	埋土上層	かわらけ	26.0
101	84P572	埋土上層	かわらけ	20.8	152	84P172	埋土上層	かわらけ	9.5
102	84P601	埋土上層	かわらけ	1.6	153	84P692(84SX05)	検出～埋土上層	かわらけ	1,080.6
103	84SX08	検出中 (埋土最上層)	かわらけ	9.7	154	84SK03～04一括	埋土上層	かわらけ	1,413.9
104	84P386	埋土上層	かわらけ	22.3	155	84P692(84SX05)	検出面～埋土上層	かわらけ	1,919.9
105	84SD25	埋土中(一括)	かわらけ	30.9	156	84SK05	埋土一括	かわらけ	16.8
106	84P307	埋土上層	かわらけ	5.3	157	84SX10	下層(崩落土)	かわらけ	2.6
107	84SK03	埋土上層	かわらけ	996.6	158	84SX01	埋土上層～中層	かわらけ	380.3
108	46-34	検出中	かわらけ	743.5	159	84SD24	埋土上層	かわらけ	3.1
109	84SD10	埋土上層	かわらけ	34.6	160	84P579	埋土一括	かわらけ	21.8
110	84SK03	埋土上層	かわらけ	14.5	161	84P642	埋土一括	かわらけ	38.1
111	84P603	埋土上層	かわらけ	31.9	162	84P385	埋土一括	かわらけ	9.7
112	84SK03	埋土上層	かわらけ	933.5	163	旧トレンチ内 (84SD17をナナメに 切るトレンチ)	一括	かわらけ	15.8
113	84SX01	埋土上層	かわらけ	27.8	164	84SK10	埋土上層	かわらけ	611.6
114	44-35	検出中	かわらけ	26.3	165	84SK10	埋土中層(黒)	かわらけ	7.8
115	47-37	検出面	かわらけ	6.2	166	84SK10	埋土中層(黒)	かわらけ	7.7
116	84SA01	埋土上層	かわらけ	9.6	167	84SD18	埋土一括	かわらけ	60.2
117	84P264	埋土上層	かわらけ	3.0	168	84SK03	下層(平面図あり)	かわらけ	163.8
118	84P229-230	埋土上層	かわらけ	4.0	169	84SX01	埋土下層シルト	かわらけ	45.2
119	84P088	埋土上層	かわらけ	1.9	170	84SK04	埋土上層	かわらけ	35.6
120	84SD15	埋土上層	かわらけ	1.6	171	84SD24	埋土上層	かわらけ	16.4
121	84P303	埋土上層	かわらけ	2.2	172	84P692(84SX05)	埋土上層	かわらけ	144.8
122	84P328	埋土上層	かわらけ	4.4	173	48-36グリッド	検出面	かわらけ	44.0
123	84P188	埋土上層	かわらけ	11.1	174	84P376	埋土上層	かわらけ	7.2
124	84P331	埋土上層	かわらけ	30.7	175	49-40	検出面	かわらけ	13.8
125	84P332	埋土上層	かわらけ	13.3	176	84SD17(旧)	埋土一括	かわらけ	51.6
126	47-36	検出面	かわらけ	62.7	178	48・49-35(84SX4)	埋土一括	かわらけ	502.9
127	84P306	埋土上層	かわらけ	1.9	179	84SX08	黒色層(2層)一括	かわらけ	1.3
128	84P150	埋土上層	かわらけ	2.1	180	84SD17新 暗渠	埋土一括 (旧トレンチ部分)	かわらけ	9.7
129	84P226	埋土上層	かわらけ	0.8	181	84SK15	埋土一括	かわらけ	47.9
130	49-37	検出面	かわらけ	1.5	182	土橋トレンチ	表土一括	かわらけ	34.7
131	84SD13	埋土上層	かわらけ	20.5	183	84P388	埋土上層	かわらけ	3.6
132	84P211	埋土上層	かわらけ	18.1	184	84P500	埋土一括	かわらけ	1.2
133	48-40	検出面	かわらけ	5.5	185	42-43	検出面	かわらけ	11.3
134	84P317	埋土上層	かわらけ	4.0	186	48・49-35(84SX4)	埋土一括	かわらけ	198.7
135	84P378	埋土上層	かわらけ	2.7	187	旧84SX07付近	検出面	かわらけ	18.6
136	48-38	検出面	かわらけ	4.0	188	84P435	埋土上層	かわらけ	8.8
137	84SD08	埋土上層	かわらけ	29.0	189	84P372	埋土上層	かわらけ	43.2
138	84P284	埋土上層	かわらけ	11.2	190	84P614	埋土上層	かわらけ	48.2
139	84P297	埋土上層	かわらけ	0.9	191	84SK15	中層(図あり)	かわらけ	46.1
140	84P158	埋土上層	かわらけ	3.1	192	84P644	埋土上層	かわらけ	2.2
141	47-35	検出面	かわらけ	62.8	193	84P501	埋土一括	かわらけ	17.6
142	84P318	埋土上層	かわらけ	3.7	194	旧トレンチ内	壁崩落土一括	かわらけ	29.1
143	84SD17新～旧	埋土上層	かわらけ	12.7	195	84P619	埋土一括	かわらけ	3.0
144	84SA01	埋土上層	かわらけ	4.0	196	84SD17新 暗渠	埋土一括	かわらけ	100.8
145	84SD12	埋土上層	かわらけ	159.4					
146	84P324	埋土上層	かわらけ	22.0					

表11-3 注記番号一覧

注記番号	出土遺構	層位	品名	重量(g)
197	84SK03	下層(平面図あり)	かわらけ	47.8
198	84SK10	埋土下層	かわらけ	31.2
199	84SD12	埋土一括	かわらけ	115.0
200	84SX06	埋土上層	かわらけ	134.0
201	84SX01	埋土中層	かわらけ	203.3
202	48・49-35(84SX4)	埋土一括	かわらけ	287.8
203	84SK15	埋土一括	かわらけ	100.8
204	84P569	埋土一括	かわらけ	84.4
205	84SD17(旧)45-35サブトレンチ内	埋土一括	かわらけ	48.7
206	84SD17新44-35	精査埋土部分	かわらけ	14.1
207	84P692(84SX05)	埋土一括	かわらけ	19.1
208	84SX10	埋土中層(黒)崩落	かわらけ	3.1
209	不明	不明	かわらけ	26.2
210	84P638	埋土一括	かわらけ	8.8
211	84P633	埋土一括	かわらけ	3.7
212	84SK04	埋土上層	かわらけ	21.1
213	84SD20	埋土上層	かわらけ	31.6
214	84SX08	埋土上層(検出中)	かわらけ	4.3
215	84P11	埋土上層	かわらけ	10.3
216	84SD03	埋土一括	かわらけ	12.0
217	84SD17新 暗渠	埋土中～下層	かわらけ	60.9
218	84SD17旧47-36サブトレンチ	埋土一括	かわらけ	7.1
219	84P412	埋土上層	かわらけ	11.7
220	84P500	埋土一括	かわらけ	11.0
221	84SD07	埋土一括	かわらけ	17.9
222	44-35(84SD25付近)	検出面	かわらけ	27.7
223	84P582	埋土上層	かわらけ	2.1
224	84P692(84SX05)	埋土上層	かわらけ	140.8
225	84P649	埋土一括	かわらけ	38.4
226	84SD17新 暗渠	埋土一括	かわらけ	15.3
227	84P377	埋土上層	かわらけ	5.4
228	84SX08(トレンチ)	1～3層一括	かわらけ	27.4
229	84SX08(トレンチ)	1～2層一括	かわらけ	165.6
230	84SD12(南側)	埋土一括	かわらけ	9.5
231	84P618	埋土一括	かわらけ	2.0
232	84P454	埋土上層	かわらけ	4.4
233	84P659	埋土一括	かわらけ	20.4
234	84P480	埋土上層	かわらけ	6.5
235	48-38	検出面	かわらけ	24.0
236	84SK10	埋土中層(黒)	かわらけ	4.7
237	84P639	埋土一括	かわらけ	13.6
238	84P427	埋土上層	かわらけ	1.9
239	84SK13	埋土一括	かわらけ	40.9
240	84SK13	埋土一括(崩落土)	かわらけ	54.7
241	84P434	埋土上層	かわらけ	12.1
242	84SK10	埋土上層	かわらけ	140.7
243	84SD18(北端)	埋土上層	かわらけ	54.2
244	84P372	埋土上層	かわらけ	7.3
245	土橋トレンチ	埋土一括	かわらけ	30.9
246	84SD10	埋土一括	かわらけ	18.5

注記番号	出土遺構	層位	品名	重量(g)
247	84SD11	埋土上層	かわらけ	12.0
248	84SD05(精査部分)84SX01の上	埋土一括	かわらけ	48.5
249	84P366	埋土上層	かわらけ	12.3
250	84SD05(カクラン?)	埋土上層	かわらけ	221.3
251	84SD13	埋土上層	かわらけ	2.1
252	84SD25と84SX08北端サブトレ	埋土一括	かわらけ	10.7
253	84SX08(追加トレンチ内)	埋土一括	かわらけ	95.4
254	84SX08(追加トレンチ内)	埋土一括	近世以降陶器	8.3
255	84P584	埋土一括	かわらけ	333.5
256	84SK10	埋土中層(黒色土)	かわらけ	421.6
257	84SD25	埋土上層	近代以降陶磁器	382.5
258	84SK10	埋土上～中層(崩落土)	かわらけ	13.0
259	84SK10	埋土中層(黒)崩落土	かわらけ	26.1
260	84SK10	埋土下層	かわらけ	17.3
261	84SK10	埋土中層(黒)崩落土	かわらけ	0.8
262	84SX08(追加トレンチ内)	埋土一括	近代以降陶磁器	148.3
263	84SX08	黒色層(2層)一括	近世以降(レンガ)	837.9
264	土橋トレンチ	表土一括	近代以降(土器)	159.7
265	84SX01	埋土上～中層	近代以降陶磁器?	4.2
266	84SX08(トレンチ)	1～3層一括	近代以降陶磁器	7.6
267	84SX08	検出中(埋土最上層)	近代以降	12.2
268	84SX08(トレンチ内)	3層灰色粘土層埋土一括	近世陶磁器	16.7
269	84SK10	埋土上層	近世陶磁器	0.7
270	43-34付近	検出中	近代以降陶磁器	7.3
271	48-39	検出面	輸入陶磁器	1.6
272	48・49-35(84SX4)	埋土一括	近代以降陶磁器	77.1
273	84SX08(追加トレンチ内)	埋土一括	近世以降(ガラス)	8.4
274	84SX08(トレンチ)	1～3層一括	近世以降(ガラス)	1.9
275	84SX08	黒色層(2層)一括	近代以降陶磁器?	21.3
276	84SX08(トレンチ)	1～2層一括	近代以降陶磁器	10.1
277	土橋トレンチ	表土一括	近代以降陶磁器	108.8
278	48・49-35(84SX4)	埋土一括	近世以降陶磁器	28.2
279	84P50	埋土上層	近世陶磁器	0.8
280	84SD18	埋土一括	近世陶磁器	3.3
281	84SX08	黒色土層	近代以降陶磁器	224.4
282	84SX08	黒色土層	近代以降(ハブラシ)	13.6

表11-4 注記番号一覧

注記番号	出土遺構	層位	品名	重量(g)	注記番号	出土遺構	層位	品名	重量(g)
283	41~45-33~36	検出時	近代以降陶磁器	77.5	321	84SX13	埋土一括(崩落土)	炭化物	0.2
284	84SX08	黄褐色土層	近代以降陶磁器	41.9	322	46-34	検出面	炭化物	0.7
285	51-42	表土~検出面	近世陶磁器	10.2	323	84SK03~04一括	埋土上層	炭化物	8.0
286	84T2 (試掘トレンチ)	埋土一括	近世陶磁器	3.2	324	84SK03	埋土上層	炭化物	1.3
287	47-37	検出面	輸入陶磁器	1.0	325	47-40	検出面	炭化物	1.8
288	42-33付近	検出中	近代以降陶磁器	2.3	326	84SX08	黒色層(2層)一括	炭化物	20.3
289	6次調査トレンチ内	埋め戻し土一括	近代以降陶磁器	1.1	327	84P692(84SX05)	埋土上層	粘土塊	26.1
290	49-40	表土~検出面	近世陶磁器	8.4	328	47-36	検出面	粘土塊	18.2
291	49-41	表土~検出面	近世以降陶磁器	5.3	329	48-37	表土~検出面	粘土塊	5.1
292	84T1 (試掘トレンチ)	埋土一括	近世陶磁器	5.2	330	84SD20	埋土一括	粘土塊	27.4
293	84SD01	埋土上層	近世陶磁器	2.5	331	46-34	検出面	粘土塊	22.3
294	土橋トレンチ	表土一括	現代	1.3	332	84SX10	埋土上層	粘土塊	5.0
295	42-33付近	検出中	近代以降陶磁器	1.0	333	47-40	検出面	粘土塊	4.7
296	84SD17新~旧	埋土上層	近世陶磁器	6.3	334	84SX08	6層	壁土	21.2
297	49-40	表土~検出面	近世以降陶磁器	31.5	335	48-36	表土~検出面	壁土	44.1
298	84P633	埋土一括	近世以降陶磁器	0.7	336	84SX08(トレンチ)	1~2層一括	壁土	68.4
299	48・49-35(84SX4)	埋土一括	近代以降 (ガラス)	22.7	337	46-36	検出面	壁土	19.5
300	44-35	検出面 (84SD25付近)	近代以降陶磁器	43.1	338	84SX08	黒色層(2層)一括	壁土	213.0
301	48・49-35(84SX4)	埋土一括	石器・石製品	523.1	339	84SX08(トレンチ)	1~3層一括	壁土	88.2
302	84SX01	埋土中層	石器・石製品 (砥石)	229.0	340	84SX08	黒色土	壁土	31.9
303	41~45-33~36	検出時	石器・石製品 (剥片)	17.2	341	48・49-35(84SX4)	埋土一括	壁土	138.7
304	84SX01	埋土上層	石器・石製品	378.9	342	46-34	検出中	壁土	152.8
305	84SX01	埋土上層	石器・石製品	534.8	343	84SX10	埋土中層(黒)崩落 土	壁土	10.7
306	42-33付近	検出中	石器・石製品 (剥片)	4.8	344	84SK13	埋土中~下層	骨	1.9
307	43-34付近	検出中	石器・石製品 (砥石)	70.4	345	欠番			
308	84SD17新 暗渠	埋土上層	石器・石製品	216.1	346	84SX08(トレンチ)	1~2層一括	鉄製品	8.0
309	84SK10	埋土上~中層(崩 落土)	石器・石製品 (剥片)	3.1	347	84SD17新 暗渠	埋土一括	鉄製品	7.6
310	84SK10	埋土下層	石器・石製品 (砥石)	89.2	348	84SD12(南側)	埋土一括	鉄製品	5.1
311	46-34	検出中	石器・石製品	19.9	349	84SD05(精査部 分)84SX01の上	埋土一括	鉄製品	71.4
312	42-33付近	検出中	石器・石製品 (剥片)	1.8	350	84SX01	埋土上~中層	鉄製品	11.0
313	84SX01	埋土下層	台石系・石器・ 石製品	562.5	351	48・49-35(84SX4)	埋土一括	鉄製品	2.2
314	84SX02	底面	炭化物	0.1	352	84P584	埋土一括	鉄製品	2.0
315	84SK10	埋土中層(黒色土)	炭化物	5.7	353	84SK15	埋土一括	鉄製品	6.8
316	48・49-35(84SX4)	埋土一括	種子	1.5	354	84SD03	埋土一括	鉄製品	5.8
317	84SX15	埋土一括	瓦	117.1	355	84SX08(トレンチ)	1~3層一括	鉄製品	221.2
318	84SX13	埋土一括	石器・石製品 (その他)	13.1	356	84SK15	埋土一括	鉄製品	2.6
319	84SX01	埋土上層	石器・石製品	1.4	357	84SK10	埋土上層	鉄製品	7.4
320	84SX01	埋土上~中層	石器・石製品 (砥石)	138.0	358	48・49-35(84SX4)	埋土一括	鉄製品	24.4
					359	84SX01	埋土上層~中層	鉄製品	23.9
					360	48・49-35(84SX4)	埋土一括	鉄製品	132.4
					361	46-34	検出中	鉄製品	80.1
					362	84P692(84SX05)	検出~埋土上層	鉄製品	13.4
					363	旧6次調査トレンチ	埋め戻し土中	鉄製品	10.8
					364	48・49-35(84SX4)	表土~崩落土一括	鉄製品	3.5
					365	84SK03~04一括	埋土上層	鉄製品	21.2
					366	84SD13	埋土上層	鉄製品	48.2
					367	41~45-33~36	表土~検出面	鉄製品	3.0
					368	49-38	検出面	鉄製品	28.5
					369	84SX01	埋土上層	鉄製品	2.8
					370	41~45-33~36(西)	表土~検出面	鉄製品	21.5

表11-5 注記番号一覧

注記番号	出土遺構	層位	品名	重量(g)
371	49-39	検出中	鉄製品	7.2
372	84SD12	埋土上層	鉄製品	26.9
373	84P182	埋土上層	鉄製品	57.3
374	47-35	検出面	鉄製品	1.9
375	84SX08	黒色土層	鉄製品	1.8
376	84SX08	黄褐色土層	鉄製品	6.7
377	41~45-33~36	検出時	鉄製品	40.7
378	47-39	検出面	鉄製品	6.2
379	84SD13	埋土上層	鉄製品	32.9
380	47-36	検出面	鉄製品	1.2
381	48-40	検出面	鉄製品	69.5
382	6次調査トレンチ内	埋め戻し土一括	鉄製品	33.3
383	46-34	検出面	鉄製品	3.7
384	84SD17新~旧	埋土上層	鉄製品	16.2
385	84SD13(西側)	埋土一括	鉄製品	15.4
386	旧6次調査トレンチ	埋め戻し土中	鉄製品	4.6
387	84SX01	埋土上層~中層	鉄製品	2.5
388	84SX06	埋土上層	輸入陶磁器	13.3
389	84SX08	1~2層一括	輸入陶磁器	5.6
390	44-35	検出面	輸入陶磁器	2.6
391	48・49-35(84SX4)	埋土一括	輸入?白磁	1.1
392	84SX01	埋土上層	輸入陶磁器	7.6
393	84SX03	埋土下層	輸入陶磁器	1.3
394	84SK03~04一括	埋土上層	輸入陶磁器	21.9
395	84SX01	埋土上層	輸入陶磁器	21.7
396	84T5 (試掘トレンチ)	埋土一括	輸入陶磁器	8.0
397	84P692(84SX05)	検出~埋土上層	輸入陶磁器	2.4
398	84SX08	6層	輸入陶磁器	3.8
399	84P692(84SX05)	検出面~埋土上層	輸入陶磁器	10.0
400	48-38	検出面	輸入陶磁器	9.2
401	46-40	検出面	輸入陶磁器	1.2
402	48-39	検出面	輸入陶磁器	11.6
403	48-38	検出面	輸入陶磁器	1.7
404	84SD12	埋土上層	輸入陶磁器	2.0
405	84P377	埋土上層		1.4
406	84SD03	埋土上層	輸入陶磁器	1.7
407	84SD17新~旧	埋土上層	輸入陶磁器	4.4
408	48-S36	表土~検出面	輸入陶磁器	3.6
409	52-41調査区東端落ち込み(外堀側)	なし	輸入陶磁器	3.7
410	41~45-33~36	検出時	輸入陶磁器	35.5
411	48-39	検出面	輸入陶磁器	0.7
412	84T1 (試掘トレンチ)	埋土一括	輸入陶磁器	3.0
413	48・49-35(84SX4)	表土~崩落土一括	輸入陶磁器	3.5
414	48-37	表土~検出面	輸入陶磁器	4.7
415	41~45-33~36	表土~検出面	石器・石製品	9.6
416	48-39	検出面	輸入陶磁器	1.3
417	84P92	埋土上層	輸入陶磁器	11.0
418	84P331	埋土上層	輸入陶磁器	1.0
419	欠番			

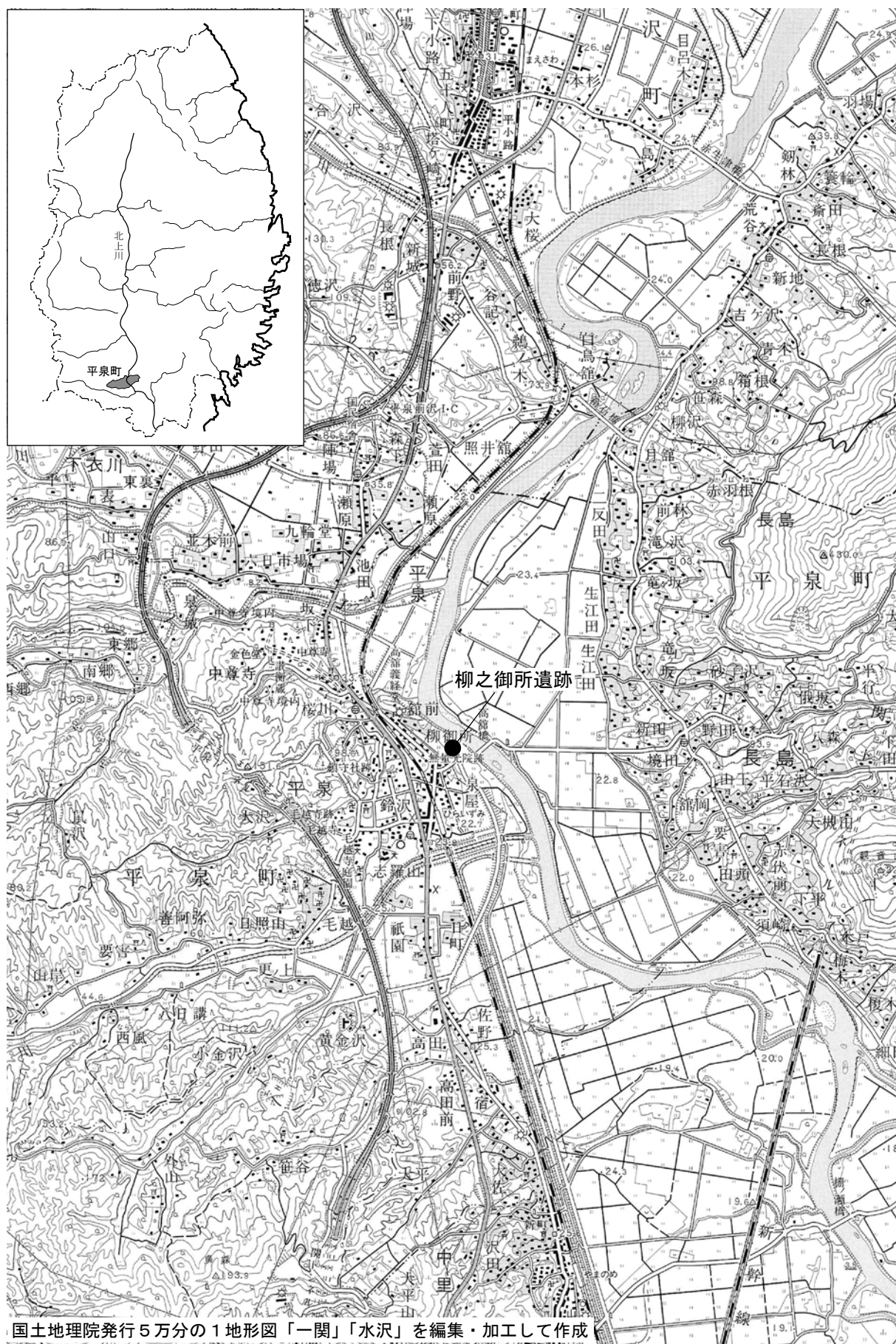
注記番号	出土遺構	層位	品名	重量(g)
420	84SX01	埋土中層	国産陶器	1,008.8
421	84SD05(精査部分) 84SX1の上	埋土一括	国産陶器	185.5
422	84P604	埋土上層	国産陶器	54.7
423	84SX13	埋土一括	国産陶器	71.0
424	84SX10	埋土中層(黒色土)	国産陶器	230.3
425	84SD17新~旧	埋土上層	国産陶器	76.4
426	84SX08	埋土上層(検出中)	国産陶器	13.7
427	84P116	埋土上層	国産陶器	2.5
428	47-40	検出面	国産陶器	192.9
429	84SD17新 暗渠	埋土一括	国産陶器	60.5
430	46-40	検出面	国産陶器	10.7
431	84SD17新~旧	埋土上層	国産陶器	71.1
432	44-35(84SD25付近)	検出面	国産陶器	12.7
433	84SD02	埋土一括	国産陶器	5.7
434	84SK03	埋土中~下層	国産陶器	49.0
435	84SX01	埋土上~中層	国産陶器	451.7
436	84SD17新 暗渠	埋土上層	国産陶器	168.8
437	84SX08 (追加トレンチ内)	埋土一括	国産陶器	399.1
438	84SD17新 暗渠	埋土一括	国産陶器	286.8
439	84SD17新	上層	国産陶器	134.7
440	84SX08 (トレンチ内)	3層灰色粘土層 埋土一括	国産陶器	222.3
441	旧トレンチ内 (SD17をナナメに 切るトレンチ)	埋土一括	国産陶器	32.3
442	84P247	埋土一括	国産陶器	25.0
443	48-40	検出面	国産陶器	7.9
444	84SX01	埋土上層~中層	国産陶器	340.9
445	84SX01	埋土上層	国産陶器	88.0
446	48・49-35(84SX4)	埋土一括	国産陶器	1,165.1
447	84SX01	埋土上層	国産陶器	1,708.5
448	84SD17新 暗渠	埋土一括	国産陶器	618.9
449	84SX08(トレンチ)	1~3層一括	国産陶器	116.8
450	84SD05集石付近	埋土上層	国産陶器	104.3
451	84SD05集石付近	埋土一括	国産陶器	161.3
452	84SK03~04一括	埋土上層	国産陶器	100.2
453	84SD17新 暗渠(旧 トレンチ部分)	埋土一括	国産陶器	228.9
454	84SX08	6層	国産陶器	447.1
455	41~45-33~36	検出時	国産陶器	148.1
456	84SD05(カクラン?)	埋土上層	国産陶器	195.0
457	84SD24	埋土上層	国産陶器	112.9
458	84SD17新 暗渠	埋土一括	国産陶器	167.7
459	84SX08(トレンチ)	1~2層一括	国産陶器	1,074.1
460	土橋トレンチ	表土一括	国産陶器	47.7
461	84P385	埋土一括	国産陶器	21.6
462	84SD17新 暗渠	埋土上層	国産陶器	280.3
463	欠番			
464	44.45-38.39 84SD5	埋土一括	国産陶器	69.8

表11-6 注記番号一覧

注記番号	出土遺構	層位	品名	重量(g)
465	旧トレンチ内	壁崩落土一括	国産陶器	19.2
466	84SD17新 暗渠	埋土中～下層	国産陶器	185.6
467	84SD17旧	埋土一括	国産陶器	60.5
468	48-36	表土～検出面	国産陶器	99.2
469	欠番			
470	49-37	表土～検出面	国産陶器	48.2
471	84P692(84SX05)	検出～埋土上層	国産陶器	32.3
472	84SD12	埋土上層	国産陶器	38.0
473	48-38	検出面	国産陶器	23.5
474	欠番			
475	48-36	表土～検出面	国産陶器	8.8
476	84SK15	埋土一括	国産陶器	16.6
477	44-35	検出中	国産陶器	55.1
478	47-35	検出面	国産陶器	35.1
479	48・49-35(84SX4)	埋土一括	国産陶器	12.6
480	48・49-35(84SX4)	表土～崩落土一括	国産陶器	19.3
481	48-39	検出面	国産陶器	11.3
482	84SX08	黒色土	国産陶器	12.4
483	84SX08	検出中 (埋土最上層)	国産陶器	66.8
484	52-41調査区東端落ち込み(外堀側)	なし	国産陶器	18.0
485	84SD17新～旧	埋土上層	国産陶器	12.7
486	48・49-35(84SX4)	埋土上層	縄文	6.6
487	84SX01	埋土上層	かわらけ	248.8
488	48・49-35(84SX4)	表土崩落土一括	かわらけ	334.0
489	48・49-35(84SX4)	埋土上層	かわらけ	53.9
490	48・49-35(84SX4)	埋土上層	かわらけ	418.6
491	84SK10	埋土上～中層 (崩落土)	かわらけ	861.1
492	84SX08(トレンチ)	1～2層一括	かわらけ	663.5
493	84SD17新～旧	埋土上層	かわらけ	411.4
494	49-41	表土～検出面	国産陶器	39.1
495	48-36	表土～検出面	国産陶器	10.6
496	44-35	検出中	国産陶器	84.5
497	84T2	埋土一括	国産陶器	12.9
498	41～45-33～36	表土～検出面	国産陶器	66.4
499	84T2	埋土一括	国産陶器	35.5
500	47-37	検出面	国産陶器	15.8
501	43-34付近	検出中	国産陶器	97.1
502	48-39	検出面	国産陶器	9.3
503	84SK03	埋土上層	国産陶器	30.5
504	旧トレンチ内 (84SD17上)	一括	国産陶器	295.1
505	84SX08	黄褐色土層	国産陶器	314.9
506	6次調査トレンチ内	埋め戻し土一括	国産陶器	459.0
507	84SD17新	精査埋土	国産陶器	553.1
508	84T5	埋土一括	国産陶器	234.9
509	42-33付近	検出中	国産陶器	187.3
510	48-37	表土～検出面	国産陶器	16.2
511	51-42	表土～検出面	国産陶器	17.5
512	47-39	検出面	国産陶器	15.5

注記番号	出土遺構	層位	品名	重量(g)
513	84P377	埋土上層	国産陶器	23.0
514	84P229.230	埋土上層	国産陶器	6.8
515	84SK10	埋土下層	粘土塊	10.4
516	84SK10	下層(崩落土)	かわらけ	8.4
517	48・49-35(84SX4)	埋土一括	近世陶磁器	3.6
518	48・49-35(84SX4)	埋土一括	近世陶磁器	2.1
519	51-42	表土～検出面	近代以降陶磁器	2.2
520	84SX08(トレンチ)	1～3層一括	近世陶磁器	25.8
521	84SX08(トレンチ)	1～3層一括	近世陶磁器	1.5
522	84T2	埋土一括	近代以降陶磁器	2.9
523	84SD17新～旧	埋土上層	輸入陶磁器	2.4
524	84SD17新 暗渠	埋土一括	近世陶磁器	237.6
525	84SK10	埋土中層(黒色土)	土壁	17.9
526	49-41	検出面	かわらけ	42.9
527	84SK03	埋土中～下層	かわらけ	104.1
528	41～45-33～36	検出時	縄文	18.1
529	49-36	表土～検出面	縄文	5.7
530	49-36	表土～検出面	土壁	26.8
531	41～45-33～36	検出時	剥片	1.6

圖 版

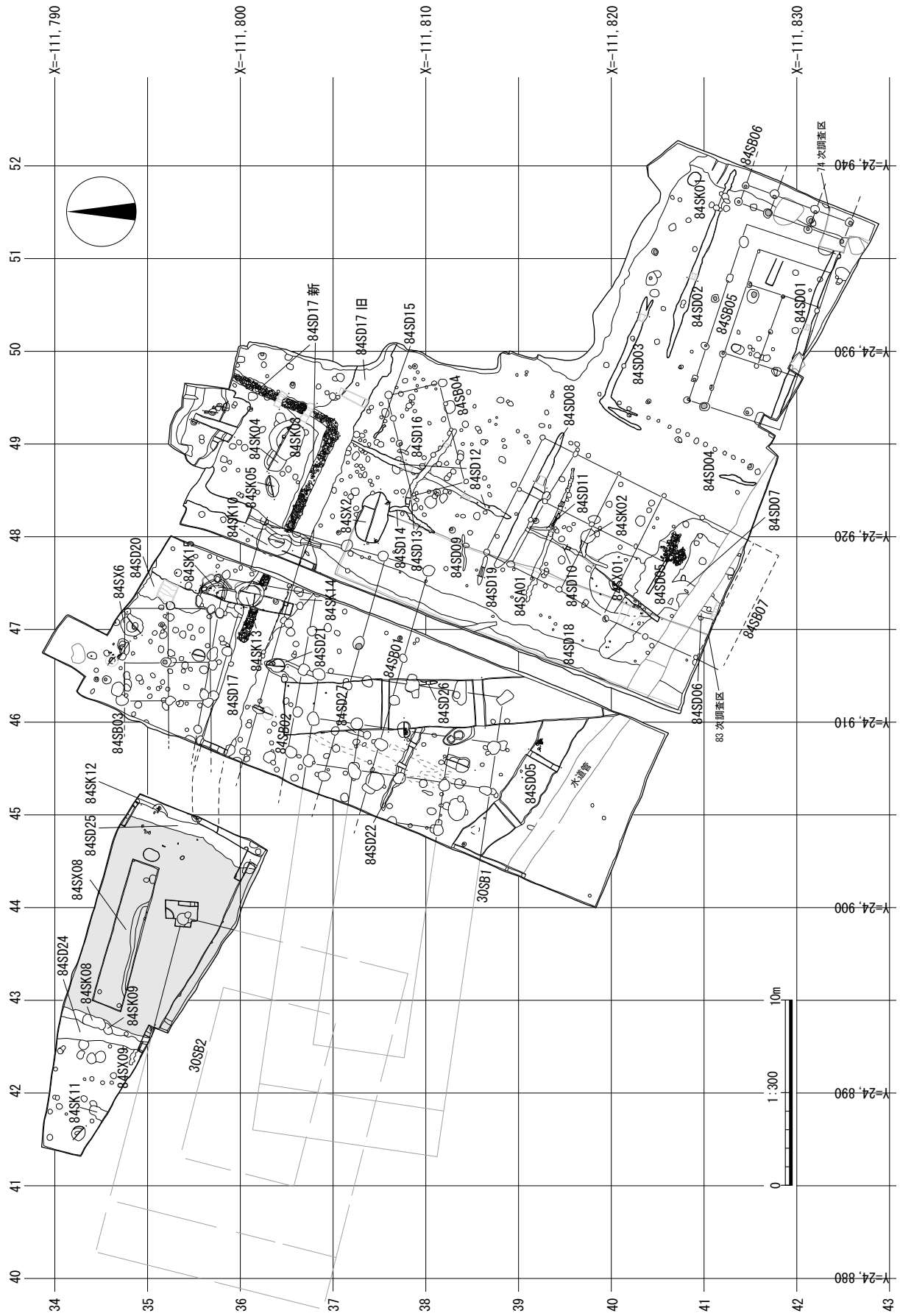


国土地理院発行5万分の1地形図「一関」水沢を編集・加工して作成

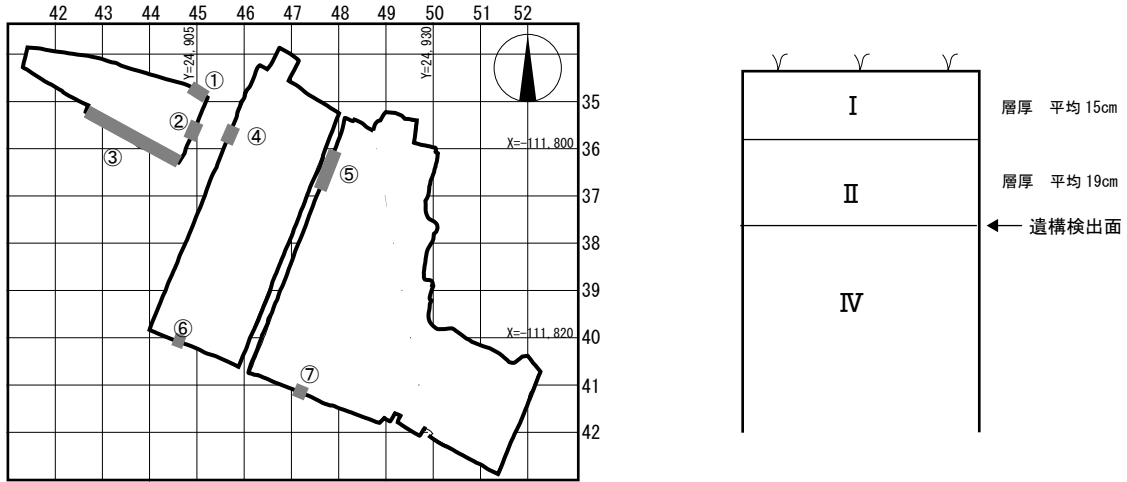
遺跡位置図 (1/50000)



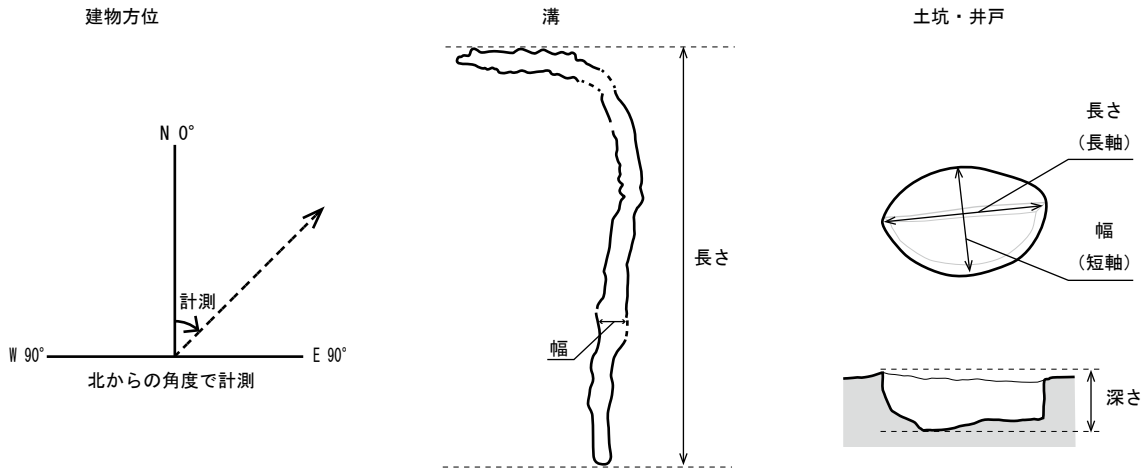
調査区位置図 (1/1500)



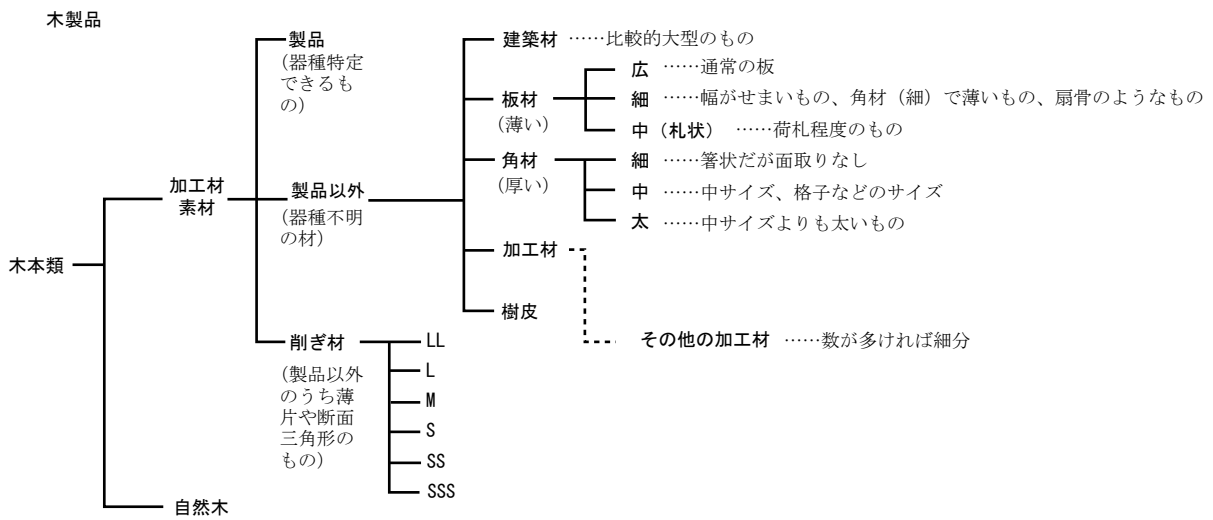
遺構配置図 (1/300)



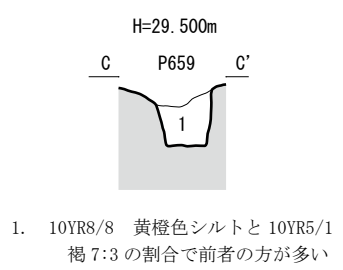
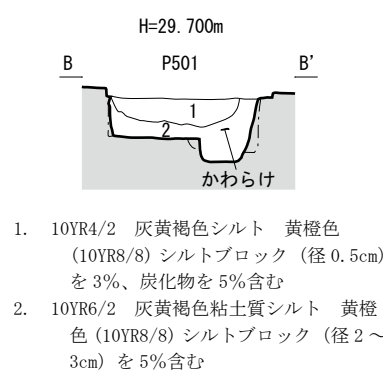
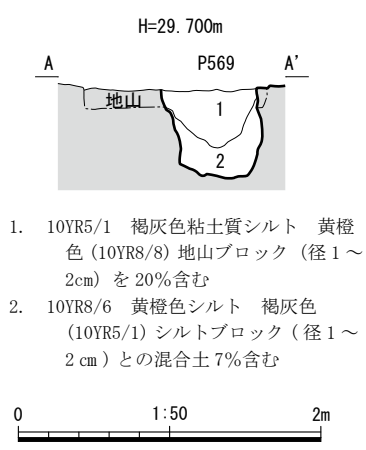
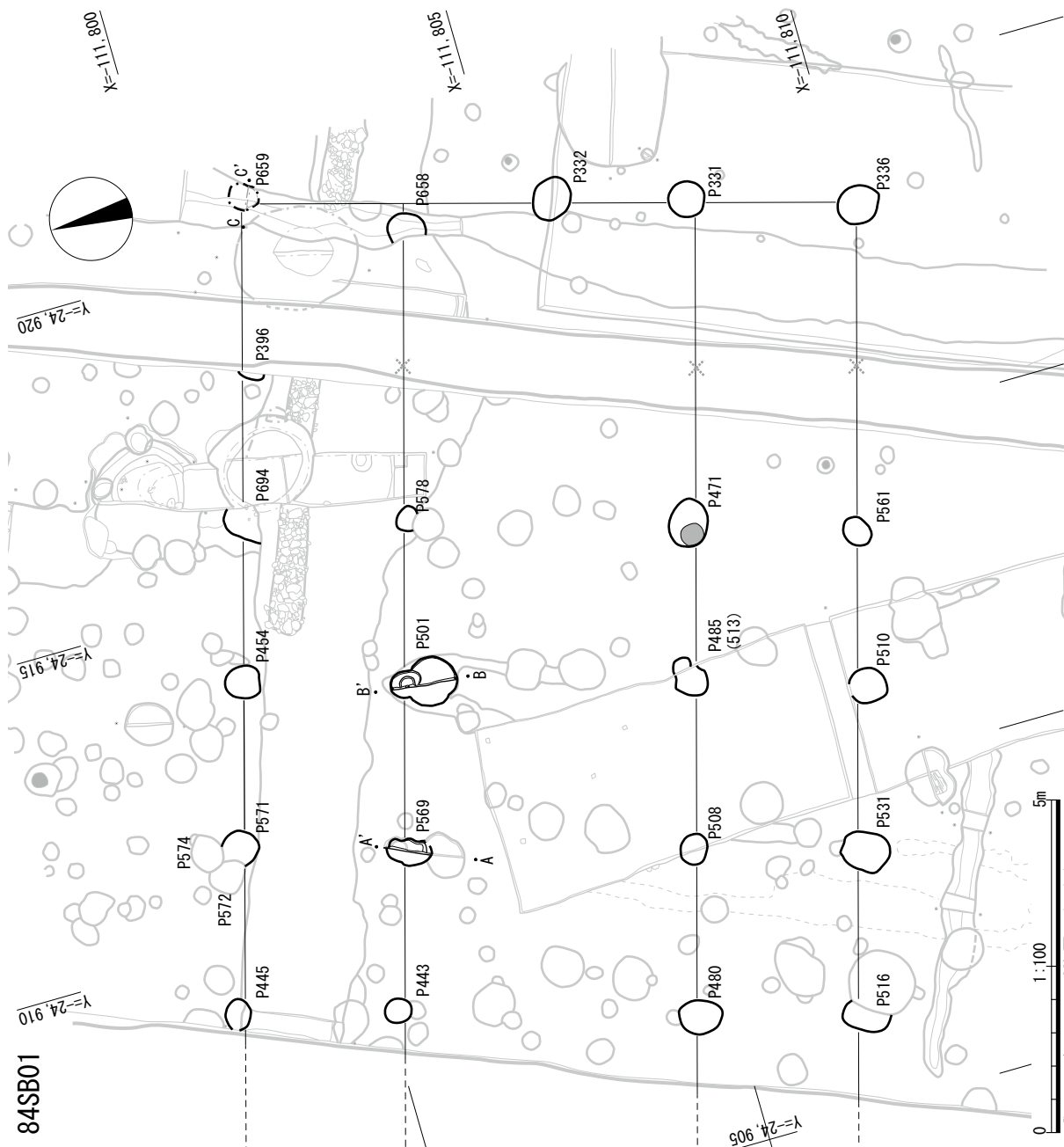
基本土層確認位置図・基本土層模式図



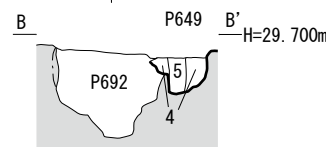
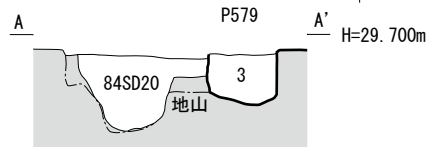
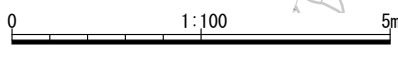
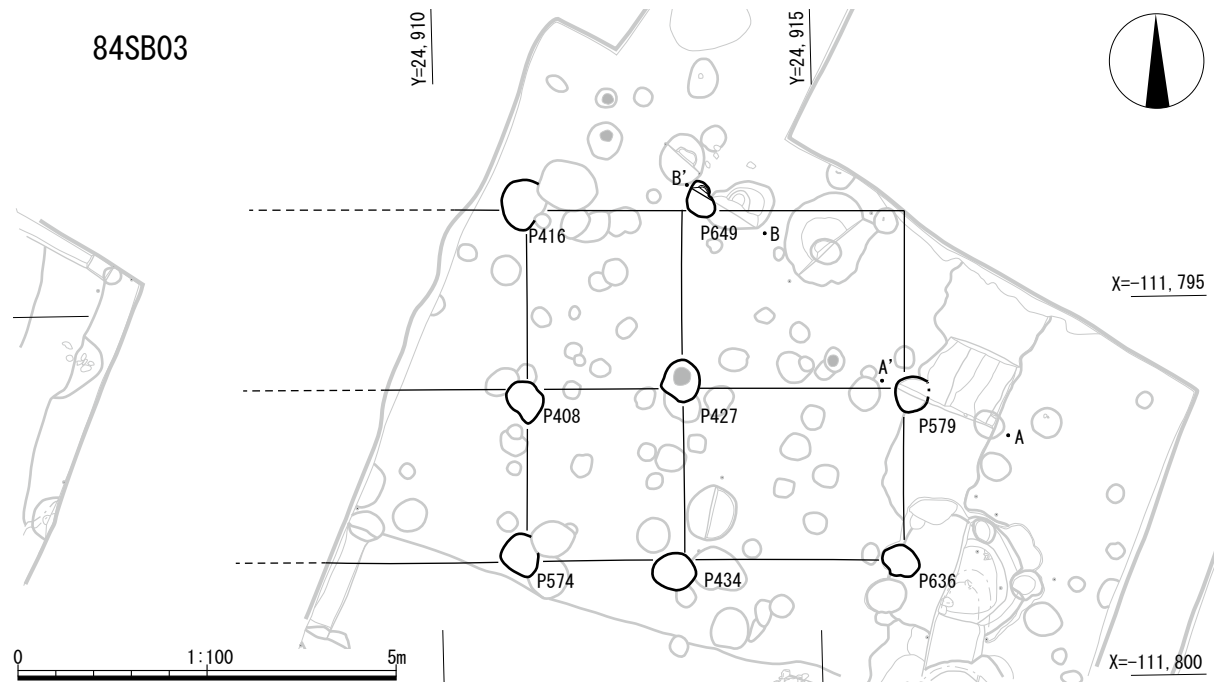
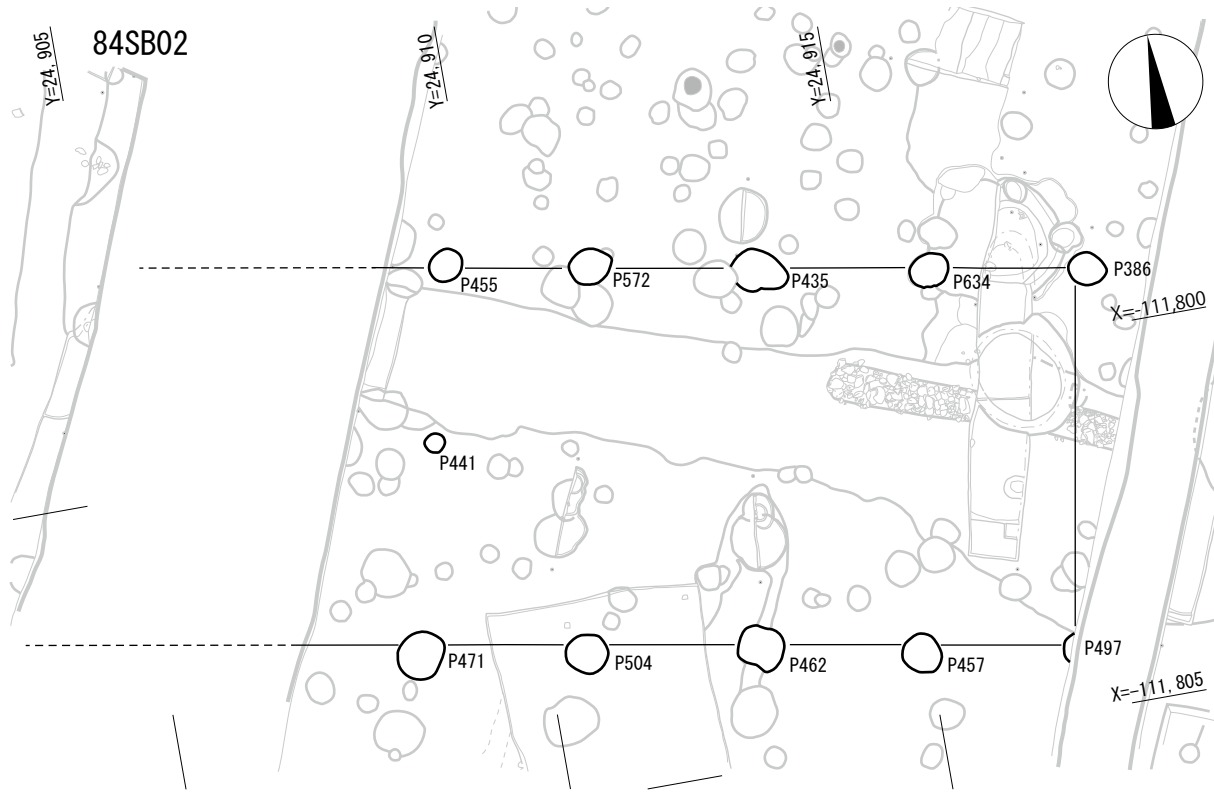
測定位置図



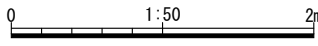
木製品分類図



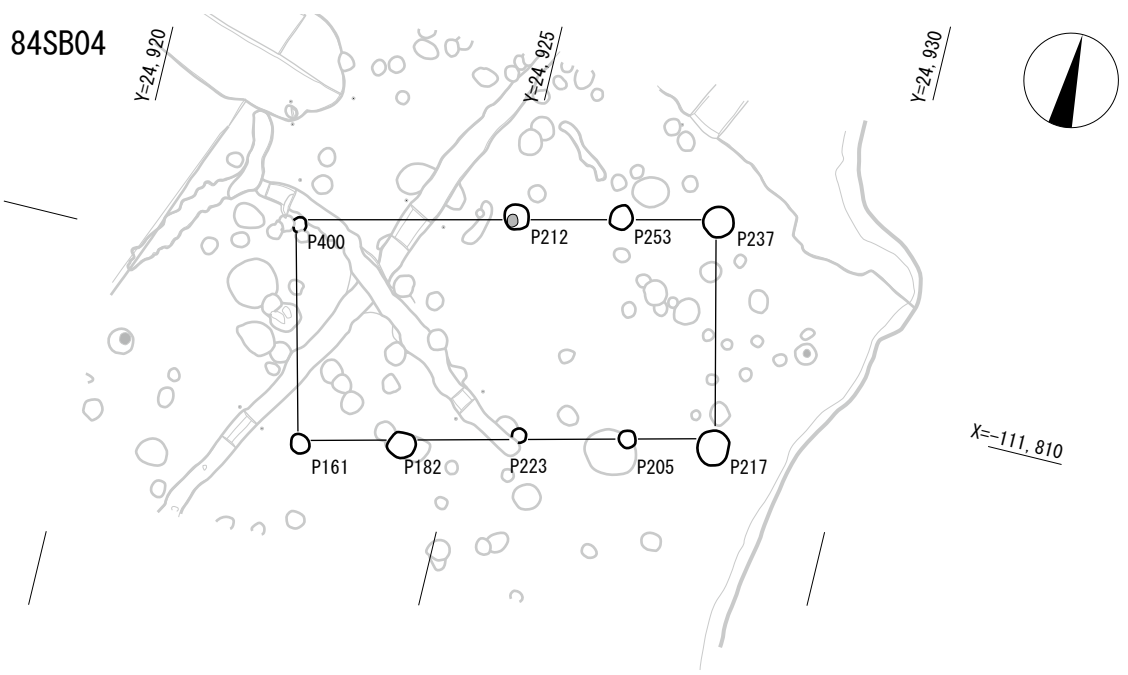
84SB01 平断面図



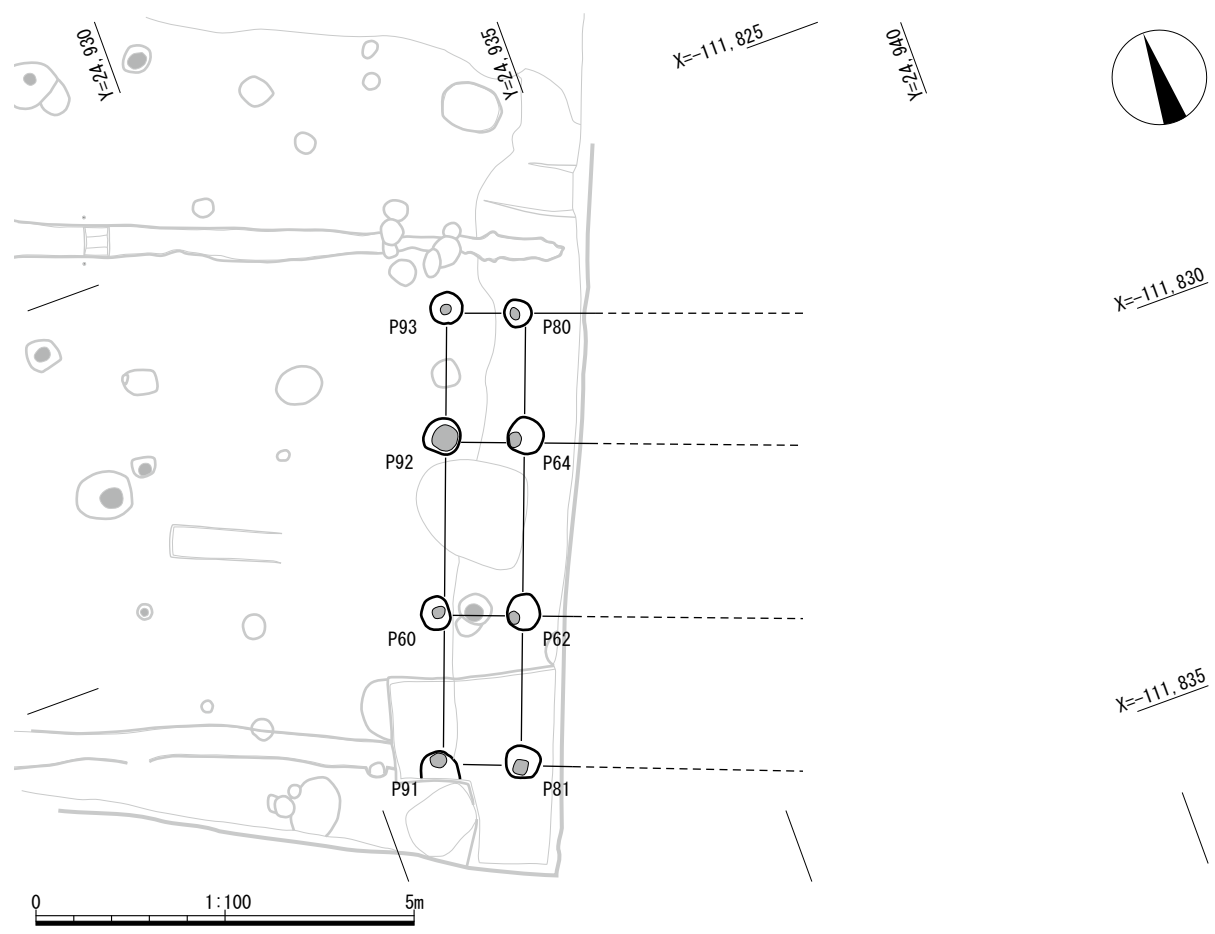
- 3. 10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) シルトブロック (径5~10cm) を30%含む
- 4. 10YR5/1 褐灰色シルト 黄褐色 (10YR8/6) シルトブロック (径0.5~1cm) を10%含む
- 5. 10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト 炭化物1%、黄橙色 (10YR8/6) ブロック (径1cm) を3%含む



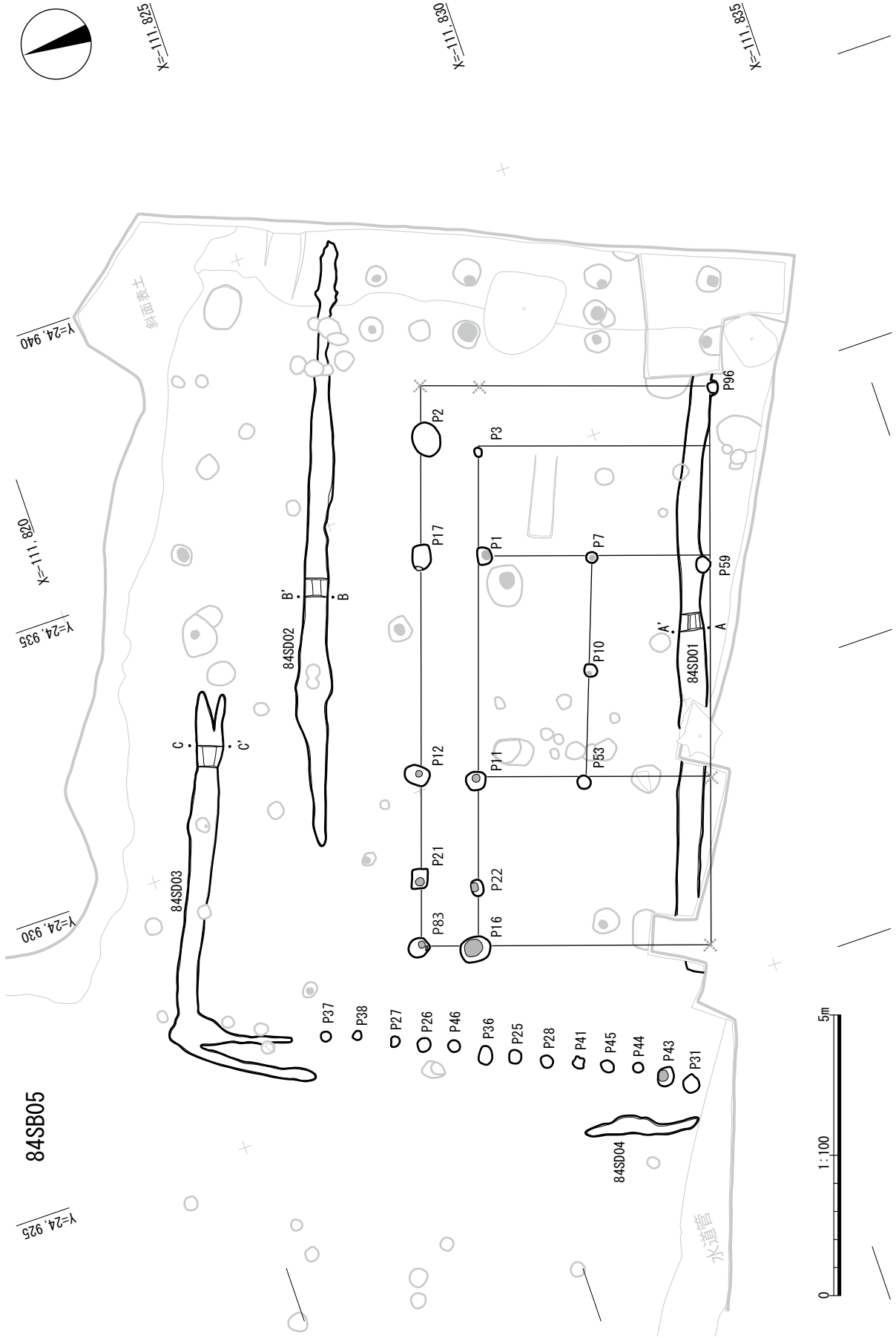
84SB02・84SB03 平断面図



84SB06

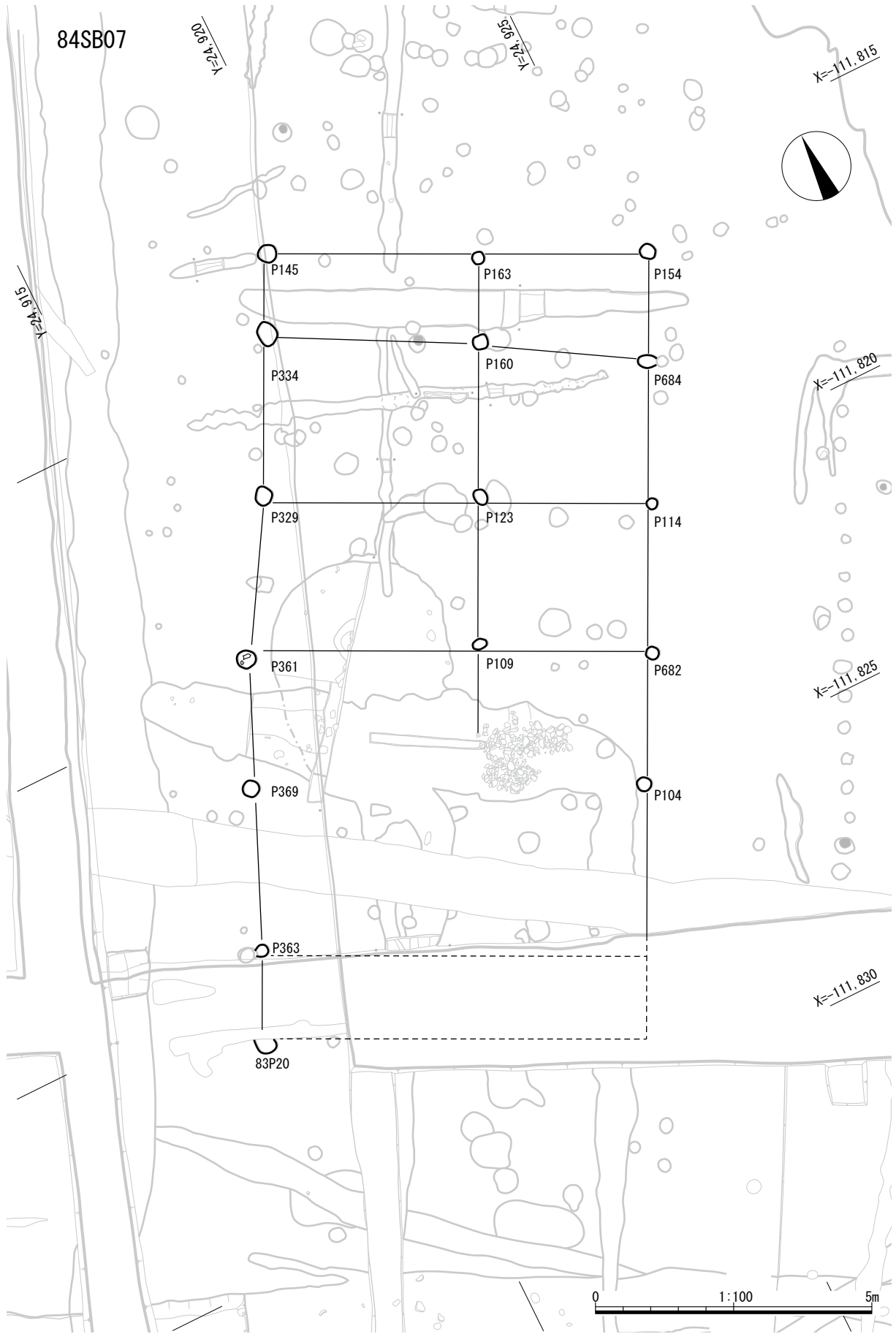


84SB04 · 84SB06 平面图

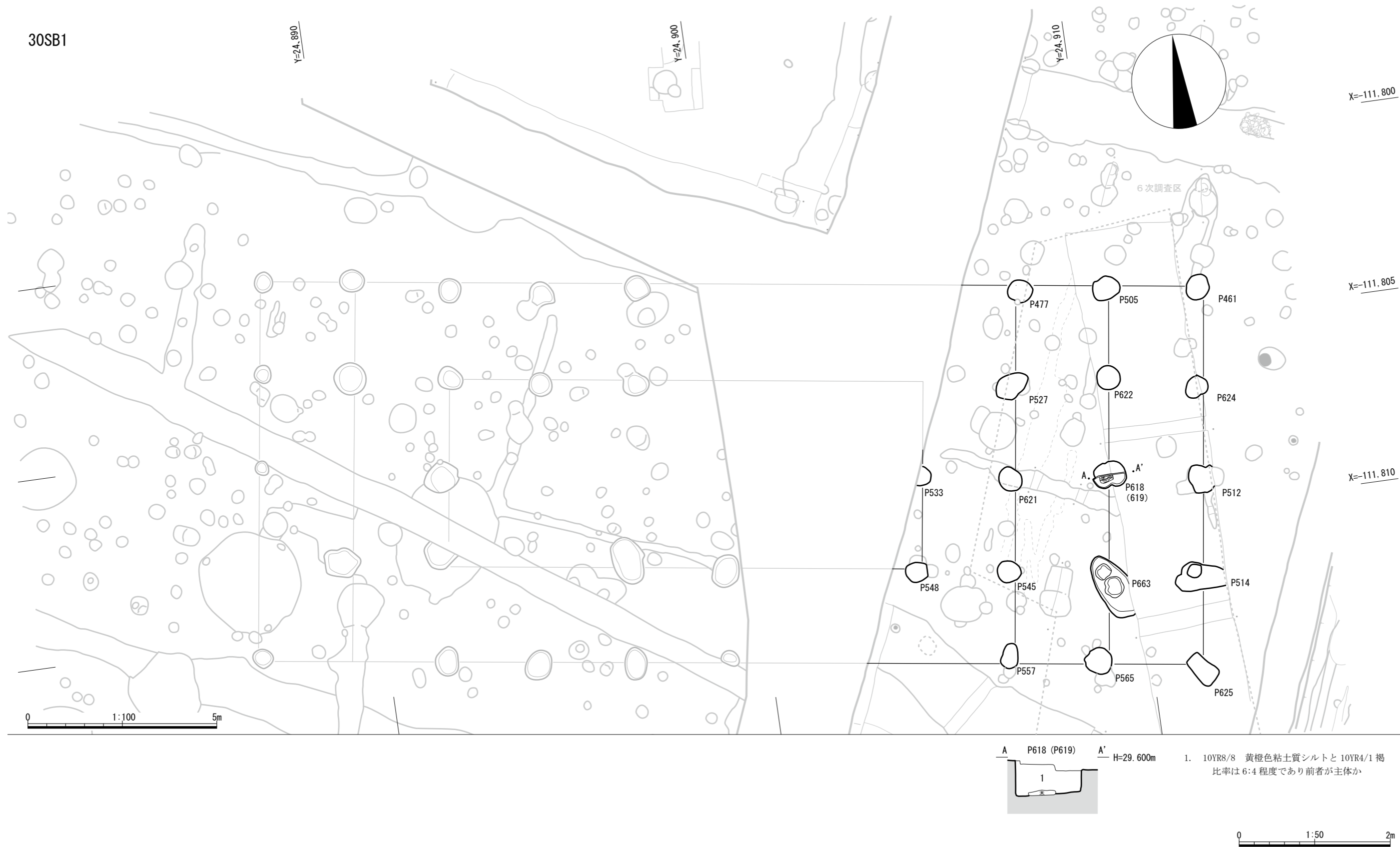


84SB05

84SB05 平面图



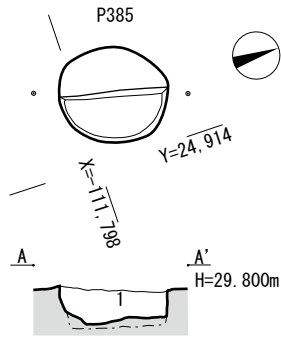
84SB07 平面图



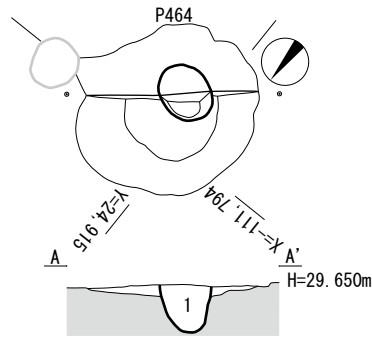
30SB1 平断面図



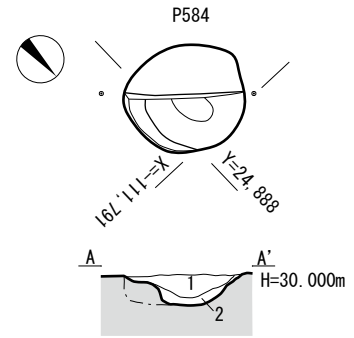
30SB2 平面図



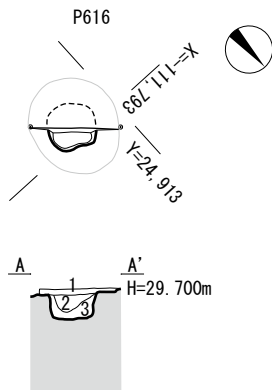
- 10YR5/1 褐灰色シルト 黄橙色 (10YR8/6) シルトブロック (径2~3cm) を5%含む



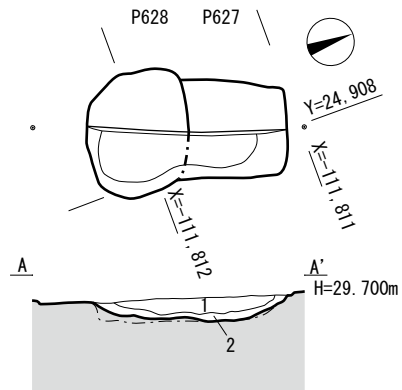
- 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) シルトブロック (径2~3cm) を20%含む



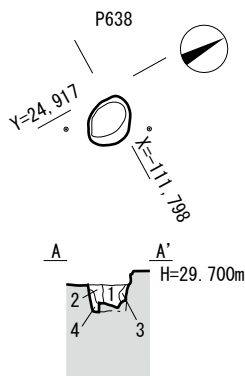
- 10YR4/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/6) シルトブロック (径2~3cm) を15%、炭化物を3%含む
- 10YR8/4 浅黄橙色粘土 褐灰色 (10YR4/1) シルトブロック (径1cm) を2%含む



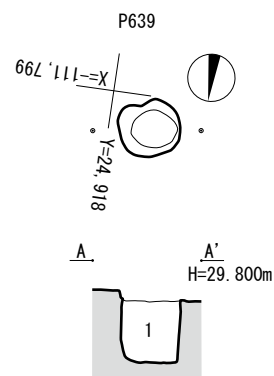
- 10YR3/1 黒褐色シルト かわらけ小片多量に含む
- 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト 炭化物3%、黄橙色 (10YR7/8) シルトブロック (径1cm) を5%含む
- 10YR7/8 黄橙色シルト 黒褐色 (10YR3/2) シルトブロック (径1~2cm) を5%混合する



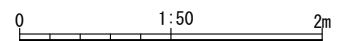
- 10YR7/6 明黄褐色粘土質シルト 褐灰色 (10YR4/1) シルトとの混合土、後者の割合20%程度
- 10YR4/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/6) 地山ブロック (径1cm) を5%含む



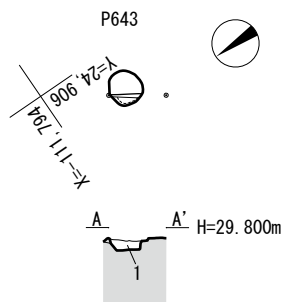
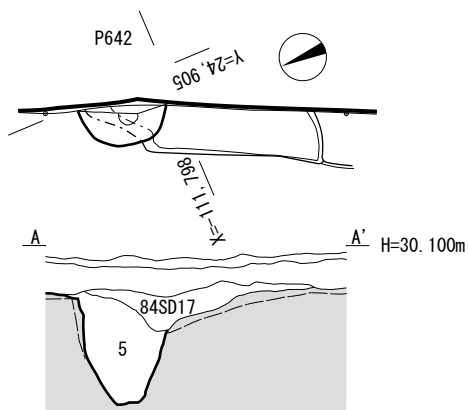
- 10YR6/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/6) シルトブロック (径0.5cm) を3%、炭化物を3%含む
- 10YR7/2 にぶい黄橙色シルト 黄橙色 (10YR8/6) シルトブロック (径0.5cm) を10%含む
- 10YR8/6 黄橙色粘土質シルト 褐灰色 (10YR6/1) シルトブロック (径1cm) を7%含む
- 10YR4/1 褐灰色粘土質シルト 炭化物を5%含む



- 明黄褐色粘土質シルト (10YR7/6) と褐色粘炭化物3%を含む

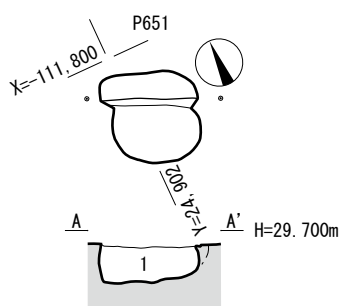


その他柱穴 1 (84P385・464・584・616・627・628・638・639) 平断面図

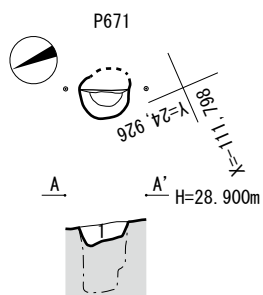


5. 10YR8/6 黄橙色粘土質シルト 灰色 (N5/) 粘土との混合物

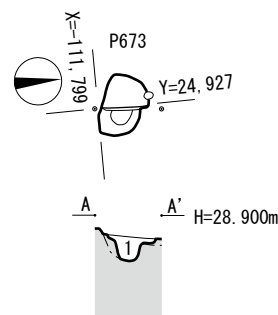
1. 10YR4/1 褐灰色シルト 黄橙色 10YR8/6) シルトブロック (径 0.5cm 以下) を 1%、炭化物を 3% 含む



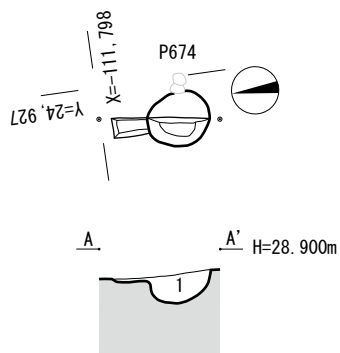
1. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト 浅黄橙色 (10YR8/4) 地山ブロック (径 0.5m) を 2% 含む



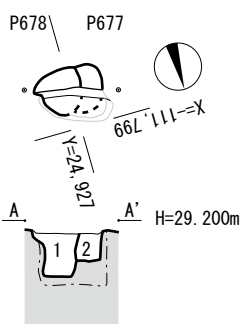
1. 10YR6/1 褐灰色シルト 黄橙色 (10YR8/6) シルトブロック (径 2cm) を 2% 含む



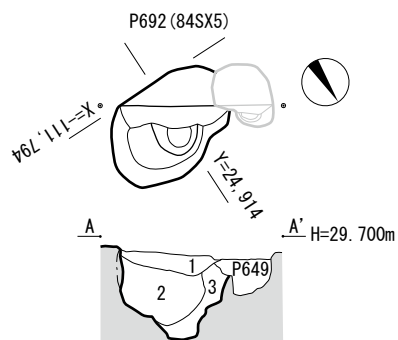
1. 7.5YR3/1 黒褐色シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山ブロック (径 1~2cm) を 5% 含む



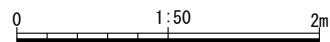
1. 10YR5/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山ブロック (径 2~3cm) を 7% 含む



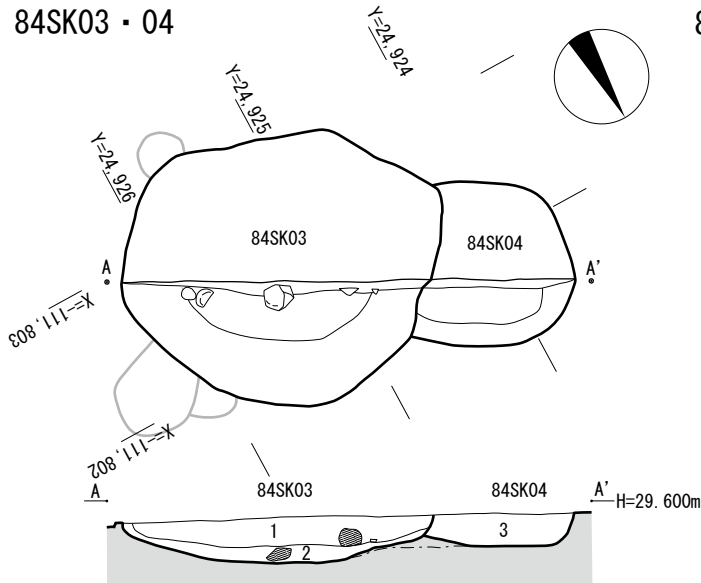
1. 10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) シルト (地山) ブロック (径 1cm) を 10% 含む
2. 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) シルトブロック (径 2~3cm) を 30% 含む



1. 10YR3/1 黒褐色シルト 炭化物 1%、かわらけ小片多量に含む
2. 10YR4/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/6) シルトブロック (径 2~3cm) を 10% 混合する
3. 10YR8/6 黄橙色粘土質シルト 褐灰色 (10YR4/1) 粘土質シルトブロック (径 2cm) を 5% 含む

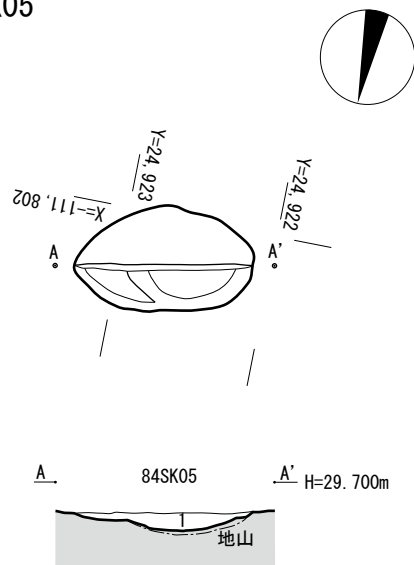


84SK03・04



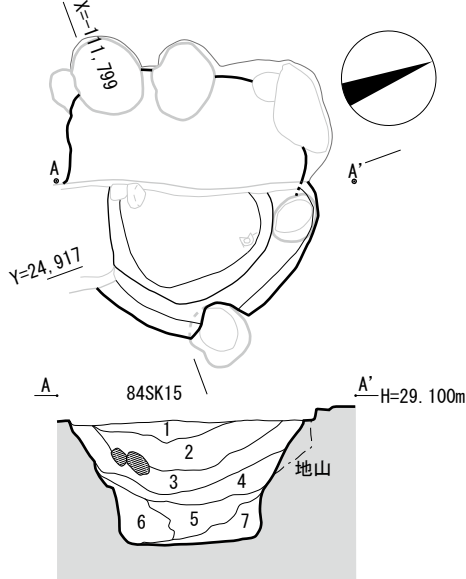
- 10YR5/1 褐灰色シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山ブロック (径0.5cm) を1%、かわらけ片多量に含む
 - 10YR8/8 黄橙色シルト 褐灰色 (10YR5/1) シルトブロック (径2~3cm) を20%混合する
 - 10YR6/2 灰黄褐色シルト 黄橙色 (10YR8/8) シルトブロック (径1~2cm) を下位に5%含む
- 1・2 : 84SK03 3 : 84SK04

84SK05



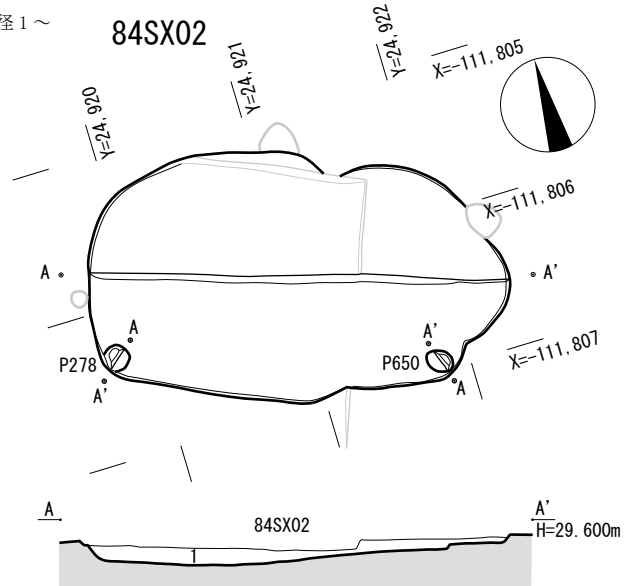
- 10YR6/1 褐灰色シルト 黄橙色 (10YR8/6) シルトブロック (径1~2cm) を5%含む

84SK15



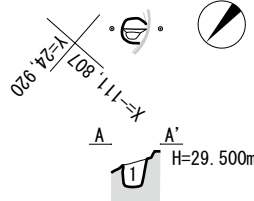
- 10YR5/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山ブロック (径1~2cm) を5%含む
- 10YR8/6 黄橙色シルトと10YR6/1 褐 前者が7割、後者が3割 径20cmの円礫含む
- 2.5YR5/1 黄灰色粘土 黄橙色 (10YR8/6) 地山ブロック (径1cm) を3%含む
- 10YR4/1 褐灰色シルト質粘土 黄橙色 (10YR8/6) 地山ブロック (径10~20cm) の地山肩くずれを20% (右側面に特に多い) を含む
- N4/ 灰色粘土 黄橙色 (10YR8/8) 地山ブロック (径0.5~3cm) を15%含む
- 10YR8/8 黄橙色シルト 5層ブロック (径1cm) を3%含む
- 10YR8/6 黄橙色粘土質シルト 灰色 (N4) 粘土を厚さ0.5cmの薄層状 (葉埋状) に含む

84SX02



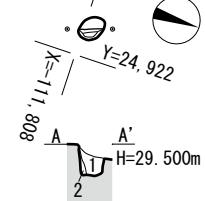
- 10YR5/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山シルトブロック (径0.5~2cm) を3%含む

P278

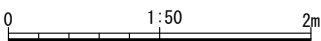


- 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山シルトブロック (径0.5cm) を5%含む

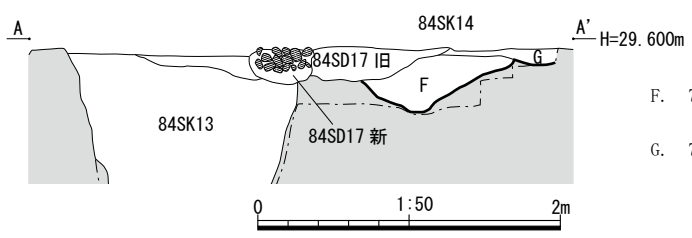
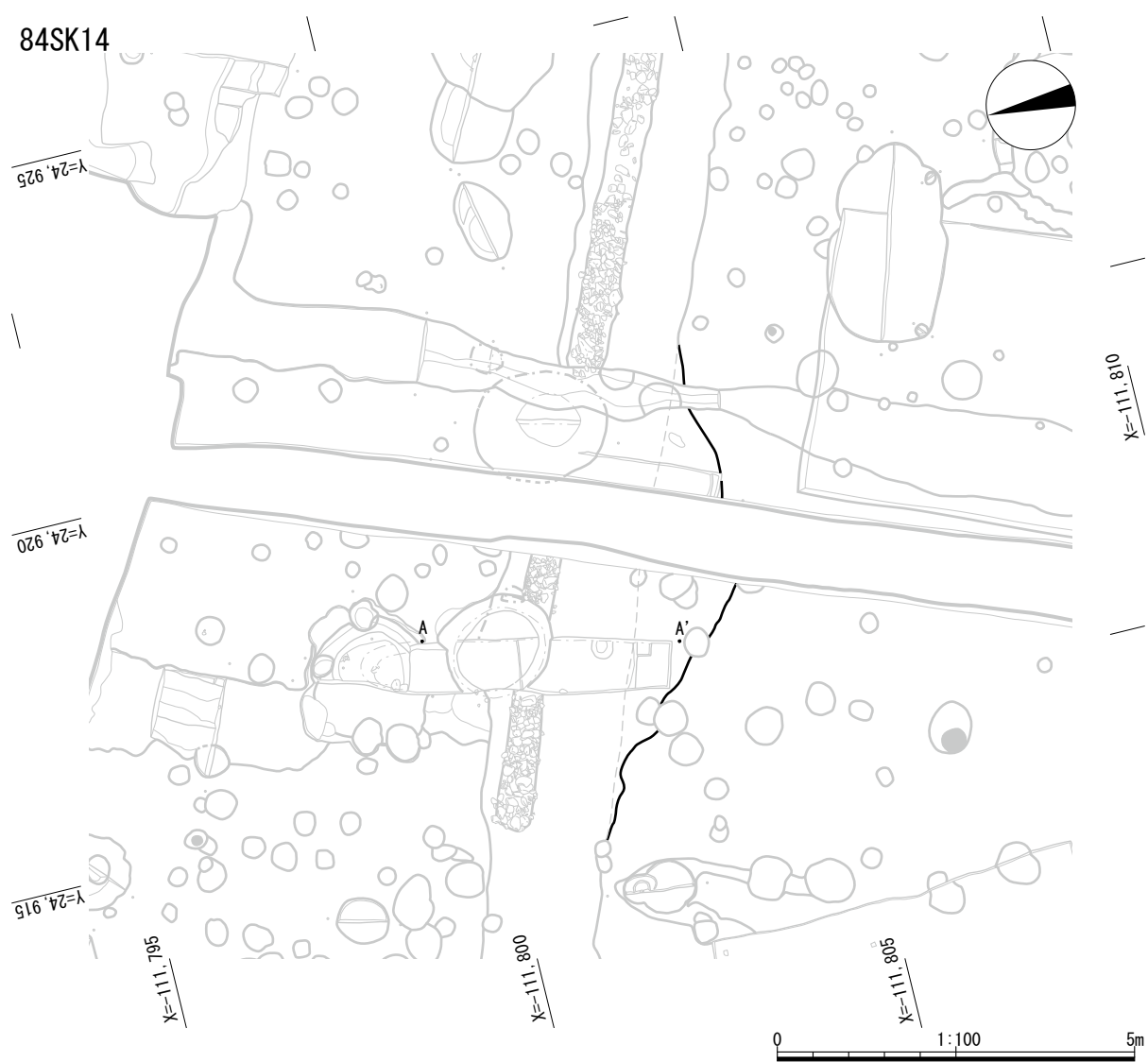
P650



- 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山シルトブロック (径0.5cm) を7%含む
- 10YR7/6 明黄褐色粘土質シルト 灰黄褐色 (10YR4/2) シルトブロック (径0.5cm) を10%含む



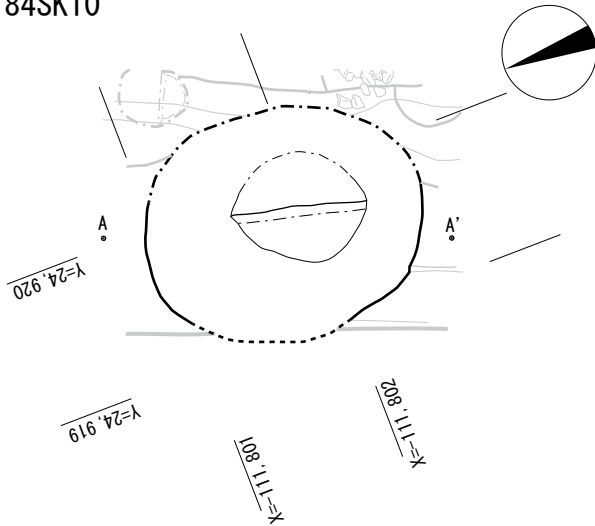
土坑1 (84SK03・04・05・15・84SX02・84P278・84P650) 平断面図



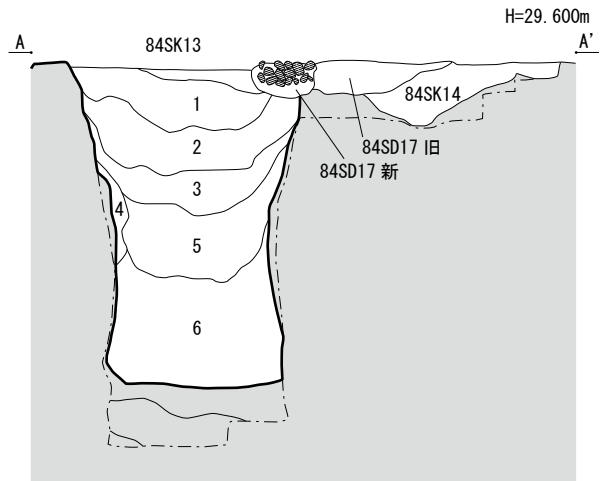
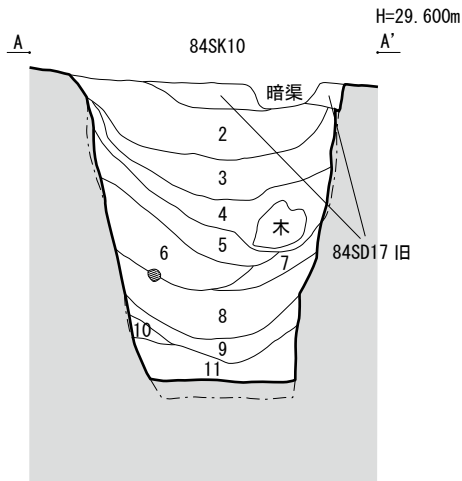
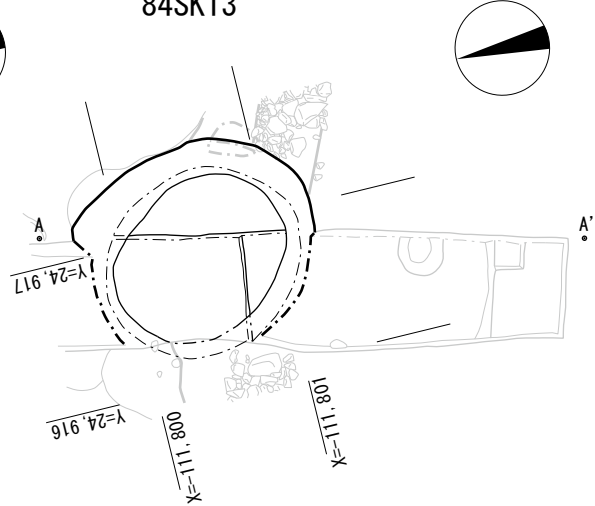
- F. 7.5YR5/1 褐灰色シルト 黄橙色 (10YR8/6) 地山ブロック (径 10cm) を 30% 含む
- G. 7.5YR6/1 褐灰色シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山ブロック (径 0.5cm) を 3% 含む

土坑2 (84SK14) 平断面図

84SK10



84SK13

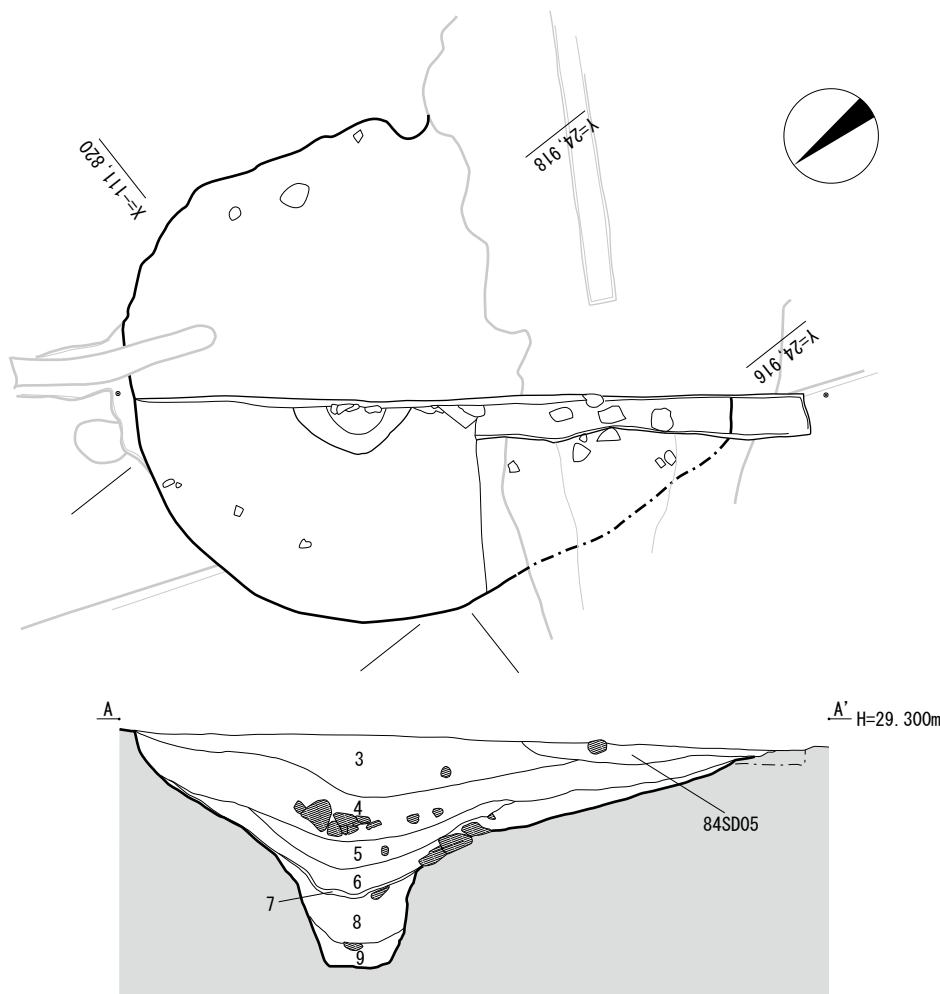


2. 10YR3/1 黒褐色シルト 黄橙色 (10YR8/6) 地山ブロック (径 2cm) を 10% 含む
3. N4/ 灰色シルト質粘土 オリーブ灰色 (2.5Y6/1) 下位地山ブロック (径 1 ~ 4cm) を 5%、下位に腐食炭化物の薄層を含む
4. 7.5Y4/1 灰色粘土 オリーブ灰色 (2.5Y6/1) 下位地山ブロック (径 1 ~ 2cm) を 7%、木本類、木製品を多く含む
5. N3/ 暗灰色粘土 オリーブ灰色 (2.5Y6/1) 下位地山ブロック (径 0.5cm) を 3% 含む
6. 5GY6/1 オリーブ灰色粘土 オリーブ灰色 (2.5Y6/1) 下位地山ブロック (径 1 ~ 10cm) を 5% 含む
7. 7.5Y4/1 灰色粘土 オリーブ灰色 (2.5Y6/1) 下位地山ブロック (径 0.5cm) を 1% 含む
8. 5Y3/1 オリーブ黒色粘土 オリーブ灰色 (2.5Y6/1) 下位地山ブロック (径 0.5cm) を % 含む
9. 2.5GY6/1 オリーブ灰色粘土 オリーブ灰色 (2.5Y6/1) 下位地山ブロック (径 0.5cm) を 3%、炭化物粒を 1% 含む
10. 10Y6/2 オリーブ灰色粘土 オリーブ灰色 (2.5Y6/1) 粗砂を 5% 含む
11. 10GY6/1 明緑灰色粘土 黄色 (2.5Y8/8) 粗砂ブロックを 2% 含む

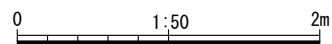
1. 10YR4/1 褐灰色粘土質シルトと 10YR8/8 黄 4:6 程度であり後者の方が主体、前者のブロックは径 0.5 ~ 1 cm
2. 10YR8/8 黄橙色粘土質シルト 褐灰色 (10YR4/1) 粘土質シルトとの混合土 (径 0.5 ~ 3cm) を 40% 含む
3. 5Y5/1 灰色粘土 淡黄色 (5Y8/3) 粘土ブロック (径 1 ~ 2 cm) を 30% 含む
4. 7.5Y8/3 淡黄色粘土 灰色 (N4/) 粘土ブロック (径 2 ~ 3 cm) を 10% 含む
5. 2.5GY4/1 暗オリーブ灰色粘土 オリーブ灰色 (2.5GY6/1) 粘土ブロック (径 1 ~ 2 cm) を 15% 含む
6. 7.5Y3/1 オリーブ黒色粘土 オリーブ灰色 (2.5GY6/1) 粘土ブロック (径 3 ~ 5 cm) を 20% 含む

井戸跡 1 (84SK10・13) 平断面図

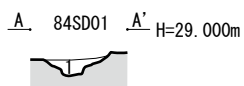
84SX01



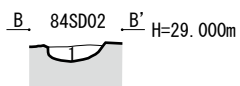
3. 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト 炭化物粒、かわらけ細片を5%含む
4. 10YR4/1 褐灰色粘土 径5~10cmの角礫5%、黄橙色(10YR8/6)粘土質シルトブロック(径2cm)を1%含む
5. 5Y4/1 灰色粘土 灰オリーブ(5Y3/1)粘土を巻き込む
6. 5Y4/2 灰オリーブ粘土 オリーブ黒色(5Y3/1)粘土を0.5cm程度の幅で薄層状(葉理状)に含む、また径20~30cmの板状礫を5%含む
7. 5Y2/1 黒色粘土 1cm程度の薄い層
8. 5Y5/2 暗灰黄色粘土 明緑灰色(10GY6/1)粗砂を互層上に含む
9. 10Y6/2 オリーブ灰色粘土質シルト黒色(5Y2/1)粘土を葉理状に含む、また径15~20cmの円礫を含む



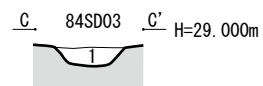
84SD01・84SD02・84SD03 ※平面図は図版8



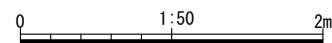
1. 10YR6/1 褐灰色シルト 黄橙色(10YR8/6)地山ブロック(径3~4cm)を20%含む



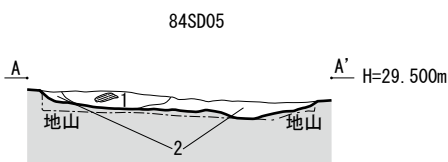
1. 10YR5/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色(10YR8/8)地山ブロック(径0.5cm)を1%含む



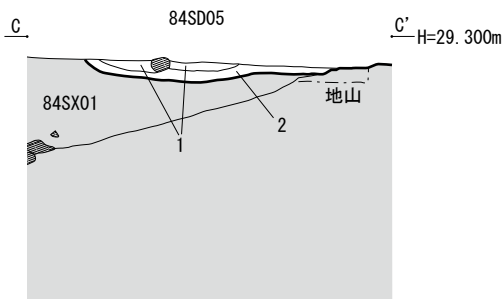
1. 10YR6/3 にぶい黄橙色シルト 黄橙色(10YR8/8)地山ブロック(径2cm)を5%含む



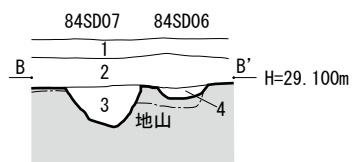
井戸跡2 (84SX01)・84SD01・02・03 平断面図



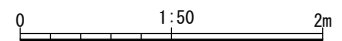
1. 10YR8/6 黄橙色シルト 径10～15cmの礫を含む
2. 10YR5/2 灰黄褐色シルト 黄橙色(10YR8/6)シルトブロック(径1cm)を1%含む



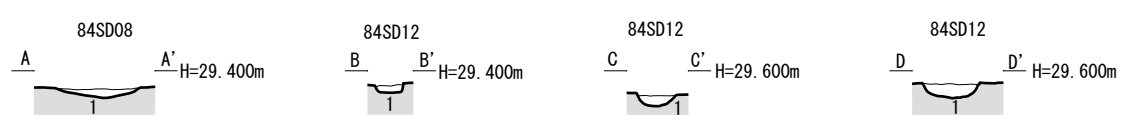
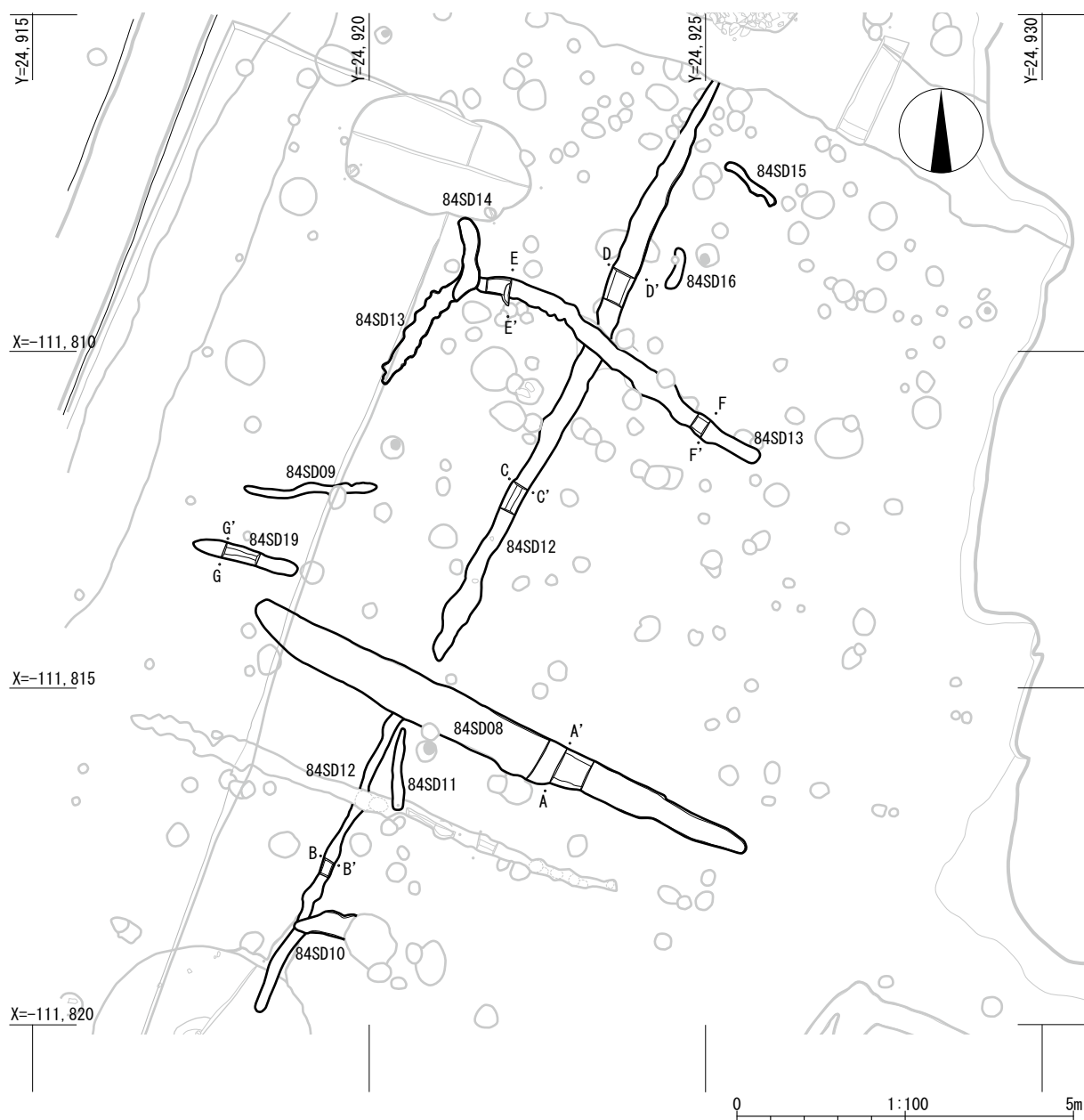
1. 10YR4/4 褐色粘土質シルト 黄橙色(10YR7/8)シルトブロック(径1～2cm)を25%含む
2. 10YR4/3 にぶい黄橙色シルト 黄橙色(10YR7/8)シルトブロック(径0.5cm)を3%、礫を少量含む



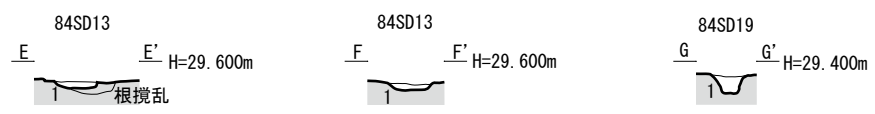
1. 埋め戻し土
 2. 10YR4/2 灰黄褐色シルト 旧耕作土
 3. 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 橙色(10YR8/8)シルトブロック(径0.5m)を3%含む
 4. 10YR6/4 にぶい黄橙色シルト 黄橙色(10YR8/8)シルトブロック(径1cm)を1%含む
- 3:84SD07 4:84SD06



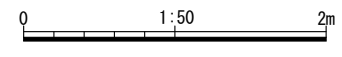
84SD05・06・07 平断面図



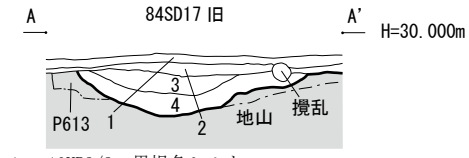
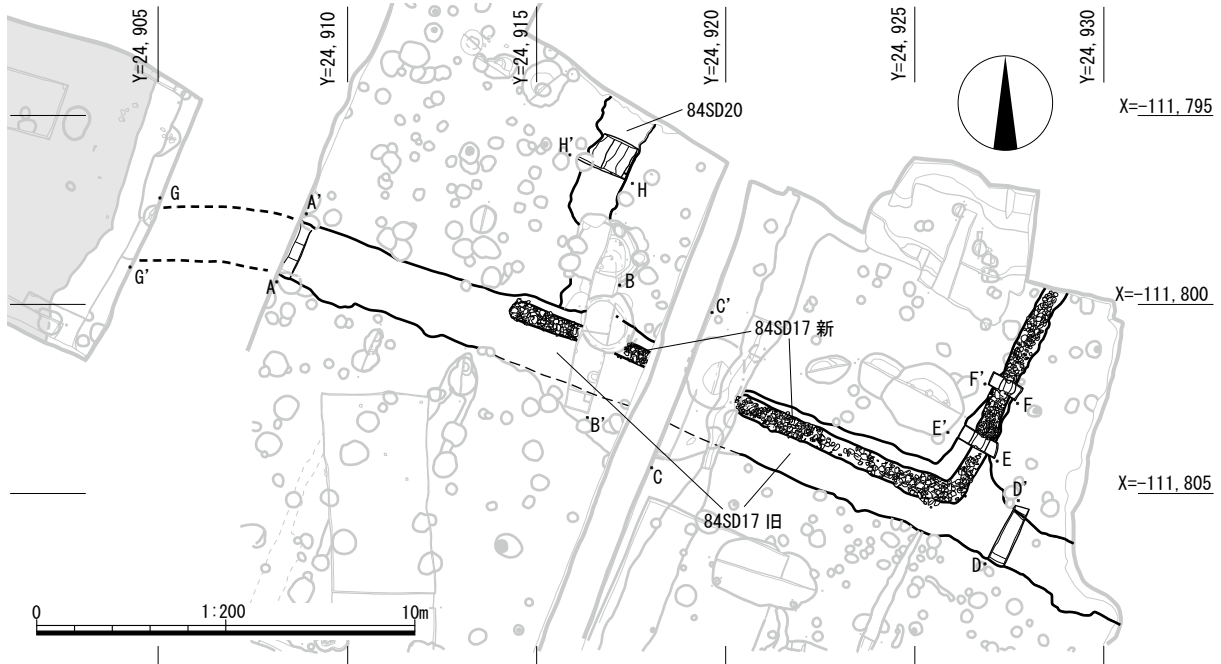
- 1. 10YR6/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山ブロック (径 0.5 ~ 1cm) を 2% 含む
- 84SD12 (B-B', C-C', D-D')
- 1. 10YR4/1 褐灰色シルト 黄橙色 (10YR8/6) シルトブロック (径 1cm) を 7% 含む



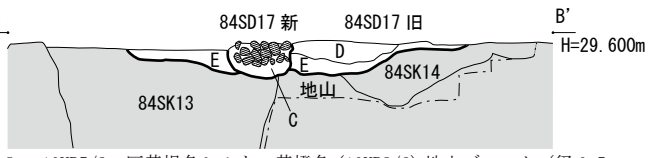
- 84SD13 (E-E', F-F')
- 1. 10YR3/2 黒褐色シルト 黄橙色 (10YR8/6) 地山ブロック (径 2 ~ 3cm) を 15% 含む
- 84SD19 (G-G')
- 1. 10YR6/2 灰黄褐色シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山ブロック (径 0.5cm) を 1%、酸化鉄の集積を 5% 含む



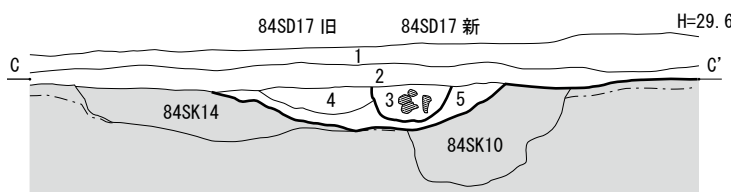
84SD08・09・10・11・12・13・14・15・16・19 平断面図



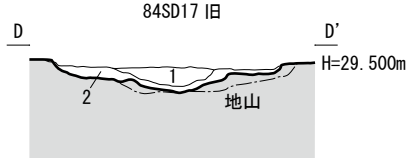
1. 10YR3/2 黒褐色シルト
 2. 10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト
 3. 2.5YR5/2 暗灰黄色シルト 黄橙色 (10YR8/6) 地山ブロック (径2~3cm) を40%含む
 4. 7.5YR4/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山ブロック (径1~2cm) を下に15%含む
- 3・4 : 84SD17 旧



- C. 10YR5/2 灰黄褐色シルト 黄橙色 (10YR8/6) 地山ブロック (径0.5~1cm) を2%含む
 - D. 10YR7/8 黄橙色粘土シルト 褐灰色 (10YR5/1) シルトブロック (径1~2cm) を3%含む
 - E. 10YR5/1 灰色シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山ブロック (径0.5cm) を1%含む
- C : 84SD17 新 D・E : 84SD17 旧



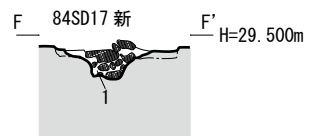
1. 砕石層
 2. 10YR5/1 黒褐色シルト 旧耕作土
 3. 10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト 径10~20cmの円礫50%、陶器を含む
 4. 10YR8/8 黄橙色シルト 褐灰色 (7.5YR4/1) 粘土質シルトブロック (径10cm) を10%含む
 5. 7.5YR4/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山ブロック (径2~3cm) を5%含む
- 3 : 84SD17 新 4・5 : 84SD17 旧



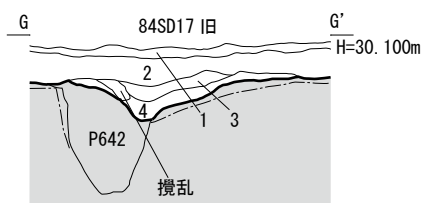
1. 10YR8/8 黄橙色シルト 褐灰色 (7.5YR4/1) 粘土質シルトブロック (径10cm) を5%含む
2. 7.5YR4/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山ブロック (径2~3cm) を5%含む



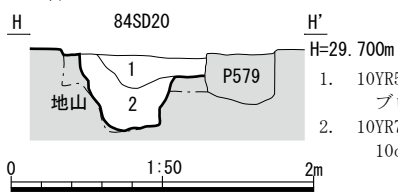
1. 10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト 径10~20cmの円礫、陶器を主体に50%の割合で含む
2. 7.5YR4/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山ブロック (径2~3cm) を5%含む



1. 10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト 径10~20cmの円礫、陶器を主体に50%の割合で含む

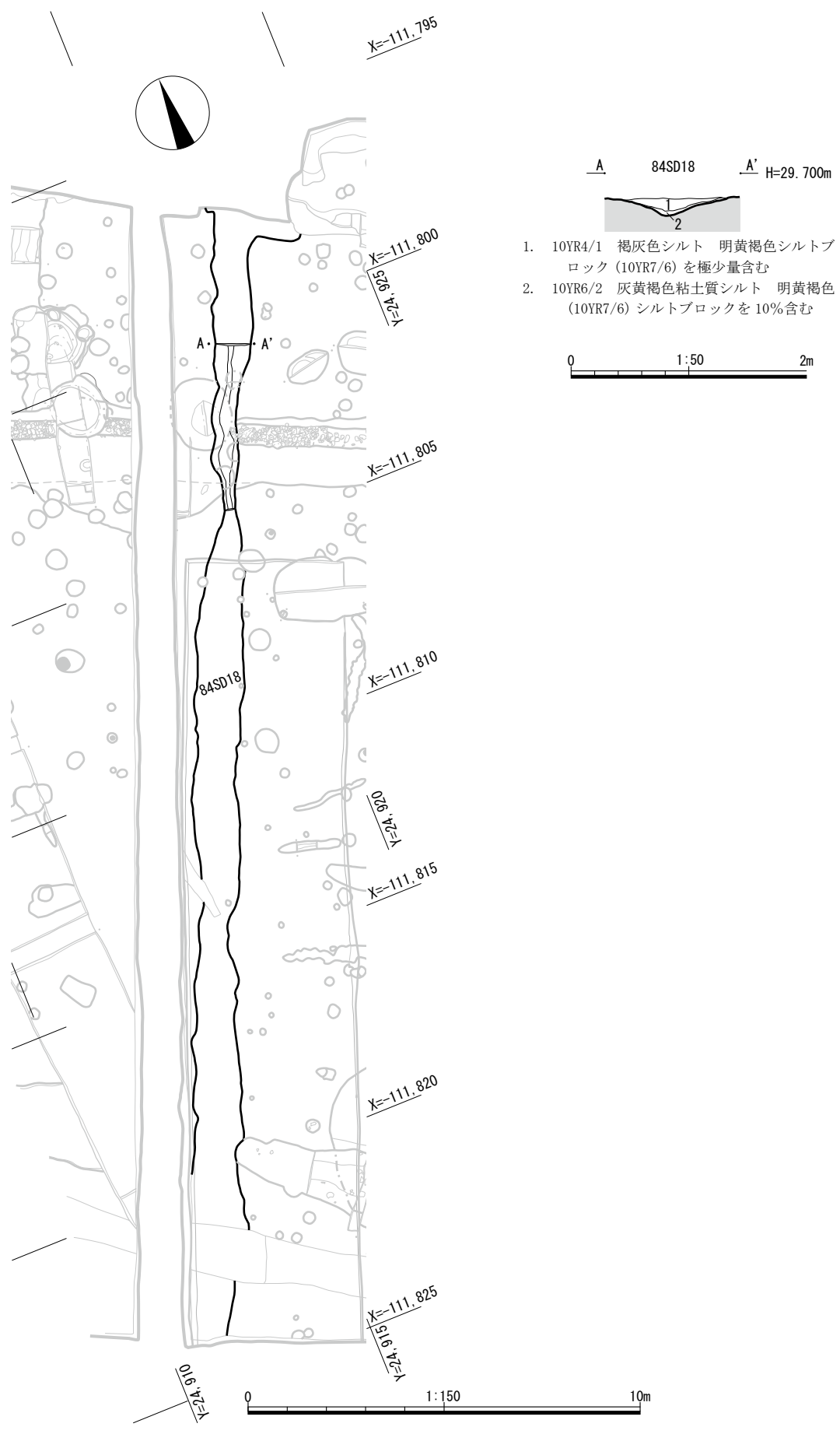


1. 10YR3/1 黒褐色シルト 腐食層
2. 10YR4/4 褐色シルト 黄褐色 (10YR8/8) 地山シルトブロック (径1cm) を3%含む
3. 10YR5/3 にぶい黄褐色粘土質シルト黄橙色 (10YR8/8) シルトブロック (径0.5cm) を10%含む
4. 7.5YR7/1 明褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) シルトブロック (径1cm) を3%含む



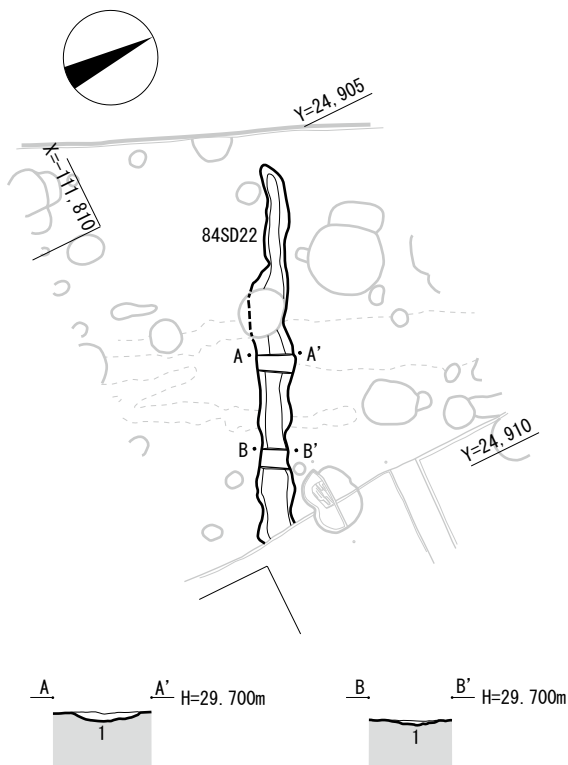
1. 10YR5/1 褐灰色 黄橙色 (10YR8/6) シルトブロック (径1~2cm) を10%含む
2. 10YR7/6 明黄褐色 褐灰色 (10YR5/1) (径10cm) シルトブロックを20%混合する

84SD17新・旧・20 平断面図



84SD18 平断面図

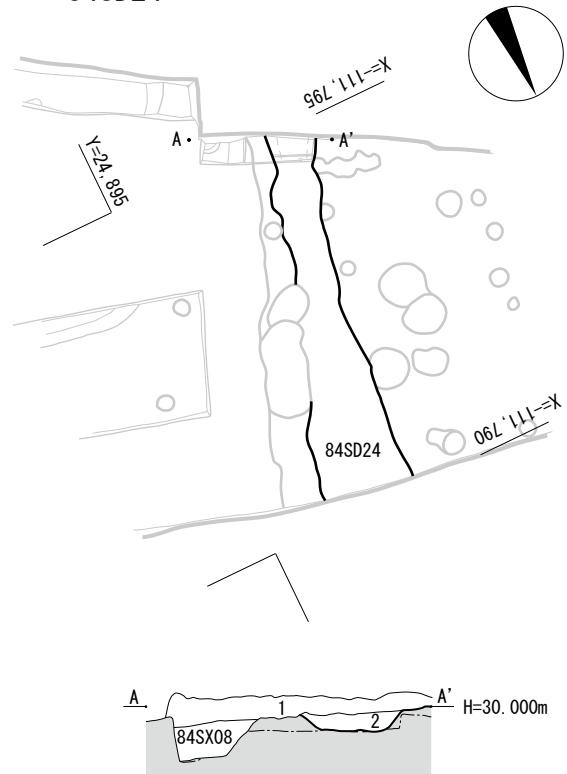
84SD22



84SD22 (A-A') (B-B')

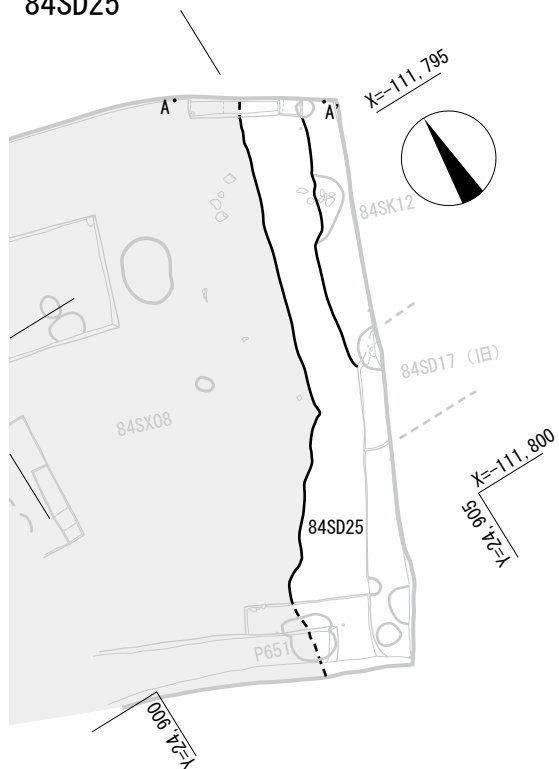
1. 10YR4/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) シルトブロック (径2~3cm) を20%含む

84SD24



1. 10YR3/2 黒褐色シルト 表土 (旧耕作土)
2. 10YR6/1 褐灰色粘土質シルト 黄橙色 (10YR8/8) シルトブロック (径0.5cm) を2%含む

84SD25

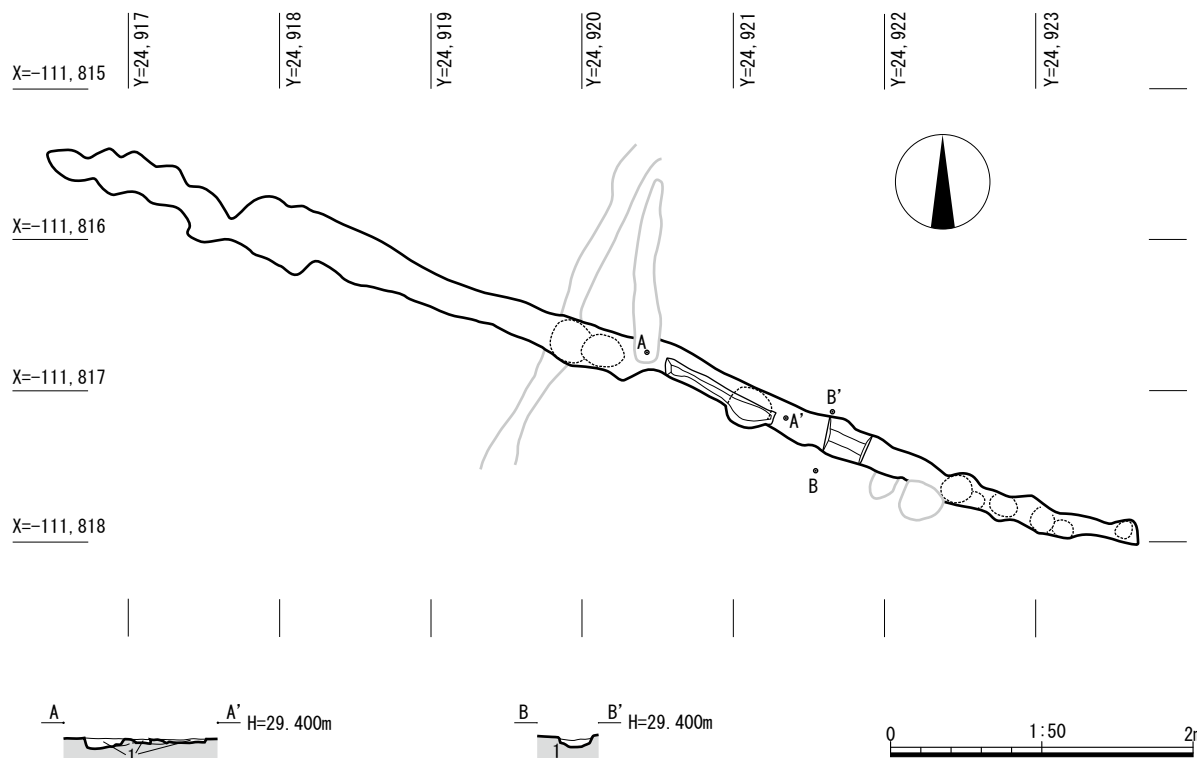


1. 10YR3/2 黒褐色シルト 現表土、碎石を敷いている
2. 10YR6/3 にぶい黄橙色シルト 旧耕作土 (表土)
6. 10YR7/2 にぶい黄橙色粘土質シルト黄橙色 (10YR7/8) シルトブロック (径2~3m) を15%下位に含む

平面図 0 1:100 5m

断面図 0 1:50 2m

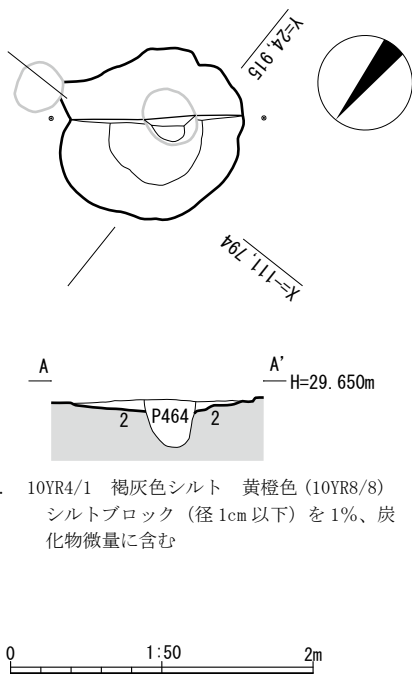
84SA01



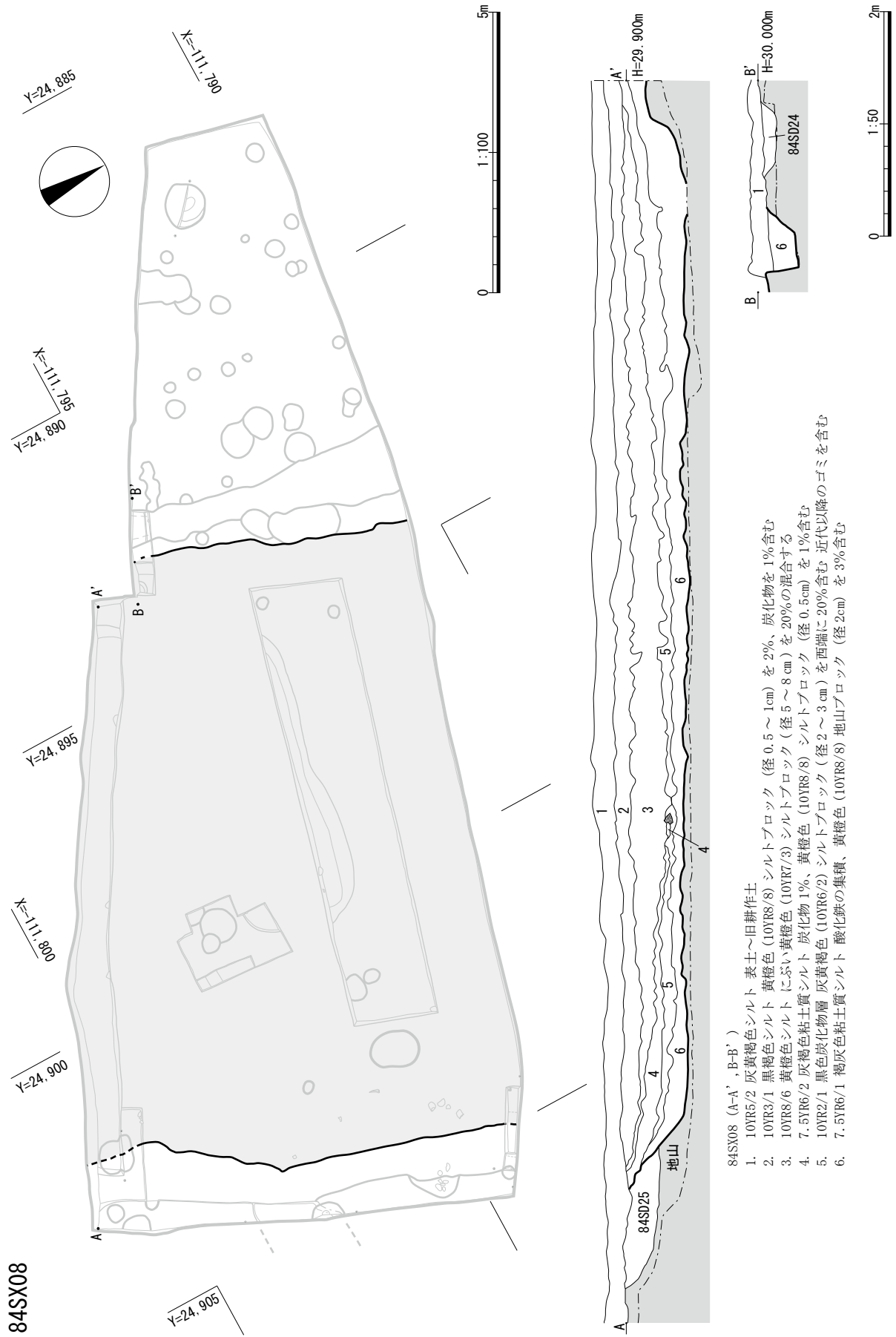
84SA01 (A-A', B-B')

- 10YR5/1 褐灰色シルト 黄橙色 (10YR8/8) 地山ブロック (径1cm) を5%含む

84SX06



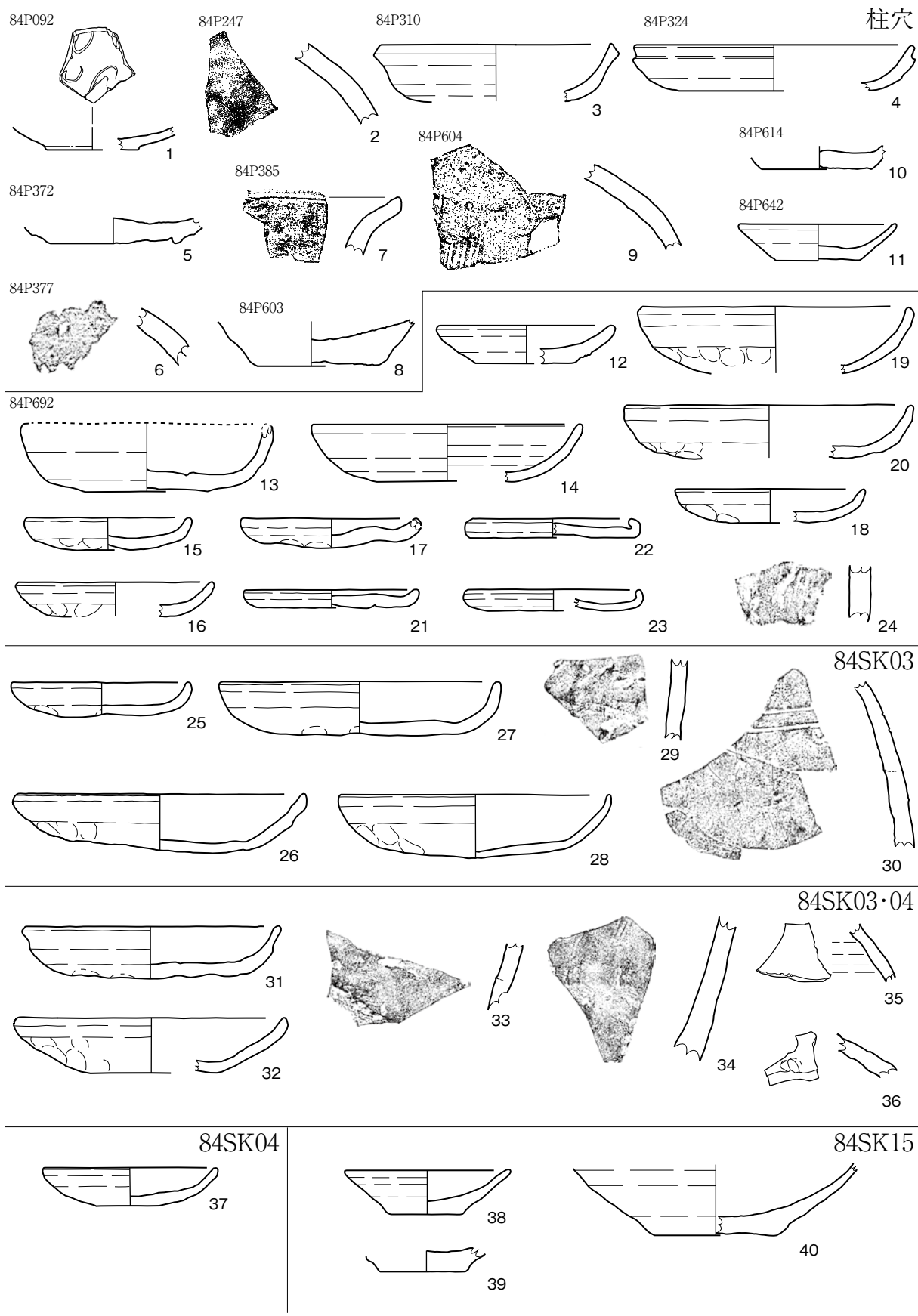
- 10YR4/1 褐灰色シルト 黄橙色 (10YR8/8) シルトブロック (径1cm以下) を1%、炭化物微量に含む



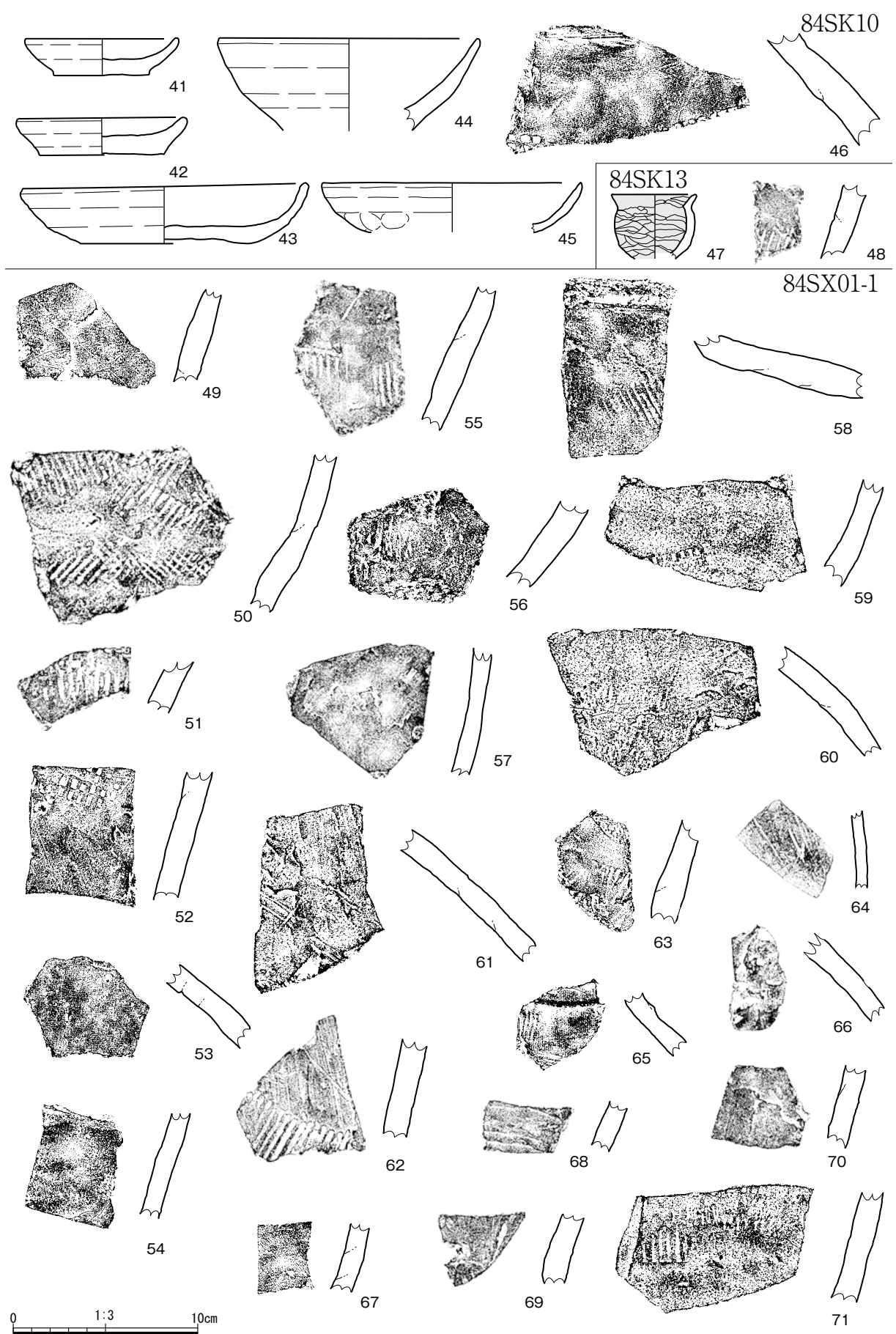
84SX08

84SX08 平断面図

- 84SX08 (A-A', B-B')
1. 10YR5/2 灰黄褐色シルト 表土～旧耕作土
 2. 10YR3/1 黒褐色シルト 黄褐色 (10YR8/8) シルトブロック (径 0.5～1cm) を 2%、炭化物を 1% 含む
 3. 10YR8/6 黄褐色シルト にぶい黄褐色 (10YR7/3) シルトブロック (径 5～8 cm) を 20% の混合する
 4. 7.5YR6/2 灰褐色粘土質シルト 炭化物 1%、黄褐色 (10YR8/8) シルトブロック (径 0.5cm) を 1% 含む
 5. 10YR2/1 黒色炭化物層 灰黄褐色 (10YR6/2) シルトブロック (径 2～3 cm) を西端に 20% 含む 近代以降のゴミを含む
 6. 7.5YR6/1 褐灰色粘土質シルト 酸化鉄の集積、黄褐色 (10YR8/8) 地山ブロック (径 2cm) を 3% 含む

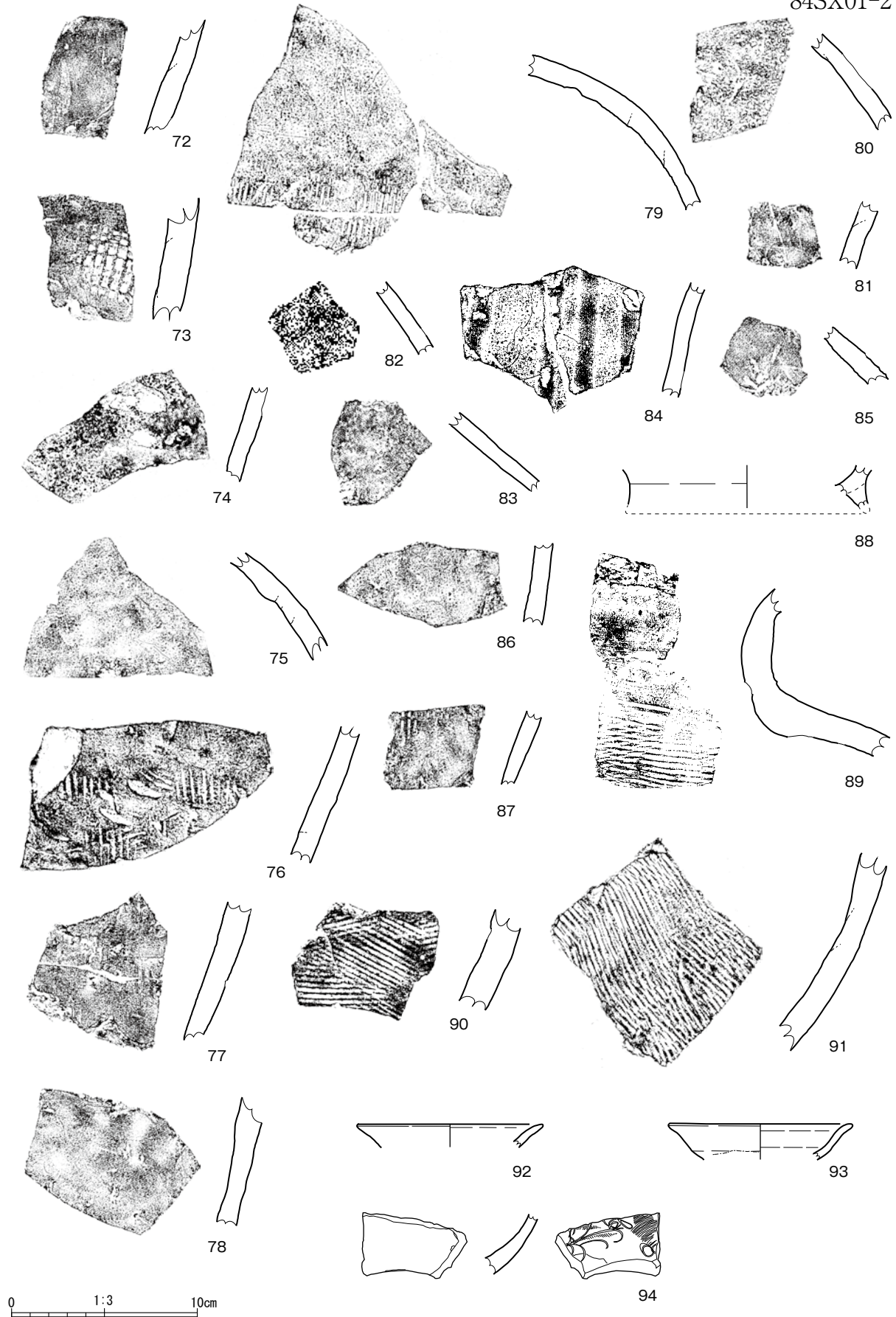


土器・陶磁器類 1 (柱穴・SK)



土器・陶磁器類2 (井戸1)

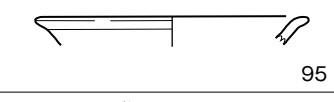
84SX01-2



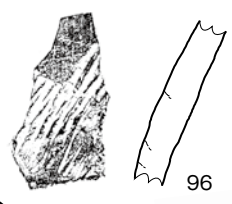
0 1:3 10cm

土器・陶磁器類3 (井戸2)

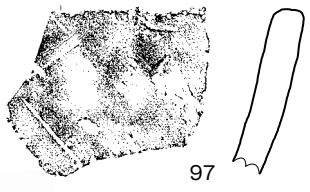
84SD03



95



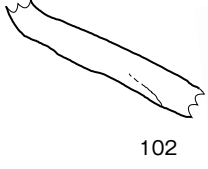
96



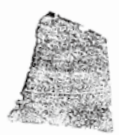
97



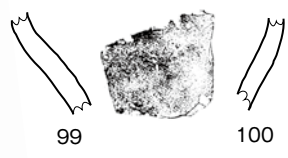
98



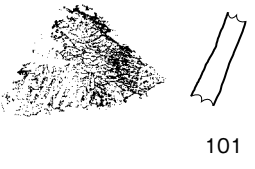
102



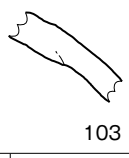
99



100



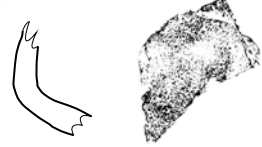
101



103



104



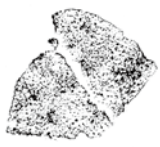
105



106

84SD05

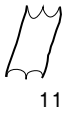
84SD12



107



113



114



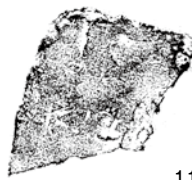
115



118



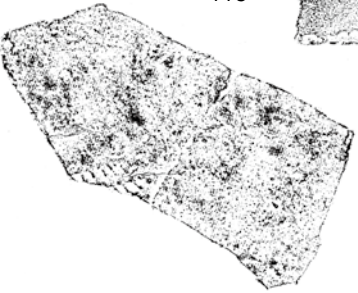
116



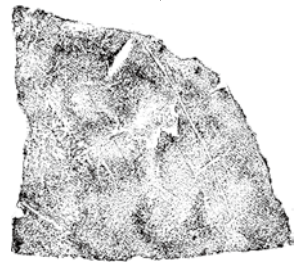
117



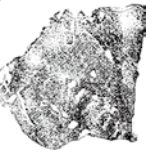
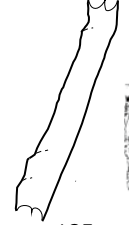
121



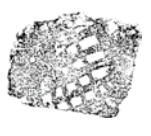
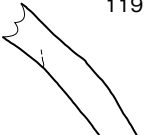
120



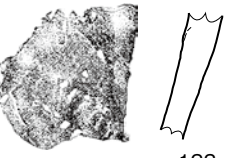
125



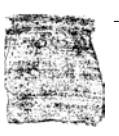
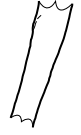
119



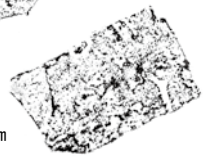
124



123



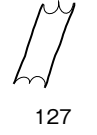
128



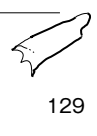
126



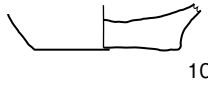
127



129



84SD17-1



108



109



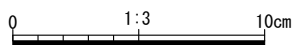
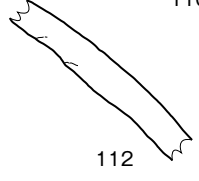
110

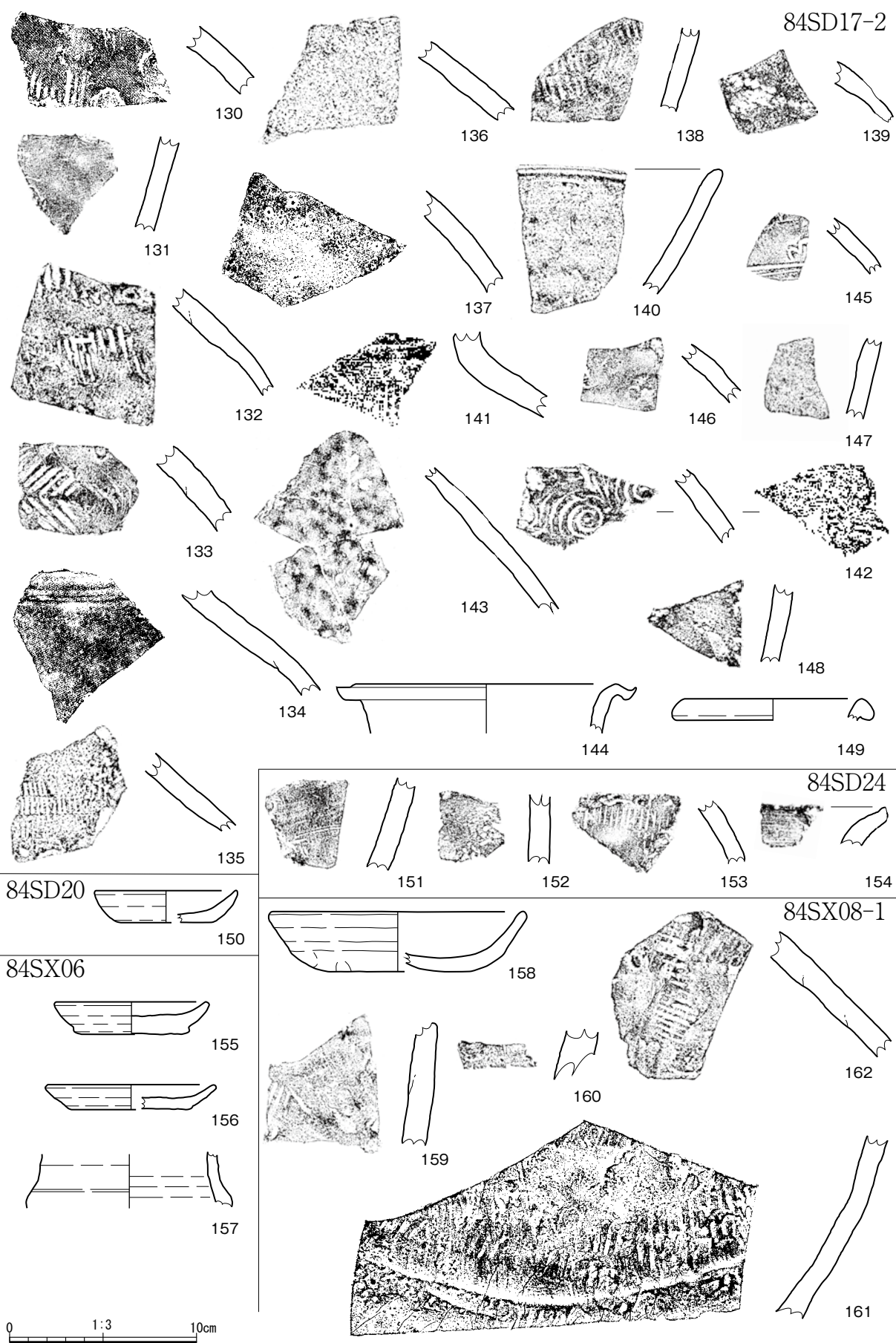


111



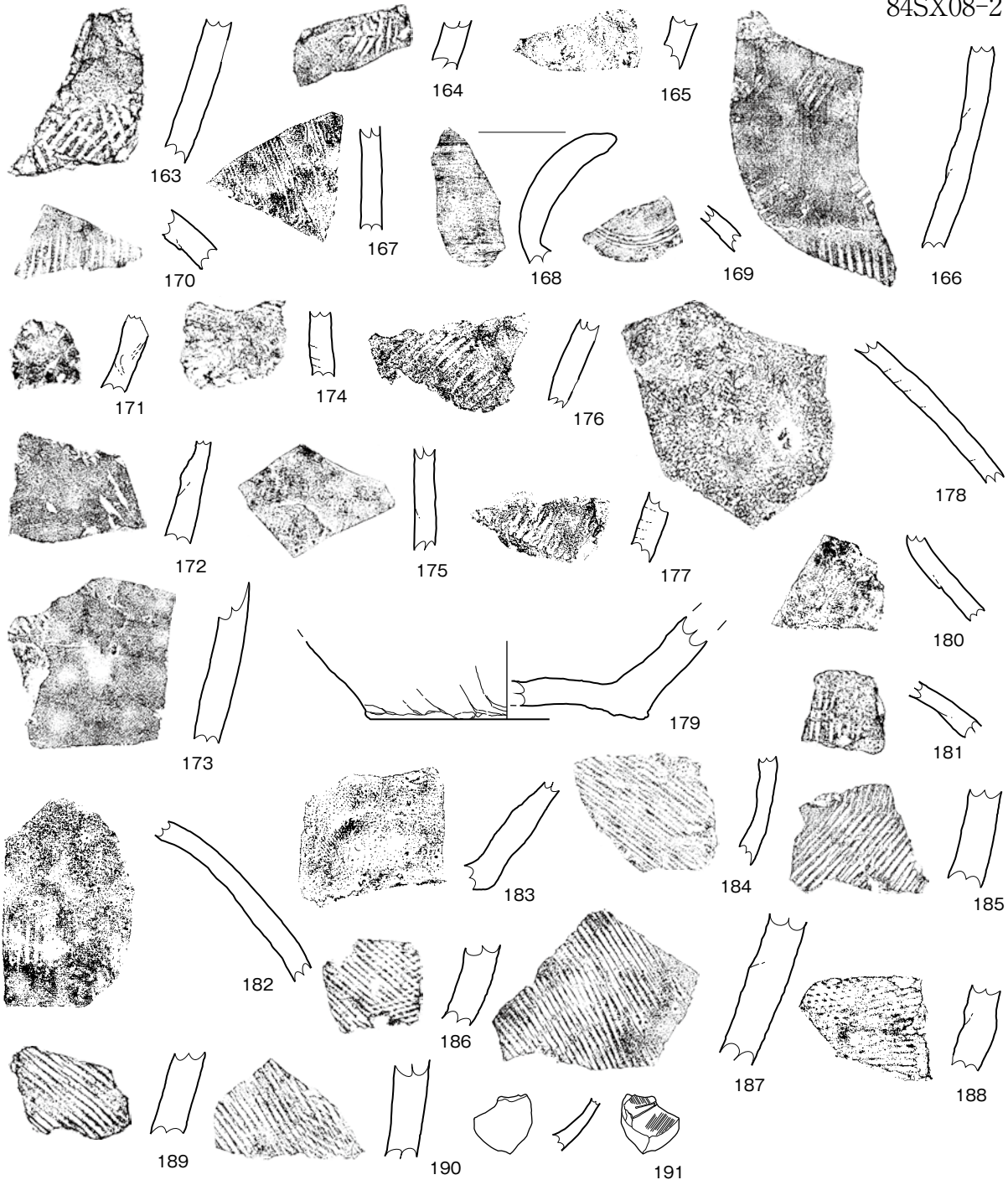
112



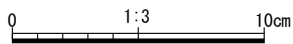
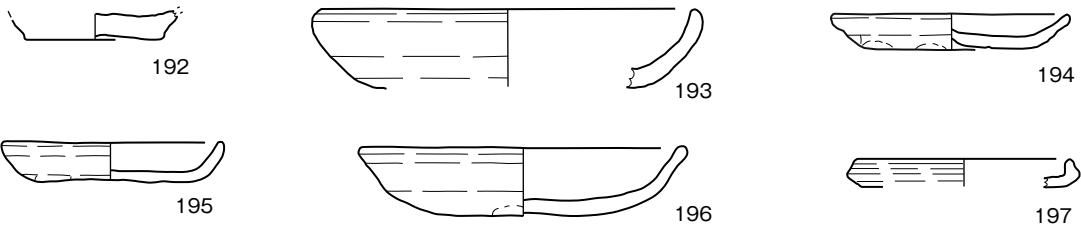


土器・陶磁器類 5 (溝2・不明遺構1)

84SX08-2

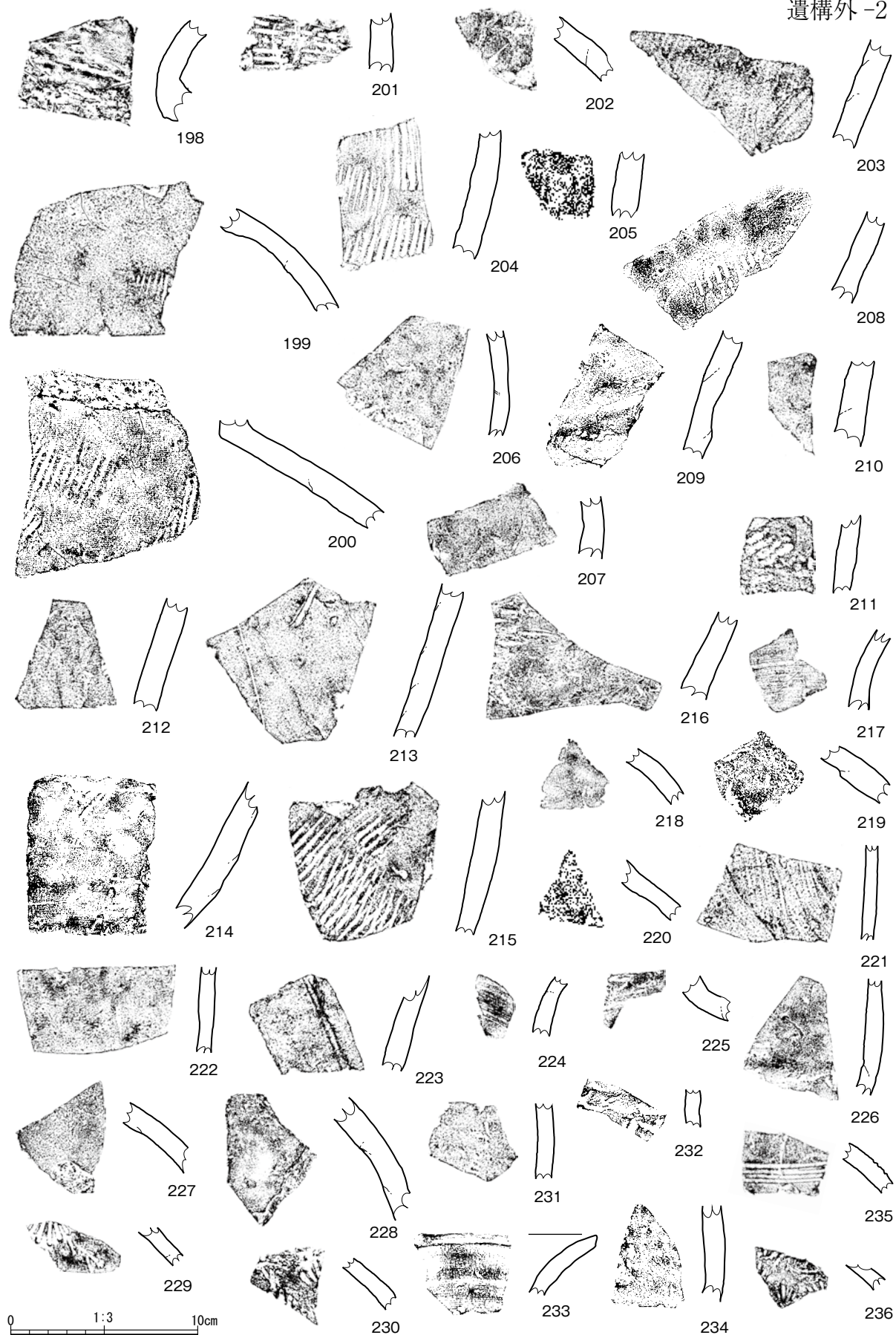


遺構外-1

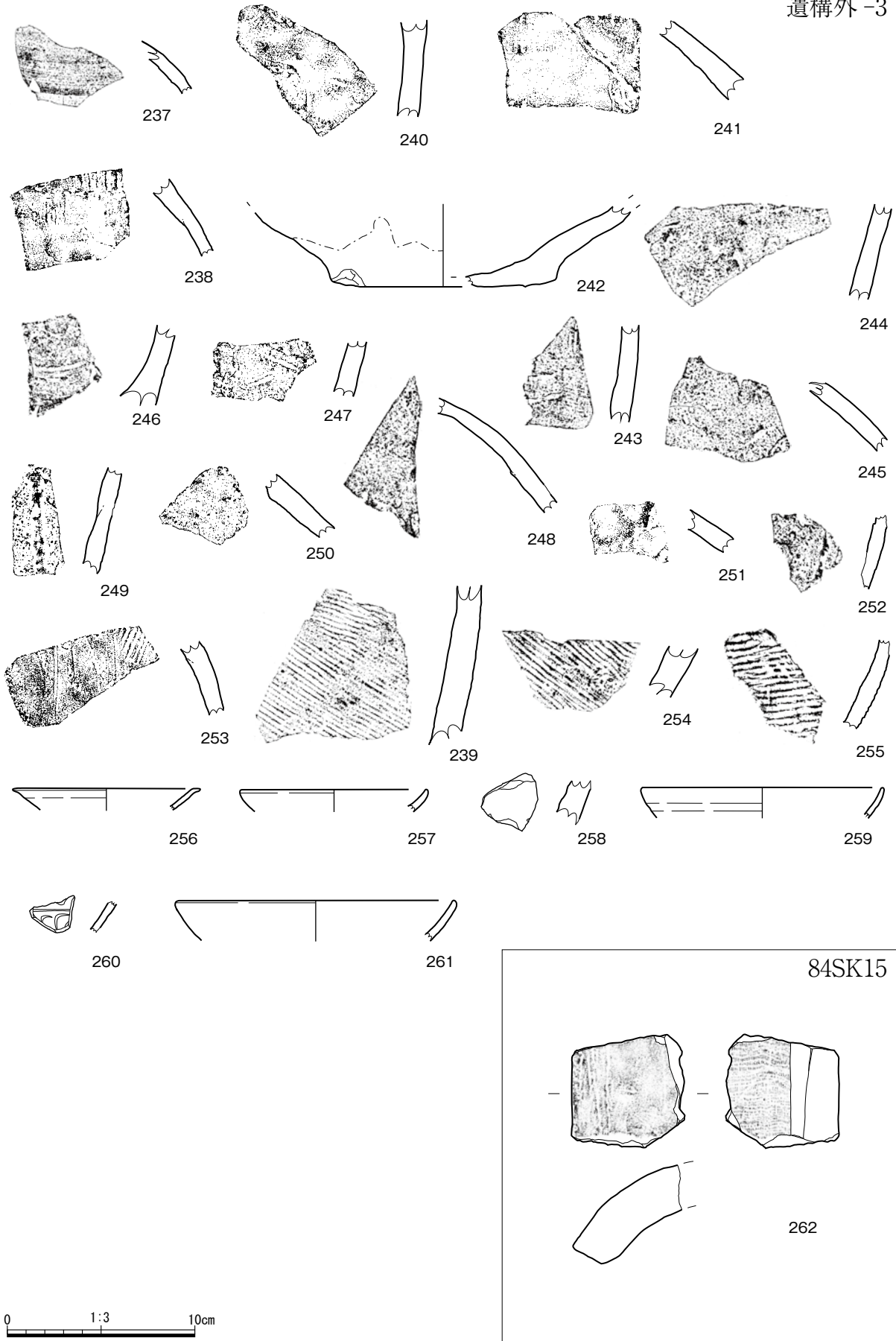


土器・陶磁器類6 (不明遺構2・遺構外1)

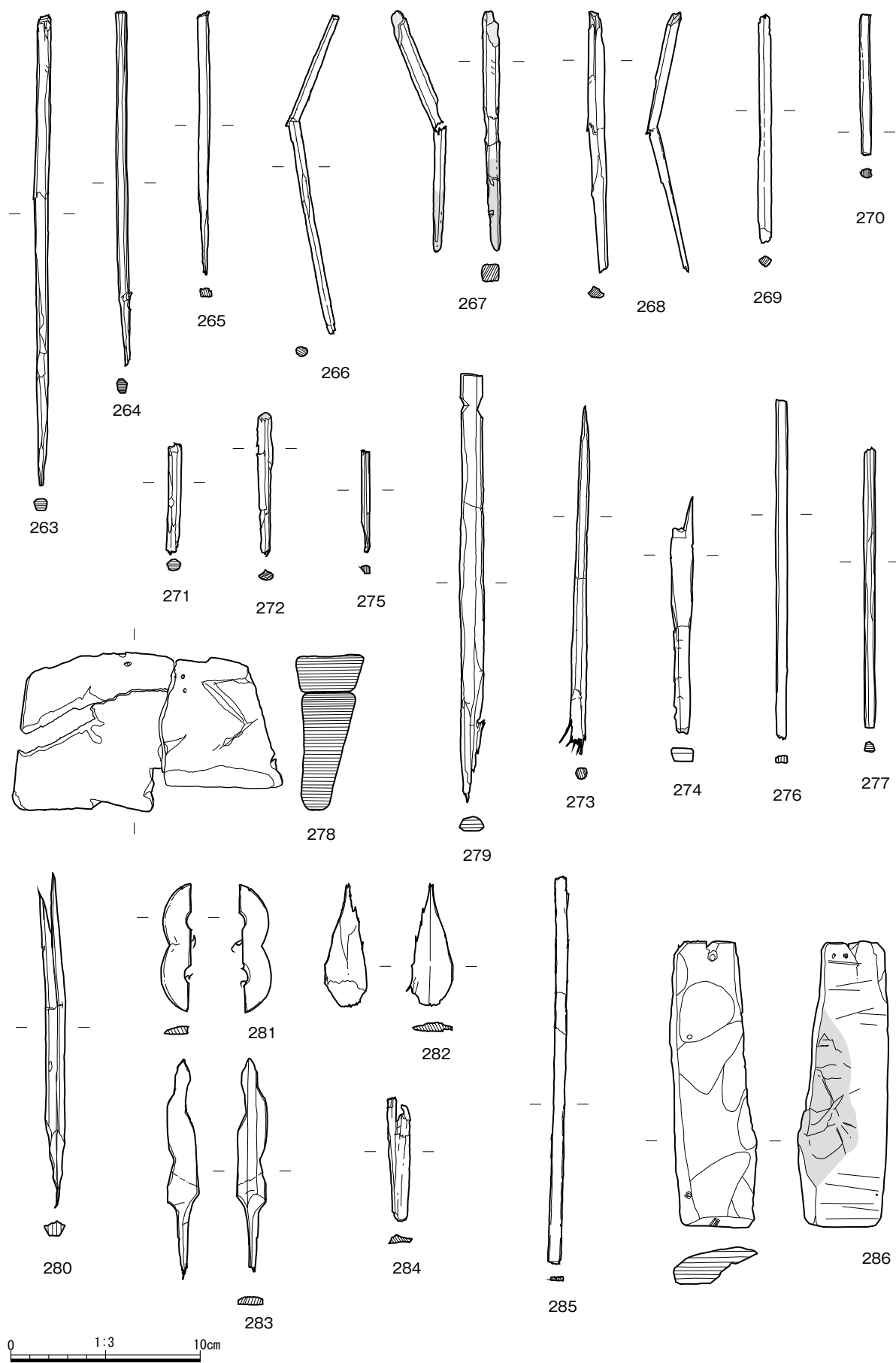
遺構外-2



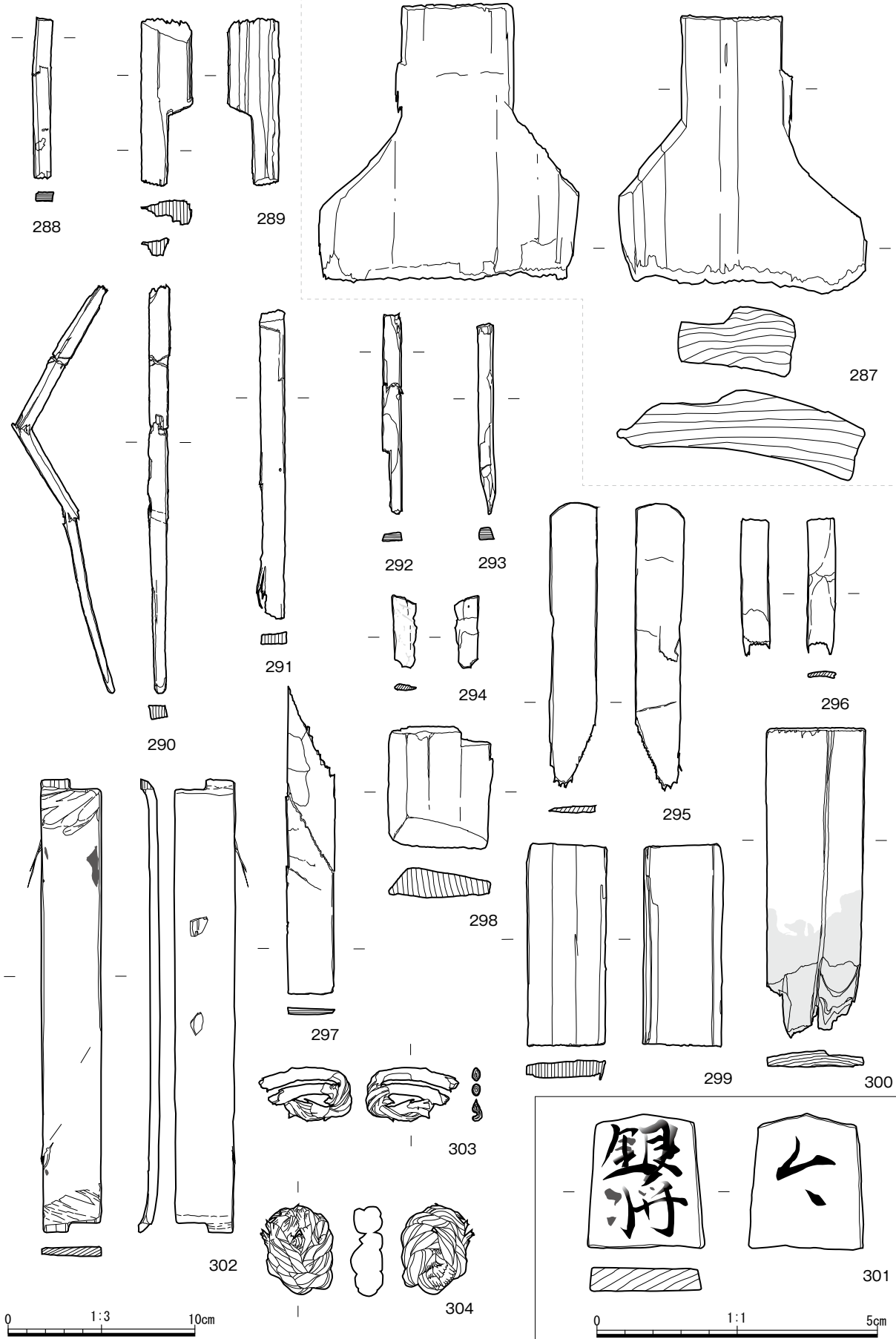
土器・陶磁器類 7 (遺構外 2)



土器・陶磁器類8（遺構外3）・瓦



木製品 1



木製品2



1 調査区遠景1（東から）



2 調査区遠景2（西から）



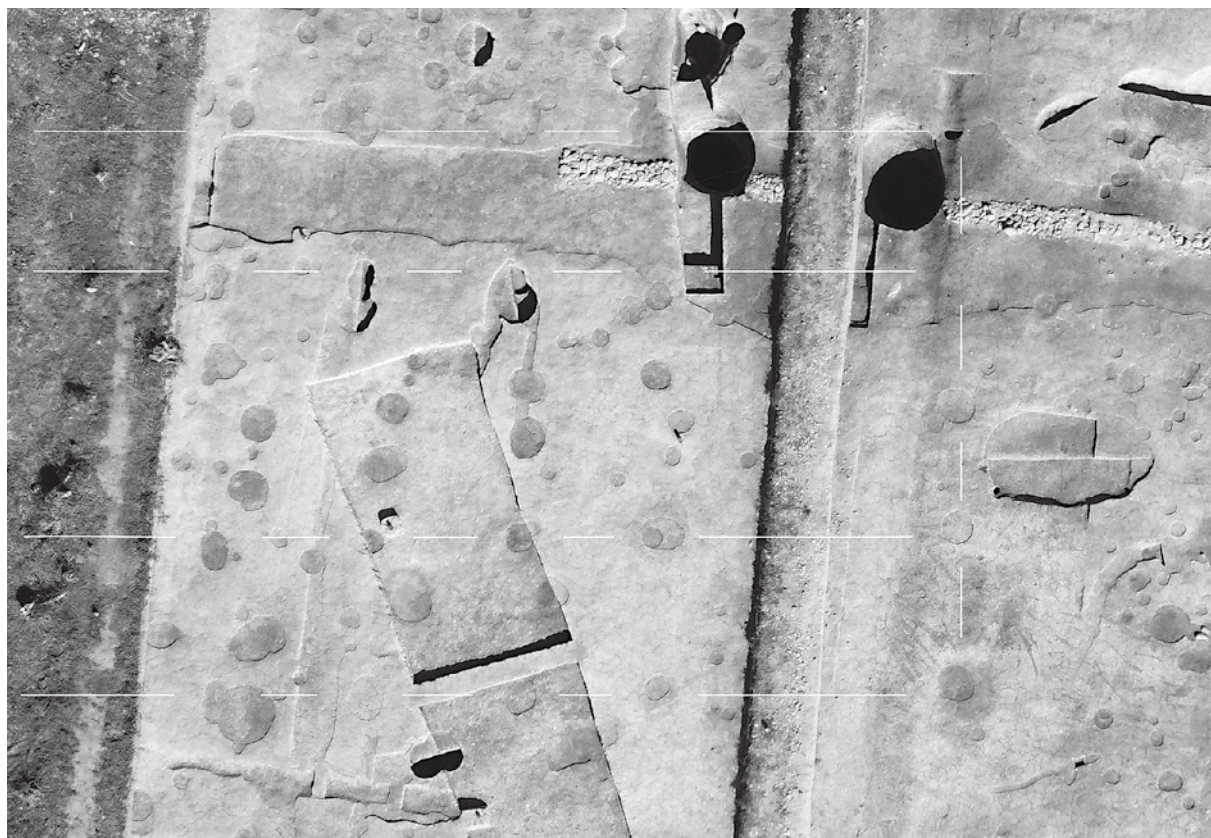
調査区遠景3（南西から）



調査区遠景4（北から）無量光院跡を臨む



調査区全景（直上）



84SB01



84SB02



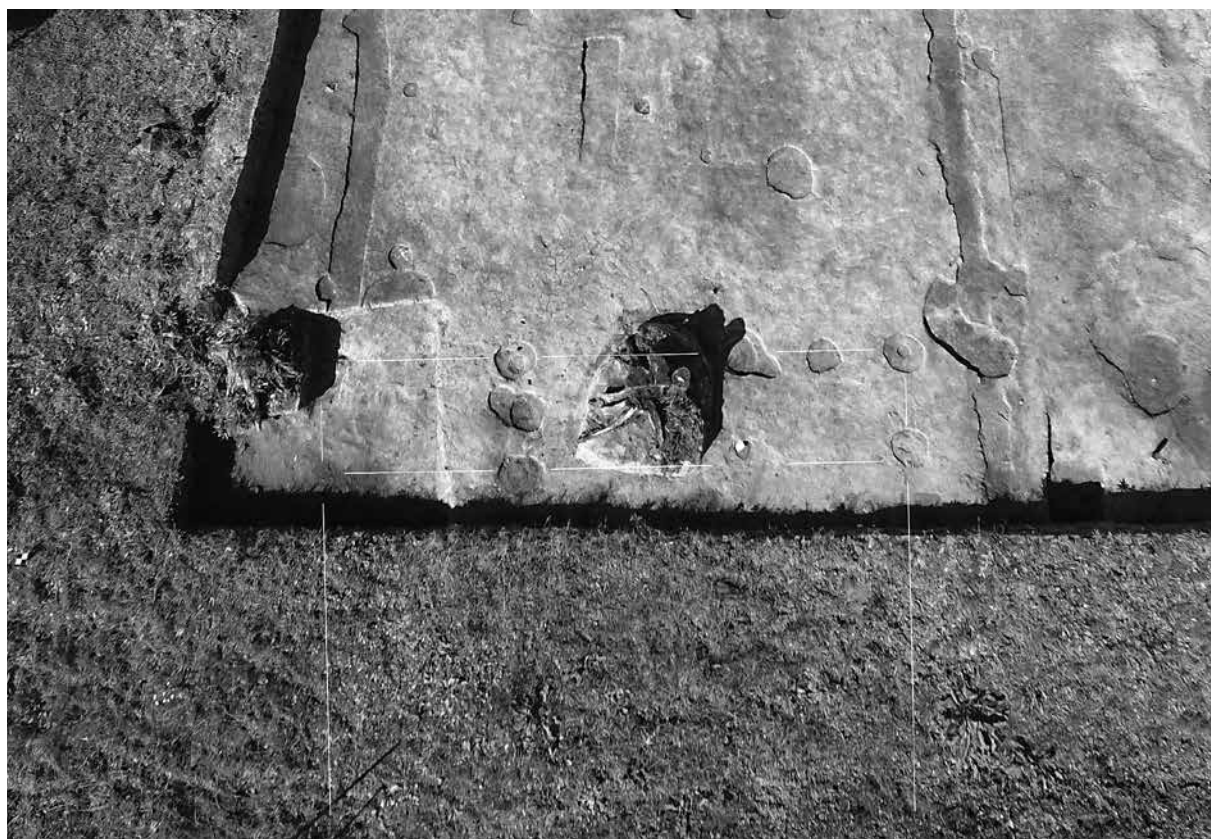
84SB03



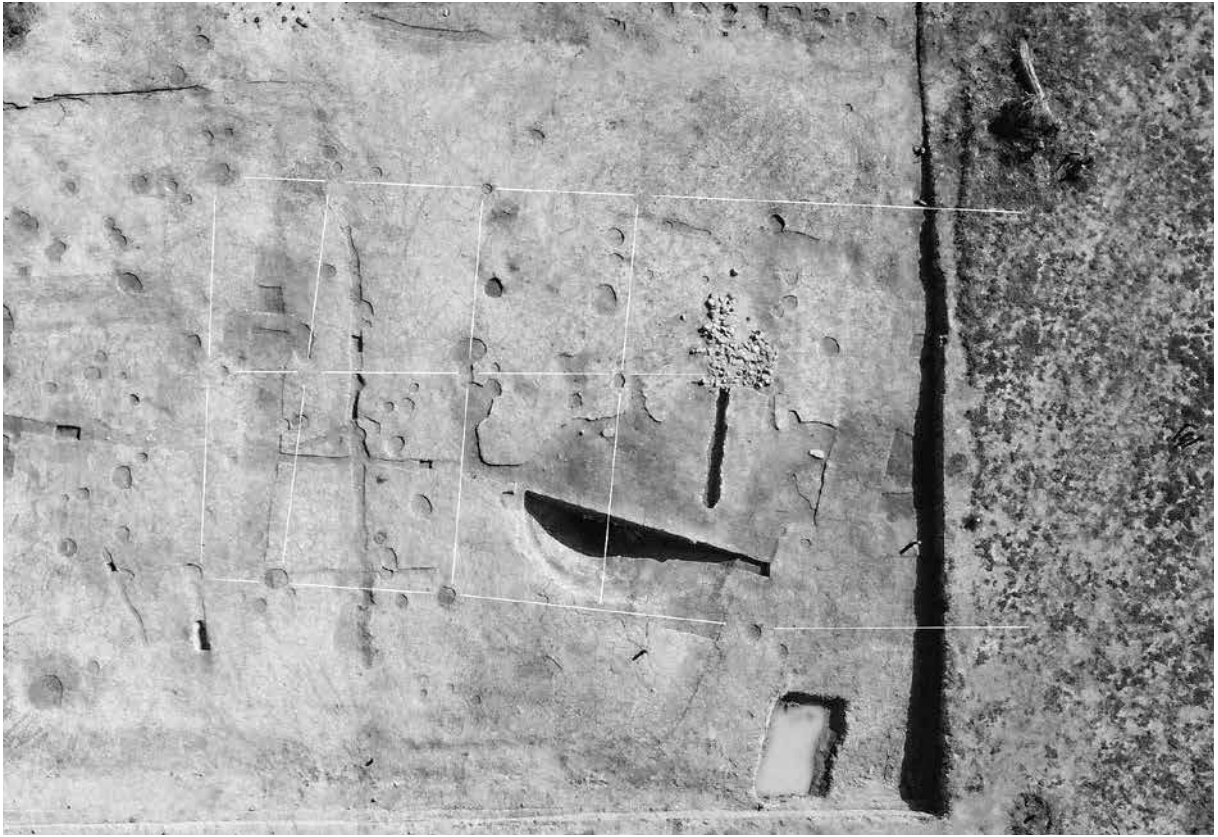
84SB04



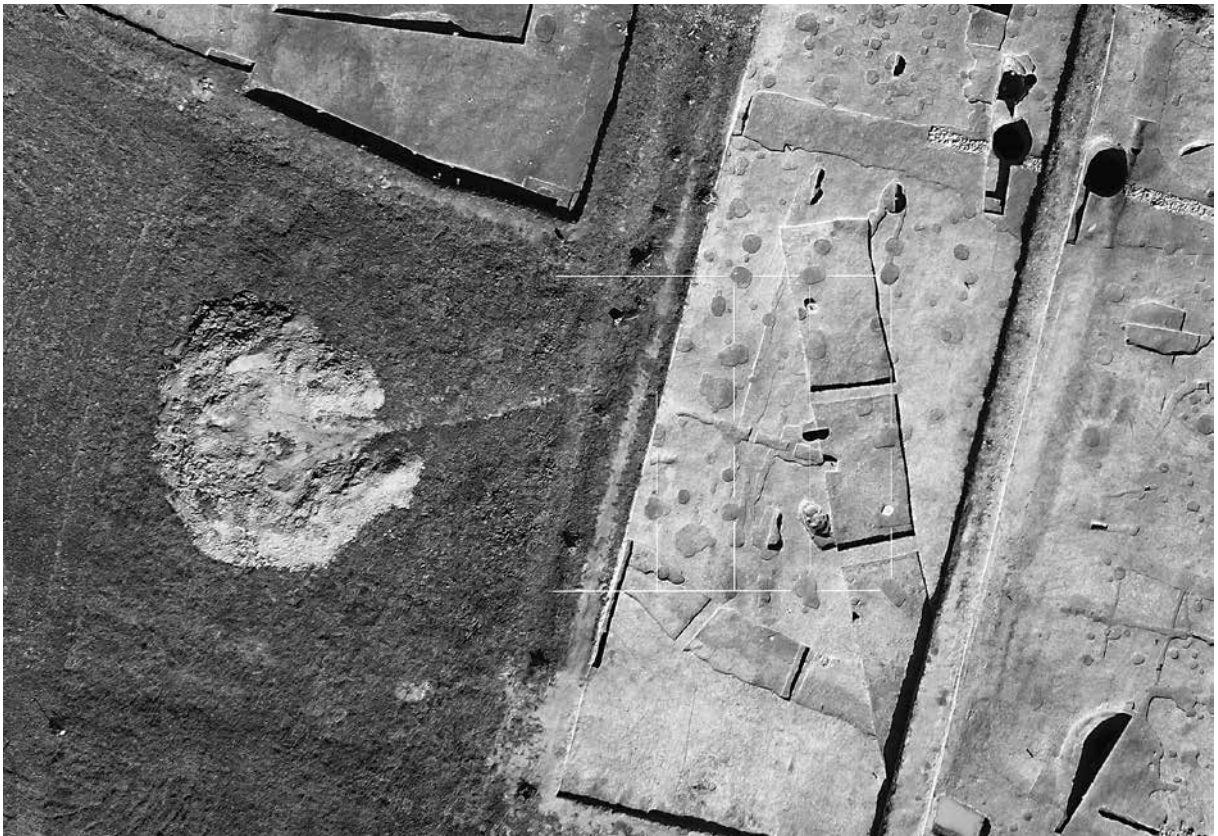
84SB05



84SB06



84SB07



30SB1

84SK03・04 検出状況
(北から)



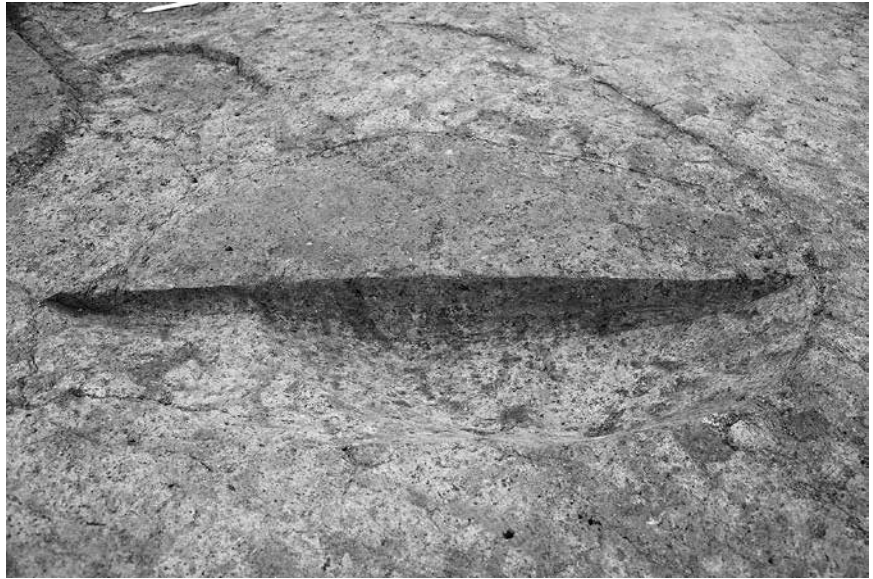
84SK03・04 検出状況
(南から)



84SK03・04 遺物出土状況
(南から)



84SK05 断面（北から）



84SK10 完掘（西から）



84SK10 断面（西から）

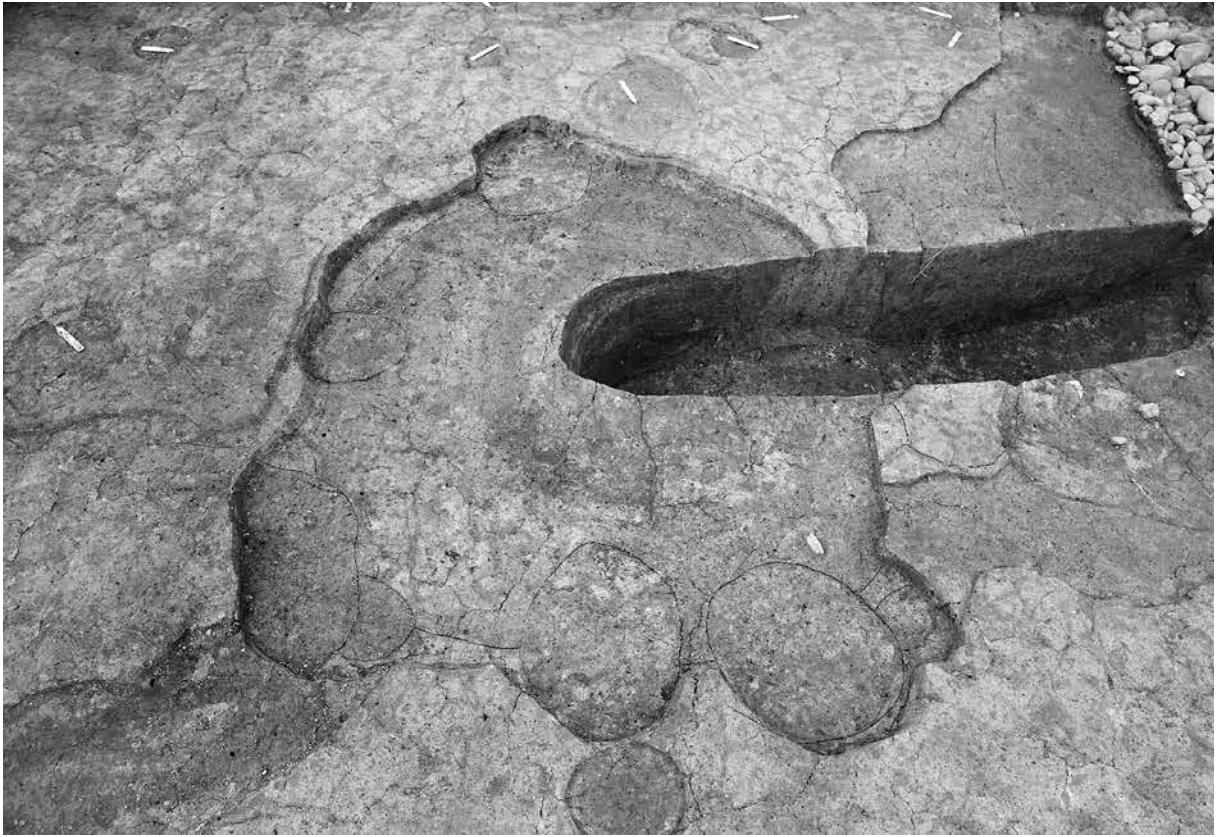




84SK13 完掘状況（西から）



84SK13 断面（西から）



84SK15 検出状況（西から）



84SK15 断面（東から）



84SX01 検出状況（西から）



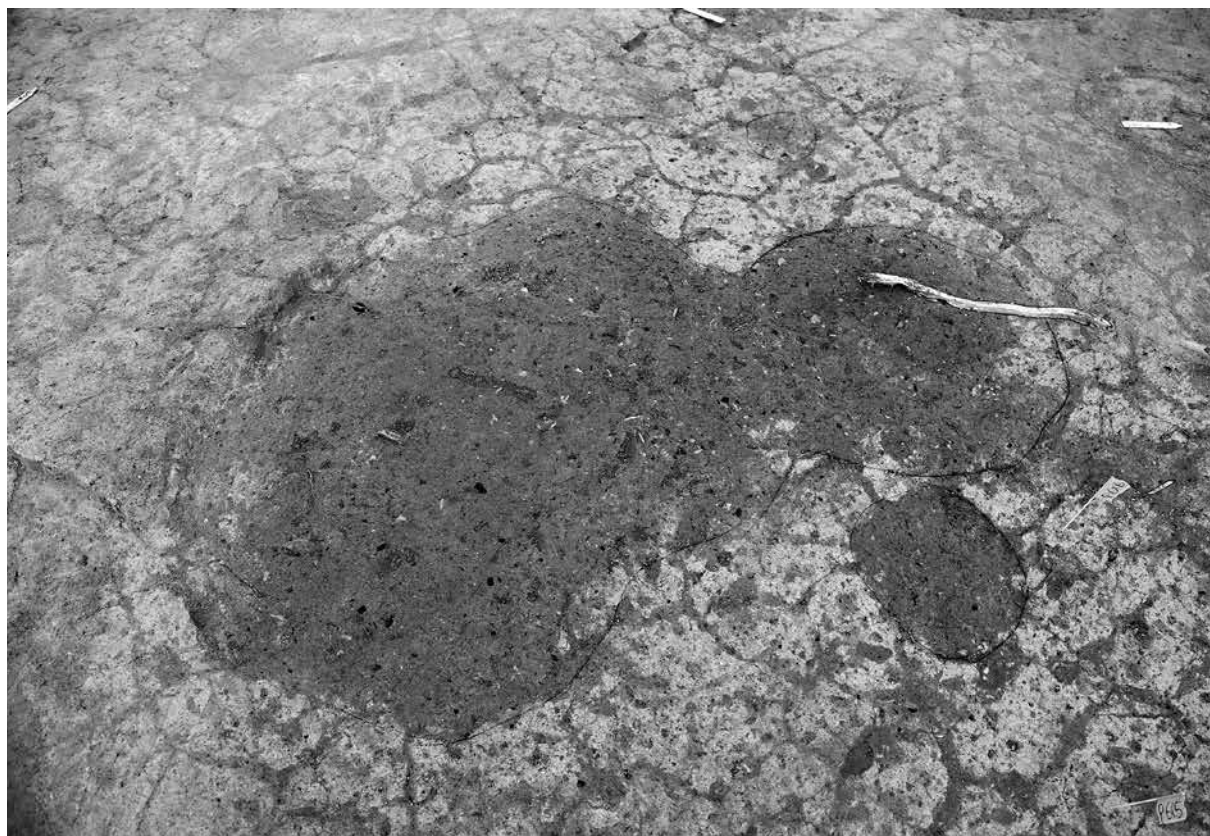
84SX01 断面（西から）



84SX02・03 検出状況（南から）



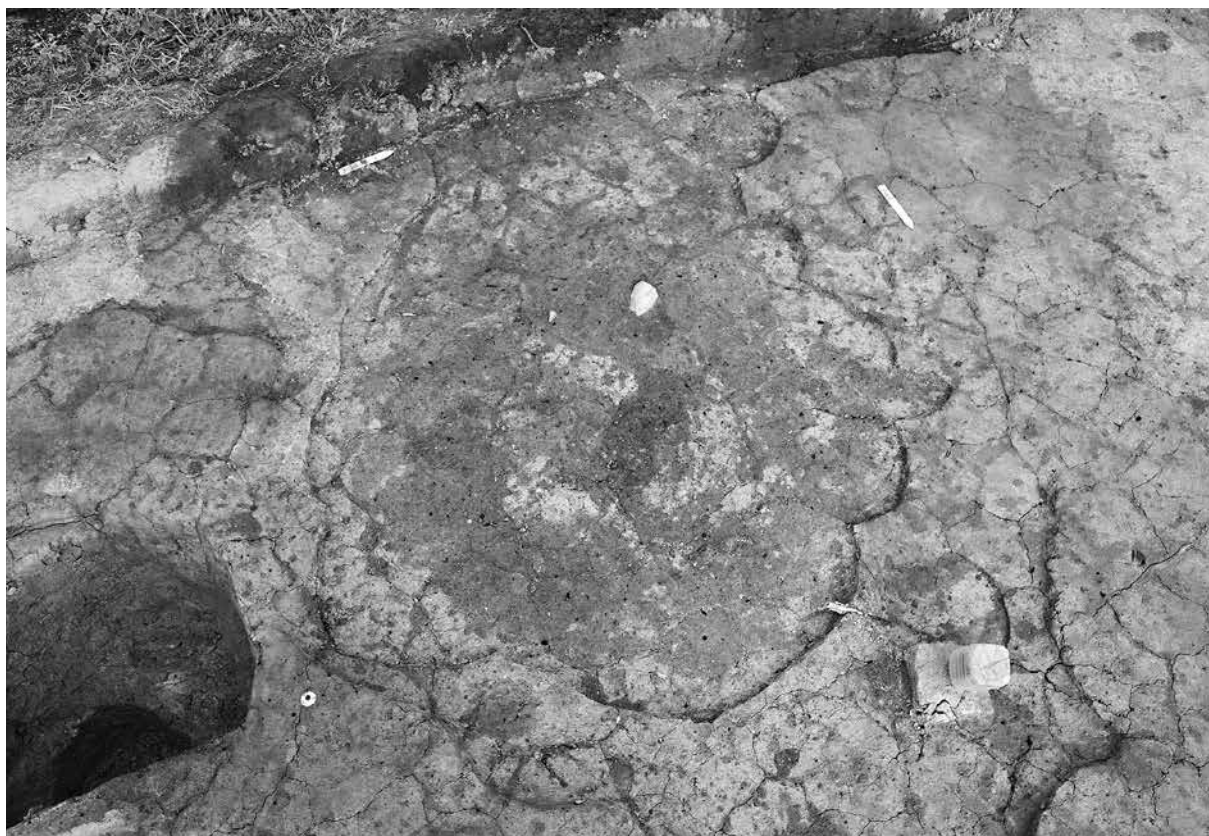
84SX04 断面（西から）



84SX05・P649 検出状況（北から）



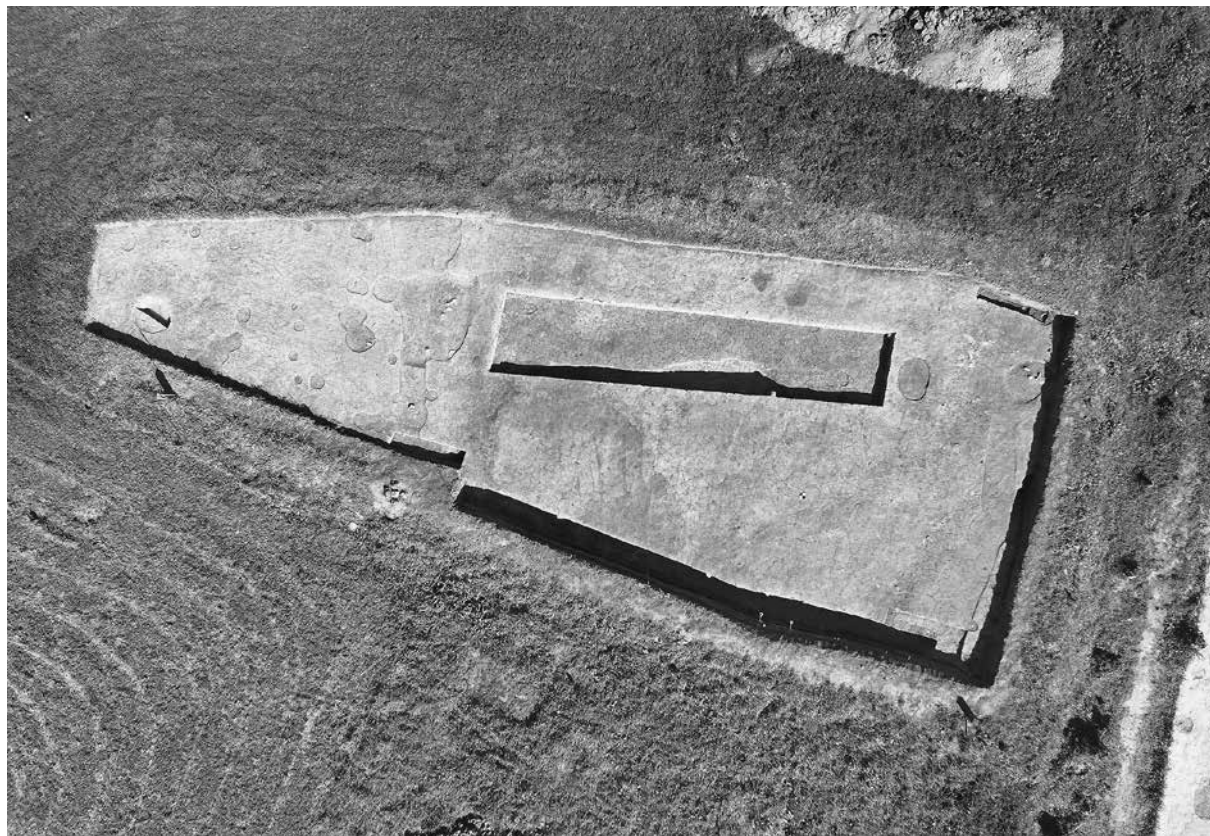
84SX05・P649 断面（北から）



84SX06 検出状況（北から）



84SX06 断面（西から）



84SX08 検出状況（直上）



84SX08 断面（北から）



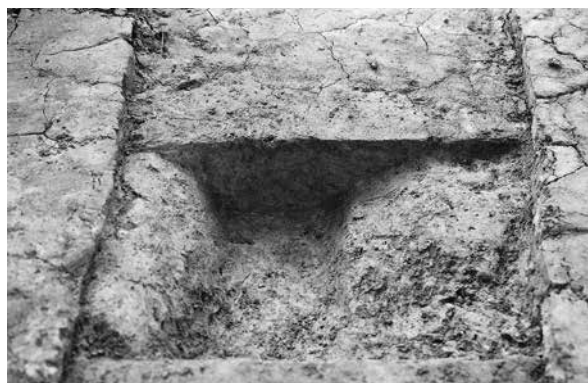
84SX08 一部精査状況（東から）



84SX08 トレンチ断面（北から）



84SD01 検出状況（西から）



84SD01 断面（東から）



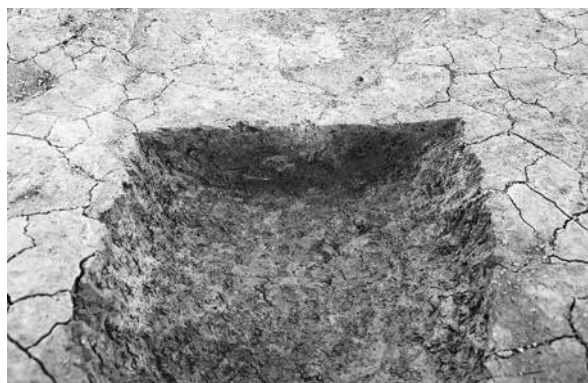
84SD02 検出状況（南西から）



84SD02 断面（東から）



84SD03 検出状況（南西から）



84SD03 断面（西から）



84SD05 検出状況（西から）



84SD05 断面（東から）



84SD06・17 検出状況（南から）



84SD06・17 断面（北から）



84SD08 検出状況（西から）



84SD08 断面（東から）



84SD09 検出状況（西から）



84SD09 断面（東から）



84SD10・12 検出状況（南から）



84SD11 検出状況（南西から）



84SD12 断面 (南から)



84SD12 断面 (南から)



84SD13 検出状況 (西から)



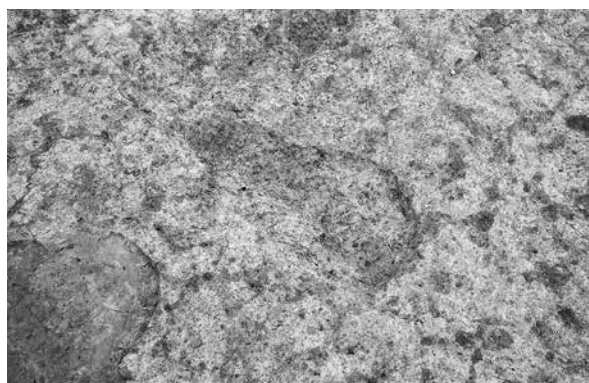
84SD13 断面 (東から)



84SD14 検出状況 (南から)



84SD15 検出状況 (南から)



84SD16 検出状況 (南から)



84SD17 新・旧検出状況 (西から)



84SD17 新 断面 (西から)



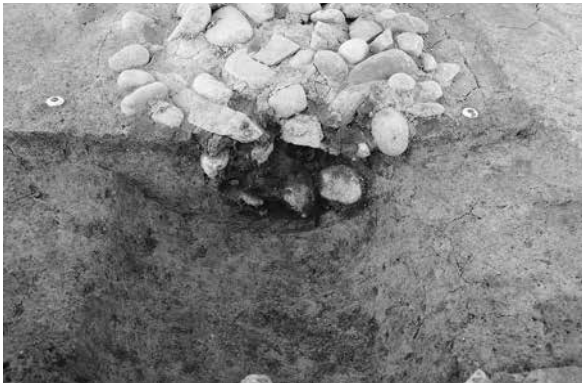
84SD17 旧 断面 (東から)



84SD17 旧 断面 (東から)



84SD17 新 断面 (東から)



84SD14 検出状況 (南から)



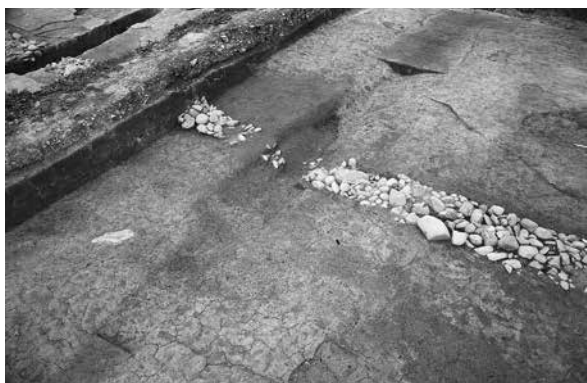
84SD15 検出状況 (南から)



84SD17 調査部分 (精査前) (南東から)



84SD17 調査部分 (精査後) (西から)



84SD18 検出状況（南東から）



84SD18 断面（南から）



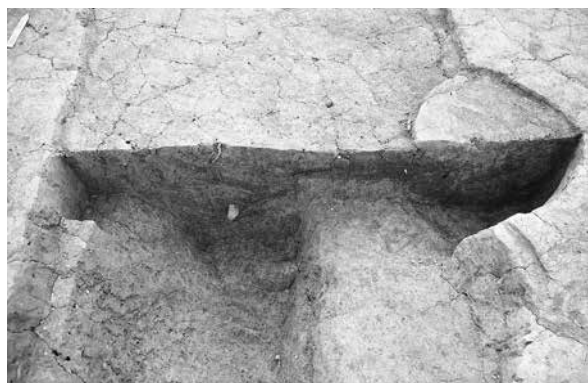
84SD19 検出状況（南西から）



84SD19 断面（東から）



84SD20 検出状況（北西から）



84SD20・P579 断面（北から）



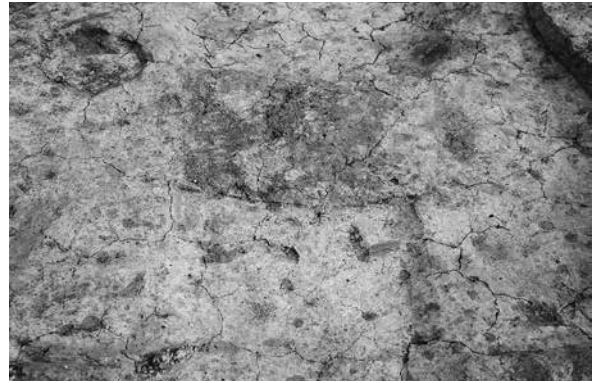
84SD27 検出状況（南から）



84SD21 検出状況（北東から）



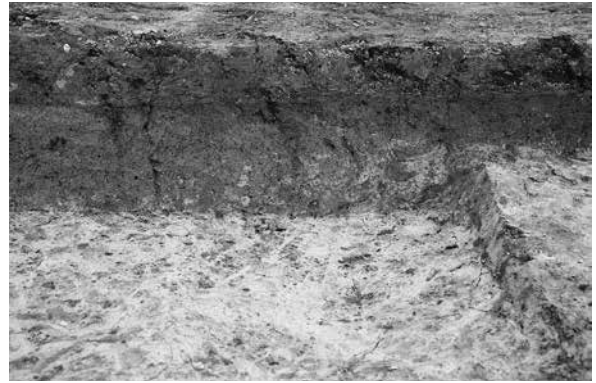
84SD22 検出状況 (西から)



84SD22 断面 (西から)



84SD23 検出状況 (南東から)



84SD23 断面 (北から)



84SD24 検出状況 (北から)



84SD24 断面 (北から)

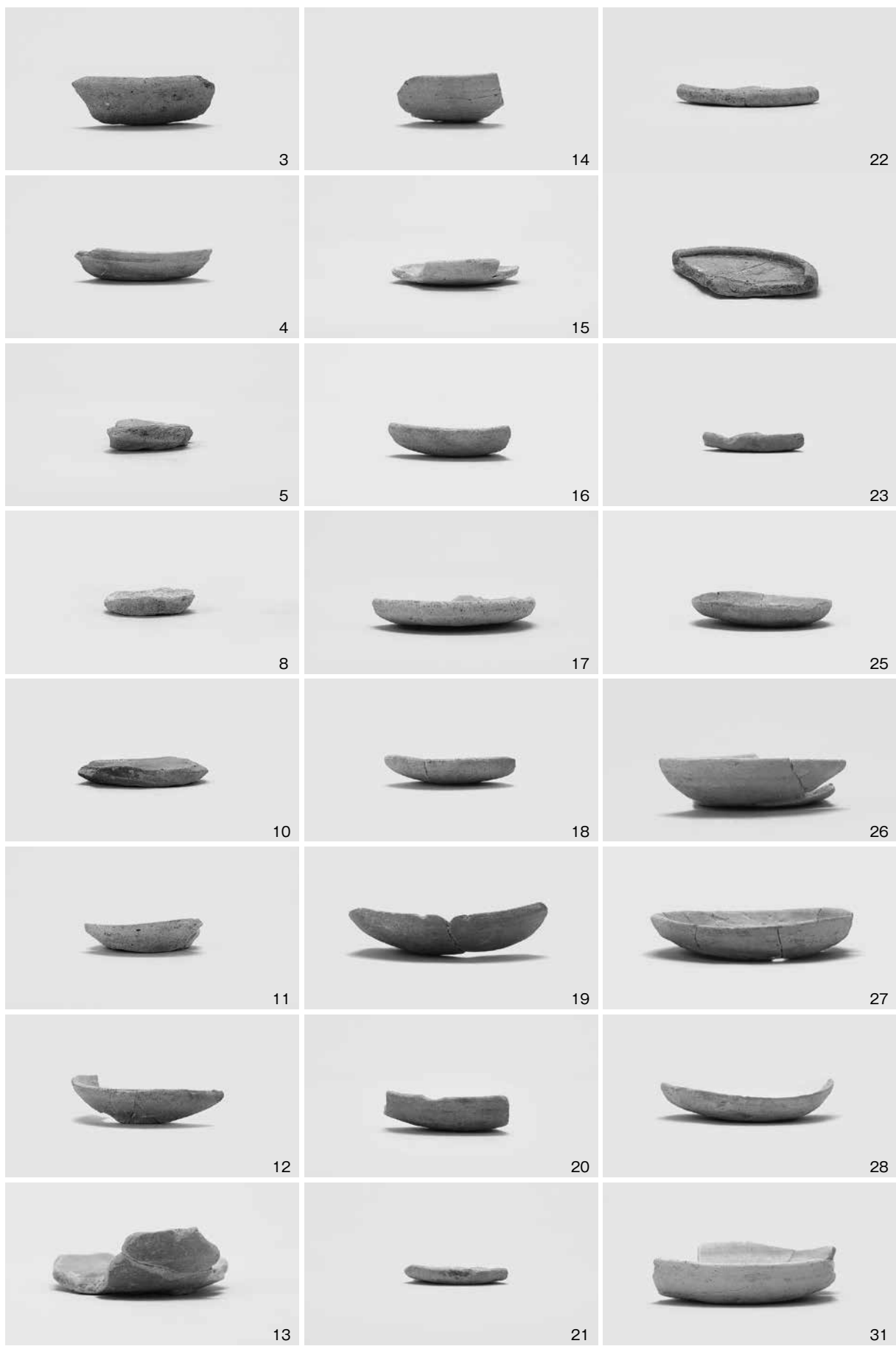


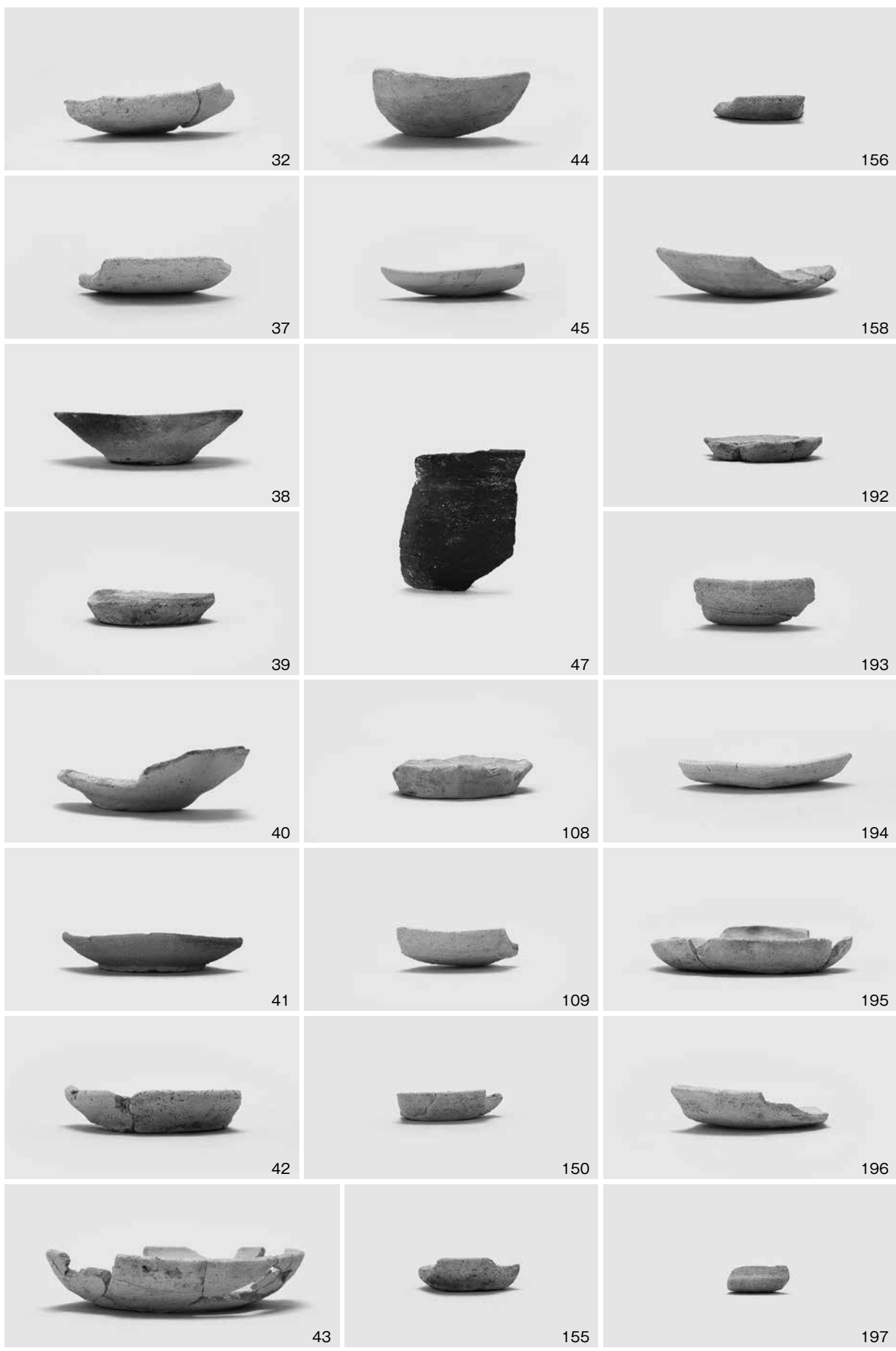
84SD25 検出状況 (北から)



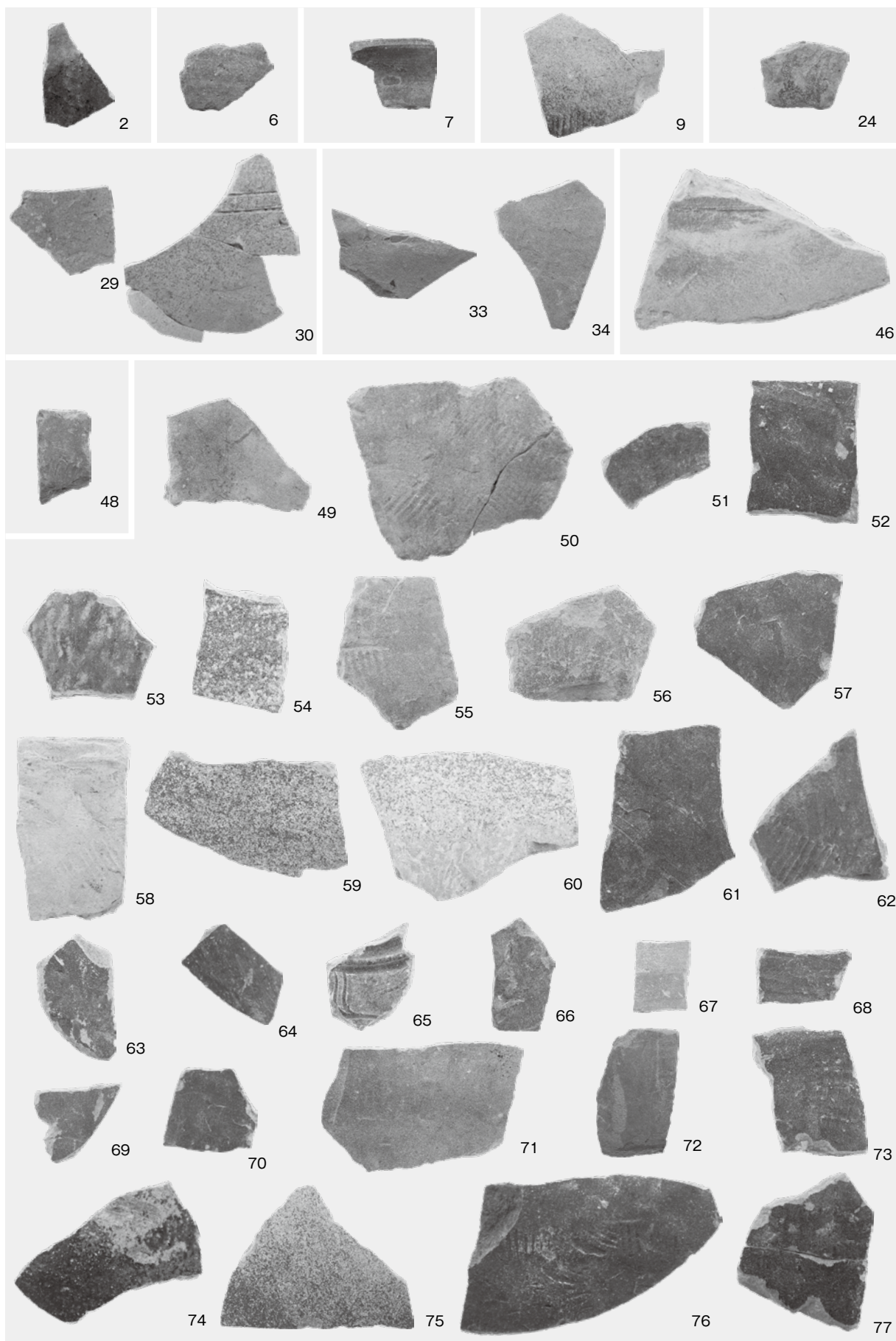
84SD25 断面 (北から)

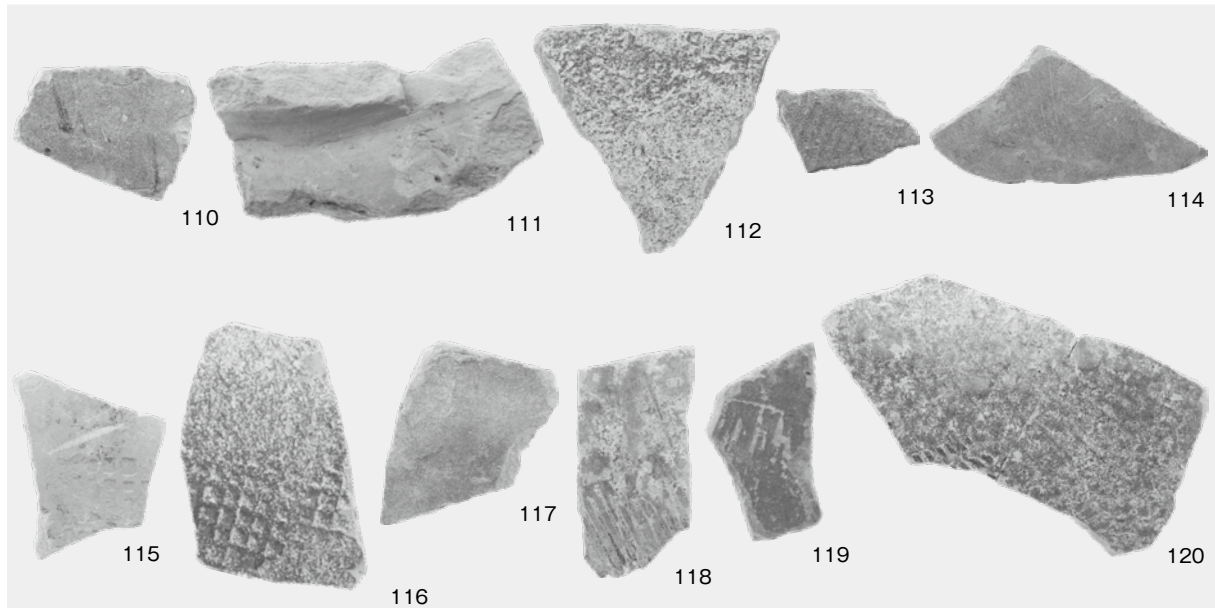
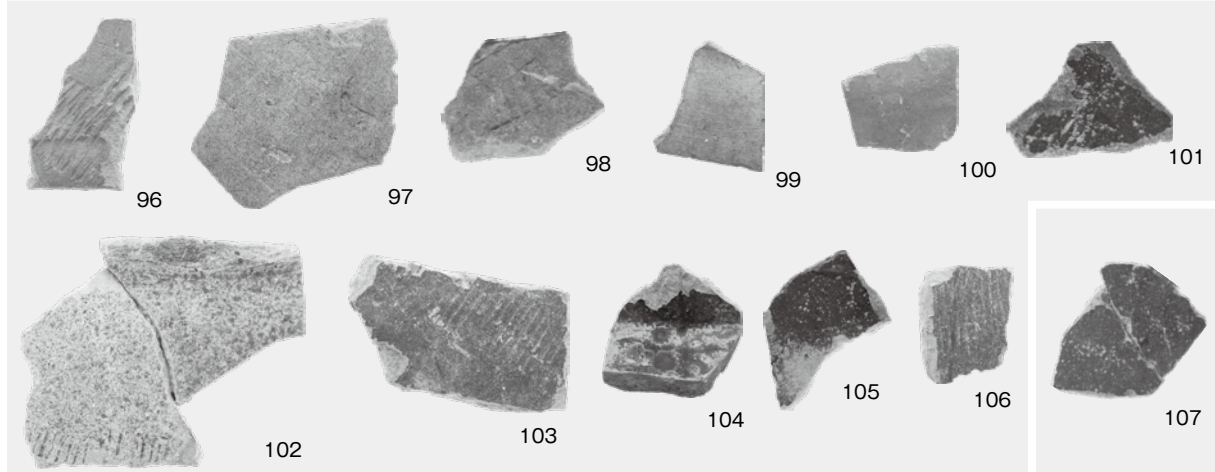
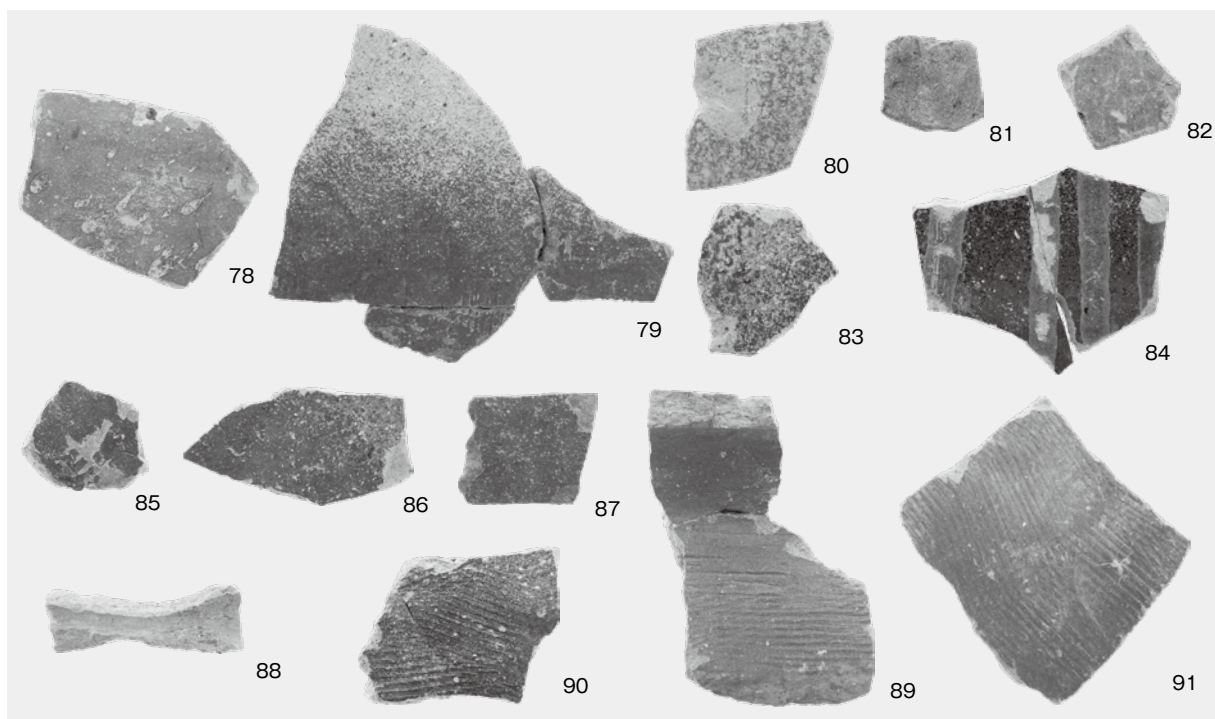
图版 58
遺物



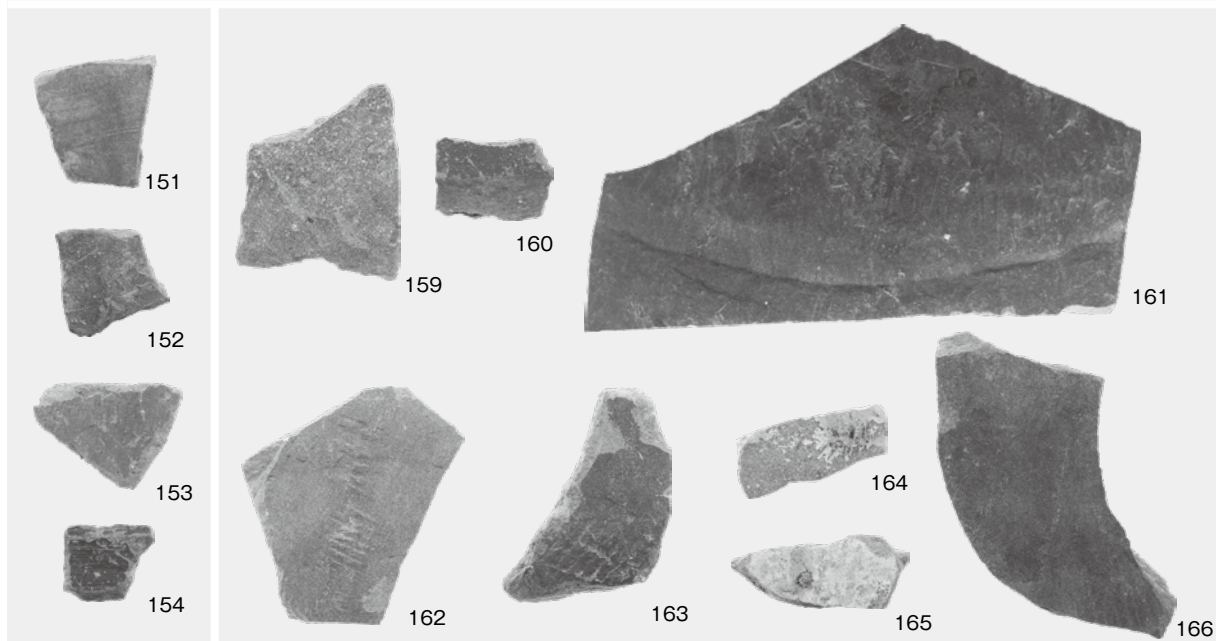
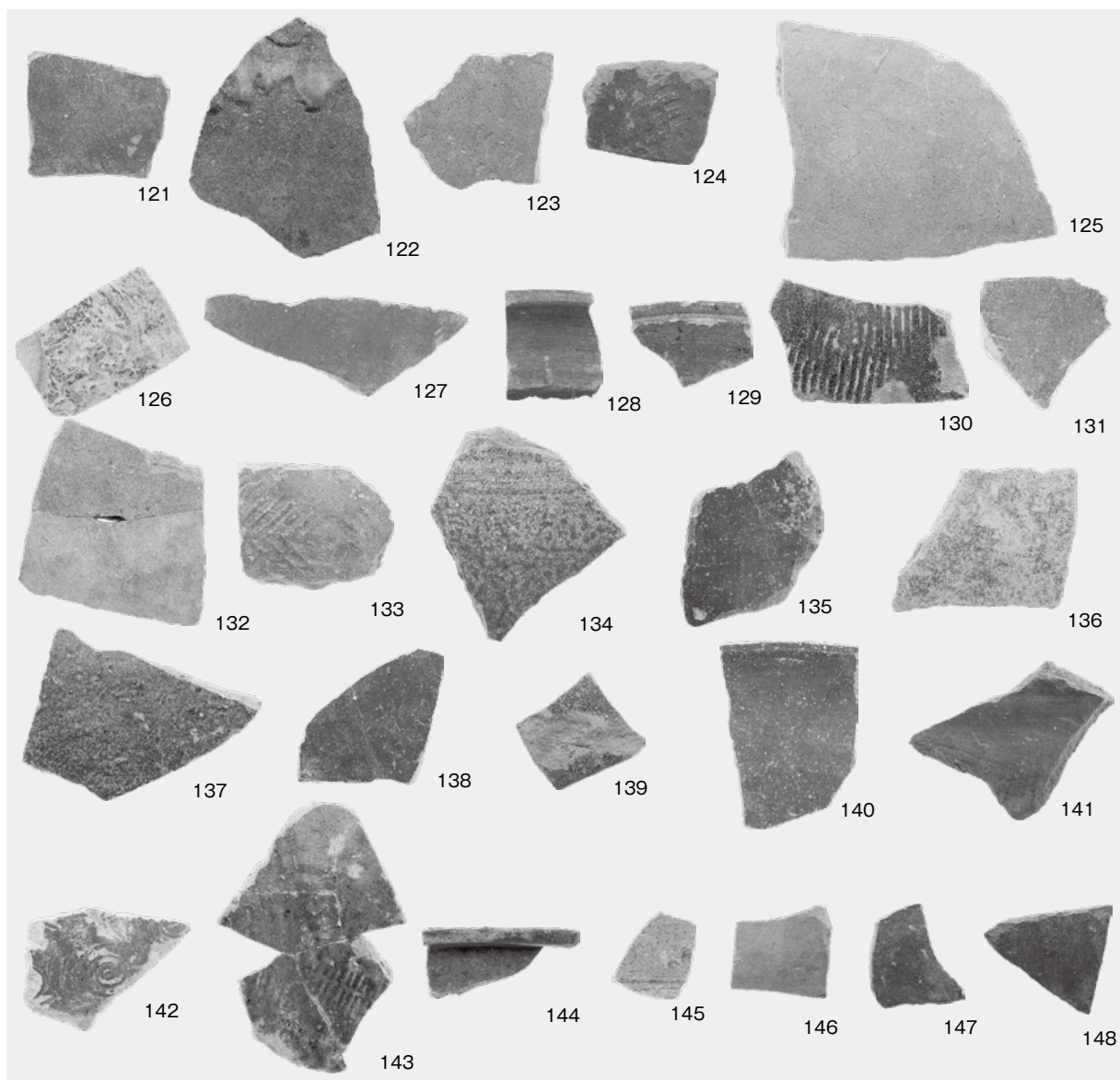


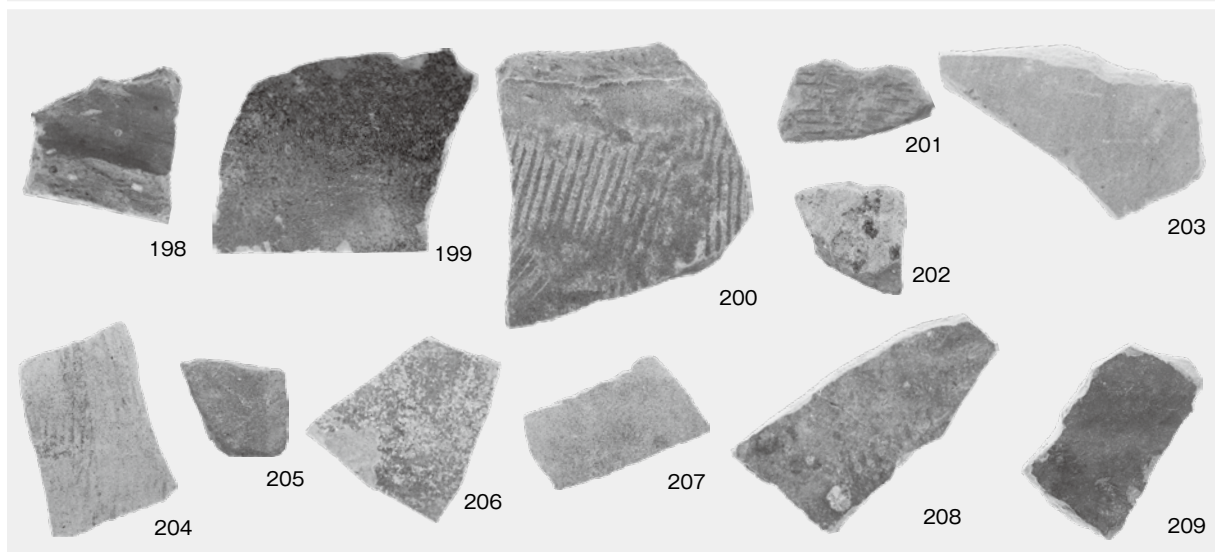
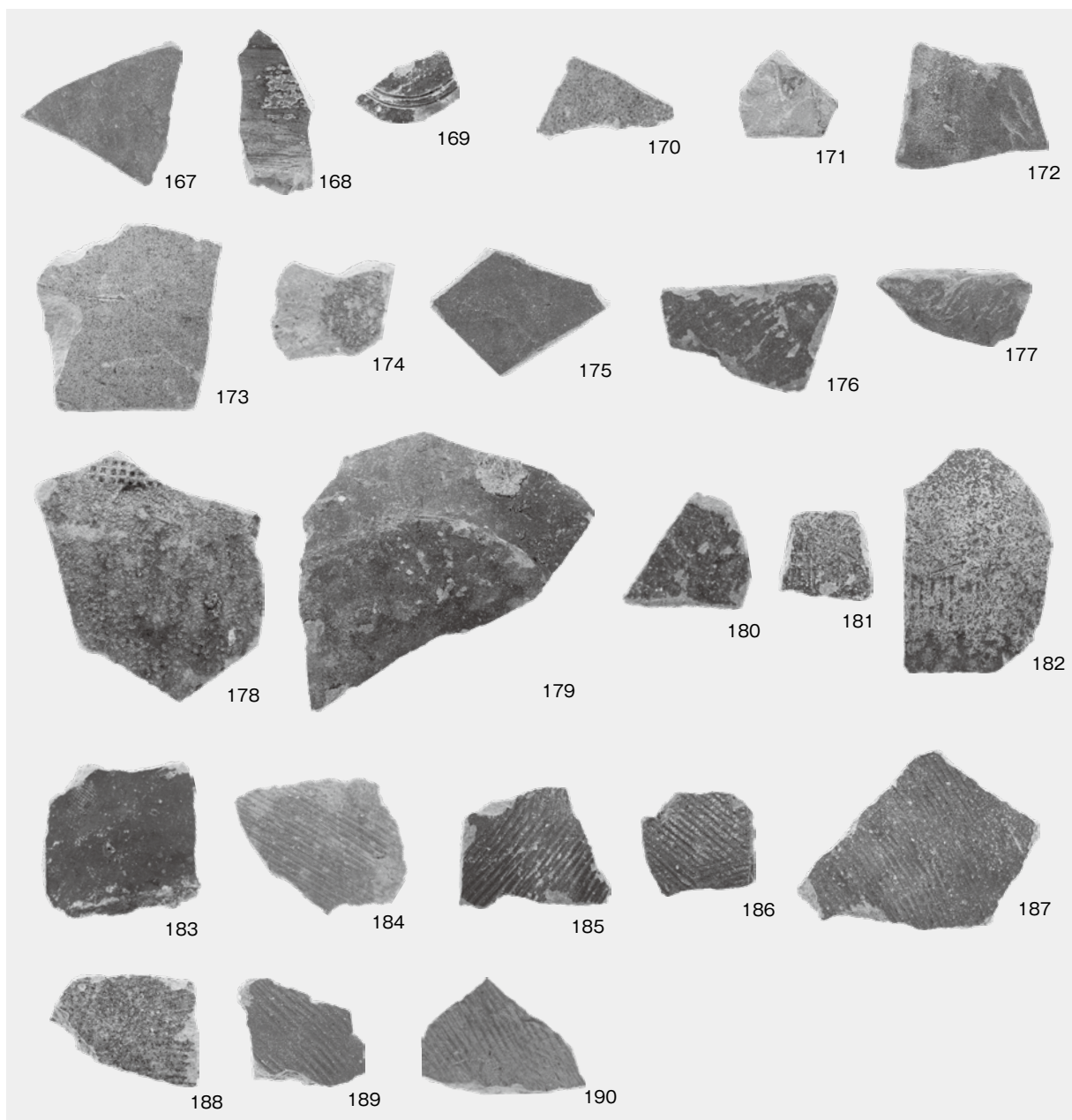
图版60
遺物

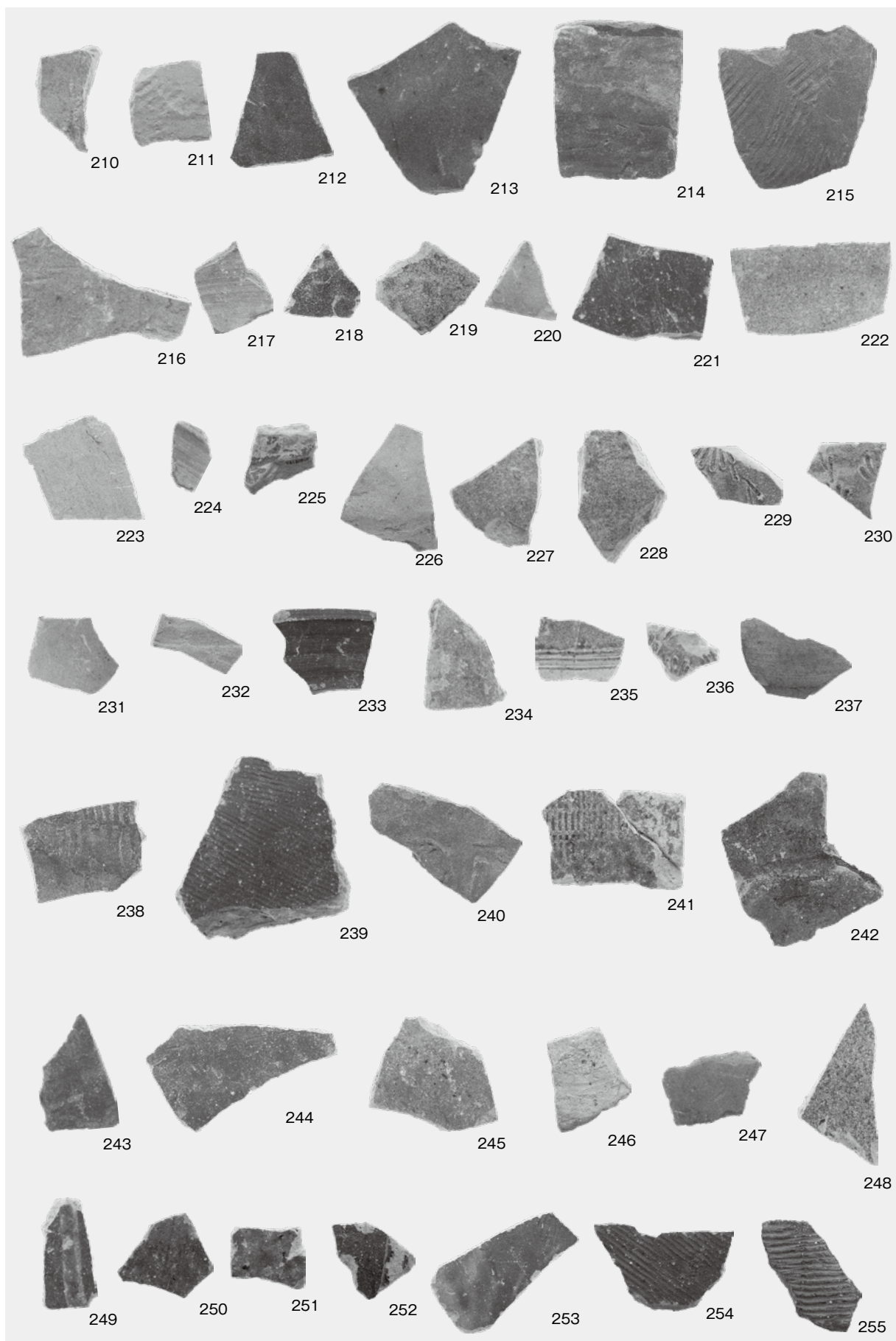


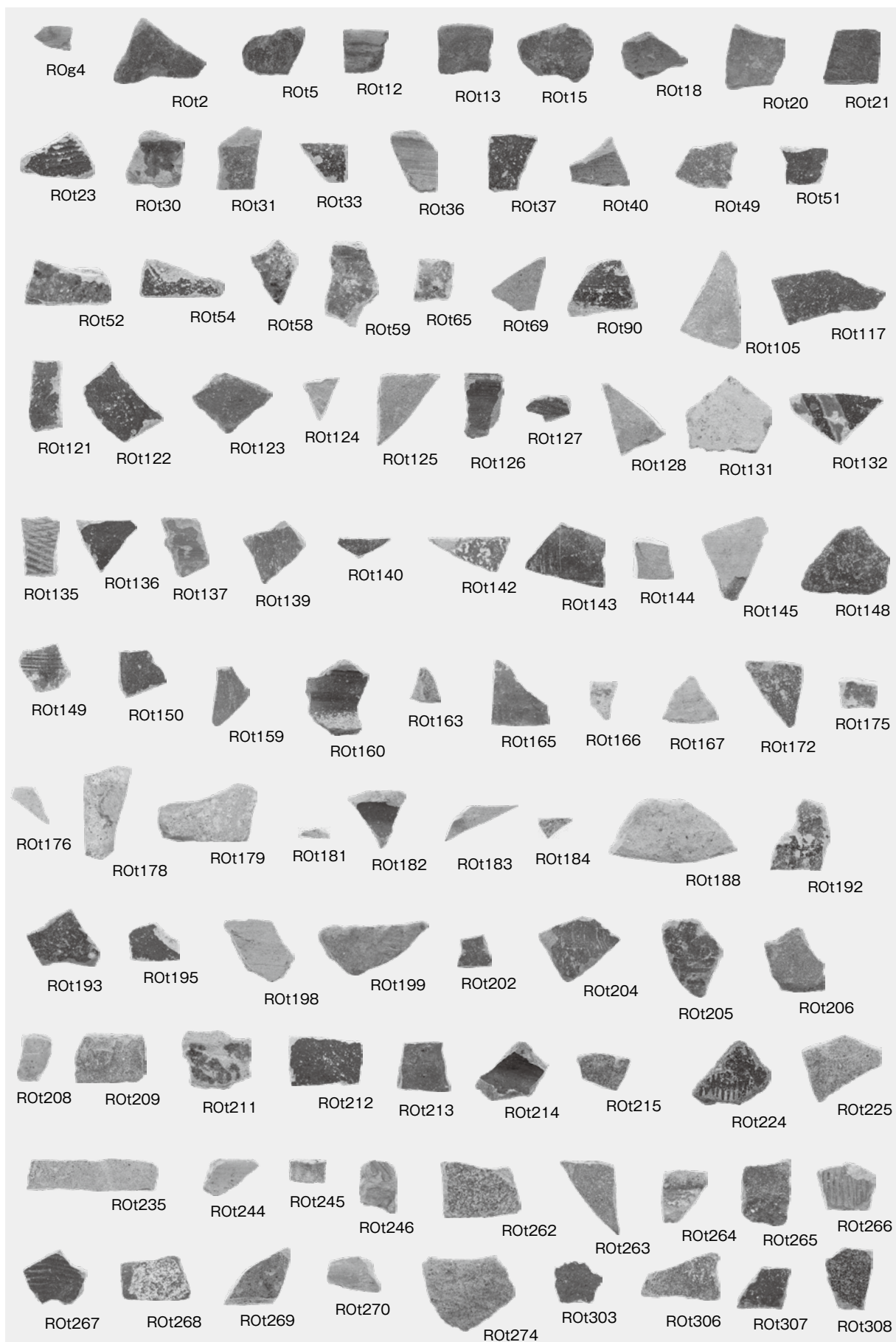


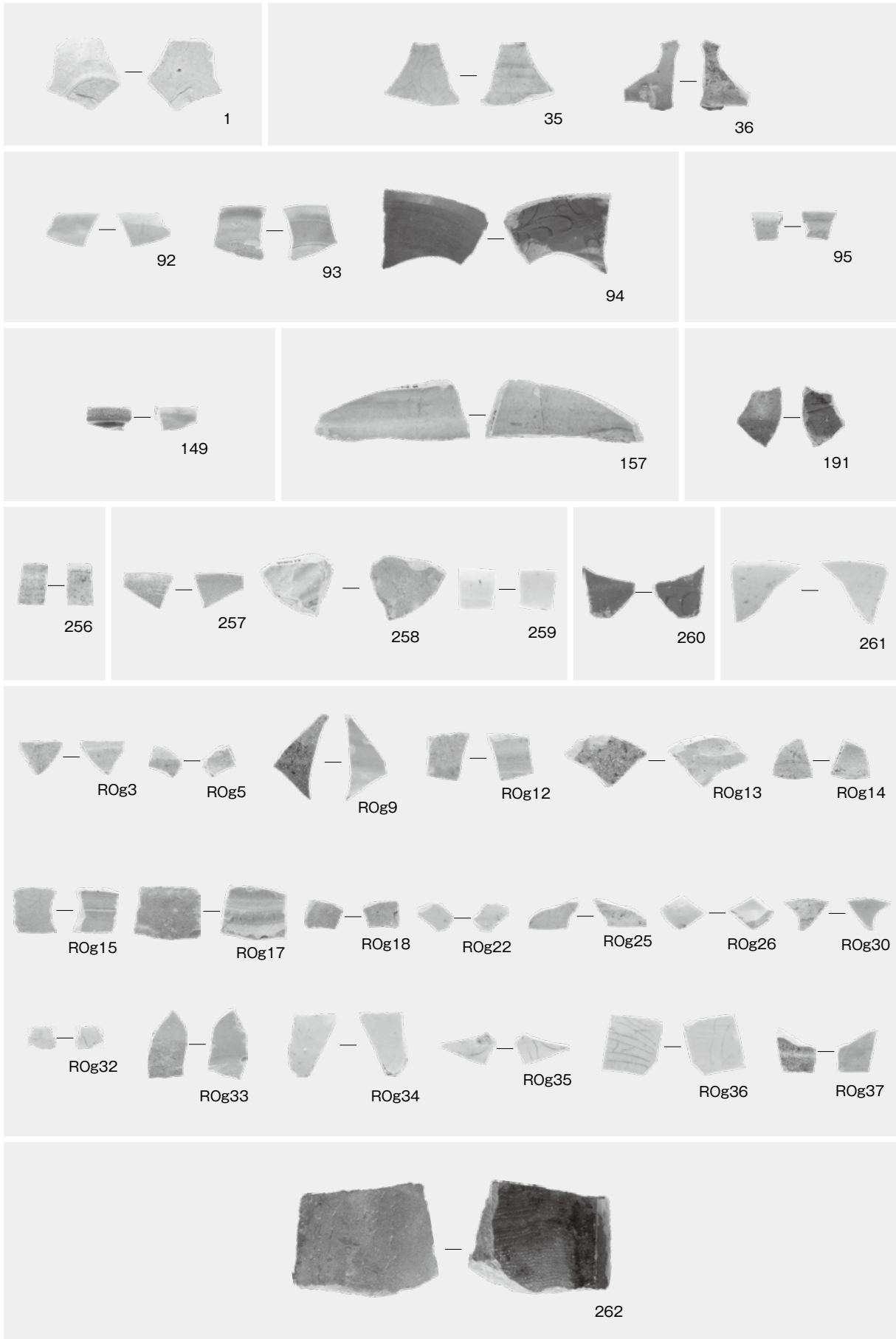
图版62
遺物



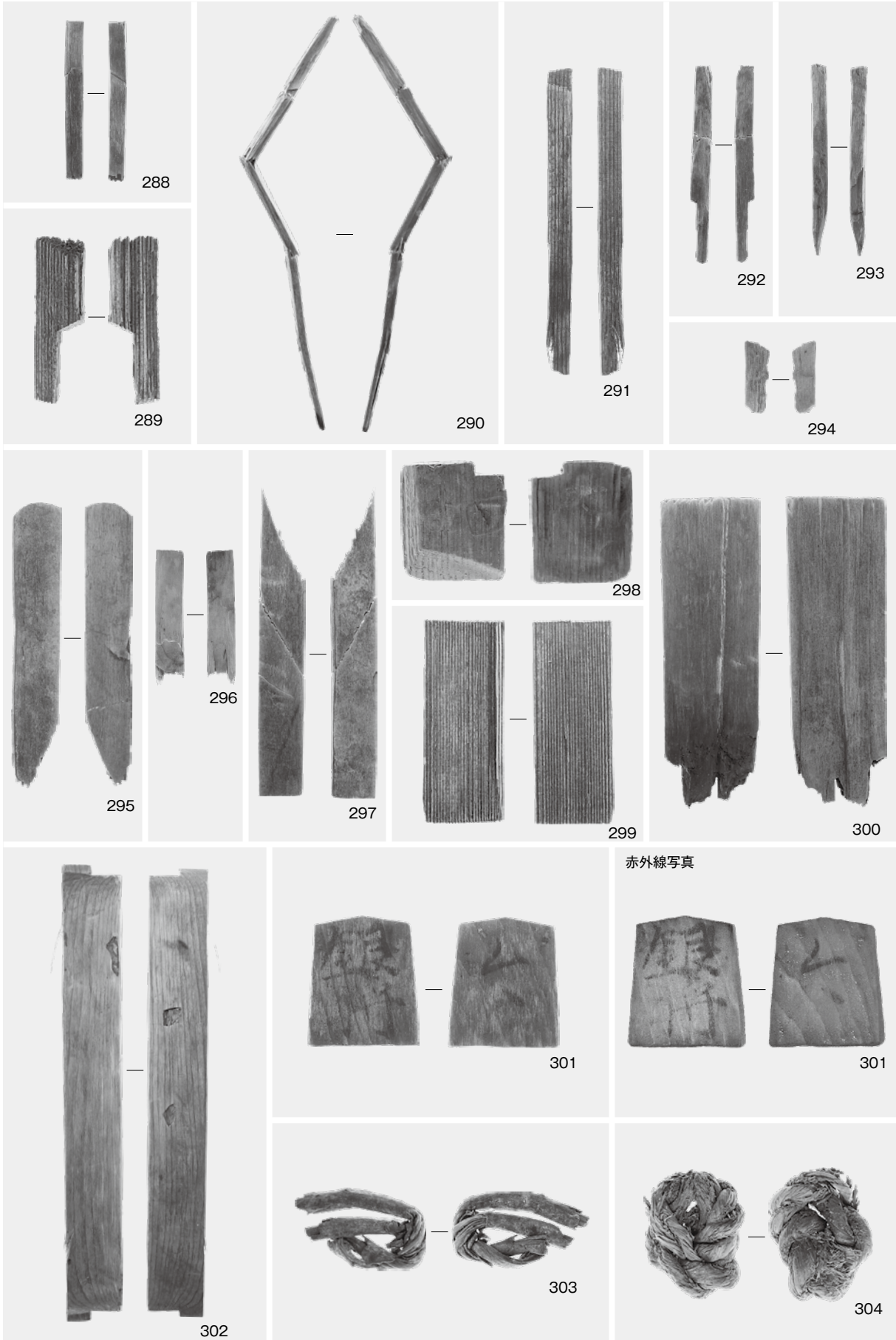


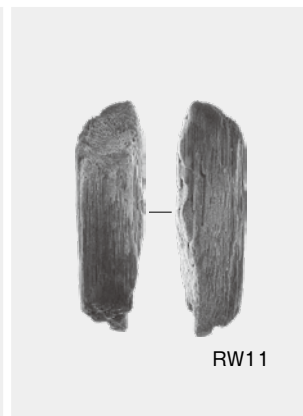




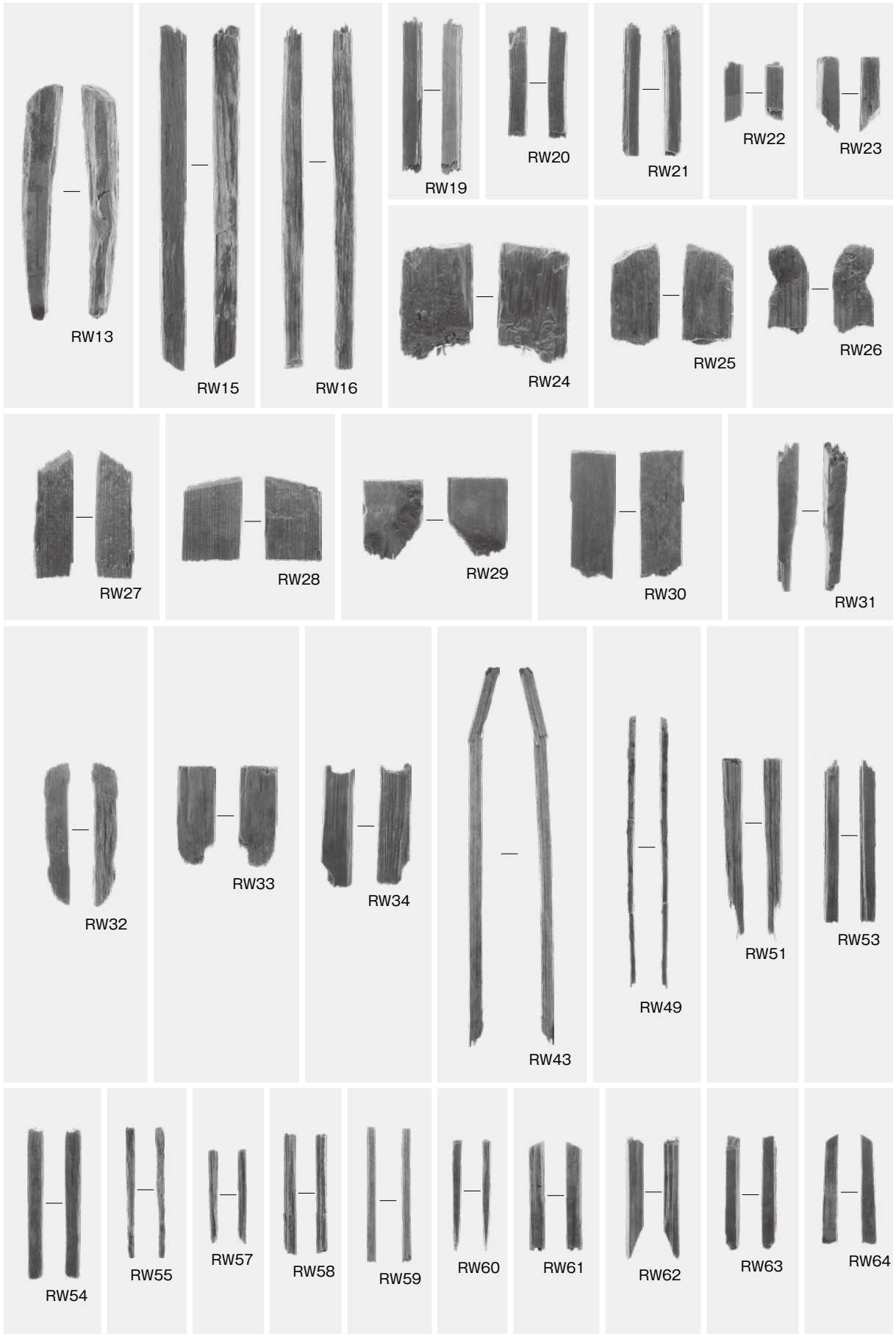


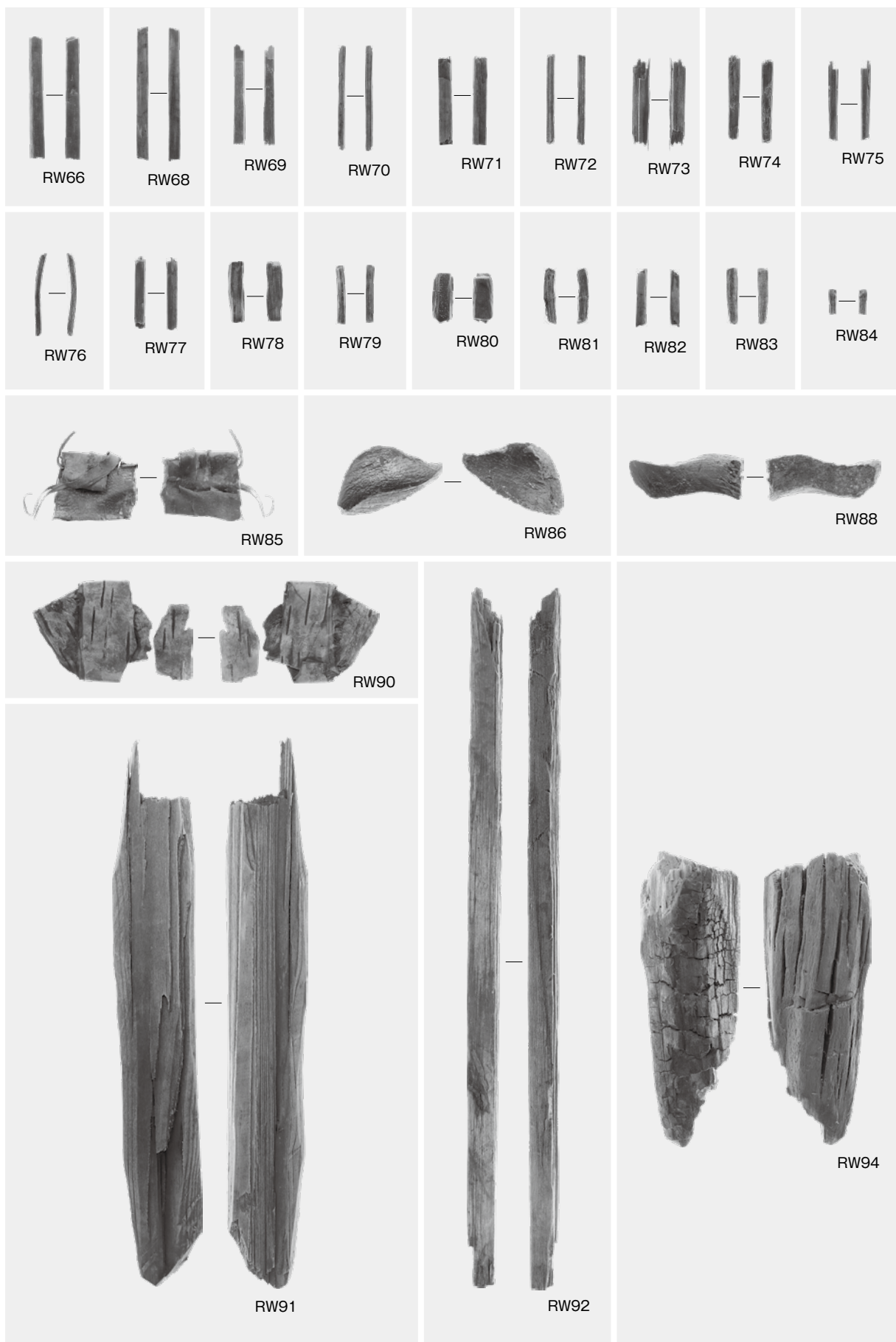






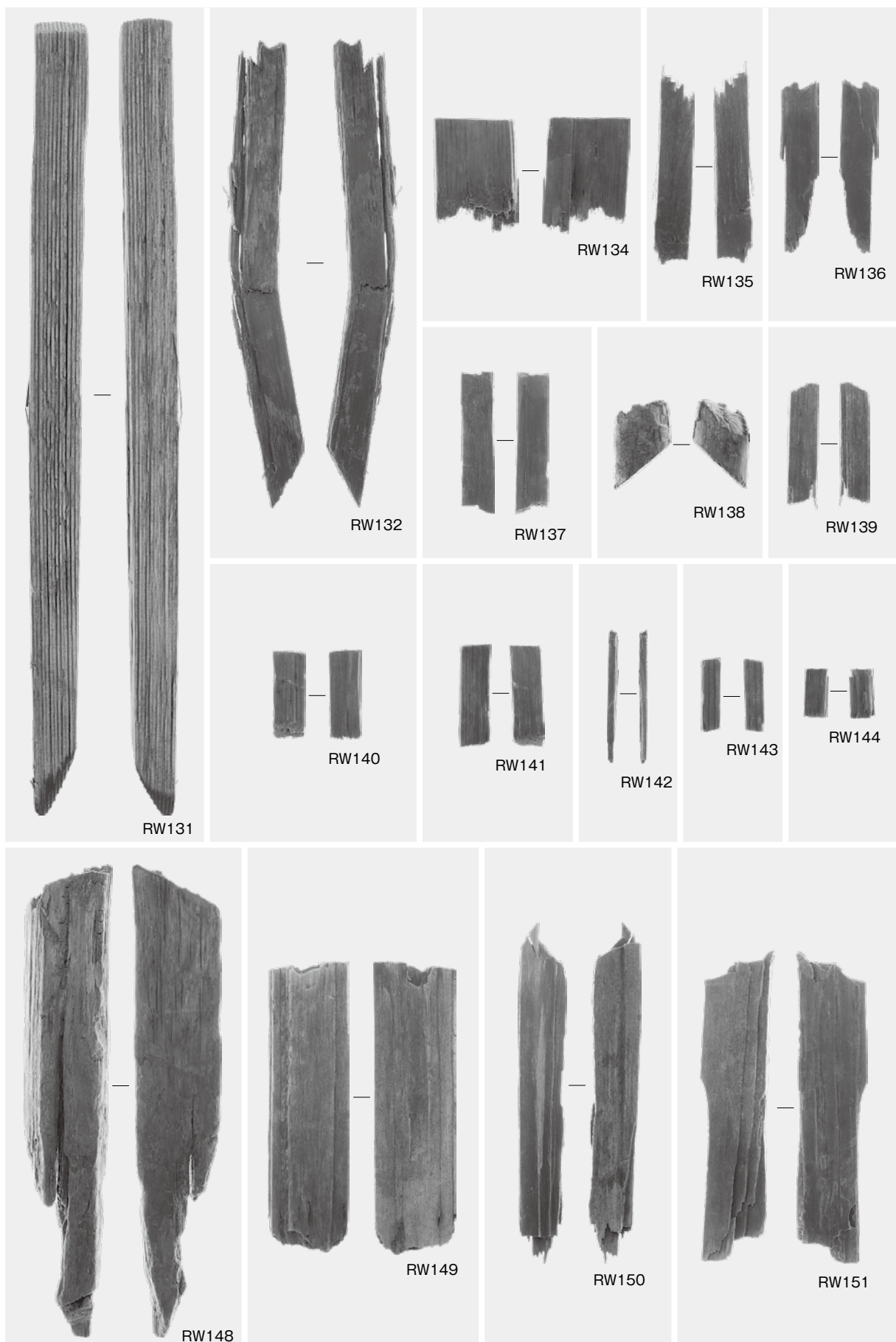
図版70
遺物





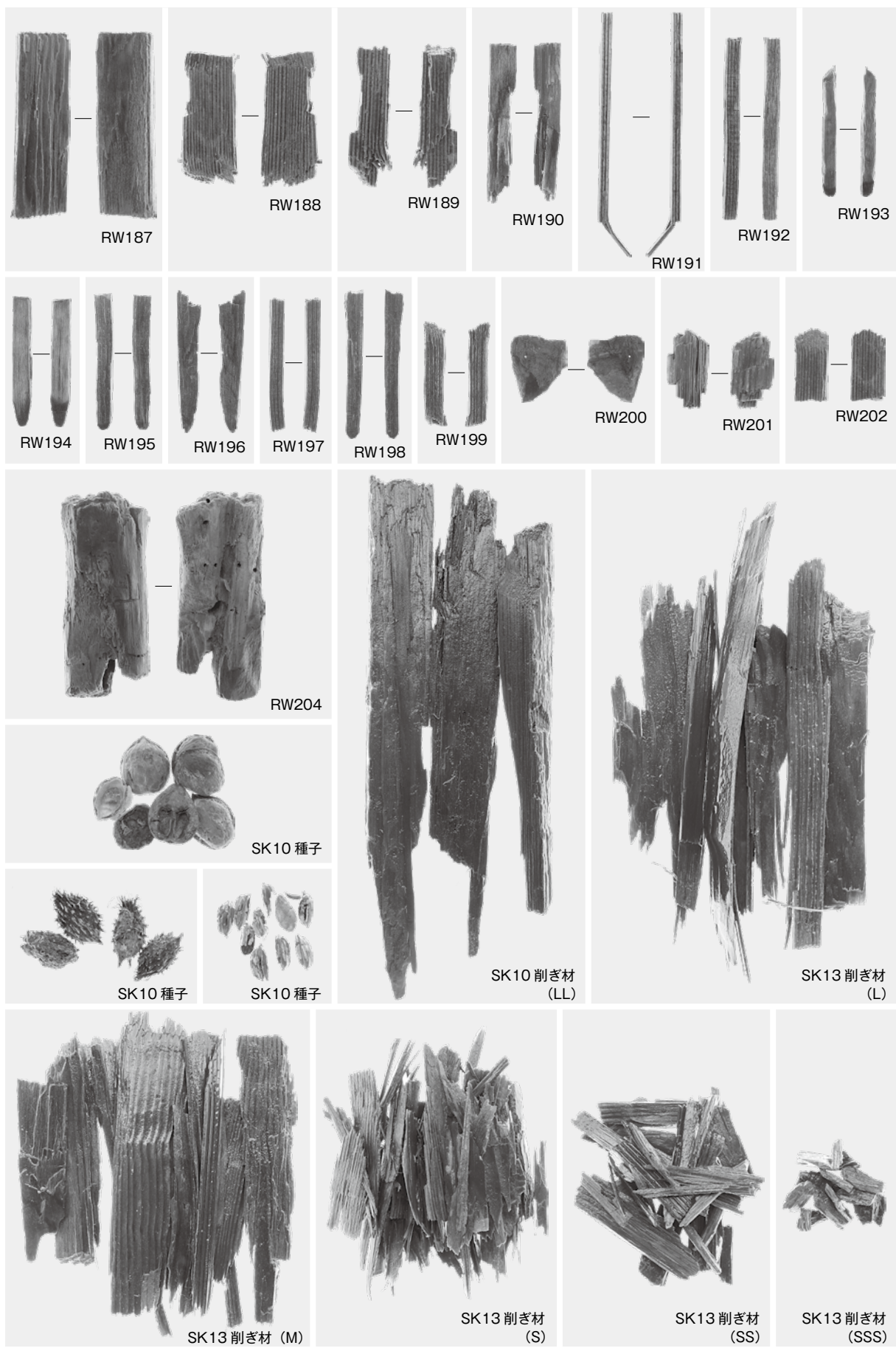
図版72
遺物





图版 74
遺物





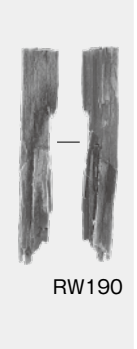
RW187



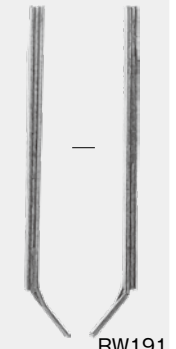
RW188



RW189



RW190



RW191



RW192



RW193



RW194



RW195



RW196



RW197



RW198



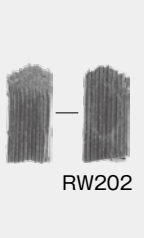
RW199



RW200



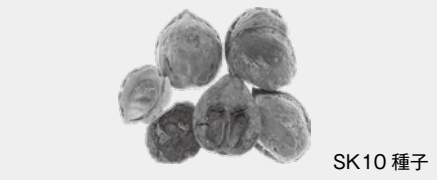
RW201



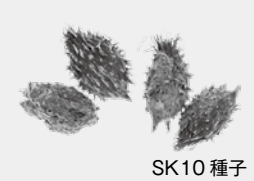
RW202



RW204



SK10 種子



SK10 種子



SK10 種子



SK10 削ぎ材 (LL)



SK13 削ぎ材 (L)



SK13 削ぎ材 (M)



SK13 削ぎ材 (S)



SK13 削ぎ材 (SS)



SK13 削ぎ材 (SSS)

報告書抄録

ふりがな	ひらいずみいせきぐんはくつちょうさほうこくしょ やなぎのごしょいせき							
書名	平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡							
副書名	第84次発掘調査概報							
シリーズ名	岩手県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第168集							
編集者名	西澤正晴（編） 高橋 祐							
編集機関	岩手県教育委員会							
所在地	〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL019-629-6488							
発行年月日	令和6年3月28日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
やなぎのごしょいせき 柳之御所遺跡	いわてけん 岩手県 にしいわいぐん 西磐井郡 ひらいずみちょう 平泉町 ひらいずみあざ 平泉字 やなぎのごしょ 柳御所	03402	NE76-0190	38度59分 28秒	141度7分 35秒	2022 0601~1031	800	内容確認 調査
ふりがな 所収遺跡名	種別	主な 時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
やなぎのごしょいせき 柳之御所遺跡	居館跡	平安 時代	掘立柱建物跡 溝跡 土坑 井戸跡 柱穴		かわらけ 国産陶器（渥美産・ 常滑産・須恵器系陶器） 中国産磁器（白磁・ 青磁・青白磁）			
要約	柳之御所遺跡の第84次調査の概報である。調査は、堀外部地区で行ったものである。今年度は道路遺構の北側に存在する区画で囲まれた範囲のひとつを調査した。その結果、掘立柱建物跡や井戸跡を中心とする遺構が検出された。とくに掘立柱建物跡（30SB1）は堀外部地区でも最大の建物である。この建物跡が存在する区画内が屋敷として利用されてきたことがあらためて判明した。さらなる調査も必要となるが区画内部の調査の端緒としては十分な成果であろう。							

岩手県文化財調査報告書 第168集

平泉遺跡群発掘調査報告書

柳之御所遺跡

— 第84次発掘調査概報 —

印刷日 令和6年3月28日

発行日 令和6年3月28日

発行 岩手県教育委員会生涯学習文化財課
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1
電話 (019) 629-6171 (代表)

印刷 株式会社 一関プリント社
〒021-0031 岩手県一関市青葉一丁目7-24
電話 (0191) 23-4586

柳之御所遺跡 84 次調査 遺構配置図

